

茨城県教育財団文化財調査報告第459集

つくば市

かみ ぎかい あさひ だい

上境旭台貝塚5

中根・金田台特定土地区画整理
事業地内埋蔵文化財調査報告書ⅩⅦ

中 巻

令和4年1月

独立行政法人都市再生機構
東日本都市再生本部
公益財団法人茨城県教育財団

茨城県教育財団文化財調査報告第459集

つくば市

かみ ぎかい あさひ だい

上境旭台貝塚5

中根・金田台特定土地区画整理
事業地内埋蔵文化財調査報告書ⅩⅦ

中 巻

令和4年1月

独立行政法人都市再生機構
東日本都市再生本部
公益財団法人茨城県教育財団

目 次

- 中 卷 -

2 縄文時代の遺構と遺物	
(5) 斜面貝層	295
(6) 遺物包含層	361
3 その他の遺構と遺物	560
(1) 火葬施設	560
(2) 溝 跡	560
(3) 土 坑	564
(4) 遺構外出土遺物	577

挿 図 目 次

第 232 図	第 2 号斜面貝層実測図 (1)	295	第 258 図	第 12 号斜面貝層実測図 (3)	333
第 233 図	第 2 号斜面貝層実測図 (2)	296	第 259 図	第 12 号斜面貝層実測図 (4)	334
第 234 図	第 2 号斜面貝層実測図 (3)	297	第 260 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (1)	336
第 235 図	第 2 号斜面貝層出土遺物実測図	299	第 261 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (2)	337
第 236 図	第 4・12 号斜面貝層グリッド設定図	301	第 262 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (3)	338
第 237 図	第 4 号斜面貝層実測図 (1)	302	第 263 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (4)	339
第 238 図	第 4 号斜面貝層実測図 (2)	303	第 264 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (5)	340
第 239 図	第 4 号斜面貝層実測図 (3)	304	第 265 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (6)	341
第 240 図	第 4 号斜面貝層出土遺物実測図 (1)	305	第 266 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (7)	342
第 241 図	第 4 号斜面貝層出土遺物実測図 (2)	306	第 267 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (8)	343
第 242 図	第 4 号斜面貝層出土遺物実測図 (3)	307	第 268 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (9)	344
第 243 図	第 4 号斜面貝層出土遺物実測図 (4)	308	第 269 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (10)	345
第 244 図	第 4 号斜面貝層出土遺物実測図 (5)	309	第 270 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (11)	346
第 245 図	第 11 号斜面貝層実測図 (1)	312	第 271 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (12)	347
第 246 図	第 11 号斜面貝層グリッド設定図	313	第 272 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (13)	348
第 247 図	第 11 号斜面貝層実測図 (2)	314	第 273 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (14)	349
第 248 図	第 11 号斜面貝層実測図 (3)	315	第 274 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (15)	350
第 249 図	第 11 号斜面貝層出土遺物実測図 (1)	317	第 275 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (16)	351
第 250 図	第 11 号斜面貝層出土遺物実測図 (2)	318	第 276 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (17)	352
第 251 図	第 11 号斜面貝層出土遺物実測図 (3)	319	第 277 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (18)	353
第 252 図	第 11 号斜面貝層出土遺物実測図 (4)	320	第 278 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (19)	354
第 253 図	第 11 号斜面貝層出土遺物実測図 (5)	321	第 279 図	第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (20)	355
第 254 図	第 11 号斜面貝層出土遺物実測図 (6)	322	第 280 図	第 5 号遺物包含層 (C 区) 実測図	362
第 255 図	第 11 号斜面貝層出土遺物実測図 (7)	323	第 281 図	第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土遺物実測図 (1)	363
第 256 図	第 12 号斜面貝層実測図 (1)	329	第 282 図	第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土遺物実測図 (2)	364
第 257 図	第 12 号斜面貝層実測図 (2)	332	第 283 図	第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土遺物実測図 (3)	365

第 284 回	第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土遺物実測図 (4)	366
第 285 回	調査 K・L・P 区グリッド設定図	369
第 286 回	第 4 号遺物包含層 (P 区) 第 4・5 号遺物包含層 (L 区) 第 5 号遺物包含層 (K 区) 実測図 (1)	371
第 287 回	第 4 号遺物包含層 (P 区) 第 4・5 号遺物包含層 (L 区) 第 5 号遺物包含層 (K 区) 実測図 (2)	372
第 288 回	第 4 号遺物包含層 (P 区) 第 4・5 号遺物包含層 (L 区) 第 5 号遺物包含層 (K 区) 実測図 (3)	373
第 289 回	第 4 号遺物包含層 (P 区) 第 4・5 号遺物包含層 (L 区) 第 5 号遺物包含層 (K 区) 実測図 (4)	374
第 290 回	第 4 号遺物包含層 (P 区) 第 4・5 号遺物包含層 (L 区) 第 5 号遺物包含層 (K 区) 実測図 (5)	375
第 291 回	第 5 号遺物包含層第 I 層実測図 (1)	376
第 292 回	第 5 号遺物包含層第 I 層実測図 (2)	377
第 293 回	第 5 号遺物包含層第 I 層出土遺物実測図 (1)	378
第 294 回	第 5 号遺物包含層第 I 層出土遺物実測図 (2)	379
第 295 回	第 4 号遺物包含層第 II 層実測図	381
第 296 回	第 4 号遺物包含層第 II 層出土遺物実測図	382
第 297 回	第 4・5 号遺物包含層第 II 層出土遺物実測図	383
第 298 回	第 5 号遺物包含層第 II 層実測図 (1)	385
第 299 回	第 5 号遺物包含層第 II 層実測図 (2)	386
第 300 回	第 5 号遺物包含層第 II 層出土遺物実測図 (1)	387
第 301 回	第 5 号遺物包含層第 II 層出土遺物実測図 (2)	388
第 302 回	第 5 号遺物包含層第 II 層出土遺物実測図 (3)	389
第 303 回	第 4 号遺物包含層第 III 層実測図 (1)	391
第 304 回	第 4 号遺物包含層第 III 層実測図 (2)	392
第 305 回	第 4 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (1)	393
第 306 回	第 4 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (2)	394
第 307 回	第 4 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (3)	395
第 308 回	第 4 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (4)	396
第 309 回	第 4 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (5)	397
第 310 回	第 4 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (6)	398
第 311 回	第 4 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (7)	399
第 312 回	第 4 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (8)	400
第 313 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層実測図 (1)	403
第 314 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層実測図 (2)	405
第 315 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (1)	407
第 316 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (2)	408
第 317 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (3)	409
第 318 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (4)	410
第 319 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (5)	411
第 320 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (6)	412
第 321 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (7)	413
第 322 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (8)	414

第 323 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (9)	415
第 324 回	第 4・5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (10)	416
第 325 回	第 4・5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (11)	417
第 326 回	第 4・5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (12)	418
第 327 回	第 4・5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (13)	419
第 328 回	第 4・5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (14)	420
第 329 回	第 4・5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (15)	421
第 330 回	第 4・5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (16)	422
第 331 回	第 4・5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (17)	423
第 332 回	第 5 号遺物包含層第 III 層実測図 (1)	430
第 333 回	第 5 号遺物包含層第 III 層実測図 (2)	431
第 334 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (1)	433
第 335 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (2)	434
第 336 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (3)	435
第 337 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (4)	436
第 338 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (5)	437
第 339 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (6)	438
第 340 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (7)	439
第 341 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (8)	440
第 342 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (9)	441
第 343 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (10)	442
第 344 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (11)	443
第 345 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (12)	444
第 346 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (13)	445
第 347 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (14)	446
第 348 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (15)	447
第 349 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (16)	448
第 350 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (17)	449
第 351 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (18)	450
第 352 回	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (19)	451
第 353 回	第 4 号遺物包含層第 IV 層実測図 (1)	458
第 354 回	第 4 号遺物包含層第 IV 層実測図 (2)	459
第 355 回	第 4 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (1)	460
第 356 回	第 4 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (2)	461
第 357 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層実測図 (1)	463
第 358 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層実測図 (2)	465
第 359 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (1)	466
第 360 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (2)	467
第 361 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (3)	468
第 362 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (4)	469
第 363 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (5)	470
第 364 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (6)	471
第 365 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (7)	472
第 366 回	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (8)	473

第 367 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (9)	474	第 411 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (15)	533
第 368 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (10)	475	第 412 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (16)	534
第 369 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (11)	476	第 413 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (17)	535
第 370 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (12)	477	第 414 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (18)	536
第 371 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (1)	481	第 415 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (19)	537
第 372 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (2)	483	第 416 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (20)	538
第 373 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (1)	484	第 417 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (21)	539
第 374 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (2)	485	第 418 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (22)	540
第 375 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (3)	486	第 419 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (23)	541
第 376 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (4)	487	第 420 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (24)	542
第 377 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (5)	488	第 421 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (25)	543
第 378 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (6)	489	第 422 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (26)	544
第 379 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (7)	490	第 423 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (27)	545
第 380 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (8)	491	第 424 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (28)	546
第 381 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (9)	492	第 425 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (29)	547
第 382 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (10)	493	第 426 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (30)	548
第 383 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (11)	494	第 427 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (31)	549
第 384 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (12)	495	第 428 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (32)	550
第 385 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (13)	496	第 429 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (33)	551
第 386 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (14)	497	第 430 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (34)	552
第 387 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層実測図 (1)	502	第 431 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (35)	553
第 388 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層実測図 (2)	503	第 432 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (36)	554
第 389 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層実測図 (3)	505	第 433 図	第 2号火葬施設実測図	560
第 390 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層実測図 (4)	507	第 434 図	第 11号溝跡実測図	560
第 391 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層実測図 (5)	509	第 435 図	第 11号溝跡出土遺物実測図 (1)	562
第 392 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層実測図 (6)	510	第 436 図	第 11号溝跡出土遺物実測図 (2)	563
第 393 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層実測図 (7)	512	第 437 図	時期不明の溝跡実測図	564
第 394 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層木道 1 実測図	514	第 438 図	第 335号土坑実測図	565
第 395 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層木道 2 実測図	515	第 439 図	第 337号土坑・出土遺物実測図	565
第 396 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層第 8号ピット群実測図	516	第 440 図	第 1090号土坑実測図	566
第 397 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (1)	519	第 441 図	第 1217号土坑・出土遺物実測図	567
第 398 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (2)	520	第 442 図	時期不明の土坑実測図 (1)	568
第 399 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (3)	521	第 443 図	時期不明の土坑実測図 (2)	569
第 400 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (4)	522	第 444 図	時期不明の土坑実測図 (3)	570
第 401 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (5)	523	第 445 図	時期不明の土坑実測図 (4)	571
第 402 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (6)	524	第 446 図	時期不明の土坑実測図 (5)	572
第 403 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (7)	525	第 447 図	時期不明の土坑実測図 (6)	573
第 404 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (8)	526	第 448 図	時期不明の土坑実測図 (7)	574
第 405 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (9)	527	第 449 図	C区遺構外出土遺物実測図	578
第 406 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (10)	528	第 450 図	H区遺構外出土遺物実測図	579
第 407 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (11)	529	第 451 図	H・J・K区遺構外出土遺物実測図	580
第 408 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (12)	530	第 452 図	K区遺構外出土遺物実測図	581
第 409 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (13)	531	第 453 図	L・P区遺構外出土遺物実測図	582
第 410 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (14)	532				

挿表目次

第210表	第2号斜面貝層出土未掲載土器集計表	298	第234表	第5号遺物包含層第Ⅱ層出土遺物一覧	389
第211表	第2号斜面貝層出土遺物一覧	298	第235表	第4号遺物包含層第Ⅲ層出土未掲載土器集計表	391
第212表	第2号斜面貝層出土具殻集計表	300	第236表	第4号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物一覧	391
第213表	第4号斜面貝層グリッド・土層対照表	302	第237表	第4・5号遺物包含層第Ⅲ層出土未掲載土器集計表	404
第214表	第4号斜面貝層出土未掲載土器集計表	304	第238表	第4・5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物一覧	404
第215表	第4号斜面貝層出土遺物一覧	310	第239表	第5号遺物包含層第Ⅲ層出土未掲載土器集計表	429
第216表	第4号斜面貝層出土具殻集計表	311	第240表	第5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物一覧	451
第217表	第11号斜面貝層グリッド・土層対照表	313	第241表	第4号遺物包含層第Ⅴ層出土未掲載土器集計表	459
第218表	第11号斜面貝層出土未掲載土器集計表	316	第242表	第4号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物一覧	461
第219表	第11号斜面貝層出土遺物一覧	324	第243表	第4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土未掲載土器集計表	462
第220表	第11号斜面貝層出土具殻集計表	327	第244表	第4・5号遺物包含層第Ⅵ層出土遺物一覧	462
第221表	第12号斜面貝層グリッド・土層対照表	330	第245表	第5号遺物包含層第Ⅴ層出土未掲載土器集計表	498
第222表	第12号斜面貝層出土未掲載土器集計表	332	第246表	第5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物一覧	498
第223表	第12号斜面貝層出土遺物一覧	333	第247表	第4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土木材一覧	511
第224表	第12号斜面貝層出土具殻集計表	360	第248表	第4・5号遺物包含層第Ⅴ層第8号ビット群ビット一覧	517
第225表	第5号遺物包含層(C区)出土未掲載土器集計表	367	第249表	第4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土未掲載土器集計表	554
第226表	第5号遺物包含層(C区)出土遺物一覧	367	第250表	第4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物一覧	554
第227表	第5号遺物包含層第Ⅰ層出土未掲載土器集計表	380	第251表	第11号溝跡出土遺物一覧	561
第228表	第5号遺物包含層第Ⅰ層出土遺物一覧	380	第252表	時期不明溝跡一覧	564
第229表	第4号遺物包含層第Ⅱ層出土未掲載土器集計表	381	第253表	第337号土坑出土遺物一覧	566
第230表	第4号遺物包含層第Ⅱ層出土遺物一覧	382	第254表	第1217号土坑出土遺物一覧	567
第231表	第4・5号遺物包含層第Ⅱ層出土未掲載土器集計表	384	第255表	時期不明土坑一覧	575
第232表	第4・5号遺物包含層第Ⅱ層出土遺物一覧	384	第256表	遺構外出土遺物一覧	577
第233表	第5号遺物包含層第Ⅱ層出土未掲載土器集計表	389			

(5) 斜面貝層

今回の調査で、斜面貝層4か所を確認した。調査方法は、残存状況や調査区域の制約等により、貝層ごとに異なることから、それぞれの本文中で記載した。貝層の解説にあたっては、層相の区分、主体となる土層、含有物、混貝率、主な貝種、破砕率などを列記した。含有量は、『新版標準土色帖』（小山正忠・竹原秀雄編著 日本色研事業株式会社）の「図1 面積割合」を参考に、50%を超えるものを「主体」とし、30～50%を「多量」、15～25%を「中量」、5～10%を「少量」、1～3%を「微量」とした。また、混貝率が75%以上のものを「純貝層」、75%未満のものを「混土貝層」、含有量が多量のものを「混貝土層」とし、中量以下はその他の含有物とともに記載した。以下、貝層の特徴及び遺物について記述する。

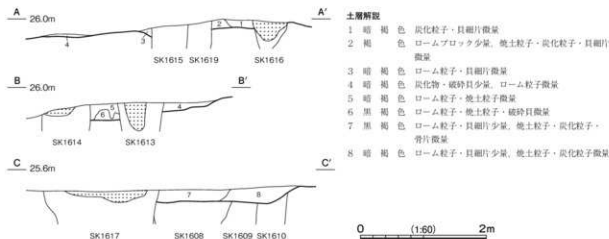
第2号斜面貝層（第232～235図 第210～212表 PL.36・37・91・103）

位置 調査C区のF 3a7～d7区、標高約255～26mの台地縁辺部に位置し、南側の東西方向に延びる谷と西側の南北方向に入り込む小谷に向かって緩やかに傾斜している。主要な部分は平成19・21・22年度に調査B区として調査が行われており、その成果は『第325・364・368集』に掲載されている。平成22年度調査では、貝層が後期後葉（曾谷式～安行1式期）の第17・19号竪穴建物跡の上部に形成されており、南北約13m、東西約9mの範囲に広がっている状況を確認した。貝層は北部と南部の2か所に集中地点が見られ、北部ブロックが後期後葉（曾谷式～安行1式期）を主体としているのに対し、南部ブロックが後期末葉から晩期前葉（安行2式～安行3b式期）を主体としていることから、廃棄場所が北部の高所から南部の低所に移っている」と報告されている。今回の調査地点は、北部ブロックの西端部に位置している。

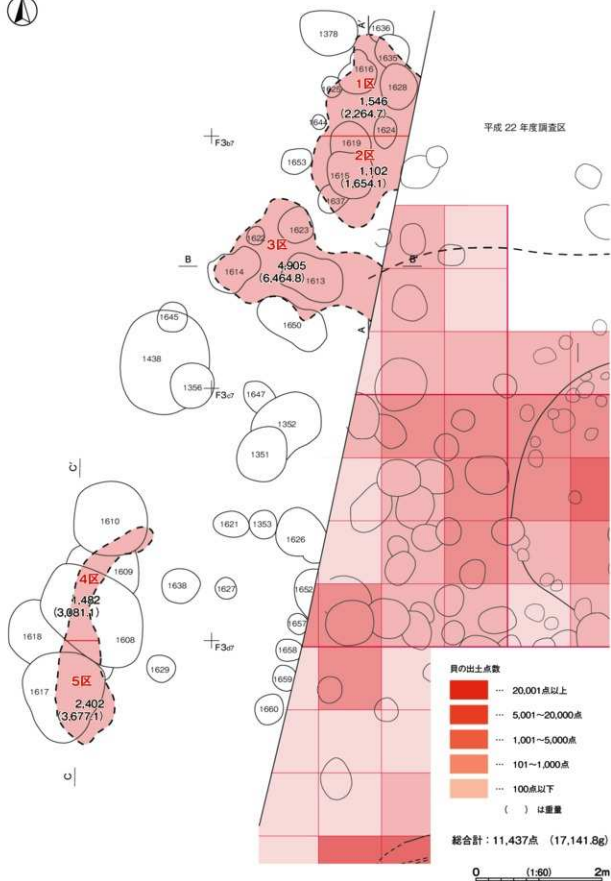
確認状況 平成22年度調査区の西側に隣接しているため、表土除去段階から貝層の分布を想定して確認作業を進めた。破砕貝を含む土層がブロック状に散布しており、貝殻のやや密なまとまりが北部と南西部に存在しているものの、貝層の面的な広がりは確認できなかった。

重複関係 第1608～1610・1618・1622～1625・1635～1637・1650号土坑、第5号遺物包含層の上部に形成されており、第1613～1617・1619・1628号土坑に掘り込まれている。

調査方法 北部と南西部のやや密に貝殻がまとまっている部分を中心に、北部を3分割（1～3区）、南西部を2分割（4・5区）する小調査区を設定し、それぞれ半載して土層観察を行いながら掘り下げを行った。貝殻がまとまっている部分は、堆積状況の観察の結果、本貝層を掘り込んでいる土坑の覆土層にあたり、本貝



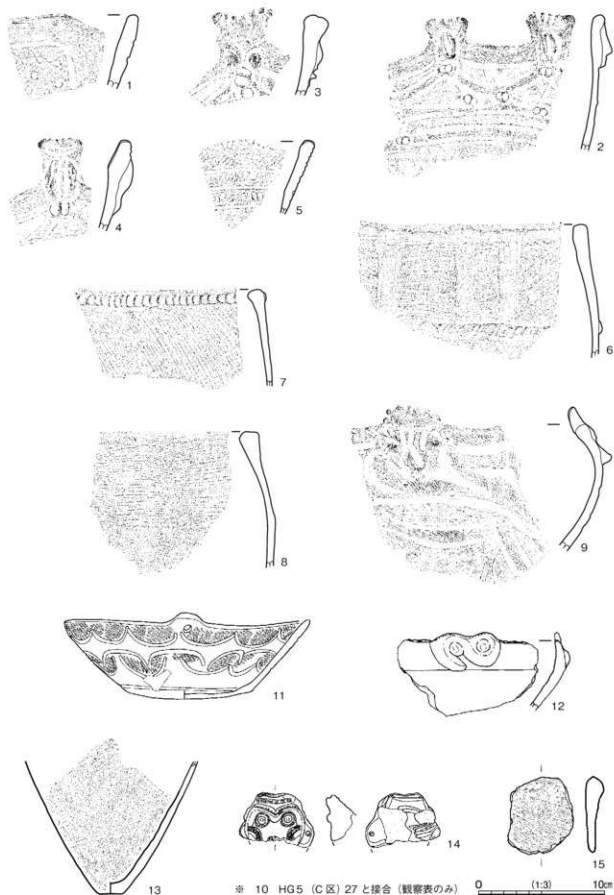
第232図 第2号斜面貝層実測図(1)



第 233 図 第 2 号斜面具層実測図 (2)



第 234 図 第 2 号斜面具層実測図 (3)



第 235 図 第 2 号斜面貝層出土遺物実測図

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
14	土 甕	(4.3)	(6.0)	(2.1)	(41.3)	長石・石英	黒褐	ミミズク形 頸部 沈痾→刺突文	3区上層	PL91
15	土器内蓋	6.2	3.3	1.4	35.1	長石・石英・雲母・ 結状物質	にぶい黄橙	喉部前葉板製深筒口縁部片 周縁部打ち欠き	2区上層	

第 212 表 第 2 号斜面貝層出土具殻集計表

腹 足 綱	点 数				重 量 (g)				備 考	
アカニシ	7				362.5					
アラムシロガイ	1				1.7					
ウミノナ	4				2.1					
カワアイ	2				1.6					
キセルガイ	2				0.1					
チリメンカワニナ	1				1.2					
ネコガイ	1				0.8					
ヘナタリ	-				1.6				破片のみ	
マイマイ類	1				0.2					
ムギガイ	1				0.1					
小 計	20				371.9					
二 枚 貝 綱	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備 考
アカガイ	1	-	-	1	4.2	-	-	-	4.2	
イシガイ	-	1	-	1	-	3.6	-	6.6	10.2	
イタボガキ	-	-	1	1	-	-	4.26	-	4.26	
オキシジミ	3	1	-	4	8.8	1.4	-	2.8	13.0	
ゴイサギ	7	6	-	13	37.2	35.1	-	9.5	81.8	
サルボウ	6	4	1	11	22.1	18.5	0.6	1.8	43.0	
シオフキ	13	9	-	22	23.0	21.6	-	2.8	50.4	
ハマダリ	191	190	4	385	472.9	510.1	3.6	98.5	1,085.1	
マガキ	-	-	2	2	-	-	1.9	-	1.9	
マツカサガイ	28	19	2	49	37.9	28.5	1.9	48.6	116.9	
ヤマトシジミ	4,522	4,798	1,608	10,928	6,631.6	6,851.5	1,064.1	773.6	15,330.8	
小 計	4,771	5,028	1,618	11,417	7,237.7	7,473.3	1,114.7	944.2	16,709.9	
総 合 計	11,437				17,141.8					

第 4 号斜面貝層 (第 236～244 図 第 213～216 表 PL38～41・91～93・96)

位置 調査 K 区の G 4 a9～b0 区、標高 21.5～22.8 m の台地斜面部に位置し、南側の東西方向に延びる谷に向かって緩やかに傾斜している。平成 22 年度の調査 G 区で、東西約 4 m、南北約 3 m に広がる貝層の末端部を確認しており、その成果は『第 397 集』に掲載されている。今回の調査箇所は、その西側に位置している。

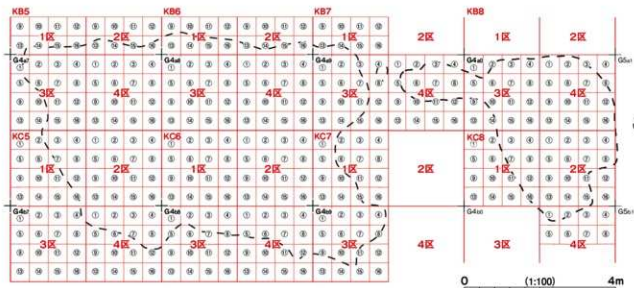
確認状況 貝層は、北部の標高が高い部分では表土を除去した段階で露出し、南へ標高が下がるにつれて谷の覆土である黒色土層 (第 5 号遺物包含層第 I～III 層) に覆われている状況が確認できた。また、西側には第 12 号斜面貝層が近接しており、当初、一連の貝層の可能性が考えられたが、貝層の分布範囲が連続していないこと、基盤層となる遺物包含層の層位が異なることから、それぞれ個別の貝層と判断した。

重複関係 第 1309・1312～1321 号土坑、第 5 号遺物包含層第 IV 層の上部に形成されている。また、本貝層を覆う第 5 号遺物包含層第 III 層と同質の土が貝層の下位にも介在していることから、第 III 層が堆積する過程で本貝層が形成されたと考えられる。



第12号斜面貝層

第4号斜面貝層



第236図 第4・12号斜面貝層グリッド設定図

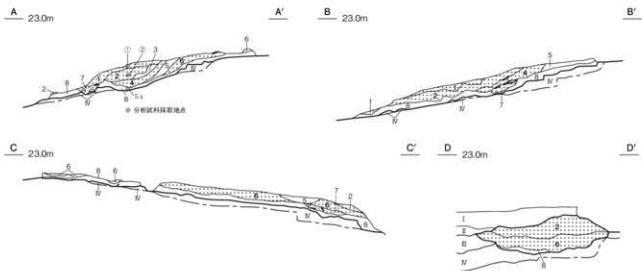
調査方法 本貝層が位置している調査K区は、中央部を東西方向に延びる谷が通っており、4m四方の基本グリッドが谷底の最深部を包括するように、既設の基本グリッドを北へ2m移動して調査を実施した。基本グリッドの呼称は、調査K区の北西部（F43区の北西隅から北へ2mの点）を起点に、アルファベットと算用数字を用いて、北から南へA, B, C…、西から東へ1, 2, 3…とし、調査K区の「K」を付して、「KA1区」のように呼称した。また、基本グリッドを2m四方の単位グリッドに4分割し、北西部からZ字状に1～4区とし、さらに、単位グリッドを50cm四方のカットに16分割して、北西隅を起点に①～⑯区とし、基本グリッドの名称を冠して「KA1-1-①区」のように呼称した。掘り込みは、50cm四方のカットを人工層位で5cmずつ掘り下げるグリッド法を採用し、人工遺物はビニール袋、貝・骨片は土嚢袋にそれぞれ回収した。なお、発掘調査での選別や整理作業での分類・集計の方法については、本項目頭の「貝・骨の分類」（上巻32頁）を参照されたい。

分布範囲 平成22年度調査分を含めた規模は、東西7.7m、南北5.7mで、南東方向へ広がるやや不整形な扇形を呈している。貝層確認面の標高は215～228mで、比高差は1.3mであり、傾斜角は約13度である。

堆積状況 8層に分層でき、上層（1～2層）、中層（3～7層）、下層（8層）の3層に大別できる。上層は、混土貝層を主体とし、中位から下位にかけての表層を覆っている。中層は、上位から中位にかけて分布し、混土貝層と黒褐色土、灰黄褐色粘質土が互層に堆積している。下層は、破砕貝片が微量含まれている暗褐色土で、貝層の下部に分布している。なお、KB83-⑯区の1・2・4層（分析=①・②・5x層）から試料を採取し、微細物分析を実施した（「第3章第4節 自然科学分析 4」参照）。

遺物出土状況 縄文土器片2,680点（56,769g）、土製品10点（土偶1、土器片円盤9）、石器・石製品12点（石鏃1、石皿2、磨石4、敲石4、石剣1）、貝製品3点（貝輪）、貝殻157,179点（281,082.1g）、骨2,554.4g、炭化種子（オニグルミ、クリ、ムクロジ、トチノキ）が出土している。

土器類は、後期初頭から晩期前葉までのものが出土しており、時期的なまとまりは、後期初頭1.2%、後期前葉14.0%、後期中葉17.7%、後期後葉27.4%、晩期前葉39.7%である。各時期の土器が一定量出土しているが、



土層解説

- 1 混貝土層 黒褐色土主体、混貝率40% (ヤマトシジミ主体、ハマグリ少量、破砕率40%)
- 2 混土貝層 暗褐色土中層、ロームブロック少量、混貝率70% (ヤマトシジミ主体、ハマグリ少量、破砕率20%)
- 3 黒褐色 貝殻・破砕貝中層、混貝率20% (ヤマトシジミ主体、破砕率60%)
- 4 混土貝層 暗褐色粘質土主体、混貝率60% (ヤマトシジミ主体、破砕率30%)
- 5 灰黄褐色 粘質土、粘砂中層、ロームブロック・貝殻・破砕貝・軟骨片少量、焼土ブロック・炭化粒子微量、混貝率20% (ヤマトシジミ主体、破砕率70%)
- 6 混貝土層 黒褐色土主体、ローム粒子少量、焼土粒子・軟骨片微量、混貝率40% (ヤマトシジミ主体、破砕率30%)
- 7 混貝土層 暗褐色土主体、混貝率30% (ヤマトシジミ主体、破砕率40%)、土膠片中層
- 8 暗褐色 粘質土、ローム粒子少量、焼土ブロック・炭化物・破砕貝微量、混貝率5% (ヤマトシジミ主体、破砕率80%)

第237図 第4号斜面貝層実測図(1)

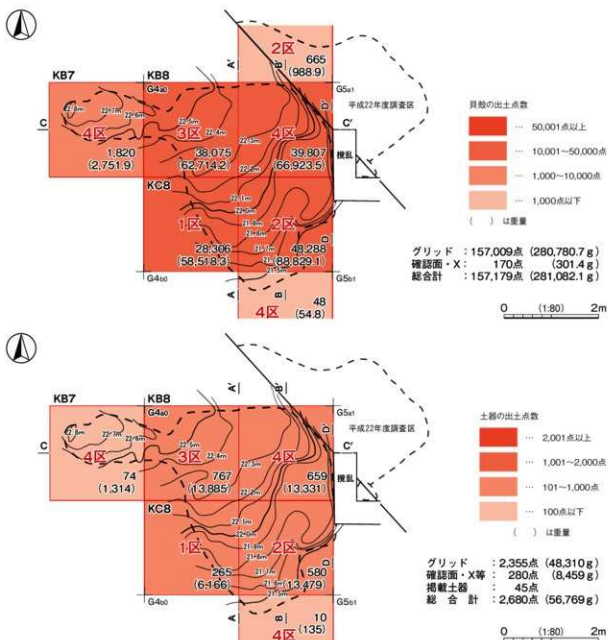
第213表 第4号斜面貝層グリッド・土層対照表

KH7													KC8												
4区													4区												
区	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒			
1x	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6			
2x	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8			

KH8													KC8												
3区													4区												
区	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒			
1x	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6			
2x	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8			
3x																									
4x																									
5x																									
6x																									
7x																									
8x																									

KC8												
1区						2区						
区	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
1x		1	1		1	1		2		1	1	1
2x		2	2							2	2	2
3x												
4x												
5x												
6x												
7x												

上層
 中層
 下層
 照り込みなし

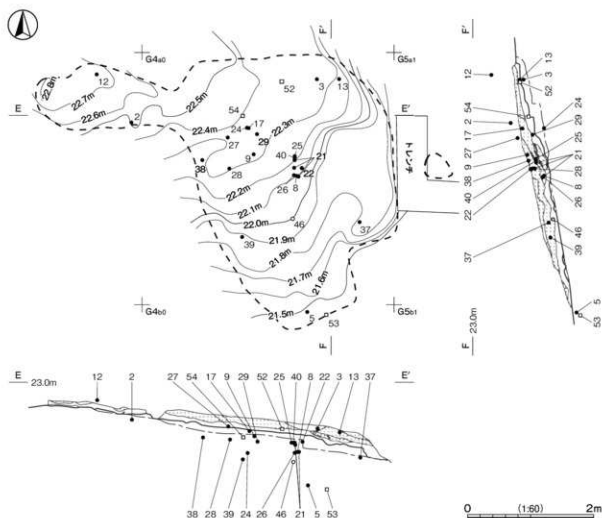


第 238 図 第 4 号斜面貝層実測図 (2)

後期前～後葉のものは主に下層から出土しており、下位の遺物包含層から混入したものと考えられる。上・中層から出土している土器は、晩期前葉が主体で、安行 3b 式、姥山 II 式のものが多い。ほとんどが小破片で、散在した状態で出土しており、接合関係も少ない。20～23 は、姥山 II 式の深鉢の大型破片で、中央部 (KB8-3-⑥・KB8-4-③・KC8-1-④区) の中層からまとめて出土しており、本貝層の形成時期を示す資料である。土製品、石器・石製品、貝製品類は少量で、特徴的な出土傾向は見い出せなかった。

貝は 26 種が確認できた。主な貝種は、汽水性のヤマトシジミが 150,370 点 (最小個体数 73,164 点) で 95.7%、次いで内湾性のハマグリが 6,474 点 (最小個体数 3,209 点) で 4.1%、シオフキが 190 点 (最小個体数 98 点) である。また、陸生微小貝が上層から多く出土する傾向があり、他の層準より長く地表面になっていた可能性がある。

骨は、同定分析の結果、イノシシ 54 点 (頭蓋骨 13、下顎骨 16、歯牙 2、頸椎 5、肩甲骨 5、上腕骨 5、橈骨 1、尺骨 1、中手骨 1、大腸骨 1、脛骨 1、距骨 1、中手骨/中足骨 1、基節骨 1)、ニホンジカ 31 点 (頭



第 239 図 第 4 号斜面貝層実測図 (3)

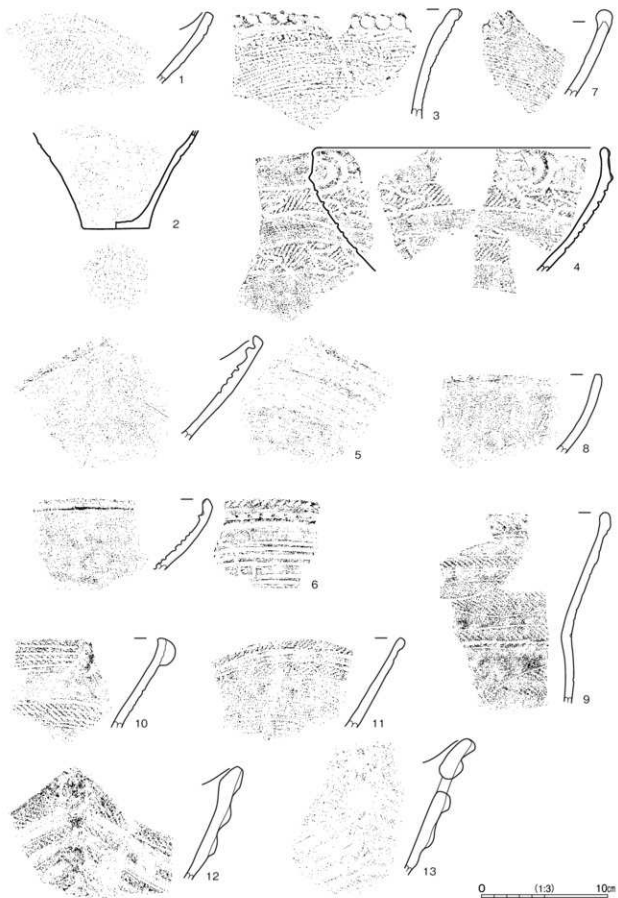
蓋骨 8、下顎骨 3、頭椎 4、肩甲骨 2、上腕骨 1、中手骨 3、寛骨 1、大腿骨 1、脛骨 3、踵骨 1、中足骨 2、基節骨 2)のほか、魚綱(ウナギ属、コイ科、サヨリ科、クロダイ属、タイ科)、両生綱(カエル類)、爬虫綱(ヘビ類)が検出されている。また、下顎骨の歯牙の萌出状況から、イノシシは 0.5 歳、1.5 歳が各 1 個体、4.5 歳 2 個体の計 4 個体、ニホンジカは 2.0 歳 1 個体、3.5 歳 2 個体の計 3 個体が確認できた。

所見 汽水域に生息するヤマトシジミを主体とした主演貝層で、同域に生息するウナギ属、コイ科の魚骨も出土していることから、主に河川の河口付近で採貝・漁労活動が行われたとみられる。時期は、出土土器から晩期前葉(安行 3 b 式期)と考えられる。

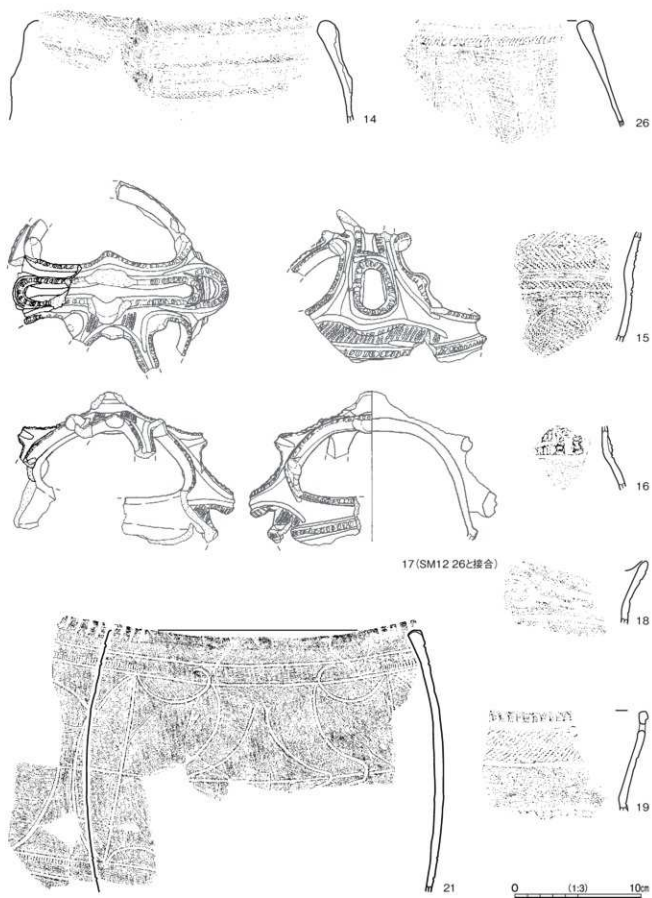
第 214 表 第 4 号斜面貝層出土未掲載土器集計表

群	第 3 群		第 4 群		第 5 群				第 6 群		第 7 群		第 8 群	
	形名 1 式	形名 2 式	形之内 1 式	形之内 2 式	加型 1 式	加型 2 式	加型 3 式	後期 中葉	群 1 式	安行 1 式	安行 2 式	安行 3 a 式	安行 3 b 式	横山 1 式
点数	1	1	20	3	9	4	2	12	6	15	15	15	26	12
集積率 (%)	62	15	882	133	235	97	48	180	198	553	274	354	495	270

群	第 9 群							第 10 群		第 11 群		第 12 群		第 13 群	合 計				
	沈瀬文	刺突文	密凹文	段状凸線文	網線文(西)	網線文(東)	格子状文	条線文	縄文	無文	段状(西)	段状(東)	罫	凸付罫		凹上罫	意	朝陽土器	不明
点数	68	30	153	85	77	94	12	584	334	847	21	34	2	1	1	1	122	-	2,635
集積率 (%)	1171	747	2,576	1,364	2,026	2,316	418	10,072	6,253	12,811	1,661	1,570	94	15	26	9	1,279	8,191	36,769



第 240 图 第 4 号斜面具层出土物实测图 (1)



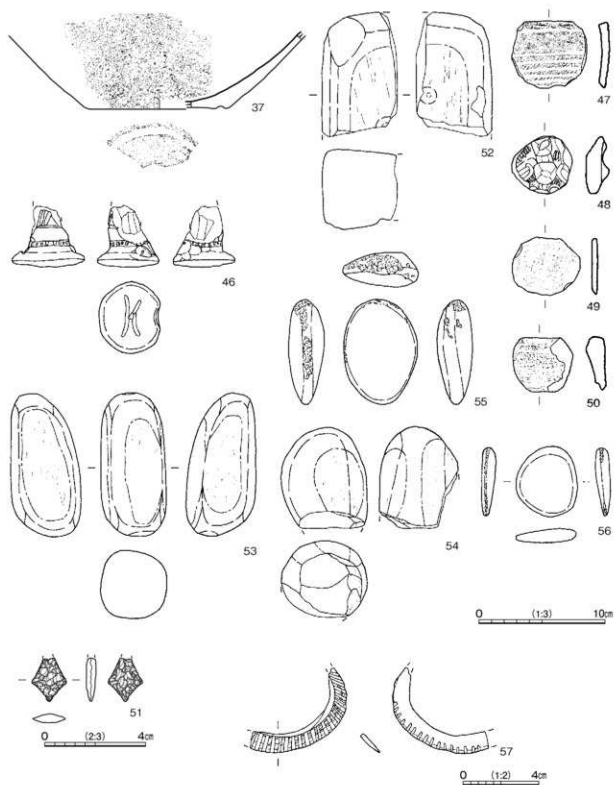
第241图 第4号斜面具層出土物实测图(2)



第 242 图 第 4 号斜面层出土遗物实测图 (3)



第 243 图 第 4 号斜面层出土物实测图 (4)



第244图 第4号斜面貝層出土遺物実測图(5)

第 215 表 第 4 号斜面具層出土遺物一覧 (第 240 ~ 244 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	状態	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	—	(5.8)	—	長石・石英・雲母・赤色粒子	こいぬ	普通	外面口縁部削文・平行沈線→縄文LR 内面磨き	KC8-24区 下層	埋蔵物B3式
2	縄文土器	深鉢	—	(7.6)	54	長石・石英・雲母	灰黄緑	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き 底面削文	KD7-4.12区 下層	15% PL92 埋蔵物B1式
3	縄文土器	深鉢	—	(8.6)	—	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外面縄文RL → 縦線文・縦線磨付 内面磨き	KC8-4.2区 中層	埋蔵物中・後葉
4	縄文土器	浅鉢	[230]	(9.8)	—	長石・石英・雲母	灰褐	普通	外面沈線→縄文L→無文部磨き 内面磨き	KC8-13区 下層	15% PL92 埋蔵物B1式
5	縄文土器	浅鉢	—	(8.3)	—	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰黄緑	普通	口唇部削み 外面磨き 内面磨き 平行沈線・平行沈線	KC8-4.2区 下層	埋蔵物B2式
6	縄文土器	浅鉢	—	(5.7)	—	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐	普通	外面磨き 内面口縁部削文 平行沈線・「の」の字状削り文→縄文L→無文部磨き	KB8-3.5区 下層	PL92 埋蔵物B1式
7	縄文土器	深鉢	—	(6.9)	—	長石・石英・雲母	黒黒	普通	口唇部突起磨付 外面縦線文 内面磨き	KB8-3.12区 中層	埋蔵物中葉
8	縄文土器	深鉢	—	(6.2)	—	長石・石英・雲母・赤色粒子	こいぬ	普通	外面削り 内面磨き	KB8-4.14区 上層	埋蔵物中・後葉
9	縄文土器	深鉢	—	(15.1)	—	長石・石英	黒黒	普通	外面沈線→縄文RL→無文部磨き 削文 内面磨き	KB8-3.6区 中層	10% PL92 磨付式
10	縄文土器	深鉢	—	(7.1)	—	長石・石英・雲母・赤色粒子	こいぬ	普通	外面磨付付→沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KB8-4.15区 下層	磨付式
11	縄文土器	深鉢	—	(7.1)	—	長石・石英・雲母	灰褐	普通	外面沈線→縄文L→無文部磨き 内面磨き	KC8-13区 下層	磨付式
12	縄文土器	深鉢	—	(9.0)	—	長石・石英・雲母・赤色粒子	こいぬ	普通	外面磨付付→隆起部縦沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KE7-4.3区 下層	PL92 削付式
13	縄文土器	深鉢	—	(10.7)	—	長石・石英	こいぬ	普通	唇部 外面磨付付→隆起部縦沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KB8-4.3区 下層	PL92 安行3式
14	縄文土器	深鉢	[224]	(8.1)	—	長石・石英・雲母・針状物質	明赤褐	普通	外面磨付付→隆起部縦沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KB8-3.12区 下層	10% PL92 安行2式
15	縄文土器	深鉢	—	(8.7)	—	長石・石英	こいぬ	普通	外面削り・気泡沈線→縄文RL→削文→羽状沈線→削り沈線→無文部磨き 内面磨き	KC8-1.15区 下層	安行1式
16	縄文土器	深鉢	—	(5.0)	—	長石・石英・雲母	こいぬ	普通	外面磨付付→沈線→削み→無文部磨き 内面ナテ	KB8-4.1区 下層	埋蔵物中葉
17	縄文土器	手土器	[166]	(12.2)	—	長石・石英・雲母	灰褐	普通	外面削みをもつ隆部 内面磨き SM12.26 と接合	KB8-3.12区 中層	40% PL96 埋蔵物中
18	縄文土器	深鉢	—	(4.8)	—	長石・石英・雲母	こいぬ	普通	外面沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KC8-13区 中層	安行3式
19	縄文土器	深鉢	—	(7.9)	—	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	唇部 外面沈線→縄文LR→削文→無文部磨き 内面磨き	KC8-2.3区 中層	埋蔵物B3式
20	縄文土器	深鉢	[240]	(30.9)	—	長石・石英	灰黄緑	普通	口唇部削み 外面沈線→磨付沈線→無文部磨き 削付底面 内面磨き 21と同一	KB8-3.6区 中層	20% PL93 埋蔵物B3式
21	縄文土器	深鉢	[246]	(20.7)	—	長石・石英	灰褐	普通	口唇部削み 外面沈線→磨付沈線→無文部磨き 削付底面 内面磨き 20と同一	KC8-4.13区 中層	15% PL93 埋蔵物B3式
22	縄文土器	深鉢	[240]	(24.1)	—	長石・石英・雲母・針状物質	明赤褐	普通	口唇部削み 外面沈線→磨付沈線→無文部磨き 削付底面 内面磨き 23と同一	KB8-3.6区 中層	15% PL93 埋蔵物B3式
23	縄文土器	深鉢	[25.0]	(22.6)	—	長石・石英・雲母・針状物質	明赤褐	普通	口唇部削み 外面沈線→磨付沈線→無文部磨き 削付底面 内面磨き 22と同一	KC8-4.14区 中層	15% PL93 埋蔵物B3式
24	縄文土器	深鉢	16.8	(20.0)	—	長石・石英	こいぬ	普通	外面磨付付→沈線による削付底面・区画内磨き →縄文RL 削付下半部 内面磨き	DB12.13区 中層	10% PL91 安行3式
25	縄文土器	深鉢	—	(11.4)	—	長石・石英	黒黒	普通	外面磨き→区画文→無文部磨き→縦線磨付 内面磨き	KB8-4.13区 中層	10% PL92 埋蔵物中葉
26	縄文土器	深鉢	—	(8.5)	—	長石・石英・雲母	こいぬ	普通	外面磨き→区画文→無文部磨き→縦線磨付 内面ナテ	KB8-4.13区 中層	埋蔵物中葉
27	縄文土器	深鉢	—	(6.2)	—	長石・石英・雲母	灰褐	普通	外面平行沈線期に羽状沈線→無文部磨き 内面磨き	KB8-3.11区 上層	PL92 埋蔵物中葉
28	縄文土器	深鉢	—	(10.9)	—	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面磨き 内面磨き	KB8-3.15区 下層	埋蔵物中葉
29	縄文土器	深鉢	—	(8.3)	—	長石・石英	こいぬ	普通	外面磨き 内面ナテ	KB8-3.12区 下層	埋蔵物中葉
30	縄文土器	深鉢	—	(7.4)	—	長石・石英	灰黄緑	普通	外面磨き 内面磨き	KB8-3.15区 中層	埋蔵物中葉
31	縄文土器	鉢	—	(6.0)	—	長石・石英	灰褐	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC8-2.1区 上・中層	PL92 大淵皿2式
32	縄文土器	深鉢	—	(8.8)	—	長石・石英・雲母	こいぬ	普通	外面沈線→縄文LR・縦線文→無文部磨き 内面磨き	KC8-13.14区 中層	10% PL92 埋蔵物B-C式
33	縄文土器	浅鉢	[269]	(9.4)	—	長石・石英・雲母・針状物質	灰褐	普通	外面磨き→沈線 内面磨き	KC8-4.15区 上層	15% PL92 安行3式
34	縄文土器	浅鉢	12.8	(3.9)	—	長石・石英・雲母	こいぬ	普通	口唇部5単位の高突起 突起間小流状 外面沈線 →縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KB8-3.15区 中層	80% PL91 安行3式
35	縄文土器	浅鉢	[18.8]	(4.4)	—	長石・石英	灰黄緑	普通	口唇部4単位の高突起 外面沈線→縄文L→無文部磨き 内面磨き	KB8-3.11区 中層	15% PL92 安行3式
36	縄文土器	鉢	—	(8.4)	—	長石・石英	こいぬ	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナテ	KB8-4.15区 中層	安行3式
37	縄文土器	浅鉢	—	(5.9)	[11.0]	長石・石英	灰褐	普通	外面磨き 内面磨き 底面磨付	KC8-2.1区 下層	埋蔵物中葉
38	縄文土器	浅鉢	—	(6.1)	—	長石・石英・雲母・針状物質	灰褐	普通	外・内面磨き	KB8-3.11区 中層	埋蔵物中葉
39	縄文土器	壺	8.0	(6.5)	—	長石・石英	橙	普通	把手4か所 外・内面ナテ	KC8-1.7区 中層	60% PL92 埋蔵物中葉
40	縄文土器	陶土器	—	(6.7)	—	長石・石英	こいぬ	普通	外・内面ナテ	KB8-4.13区 中層	埋蔵物中葉
41	縄文土器	陶土器	—	(3.9)	—	長石・石英・雲母	こいぬ	普通	外面削り→口縁部ナテ 内面ナテ	KB8-3.6区 中層	埋蔵物中葉
42	縄文土器	陶土器	—	(4.2)	—	長石・石英	橙	普通	外面削り→口縁部ナテ 内面ナテ	KB8-4.5区 中層	埋蔵物中葉
43	縄文土器	陶土器	—	(4.0)	—	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	外・内面ナテ 口唇部削り	KB8-3.7区 中層	埋蔵物中葉
44	縄文土器	陶土器	—	(4.9)	—	長石・石英・雲母	橙	普通	外面削り→口縁部ナテ 内面ナテ	KB8-3.10区 下層	埋蔵物中葉
45	縄文土器	陶土器	—	(4.9)	—	長石・石英	橙	普通	外面削り→口縁部ナテ 内面ナテ	KB8-4.4区 下層	埋蔵物中葉

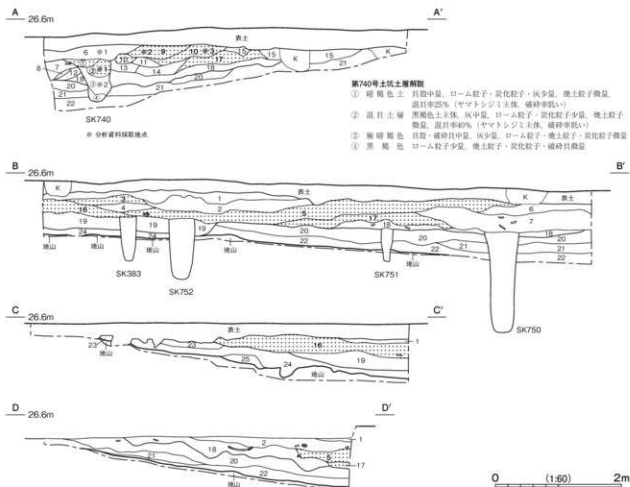
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
46	土偶	(5.8)	(5.0)	(5.8)	(73.1)	長石・石英・雲母・赤色粘土	橙	脚部片 比線→刺突文	KC8-2.5 [区下層]	
47	土器片断	5.2	6.0	0.8	30.1	長石・石英	明赤褐色	加費利B1式深溝口縁部片 周縁部打ち欠き	KI8-3.7 [区下層]	
48	土器片断	4.5	4.9	1.9	33.0	長石・石英	灰褐色	安行2式精製深溝口縁部片 周縁部打ち欠き	KC8-2.13 [区下層]	
49	土器片断	4.5	5.3	0.5	20.4	長石・石英	にぶい・橙	後期後葉精製深溝口縁部片 周縁部研磨	KC8-2.10 [区下層]	
50	土器片断	4.3	4.7	1.5	31.3	長石・石英	にぶい・橙	安行1式精製深溝口縁部片 周縁部打ち欠き	KI8-3.12 [区中層]	
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考
51	石皿	(1.7)	1.4	0.4	(0.7)	チャート	凸基有茶線	茶部欠損	KC8-2.3 [区下層]	PL93
52	石皿	(9.8)	(6.1)	(6.4)	(662.9)	花崗岩	表面磨面・凹痕		KI8-4.1 [区下層]	
53	磨石	11.3	5.3	5.6	543.4	安山岩	4側面磨面		KC8-4.2 [区下層]	
54	磨石	(8.0)	6.9	(6.4)	(484.1)	安山岩	3側面磨面	欠損部再利用 敲打痕	KI8-3.8 [区中層]	
55	磨石	8.3	6.0	2.9	178.8	硬質砂岩	側縁部敲打痕		KC8-2.2 [区上層]	
56	磨石	5.5	4.9	1.2	46.5	角閃岩	側縁部敲打痕		KC8-4.14 [区下層]	
57	貝輪	(5.1)	(4.5)	1.0	(5.7)	サルゴウ属	未成品	研磨整形	KI8-4.14 [区上層]	PL93

第 216 表 第 4 号斜面貝層出土貝殻集計表

腹足綱	点 数				重 量 (g)			備 考		
アカシ	10				203.0					
アラムシロガイ	3				1.7					
アワビ	-				6.9			破片のみ		
イボニシ	1				1.9					
ウミニナ	13				9.7					
オオタニシ	1				2.5					
カノコガイ	4				3.5					
カワアイ	2				3.6					
カワニナ	2				2.5					
キサゴ	-				2.1			破片のみ		
チリメンカワニナ	2				2.7					
ネコガイ	3				4.4					
ヒロクチカノコガイ	3				4.2					
ヘナタリ	4				4.3					
マサキ	-				18.4			破片のみ		
ヤマダルマガイ	1				0.8					
小 計	49				272.2					
二枚貝綱	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備 考
アカガイ	-	-	1	1	-	-	3.1	-	3.1	
アサリ	-	2	-	2	-	4.0	-	-	4.0	
イシガイ	-	-	1	1	-	-	1.1	22.8	23.9	
オキシジミ	6	16	1	23	9.6	17.0	0.9	5.7	33.2	
ゴイサギ	1	1	-	2	2.4	3.7	-	-	6.1	
サルゴウ	25	19	4	48	145.2	111.8	10.7	74.9	342.6	
シオフキ	87	98	5	190	224.0	259.9	10.0	69.3	563.2	
ハマグリ	3,166	3,209	99	6,474	10,194.2	10,611.1	75.4	2,954.8	23,835.5	
マツカサガイ	11	2	6	19	13.4	1.6	7.9	69.9	92.8	
ヤマトシジミ	73,164	69,980	7,226	150,370	120,341.4	117,100.5	3,904.4	14,523.2	255,905.5	
小 計	76,460	73,327	7,343	157,130	130,900.2	128,109.6	4,049.5	17,226.6	280,809.9	
総 合 計	157,179				381,082.1					

第11号斜面貝層 (第245～255図 第217～220表 PL.36・37・93～96)

位置 調査地区のD4 h4～6区、標高26.2～26.3mの台地斜面部に位置し、北側の西北西～東南東方向に延びる谷に向かって緩やかに傾斜している。平成19年度の調査A区でトレンチ調査が行われ、後期中葉(加曽利B式期)を主体とする貝層及び晩期前葉までの土器を含む遺物包含層が確認されており、その成果は『第325集』に掲載されている。今回の調査箇所は、その南西側に隣接している。

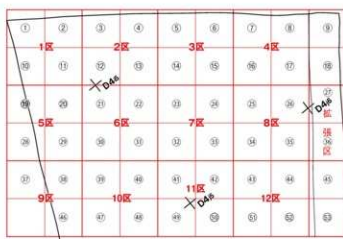


- 第740号土坑土層解説
- ① 暗褐色土 貝殻中量、ローム粒子・炭化粒子・灰少量、焼土粒子微量、混貝率25% (ヤマトシジミ主体、破砕率低い)
 - ② 混貝土層 黒褐色土主体、灰中量、ローム粒子・炭化粒子少量、焼土粒子微量、混貝率40% (ヤマトシジミ主体、破砕率低い)
 - ③ 暗褐色土 貝殻・破砕貝中量、灰少量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
 - ④ 黒褐色土 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・破砕貝微量

土層解説

- | | | | |
|---------|--|----------|--|
| 1 暗褐色土 | ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子・破砕貝微量 | 12 黒褐色土 | 灰・破砕貝少量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色土 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量、破砕貝微量 | 13 黒褐色土 | 炭化粒子・貝殻・破砕貝少量、焼土ブロック・ローム粒子・灰微量 |
| 3 混貝土層 | 黒褐色土主体、炭化粒子中量、ロームブロック・焼土粒子少量、混貝率30% (ヤマトシジミ主体、破砕率低い) | 14 極暗褐色土 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・破砕貝少量 |
| 4 暗褐色土 | ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子・破砕貝微量 | 15 暗褐色土 | ローム粒子中量、焼土粒子少量、炭化粒子微量 |
| 5 混貝土層 | 黒褐色土主体、灰中量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量、混貝率30% (ヤマトシジミ主体、破砕率低い) | 16 混貝土層 | 暗褐色土主体、ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量、混貝率40% (ヤマトシジミ主体、破砕率高い) |
| 6 黒褐色土 | 破砕貝中量、ロームブロック・炭化粒子少量、焼土ブロック微量、混貝率20% (ヤマトシジミ主体、破砕率高い) | 17 黒褐色土 | 貝殻中量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・灰少量、混貝率25% (ヤマトシジミ主体、破砕率低い) |
| 7 暗褐色土 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子・破砕貝少量、灰微量 | 18 黒褐色土 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量、破砕貝微量 |
| 8 黒褐色土 | 灰多量、炭化粒子少量、ローム粒子・焼土粒子・破砕貝微量 | 19 暗褐色土 | ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子・破砕貝微量 |
| 9 混貝土層 | 暗褐色土主体、灰中量、ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量、混貝率40% (ヤマトシジミ主体、破砕率低い) | 20 極暗褐色土 | ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 10 黒褐色土 | 貝殻中量、灰少量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量、混貝率25% (ヤマトシジミ・ハマダリ主体、破砕率低い) | 21 黒褐色土 | ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 11 黒褐色土 | 貝殻・破砕貝中量、ローム粒子・炭化粒子・灰少量、焼土粒子微量、混貝率20% (ヤマトシジミ主体、破砕率高い) | 22 暗褐色土 | ロームブロック中量 |
| | | 23 暗褐色土 | ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| | | 24 暗褐色土 | ローム粒子多量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| | | 25 暗褐色土 | ローム粒子多量 |

第245図 第11号斜面貝層実測図(1)



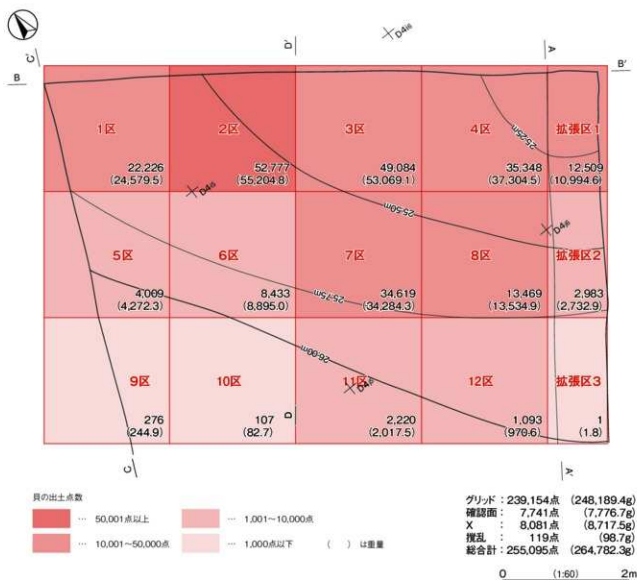
第246図 第11号斜面具層グリッド設定図

第217表 第11号斜面具層グリッド・土層対照表

区	1区		2区		3区		4区		照訳区1
層位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1x	1	1	1	1	1・5	5	5	5	6
2x	1	1・2	1	1	1・5	5	5	5	6
3x	3・16	2・3	2	2	1・5	5	5	5・6	7
4x	3・16	3	2	2	1・5	5	5・7	6	7
5x	16	4	2	2	5	5	7	6・7	7
6x	16	4	2	2	5	17	7	6・7	7・8
7x	16・24	5・16	2	5	5・17	17	7・17	7	7・15
8x	19	5・16	5	5	5・17	17	7・17	7	7・15
9x		19	5・19	5	17・20	17	18	7	18
10x		19	20・19	5	20	18	15・18	7	18・20
11x		19	19	30	30	30	30	18	30
12x				30	20	30	30	18	30
13x	24		24	32	22	20	20	21	
14x		24			22			21	21
15x					22			21	
16x					22			21	
17x									22
18x									22
区	1区		2区		3区		4区		照訳区1
層位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1x	5・16	1	1			2	5	5・6	6・9
2x	5・16	1	2			2・5	5	5・6	6・9
3x	16	2・5	2・5	1	2	5	5・9	5・9	6・9
4x	16	2・5	2・5	2	2	5	5・9	5・9	6・9
5x	16	2・5	2・5	2・18	2・18	17	7・17	7・18	10・13
6x	19	5	5	18	18	17	7・17	7・18	10・13
7x	19・24	5・16	5	18	18	17	17	17	13・14
8x	19・24	16	20・19	18・20	18・20	17	17	17	13・14
9x	19・24	16	20・19	30	18・30	18・25	14・18		14・18
10x	19・24	16	19	30	30	20・25	14・18		18
11x	24	16・24	19・24		30		18・20		18
12x	24	24	24		30・25		20		21
13x	24				30・25				21

区	5区		6区		7区		8区		照訳区2
層位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1x	16	16	5・16			5・9	5・9	9・10	9・10
2x	16	16	5・16			5・9	5・9	9・10	9・10
3x	24	16	16	2・18	2・18	9	9	9・10	9・10
4x	24	25	24			18	18	9	9・10
5x		24	24	18・20	18・20	18	18・20	10・11	10・11
6x				18	18	9	9	9・10	9・10
7x				18・20	18・20	18・20	30	18・20	14・17
8x				20	18・20	30			14・17
9x					20	20		18・20	14・17
10x				20	22	21・22	21	21	18・20
11x				21	22	21・22	21	22	18・20
12x							22		18・20
13x									21
区	5区		6区		7区		8区		照訳区2
層位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1x	16・23	16	18・20	18・20	18・20	9・20	9・10	9・10	10・11
2x	23	16・19	18・19	18・20	18・20	9・20	9・10	9・10	10・11
3x	24	24	24	18・20	18・20	18・20	9・18	10・11	15・17
4x	24	24		21	22	21	22	18・20	15
5x	24	25		21	22	21	22	15・18	15
6x				22	22			15・18	15
7x									18
8x								20	21
9x								21	21
10x								21	21
区	9区		10区		11区		12区		照訳区3
層位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1x	24	24	24	20	18・20	9・10	9・10	15	
2x					30	21	18	18	15
3x					21	30	20		
4x					21	21		21	
5x									15
6x									15
7x									18
8x									15
9x									21
10x									21
区	9区		10区		11区		12区		照訳区3
層位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1x					20	21	20	21	
2x									21
3x									21
4x									21

■	…1層	■	…1層上層	■	…中層
■	…1層下層	■	…下層	■	…掘り込み無し

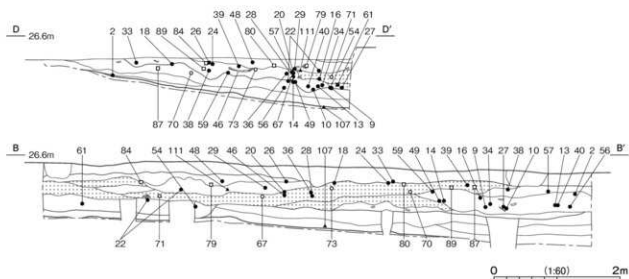
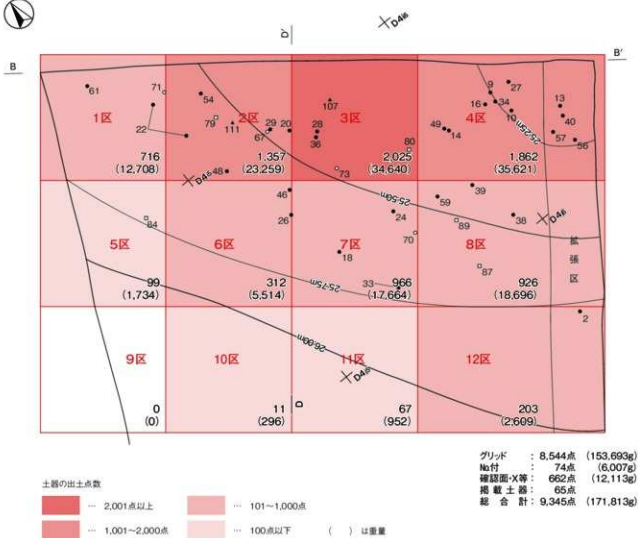


第247図 第11号斜面貝層実測図(2)

確認状況 北側の谷に向かって傾斜する斜面貝層の一部である。

重複関係 第382号土坑など37基の土坑の上部に形成されており、第584・586・634・740号土坑に掘り込まれている。

調査方法 本貝層は、調査H区の長さ21.5m、幅4.5～8.8mの長い台形状に突き出した部分の北端部に位置しており、軸方向が北東(N-40°-E)へ振れていることから、調査区の形状に合わせたグリッドを設定した。調査区の北西隅を起点として、2m四方のグリッドを設定し、各グリッドを1m四方のグリッドに細分した。調査区の名称は、北西隅から通し番号で、Z字状に2m四方のグリッドを1～12区、1m四方の単位グリッドを①～⑬区と呼称した。掘り込みは、各単位グリッドを人工層位で5cmずつ掘り下げるグリッド法を採用し、人工遺物はビニール袋、貝・骨片は土嚢袋に回収し、それぞれの台帳を作成して管理・登録した。発掘調査での選別や整理作業での分類・集計の方法は、本項目頭の「貝・骨の分類」(上巻32頁)と同様であるが、貝については5・3・1mmの篩で回収したものを全て選別し、分類・集計した。集計が終了した貝は廃棄し、大型の骨及び5・3・1mmの篩で回収した骨を遺物コンテナに収納して保管している。



第248図 第11号斜面具層実測図(3)

分布範囲 調査区の北端から長さ6.0m、調査区の幅7.4～8.8mの範囲に貝層を確認した。標高は、確認面では26.2～26.3mで、ほぼ平坦であり、貝層除去面では標高25.2～26.0mで、約80cmの比高差がある。傾斜角は約10度である。

堆積状況 25層に分層でき、上層(1・2層)・貝層上層(3～5層)・中層(6・7層)・貝層下層(8～17層)・下層(18～25層)の5層に大別できる。上層は、破砕貝が微量含まれている暗褐色～黒褐色土である。北部を中心に分布し、最大層厚は33cmである。貝層上層は、混貝率30%の黒褐色土を主体とし、ローム粒子、炭化粒子、灰層などが中量含まれている。調査区北半部に分布しており、最大層厚は30cmである。中層は、破砕貝を含む黒褐色～暗褐色土で北東部の4区周辺に分布している。最大層厚は44cmで、土器片等が多く含まれている。貝層下層は、混貝率40%の黒褐色～暗褐色土を主体とし、間層にローム粒子、灰層、破砕貝が含まれている黒褐色土などがブロック状に堆積している。調査区域のほぼ全域に広がっているが、堆積の中心部は北東部の3・4・8区と北西部の1・5区にあることから、東西で廃棄単位が異なる可能性がある。最大層厚は47cmである。下層は、破砕貝が微量含まれている黒褐色～暗褐色土で、貝層の下部に分布している。また、20層以下では破砕貝等が含まれなくなることから、貝層形成以前の旧表土と捉えられる。なお、土層断面A-A'ラインの6・9・10層(分析=1・2・3層)及び第740号土坑②・③層(分析=SK740 1・2層)から試料を採取し、微細物分析を実施した(「第3章第4節 自然科学分析 2」参照)。

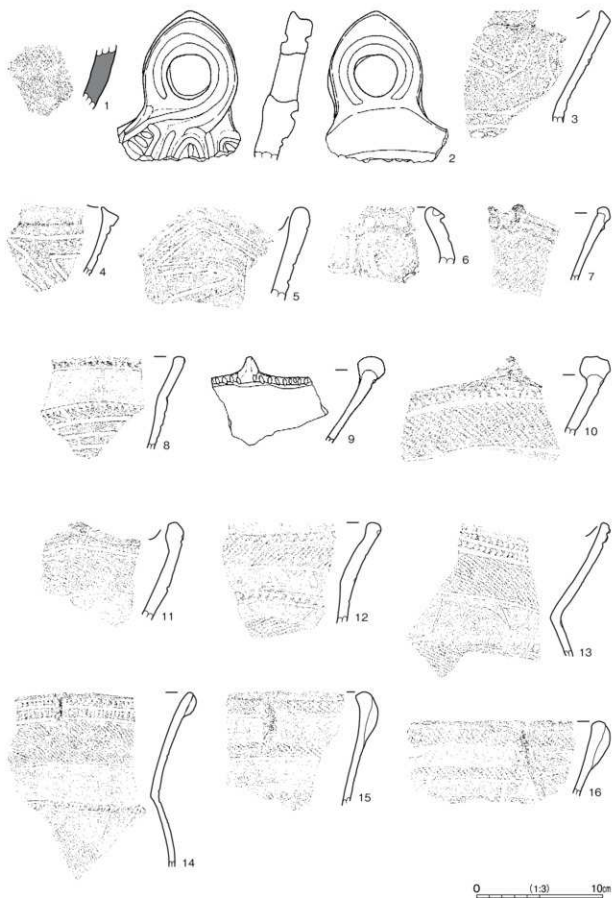
遺物出土状況 縄文土器片9,345点(171,813g)、土製品72点(土偶5、垂飾1、耳飾り1、耳栓3、土錘1、土器片円盤61)、石器・石製品23点(尖頭器1、石鏃4、石皿1、磨石8、石錘2、砥石3、勾玉1、小玉1、垂飾1、石棒1)、骨角製品11点(刺突具1、牙鏃1、弓弭4、垂飾3、装身具₁、簪₁)、貝製品10点(貝刃2、小玉2、貝輪6)、剥片13点(チャート9、黒曜石4)、石核1点(黒曜石)、貝殻255,095点(264,782g)、骨47,550g、炭化種子(オニグルミ、トチノキ)が出土している。

土器類は、中期末葉から晩期前葉までのものが出土しており、時期的なまとまりは、中期末葉10%、後期初頭23.4%、後期前葉18.5%、後期中葉19.5%、後期後葉32.2%、晩期前葉5.4%である。各時期の土器が一定量出土しているが、中期末葉から後期中葉のものは下層を中心に出土しており、貝層形成以前の旧表土中に含まれていたと考えられる。上層から貝層下層にかけて出土している土器は、後期後葉が主体で曾谷式～安行1式のものが多く、ほとんどが破片の状態で、散在した状態で出土しており、接合関係も少ない。土製品、石器・石製品、骨角製品、貝製品類では、耳栓、翡翠製や貝製の玉類、垂飾、貝輪などの装身具の出土が目立つほか、石鏃や石錘、骨角製の刺突具や鏃、弓弭などの狩猟具が出土している。

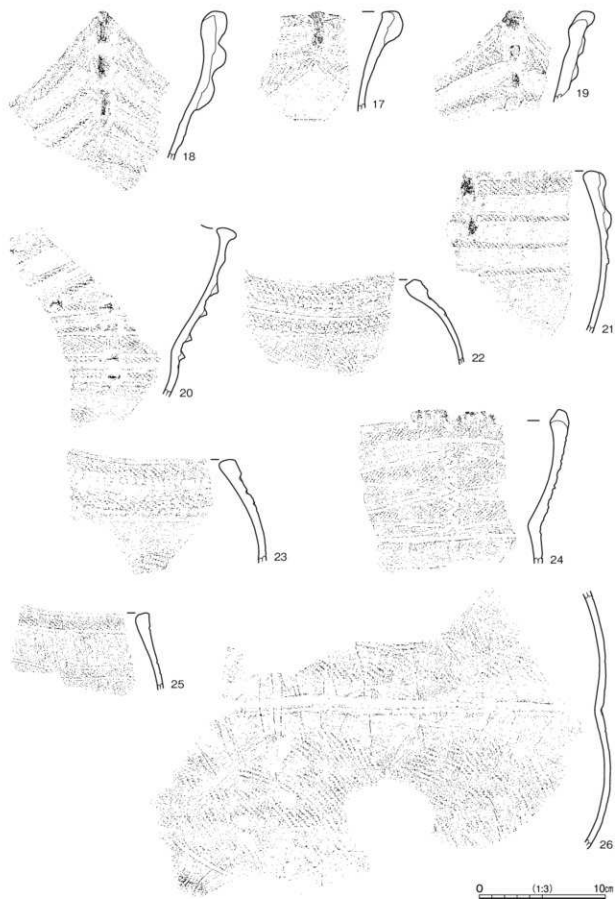
貝は47種が確認できた。主な貝種は、汽水性のヤマトシジミが218,560点(最小個体数101,942点)で85.7%、次いで内湾性のハマグリが14,684点(最小個体数7,238点)で5.8%、シオフキが1,441点(最小個体数720点)で0.6%、マツカサガイ757点(最小個体数318点)で0.3%、オキシジミ580点(最小個体数281点)で0.2

第218表 第11号斜面貝層出土未掲載土器集計表

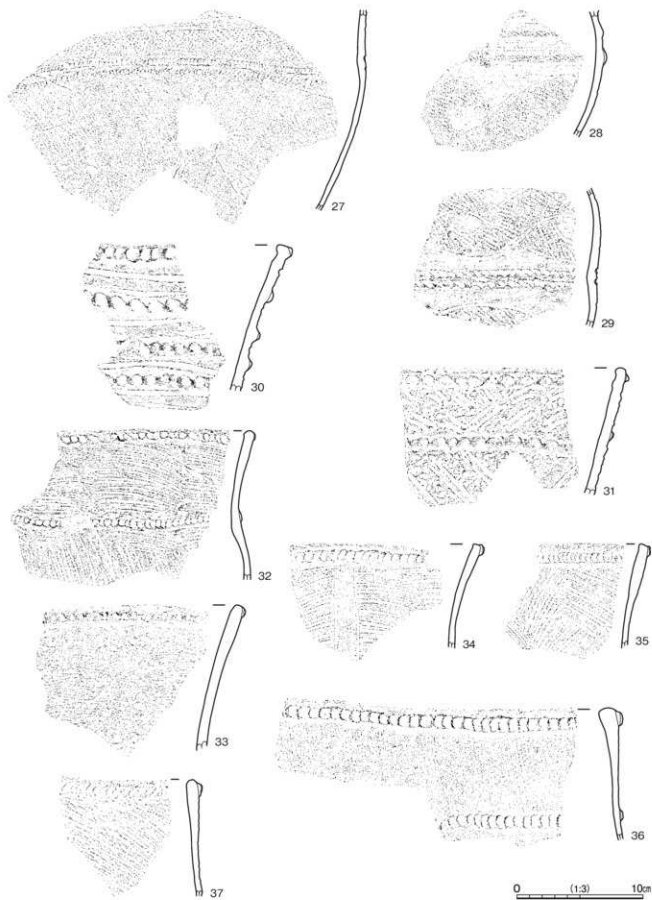
群	第2群		第3群		第4群		第5群		第6群		第7群		第8群		第9群		
	中野末葉	稚名寺1式	稚名寺2式	堀之内1式	堀之内2式	加賀村B1式	加賀村B2式	加賀村B3式	曾谷式	安行1式	安行2式	安行3式	晩期前葉	沈殿土	刺突土	漆器土	
点数	1	5	43	21	17	25	8	7	34	26	6	11	2	503	501	586	262
重量(g)	38	145	1,327	864	578	418	312	282	1,082	1,136	265	322	37	8,648	9,381	9,630	5,321
群	第9群						第10群				第11群				第12群	第13群	
	横文(古)	横文(新)	稚名寺	美濃文	縄文	無文	横文(古)	横文(新)	洗珠	珠	台付珠	磨	注11品	ニニナア土器	朝日土器	磨石	作
数	596	83	111	2,506	1,368	2,087	146	53	12	18	5	1	3	4	180	-	9,280
重量(g)	16,726	1,556	1,914	37,852	22,147	27,484	6,825	2,562	329	639	136	39	53	66	2,391	11,380	171,813



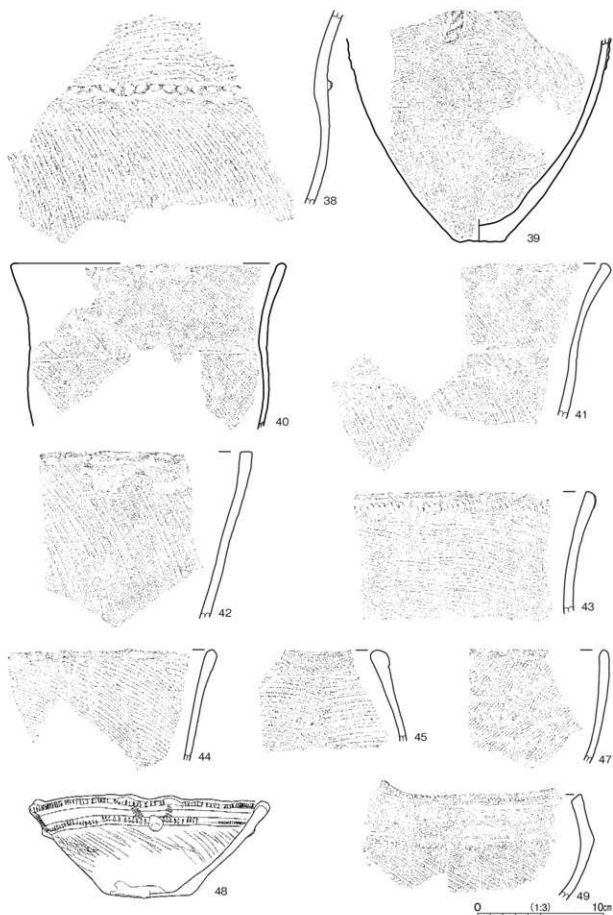
第 249 图 第 11 号斜面具出土物实测图 (1)



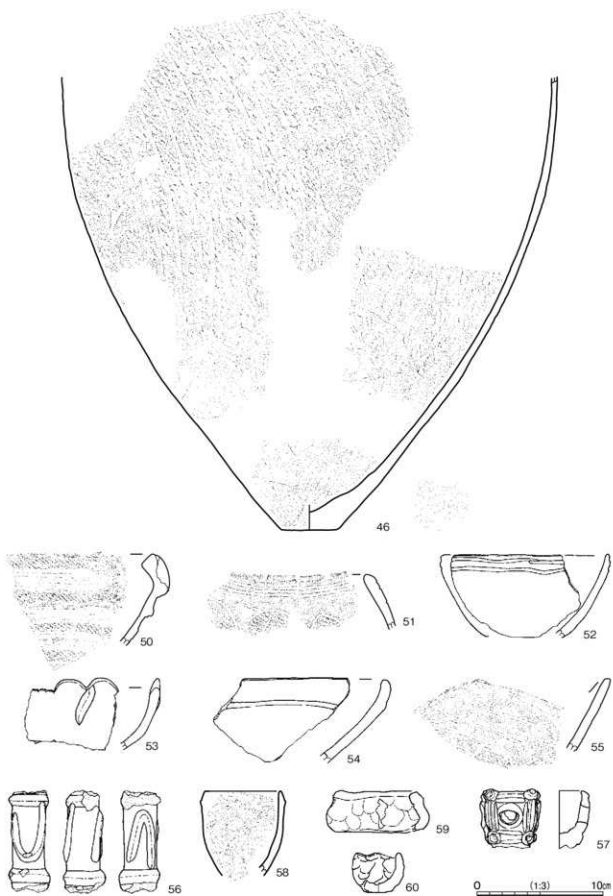
第 250 図 第 11 号斜面貝層出土遺物実測図 (2)



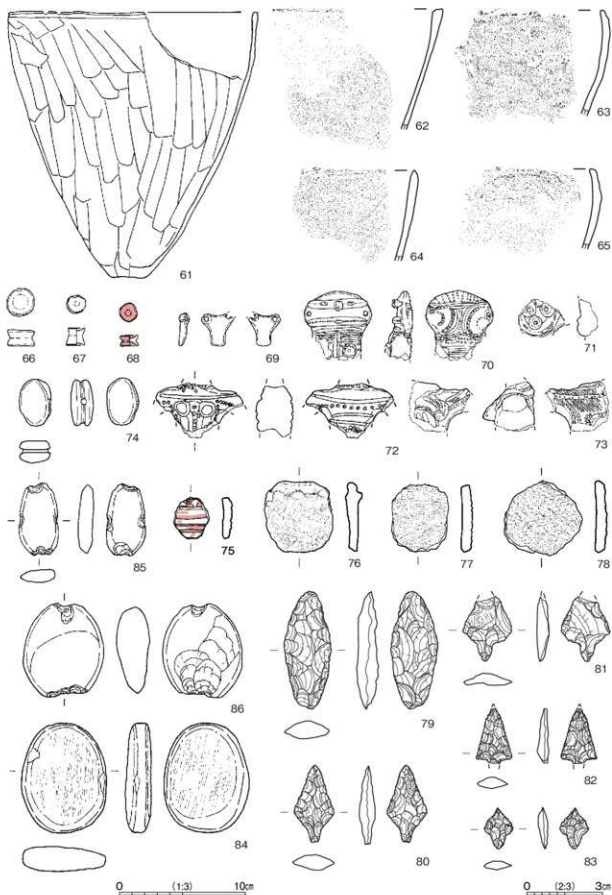
第 251 图 第 11 号斜面具层出土物实测图 (3)



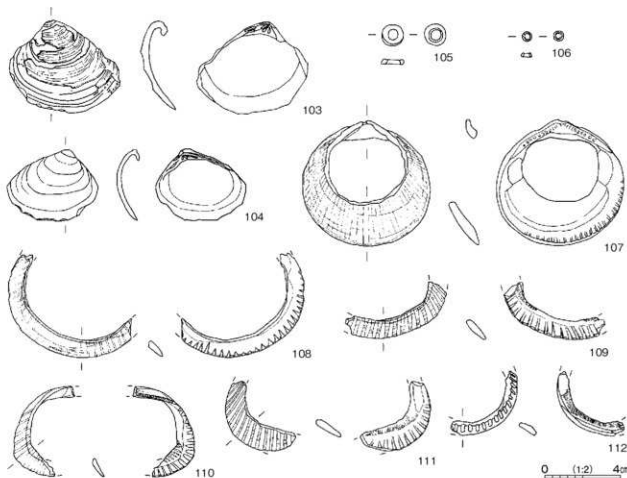
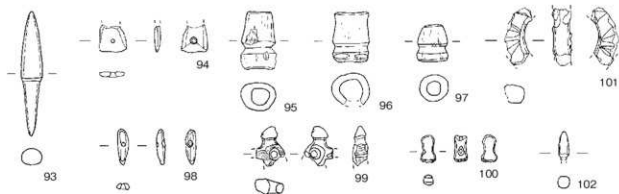
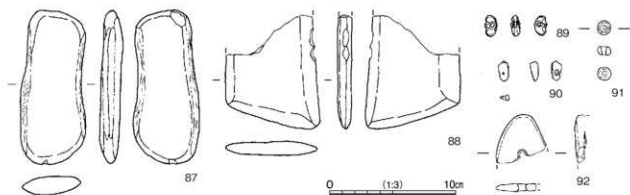
第 252 图 第 11 号斜面貝層出土遺物実測图 (4)



第 253 图 第 11 号斜面具层出土物实测图 (5)



第 254 图 第 11 号斜面具层出土遗物实测图 (6)



第 255 图 第 11 号斜面具层出土遗物实测图 (7)

％のほか、オオノガイ 40 点（最小個体数 19 点）、ゴイスギ 216 点（最小個体数 101 点）などの潮間帯から水深 50 m より浅い砂泥底に生息する貝種が他の貝層より多い傾向がみられる。また、本貝層については、5・3・1 mm の篩で回収したものを全て選別し、分類・集計しており、他の貝層より陸生微小貝類（オカチョウジガイ、キセルガイ、コハクガイ、ホソオカチョウジガイ）を多数確認することができた。

骨は、同定分析の結果、イノシシ 47 点（頭蓋骨 14、下顎骨 6、歯牙 11、頸椎 2、胸椎 1、肩甲骨 5、上腕骨 1、寛骨 2、脛骨 1、腓骨 1、足根骨 1、基節骨 1、末節骨 1）、ニホンジカ 81 点（角 17、頭蓋骨 10、下顎骨 11、歯牙 2、頸椎 5、胸椎 1、腰椎 6、肩甲骨 8、上腕骨 2、橈骨 3、尺骨 1、中手骨 2、寛骨 1、大腿骨 3、脛骨 1、距骨 1、足根骨 1、中足骨 3、基節骨 2、種子骨 1）のほか、哺乳綱（モグラ類、ネズミ亜科、ハタネズミ亜科、ネズミ科、アナグマ等）、鳥綱（不明）、魚綱（サメ・エイ類、ウナギ、ニシン亜科、ニシン科、ギンブナ、フナ属、コイ科、ドジョウ科、ナマズ目、サヨリ属、メバル亜科、フサカサゴ科、スズキ属、ブリ属、クロダイ属、マダイ亜科、タイ科、ハゼ科等）、両生綱（カエル類）、爬虫綱（ヘビ類）が検出されている。また、下顎骨の歯牙の萌出状況から、イノシシは 3 か月、25 歳以上、4.5 歳、5.5 歳各 1 個体の計 4 個体、ニホンジカは 1.5 歳、6.5 歳、7.5 歳、10 歳以上が各 1 個体、8 歳以上が 2 個体の計 6 個体のほか、乳臼歯が植立している 0.5～10 歳程度の下顎骨 2 点、前臼歯が未萌出状態の 2.0～2.5 歳の下顎骨 1 点があり、9 個体以上存在する可能性がある。

所見 汽水域に生息するヤマトシジミを主体とした主演貝層で、淡水性のウナギ属、フナ属、コイ科、ドジョウ科、ナマズ目などの魚骨も出土している。また、内湾性のハマグリやシオフキ、マツカサガイ、潮間帯から水深 50 m より浅い砂泥底に生息するオオノガイやゴイスギなどの貝種が、第 4・12 号斜面貝層より目立つ。河川の河口付近を主な採貝・漁労活動域としながら、海水域の一部まで広範囲に活動していたか、あるいは、より海水の影響を受けやすい環境であった可能性がある。時期は、出土土器から後期後葉（曾谷式～安行 1 式期）と考えられる。

第 219 表 第 11 号斜面貝層出土遺物一覧（第 249～255 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母・磁鉄	にがい焼	普通	表面具段条痕文	7 区下層	早期後葉
2	縄文土器	深鉢	-	(11.9)	-	長石・石英・雲母	にがい焼	普通	突起から基びる段帯で区画された口縁部に沈線光輝	8 区中層下層	PI.93 加曾式 B 1 式
3	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	長石・石英	焼灰	普通	光輝斜交文で J 字文施文	8 区貝層下層	PI.93 称名寺 1 式
4	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母	浅黄	普通	光輝斜交文で J 字文施文	4 区貝層下層	称名寺 1 式
5	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	にがい焼	普通	手載竹管状工具による縦位区画文と蛇行文	1 区貝層下層	中期後半
6	縄文土器	鉢	-	(4.5)	-	長石・石英	浅黄	普通	口縁部に内彫斜交文の胎行文と段帯による区画文・J 字文・無文部・内面磨き	4 区貝層下層	称名寺 1 式
7	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	焼灰	普通	内面に横文・口縁部は斜状突起と縦線胎付 内面磨き 口縁部に沈線	1 区上層	後期前葉
8	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母	焼灰	普通	口唇部斜め 頸部無文 胴部 RL 横文→横帯文→蛇行沈線による区切り文 内面磨き	4 区貝層下層	PI.93 加曾式 B 2 式
9	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・雲母	橙	普通	口縁部に斜み列と突起 頸部磨き 内面磨き	4 区中層	増田 2・B 3 式
10	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英	灰黄緑	普通	口縁部に斜み列と突起 頸部 RL 横文帯 内面磨き	4 区中層	増田 2・B 3 式
11	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英・雲母	にがい焼	普通	口縁部に斜み列と段帯部に突起 頸部口縁に沿う RL 横文帯 内面磨き	3 区貝層下層	加曾式 B 3 式
12	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・雲母	黒黒	普通	縦い波状口縁 口縁部に斜み列 頸部口縁に沿う RL 横文帯 胴部 LR 光輝の交互縦線文	4 区貝層下層	加曾式 B 3 式
13	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	長石・石英・雲母	にがい焼	普通	縦い波状口縁 口縁部に 2 列の斜み列 頸部口縁に沿う RL 横文帯 胴部 LR 光輝の交互縦線文	8 区区 1 下層	増田 3 式・増田 1 式
14	縄文土器	深鉢	-	(13.8)	-	長石・石英・雲母	焼灰	普通	口縁部 2 段の斜み列と縦線 頸部 RL 横文帯 胴部 RL 光輝の縦線文 内面磨き	4 区貝層下層	PI.93 曾谷式
15	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部 2 段の RL 隆起帯横文と縦線 頸部 RL 横文帯 内面磨き	3 区上層	安行 1 式
16	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英・赤色粒子	灰黄緑	普通	口縁部 2 段の RL 隆起帯横文と縦線 頸部 RL 横文帯 内面磨き	4 区貝層下層	安行 1 式
17	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英	焼灰	普通	口縁部 2 段の斜み列と縦線 胴部分や隆起帯 胴部 LR 光輝の縦線文 内面磨き	8 区貝層下層	曾谷式
18	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	-	長石	黒黒	普通	波状口縁 4 段の RL 隆起帯横文と縦線 内面磨き	7 区上層	PI.93 安行 1 式

番号	種別	型種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土層	備考
19	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	赤灰	普通	波状口縁 2段の R 隆起帯縄文と縦縞 内面磨き	1区Ⅰ層上	安行1式
20	縄文土器	深鉢	-	(13.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部3段の R 隆起帯縄文 頸部隆起縄文と先部隆起縄文 縦縞・波状口縁部 隆起帯縄文と波状口縁部	2区Ⅰ層中	PL94 安行1式
21	縄文土器	深鉢	-	(12.8)	-	長石・石英・雲母・針状物質	赤い	普通	口縁部4段の R 隆起帯縄文 頸部下手条縄文 内面磨き	4区Ⅰ層下	PL94 安行1式
22	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母	赤黒	普通	隆起帯 口縁部2段の R 隆起帯縄文と押し引き状の突起 頸部 R 光沢の襷状入り組み文 内面磨き	1区Ⅰ層下	PL94 安行1式
23	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	黒黒	普通	隆起帯 口縁部2段の R 隆起帯縄文と押し引き状の突起 頸部 R 光沢の襷状入り組み文 内面磨き	6区Ⅰ層上	安行1式
24	縄文土器	深鉢	-	(12.1)	-	長石・石英	黄灰	普通	口縁部：波状口縁 口頸部：L R 光沢の縞縞状文と縦位の線状縄文 内面ナデ	7区Ⅰ層上	PL94 安行2式
25	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・雲母・赤色砂子	黒黒	普通	条線→口縁部・頸部に L R 縄文帯 内面一部磨き	8区Ⅰ層下	安行2式
26	縄文土器	深鉢	-	(20.4)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	赤い	普通	頸部 R 光沢の襷状入り組み文 胴部2列の押し引き状突起 頸部 R 光沢の交互瓦縞文 内面磨き	6区Ⅰ層上	20% 安行1式
27	縄文土器	深鉢	-	(16.0)	-	長石・石英・雲母・針状物質	赤い	普通	頸部 R 縞文帯 胴部縞部2条の押し引き状突起 胴部 R 内面ナデ	4区Ⅰ層中	20% 安行1式
28	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	黒灰	普通	隆起帯口縁部・頸部 2段の R 隆起帯縄文 胴部 R 光沢の襷状入り組み文 内面磨き	3区Ⅰ層下	10% 安行1式
29	縄文土器	深鉢	-	(11.1)	-	長石・石英・雲母	赤い	普通	頸部 R 光沢の襷状入り組み文 胴部縞部2列の押し引き状突起 頸部 R 光沢の縞縞状文 内面磨き	2区Ⅰ層下	10% 安行1式
30	縄文土器	深鉢	-	(12.1)	-	長石・石英・赤色砂子	灰黒	普通	波状口縁 口頸部：縞縞状文と波状文 内面磨き	8区Ⅰ層下	PL94 後期Ⅰ中
31	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	長石・石英・赤色砂子	黒灰	普通	地縄文 L R →縞縞貼付→平砥管状工具による彫刻文・斜線文・点状縞 口縁部：2列の縞縞 口縁部：凹	4区Ⅰ層下	後期中
32	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	-	長石・石英・雲母	赤い	普通	口頸部縞部→胴部縞部の条線→縞縞貼付 内面磨き	7区Ⅰ層中	10% PL94 後期Ⅰ中
33	縄文土器	深鉢	-	(11.6)	-	長石・雲母	明黄灰	普通	粗い L R 地縄文→条線→口縁部縞縞貼付 内面磨き	7区Ⅰ層下	後期Ⅰ中
34	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・赤色砂子	黒黒	普通	外面縞位の条線→口縁部縞縞貼付→縦位区画・区画内磨き 内面粗い磨き 口縁部：凹	4区Ⅰ層中	後期Ⅰ中
35	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母	赤い	普通	口頸部尖頭状の条線→口縁部縞縞貼付 内面ナデ 口縁部：凹	4区Ⅰ層下	後期Ⅰ中
36	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	赤い	普通	口頸部縞位の条線→縞縞貼付 内面磨き	3区Ⅰ層上	10% 後期Ⅰ中
37	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	黒灰	普通	R 地縄文→条線→縞縞貼付 内面ナデ	1区Ⅰ層上	後期Ⅰ中
38	縄文土器	深鉢	-	(15.3)	-	長石・雲母	黒黒	普通	L R 地縄文→条線→縞縞貼付 内面磨き	8区Ⅰ層下	20% 後期Ⅰ中
39	縄文土器	深鉢	-	(16.1)	4.0	長石・石英・雲母	赤い	普通	外面条線→縞縞貼付 内面磨き	8区Ⅰ層上	20% 後期Ⅰ中
40	縄文土器	深鉢	[21.5]	(13.1)	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	外面格子目文→胴部縞部区画・区画内磨き 内面	8区Ⅰ層下	20% PL94 後期Ⅰ中
41	縄文土器	深鉢	-	(12.3)	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	外面条線 胴部区画区画・区画内磨き 内面磨き	1・4区Ⅰ層下 7層下層	20% PL94 後期Ⅰ中
42	縄文土器	深鉢	-	(13.2)	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	外面条線 内面磨き	3区Ⅰ層上	後期Ⅰ中
43	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英	赤い	普通	口唇部粗目 胴部縞位の条線 内面磨き	2区Ⅰ層上	後期Ⅰ中
44	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母	赤い	普通	胴部縞位の条線→胴部縞部区画・胴部：縦位の区画区画 内面ナデ	1区Ⅰ層上	後期Ⅰ中
45	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英	黒灰	普通	胴部縞位の条線→口縁部 R 縞文帯 内面粗い磨き	2区Ⅰ層上	後期Ⅰ中
46	縄文土器	深鉢	-	(36.0)	4.6	長石・石英・雲母	橙	普通	R 縞文→条線 下半部縞位の磨き 内面粗い磨き 胴部削代肌	2・3・6区Ⅰ層上	50% 後期Ⅰ中
47	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・赤色砂子	赤い	普通	外面 L R 縞文 内面ナデ	4区Ⅰ層下	後期Ⅰ中
48	縄文土器	鉢	18.8	8.2	6.6	長石・石英・赤色砂子	黒灰	普通	口縁部に3単位の縞と縦位粗目 口縁部に2条の粗目隆起 胴部条線 内面磨き	2区Ⅰ層上	PL95 安行2式
49	縄文土器	鉢	-	8.4	-	長石・石英・赤色砂子	灰黄黒	普通	波状 口縁部・胴部縞部粗目に粗目 口頸部無文・隆起 胴部条線 内面磨き	4区Ⅰ層下	磨き安行1式
50	縄文土器	鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	口縁部2段の R 隆起帯縄文とノ字縞 胴部 R 隆起帯縄文 内面磨き	1区Ⅰ層上	PL94 安行1式
51	縄文土器	鉢	-	(4.4)	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	口縁部：2条の波線 胴部 R 光沢の交互瓦縞文 無文部磨き 内面ナデ	8区Ⅰ層下	磨き
52	縄文土器	鉢	[13.4]	(6.5)	-	長石・石英・赤色砂子	灰黄黒	普通	口縁部：2条の波線 帯・内面磨き	8区Ⅰ層下	30% PL94 磨き安行1式
53	縄文土器	浅鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	口縁部に2層の突起と突起からノ字状隆起 口唇部に粗目 胴部粗目 内面磨き 突起部分にノ字状波文	8区Ⅰ層下	後期中
54	縄文土器	浅鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	口縁部2条 胴部粗目 内面磨き	2区Ⅰ層下	後期中
55	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母	灰黒	普通	波状口縁 L R 地縄文→斜線文 内面粗い磨き	3区Ⅰ層下	後期Ⅰ中
56	縄文土器	注口土器	-	(8.1)	-	長石・雲母	赤い	普通	把手部 隆起帯による高低文 磨き調整	8区Ⅰ層中	PL94 後期中
57	縄文土器	横唇付有蓋土器	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	灰黒	普通	口唇部交差部 腹文溝横溝施文の隆起4単位・溝から孔4孔の方形	8区Ⅰ層上	PL94 長期Ⅰ中
58	縄文土器	1 ¹ / ₂ チャップ土器	(5.9)	(6.7)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	黒灰	普通	胴部無彫 L 光沢縞文帯 胴磨き 内面粗い磨き	8区Ⅰ層下	40% 後期中
59	縄文土器	1 ¹ / ₂ チャップ土器	6.1	3.3	6.0	長石・石英・赤色砂子	橙	普通	指頭による整形	8区Ⅰ層下	30%
60	縄文土器	1 ¹ / ₂ チャップ土器	(3.4)	3.2	-	長石・石英	赤い	普通	指頭による整形	2区Ⅰ層上	80%
61	縄文土器	製塩土器	[19.6]	21.0	3.0	長石・石英	灰黒	普通	口唇部内磨き状 外面縦位の粗目 内面ナデ	1区Ⅰ層下	80% PL95
62	縄文土器	製塩土器	-	(9.6)	-	長石	赤い	普通	口唇部内磨き状 外面口縁部縞縞 縦位の粗目 内面ナデ	2区Ⅰ層上	PL94
63	縄文土器	製塩土器	-	(8.3)	-	長石・石英・赤色砂子	黒灰	普通	口唇部口縁部未調整 外面粗目 内面ナデ	2区Ⅰ層上	PL94
64	縄文土器	製塩土器	-	(7.1)	-	長石・石英・赤色砂子	赤い	普通	口唇部未調整 外面粗目 内面ナデ	2区Ⅰ層上	
65	縄文土器	製塩土器	-	(6.4)	-	長石・石英	橙	普通	口唇部口縁部未調整 外面縞縞 内面ナデ	2区Ⅰ層上	

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
66	耳栓	2.2	2.2	1.4	(6.5)	長石・石英	にぶい黄橙	鼓状 外面磨き	5区下層	
67	耳栓	1.4	1.5	1.5	28	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	鼓状 外面磨き	2区下層	PL95
68	耳栓	1.5	1.5	0.9	1.3	長石・石英	にぶい黄橙	鼓状 外面磨き 赤彩	4区貝層上層	PL95
69	垂飾	(2.6)	(2.5)	0.9	(3.0)	長石・石英	にぶい橙	円孔2か所 ナデ	7区貝層下層	
70	土偶	(5.6)	5.5	(2.3)	(42.8)	長石・雲母	橙	山形 背・鼻・頸・正中線・胸は隆起 胸部正面横位沈線と縦かへり交差 背面直線状隆起と横交差風箏文	7区貝層上層	PL95
71	土偶	(3.0)	(3.7)	(1.7)	(16.3)	長石・赤色粒子	黄灰	ミニツク形 目・口・輪部を除く	1区貝層上層	
72	土偶	(4.4)	(7.0)	3.0	(62.8)	長石・石英・雲母	灰黒	山形 肩一側部 正中線稍隆起の隆起 胸部沈線と縦交で横帯区画	3区下層	PL95
73	土偶	(4.0)	(4.9)	(4.1)	(48.6)	長石・赤色粒子	黒褐	ミニツク形 五角一高部 横かへり交差を帯する沈線と反面 肩から肩一高部を除く 背直線状隆起 赤彩	3区上層	
74	土鉢	3.8	2.5	1.8	166	長石・石英	にぶい靑	側面に一糸の溝が完る 短軸方向に穿孔	2区上層	
75	土器内蓋	3.2	2.9	0.8	8.3	長石・石英	黒褐	磨付土器胴部片利用 周縁打ち欠き 赤彩	3区上層	PL95
76	土器内蓋	5.7	3.5	1.3	39.5	長石・石英・赤色粒子	褐灰	粗製土器深鉢胴部片利用 周縁打ち欠き	2区下層	
77	土器内蓋	5.4	4.6	0.9	24.9	長石・雲母	にぶい靑	加勢利B 2～3式深鉢胴部片利用 周縁打ち欠き	3区下層	
78	土器内蓋	6.0	6.3	1.0	35.9	長石・石英・雲母	橙	粗製土器深鉢胴部片利用 周縁打ち欠き	8区貝層下層	

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	材 質	特 徴	出土位置	備 考
79	矢頭器	4.7	1.9	0.9	7.0	チャート	木葉形 両面・両側縁から深形調整	2区貝層上層	PL95
80	石鏃	3.1	1.6	0.6	1.8	チャート	凸基有茎 両面押圧調整	3区貝層上層	PL95
81	石鏃	(2.5)	2.0	0.5	(1.6)	チャート	先端部欠損 凸基有茎 両面押圧調整	2区上層	
82	石鏃	(2.2)	1.3	0.5	(1.0)	チャート	基部欠損 平基有茎 両面押圧調整	7区貝層上層	
83	石鏃	1.6	1.0	0.4	0.5	チャート	凸基有茎 両面押圧調整	8区貝層下層	
84	磨石	8.7	6.8	2.1	156.2	砂岩	表裏面光沢のある磨り面 側面ざらつきのある摩耗痕	5区貝層下層	
85	石鉢	5.7	3.2	1.3	33.1	安山岩	礫石鉢 長軸側上下打ち欠き 縦軸	8区貝層上層	PL95
86	石鉢	7.5	6.5	2.7	135.9	安山岩	礫石鉢 長・短軸に打ち欠き	8区貝層上層	PL95
87	砥石	12.2	5.3	1.9	143.5	砂岩	長軸側両側縁部が分部位に摩耗	8区貝層下層	PL95
88	砥石	(9.1)	7.7	1.1	(76.5)	砂岩	両側縁と下縁部が分部位に摩耗 縦軸	8区貝層上層	PL95
89	勾玉	1.1	0.7	0.5	0.4	翡翠	空筒に削み2か所 片面穿孔	8区貝層下層	PL95
90	小玉	(1.1)	(0.6)	0.5	(0.2)	翡翠	研磨調整 一方向からの穿孔	8区貝層上層	
91	小玉	0.7	0.7	0.5	0.3	翡翠	全面研磨 一方向からの穿孔	8区貝層下層	
92	垂飾	(2.6)	(2.6)	(0.6)	(3.1)	砂岩	研磨調整 片面調整 二方向からの穿孔	6区下層	
93	刺突具	6.6	1.2	0.9	4.2	軟質河原石	研磨整形	3区貝層下層	PL96
94	牙鏃	(1.4)	1.4	0.3	(0.6)	インシシ歯	端部欠損 研磨整形 一方向からの穿孔	5区貝層下層	
95	弓矢	3.1	1.9	1.5	(4.4)	鹿角	研磨整形	2区上層	PL96
96	弓矢	2.7	1.8	(1.5)	(4.0)	鹿角	研磨整形	確認面	PL96
97	弓矢	1.9	1.7	1.4	2.7	鹿角	研磨整形	4区貝層下層	PL96
98	垂飾	1.9	0.6	0.5	0.5	イヌ歯	研磨整形 一方向からの穿孔	3区上層	
99	垂飾	(2.1)	(1.6)	(0.8)	(1.1)	獣骨	二方向からの穿孔 研磨整形	2区下層	PL96
100	垂飾	1.5	0.8	0.7	0.4	獣骨	二方向からの穿孔 研磨整形	x	
101	装身具	(3.1)	(1.5)	(1.1)	(3.0)	獣骨	研磨整形	8区貝層下層	
102	不明装身具	(1.5)	0.6	0.7	(0.5)	獣骨	管状 研磨整形	8区貝層1中層	
103	貝刀	5.9	4.9	2.0	10.7	ハマグリ	微縁部に連続する調整痕	7区下層	
104	貝刀	4.8	3.8	1.2	7.0	ハマグリ	微縁部に連続する調整痕	2区貝層上層	
105	小玉	1.1	1.2	0.2	0.3	鹿沢綱	研磨整形	8区貝層1中層	
106	小玉	0.5	0.5	0.2	0.05	サルボウ属	一方向からの穿孔 研磨整形	6区下層	
107	貝輪	6.9	6.7	1.6	28.5	サルボウ属	未成品 研磨整形	3区下層	PL96
108	貝輪	(6.5)	(5.4)	(0.8)	(6.9)	サルボウ属	未成品 研磨整形	2区上層	PL96
109	貝輪	(5.4)	(3.1)	1.0	(5.1)	サルボウ属	未成品 研磨整形	2区上層	
110	貝輪	(4.4)	(4.8)	(0.8)	(3.9)	サルボウ属	未成品 研磨整形	2区上層	
111	貝輪	(3.8)	(3.7)	(1.3)	(6.5)	サルボウ属	未成品 研磨整形	1区貝層上層	
112	貝輪	(3.5)	(3.4)	0.9	(2.5)	サルボウ属	未成品 研磨整形	4区貝層下層	

第220表 第11号斜面具層出土貝殻集計表

種 属 類	点 数			重 量 (g)			備 考			
アカニシ	118			2,892.0						
アラムシロガイ	316			639						
アワビ	2			25.5						
イブキゴマガイ	181			5.5						
イボニシ	18			8.2						
ウミナシ	475			214.1						
ウラジロベッコウマイマイ	91			3.4						
オオタニシ	18			37.8						
オカチヨウジガイ	5,996			79.2						
カノコガイ	154			32.0						
カワアイ	81			33.8						
カワヤシヨウガイ	113			6.2						
カワニナ	80			13.6						
キサゴ	26			13.4						
キセルガイ	5,818			106.5						
キビガイ	105			6.6						
コハタガイ	1,310			25.9						
スガイ	7			1.4						
スジケンガイ	71			1.6						
タマキビガイ	19			0.2						
チャツボガイ	44			2.1						
チリメンカワニナ	183			108.8						
ツノガイ	6			1.0						
ツメタガイ	5			30.3						
ヒダリマキマイマイ	7			6.6						
ヒロクチカノコガイ	25			8.2						
ヘナタリ	2			0.7						
ホソオカチヨウジガイ	2,054			25.7						
マイマイ類	68			5.0						
ムギガイ	34			3.1						
ヤマダルマガイ	964			43.6						
ヤマトニシ	61			21.7						
小 計	18,455			3,827.6						
二 枚 貝 類	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備 考
アサリ	9	22	1	32	8.5	34.5	1.8	-	44.8	
イシガイ	5	2	4	11	9.1	11.6	3.2	105.0	128.9	
イタボガキ	-	-	2	2	-	-	-	83.1	-	83.1
ウバガイ	-	1	1	2	-	12.0	3.4	12.7	28.1	
オオノガイ	16	19	5	40	32.6	42.4	49.6	110.6	235.2	
オホシジミ	281	280	19	580	765.8	694.2	28.8	38.7	1,527.5	
ゴイサギ	101	86	29	216	307.3	268.2	32.7	328.6	936.8	
サルボウ	140	140	22	302	430.0	390.1	95.4	84.3	999.8	
シオフキ	720	678	43	1,441	1,247.3	1,288.1	33.8	106.1	2,655.3	
チョウセンハマグリ	1	2	-	3	8.1	11.9	-	49.4	69.4	
ハイガイ	6	4	-	10	23.9	21.3	-	-	59.7	
ハマグリ	7,238	6,961	485	14,684	15,592.7	14,874.5	305.7	1,705.4	32,478.3	
マダキ	-	-	-	-	-	-	-	11.3	11.3	破片のみ
マツカサガイ	318	253	186	757	401.8	326.1	153.0	597.7	1,478.6	
ヤマトシジミ	97,515	101,942	19,103	218,560	102,288.7	104,307.0	8,160.3	4,819.9	220,215.9	
小 計	106,350	110,390	19,900	236,640	121,140.3	122,801.9	8,952.8	7,969.7	260,954.7	
総 合 計	255,095				264,782.3					

第12号斜面貝層 (第256～279図 第221～224表 PL38～42・96～102)

位置 調査K区のF3j7～G4b9区、標高218～235mの台地斜面部に位置し、南側の東西方向に延びる谷に向かって緩やかに傾斜している。

確認状況 北部は表土を除去した段階で貝層が露出し、南部は谷の覆土である黒色土層(第5号遺物包含層第Ⅰ～Ⅲ層)に覆われている。また、東側には第4号斜面貝層が、西側には第18号竪穴建物跡が近接している。

重複関係 第1308・1310・1311号土坑、第5号遺物包含層の第Ⅳ層の上部に形成されている。また、本貝層の上部には、第5号遺物包含層の第Ⅰ～Ⅲ層が堆積しており、第1217号土坑に掘り込まれている。

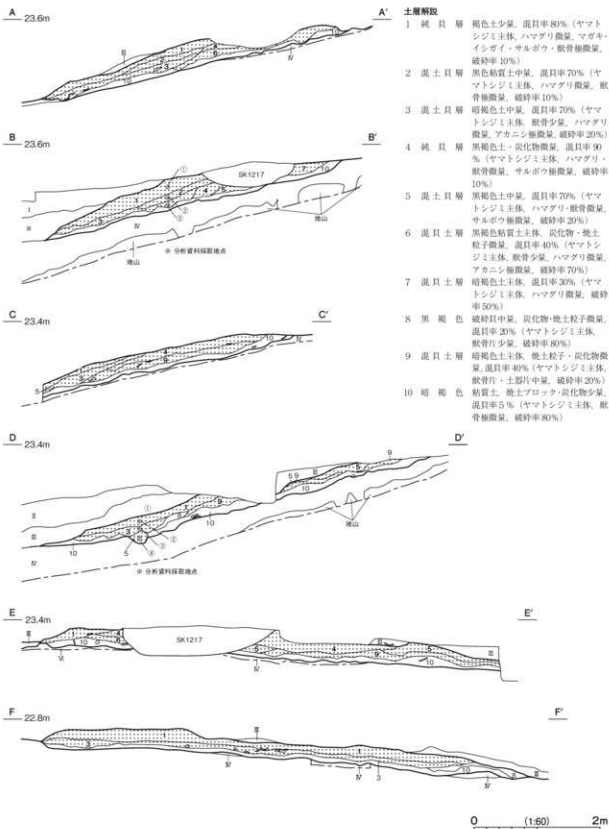
調査方法 第4号斜面貝層参照。

分布範囲 東西9.7m、南北6.2mで、等高線に沿って不整形に広がっている。貝層確認面の標高は219～235mで、比高差は1.6mであり、傾斜角は14～20度である。貝層除去面の標高は218～234mで、比高差は1.6mであり、傾斜角は12～14度である。

堆積状況 10層に分層でき、純貝層上層(1層)、混土貝層(2層)、純貝層下層(3～5層)、混土貝層下層(6～9層)、下層(10層)の5層に大別できる。純貝層上層は混貝率80%で、南半部のKC5-1～KC7-3区、貝層の中位から下位にかけての表層を覆っている。最大層厚は22cmである。混土貝層は、混貝率70%で、黒色粘質土が中量含まれている。中央部南西寄りのKC5-2区周辺に広がっており、最大層厚は10cmである。純貝層下層は、混貝率90%の4層を主体とし、KB5-4～KC7-3区の末端部を除くほぼ全域に広がっている。最大層厚は28cmである。混土貝層は、混貝率30～40%の黒褐～暗褐色土で、他層より土器片や獣骨片が多く含まれている。貝層中位の帯状の範囲に広がっており、最大層厚は13cmである。なお、KC5-2②区の1・2・3層(=分析①・②・③層)及びKC6-4④区の第5号遺物包含層第Ⅲ～3層・1・3・5層(分析=①・②・③・④層)から試料を採取し、微細物分析を実施した(「第3章第4節 自然科学分析 4」参照)。

遺物出土状況 縄文土器片20,880点(338,367g)、土製品74点(勾玉1、土玉4、手塚形土製品1、土偶15、土版2、耳飾り2、耳栓1、土器片円盤48)、石器・石製品46点(尖頭器1、石鏃12、打製石斧1、石皿1、磨石15、敲石1、凹石2、砥石8、垂飾1、石棒3、石剣1)、骨角製品11点(刺突具2、骨鏃1、牙鏃1、小玉1、垂飾1、管4、不明1)、貝製品30点(貝刃4、小玉2、管玉1、垂飾1、貝輪22)、貝殻1,143,481点(2,093,370g)、骨31,774.2g、炭化種子(オニグルミ、クリ、トチノキ、ムクロジ)が出土している。

土器類は、中期後半～晩期前葉のものが出土しており、時期的なまとまりは、中期後葉0.3%、後期初頭1.5%、後期前葉12.1%、後期中葉11.2%、後期後葉23.1%、晩期前葉51.8%である。各時期の土器が一定量出土しているが、中期後半～後期後葉のものは主に下層から出土しており、下位の第5号遺物包含層第Ⅳ層から混入したものと考えられる。純貝層や混土貝層から出土している土器は、晩期前葉が主体で安行3a式と安行3b式・蛇山Ⅱ式のものが多い割合を占めている。ほとんどが小破片で、散在した状態で出土しており、混土貝層からの出土量が多い。残存率が高い土器は、後期中葉の深鉢(4・9)がKB6-4⑩区の下層を中心に出土している以外は、晩期前葉の浅鉢(98・102・104・105・107)、異形台付土器(114)、ミニチュア土器(118)などの小型の器種に限られ、接合関係は少ない。土製品は、山形・ミミズク形土偶や滑車型の耳飾りがいずれも破片の状態で出土しているほか、勾玉や土玉、耳栓などの装身具類が出土している。石器・石製品では、石斧や磨石・石皿類、石剣・石棒類は少ないものの、貝輪製作で使用されたと考えられる有溝の砥石が一定量含まれている。骨角製品では、獣類四肢骨を使用した管や刺突具、牙鏃、貝製品ではハマグリ製の貝刃やサルボウ属製の貝輪や小玉が出土しており、特に貝輪は未成品が多く出土している。これらの出土状況は、土器類と同様に下位の層単からの出土量が多い傾向があり、平面的な分布にまとまりは認められなかった。



第 256 図 第 12 号斜面貝層実測図 (1)

第 221 表 第 12 号斜面貝層グリッド・土層対照表

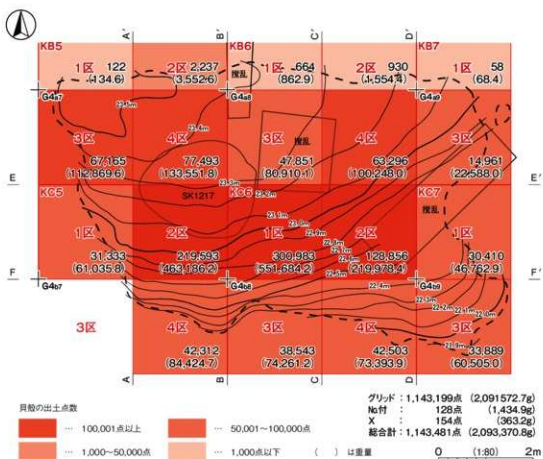
		KB 5																																
R		1区									2区																							
軸		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
1x																																		
2x																																		
3x																																		
4x																																		

		KB 6																															
R		1区									2区																						
軸		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
1x																																	
2x																																	
3x																																	
4x																																	

		KB 7																															
R		1区									3区																						
軸		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
1x																																	
2x																																	
3x																																	
4x																																	

		KC 5																															
R		1区									2区																						
軸		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
1x																																	
2x																																	
3x																																	
4x																																	
5x																																	
6x																																	
7x																																	
8x																																	

		KB 5																															
R		1区									2区																						
軸		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
1x																																	
2x																																	
3x																																	
4x																																	

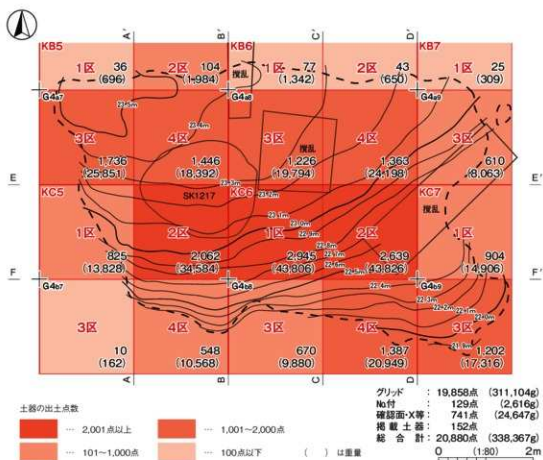


第 257 図 第 12 号斜面貝層実測図 (2)

所見 汽水域に生息するヤマトシジミを主体とした主淡貝層で、同域に生息するウナギ属、コイ科の魚骨も出土していることから、主に河川の河口付近で採貝・漁労活動が行われたとみられる。また、有溝の砥石やサルボウ属を使用した貝輪の未成品や小玉が出土しており、当遺跡における貝製装身具の製作を示唆している。近接する遺構との新旧関係については、本貝層が第 5 号遺物包含層第 IV 層の上部に堆積している一方、東側の第 4 号斜面貝層が下位に第 III 層と同質の黒褐色土を挟んでいることから、本貝層が先行していると判断した。また、西側の第 18 号竪穴建物跡は覆土中に貝殻が含まれておらず、建物跡の廃絶・埋没後に本貝層が形成されたと考えられる。時期は、遺構の新旧関係と出土土器から晩期前葉(安行 3 a 式~安行 3 b 式期)と考えられる。

第 222 表 第 12 号斜面貝層出土未掲載土器集計表

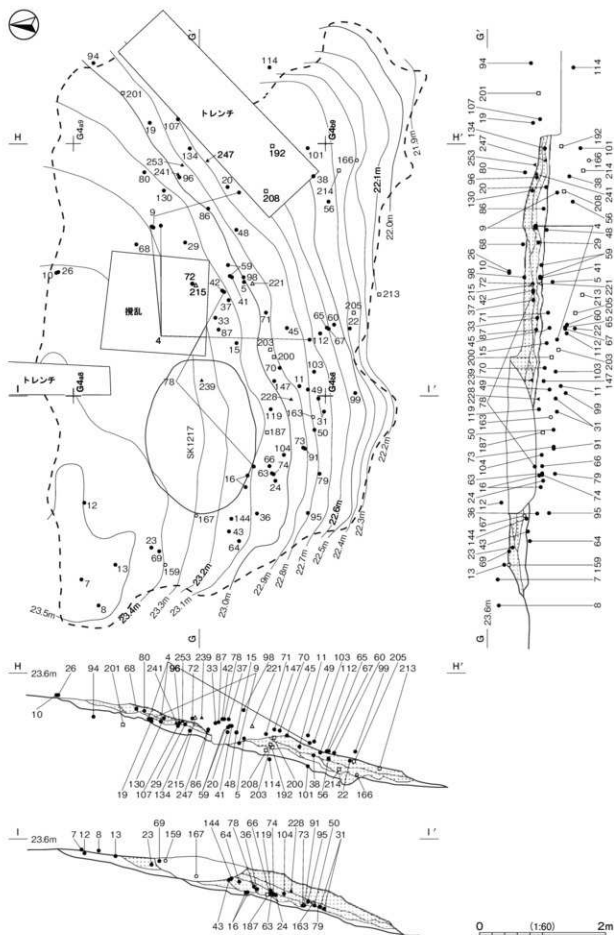
群	第 2 群		第 3 群		第 4 群		第 5 群		第 6 群		第 7 群		第 8 群							
	中折 浅平	有名寺 1 式	有名寺 2 式	堀之内 1 式	堀之内 2 式	加部科 B 1 式	加部科 B 2 式	加部科 B 3 式	後期 中葉	骨砂式	安行 1 式	安行 2 式	安行 3 a 式	安行 3 b 式	磯山 B 1 式	安行 3 c 式	磯第一 B 1 式			
点数	2	1	9	54	29	19	23	36	17	15	53	86	146	48	108	7	37			
重量 (g)	58	45	329	1283	729	429	539	1,127	570	643	2,347	2,622	4,271	1,215	1,990	267	516			
群	第 9 群								第 10 群		第 11 群			第 12 群		第 13 群		合 計		
	比羅文 文	利文文 文	密文文 文	陸奥寺 文(古)	陸奥寺 文(新)	巻川文 文	余麻文 文	縄文 文	無文	底部 (古)	底部 (新)	浅鉢 鉢	鉢	台付鉢	注以上部	その他	磯山 1 層 中層不明		磯山 1 層 中層不明	
点数	411	270	1,134	615	339	727	97	4,540	2,335	7,282	159	213	75	17	3	29	19	1,811	-	30,728
重量 (g)	6,739	4,597	16,543	11,003	6,473	14,019	3,058	70,929	33,178	85,939	9,865	8,857	4,110	434	136	371	244	13,347	25,231	398,387



第258図 第12号斜面具層実測図(3)

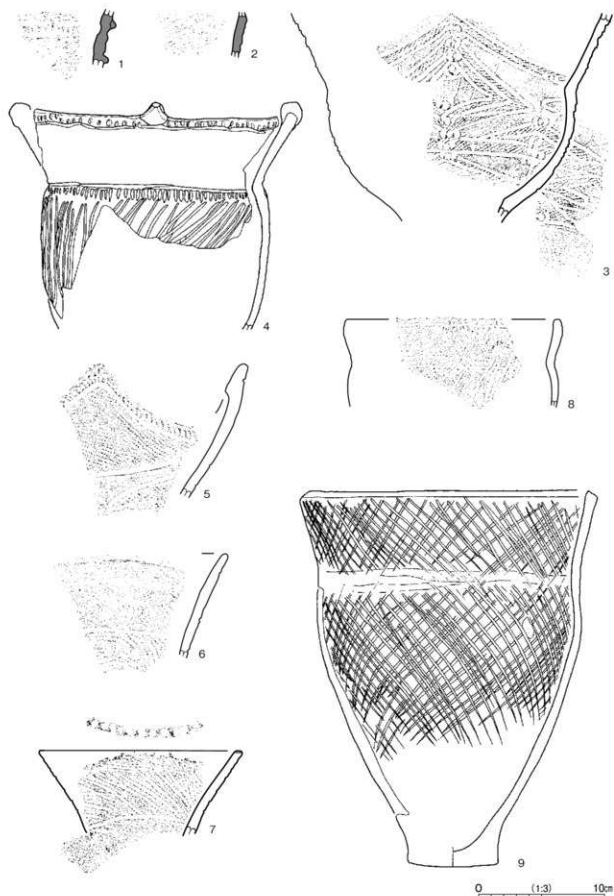
第223表 第12号斜面具層出土遺物一覧(第260~279図)

番号	種別	形種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(4.6)	-	長石・石美・織織	橙	普通	外面磨貼付→刺突文 内面ナデ	KC6.29区 下層	開山式
2	縄文土器	深鉢	-	(3.6)	-	長石・石美・織織	にぶ・滑碧	普通	外面縄文し 内面ナデ	K16.33区 下層	黒山式
3	縄文土器	深鉢	-	(16.5)	-	長石・石美・雲母	にぶ・橙	普通	外面平行沈線→転点部射風文→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC5.212区 下層	20% PL97 加費料B2式
4	縄文土器	深鉢	[22.1]	(18.1)	-	長石・石美・雲母	黒灰	普通	外面条線→沈線→削み 内面ナデ	K36.410区 下層	50% PL96 加費料B3式
5	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	長石・石美	橙	普通	外面沈線→縄文RL→削み→無文部磨き 内面磨き	KC6.18区 遺目土層	加費料B3式
6	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石美	黒灰	普通	外面縦位の縄文LR→沈線 内面ナデ	KC6.22区 下層	加費料B2式
7	縄文土器	深鉢	[16.2]	(6.6)	-	長石・石美・雲母・ 赤色粒子	橙	普通	口唇部削み 外面条線→沈線 内面磨き	K15.33区 下層	加費料B2式
8	縄文土器	深鉢	[16.9]	(7.0)	-	長石・石美・赤色 粒子	にぶ・滑碧	普通	外面沈線→条線 内面沈線→磨き	K15.32区 下層	磨付式
9	縄文土器	深鉢	23.5	29.9	7.0	長石・石美	橙	普通	外面格子状の条線→扉部ナデ 内面ナデ	K36.410区 下層	70% PL96 加費料B3式
10	縄文土器	深鉢	-	(18.6)	-	長石・石美・雲母	黒明	普通	外面縦位の縄文LR→条線→縦線磨付 内面磨き→ 口縁部沈線	K16.136 下層	10% PL97 長期中業
11	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石美・雲母・ 赤色粒子	にぶ・滑碧	普通	外面縦位の縄文LR→縦線磨付 内面磨き→口縁部 磨付→無文部磨き	KC1.131区 後期土層	長期中業
12	縄文土器	鉢	-	(10.7)	[4.3]	長石・石美・雲母	にぶ・滑碧	普通	胴部ノロパン主軸 外面沈線→縄文RL→刺突文→ 内面磨き	K15.41区 下層	60% PL96 加費料B3式
13	縄文土器	台付鉢	-	(6.9)	11.0	長石・石美・雲母	にぶ・滑碧	普通	外面沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	K15.37区 下層	30% PL97 長期中業
14	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石美・雲母・ 赤色粒子	橙	普通	外面削み→磨貼付 内面磨き	KC6.25区 遺目土層	磨付式
15	縄文土器	深鉢	[23.0]	(12.7)	-	長石・石美・雲母・ 針状物	黒灰	普通	外面沈線→縄文RL→磨貼付→無文部磨き 内面磨き	KC1.131区 後期土層	10% PL97 磨付式
16	縄文土器	深鉢	-	(16.8)	-	長石・石美・雲母	黒灰	普通	有孔 外面条線→磨貼付→隆起帯磨貼付→縄文 RL→無文部磨き 内面磨き	KC5.26区 下層	15% PL98 実行1式
17	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石美・雲母・ 赤色粒子	にぶ・滑碧	普通	外面平行条線→削み→磨貼付→隆起帯磨貼付→ 縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KC6.16区 遺目土層	20% PL97 実行1式
18	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石美・雲母・ 赤色粒子	黒明	普通	外面磨貼付→隆起帯磨貼付→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KC6.12区 遺目土層	実行1式
19	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石美・雲母・ 赤色粒子	橙	普通	外面沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	K17.39区 下層	実行1式

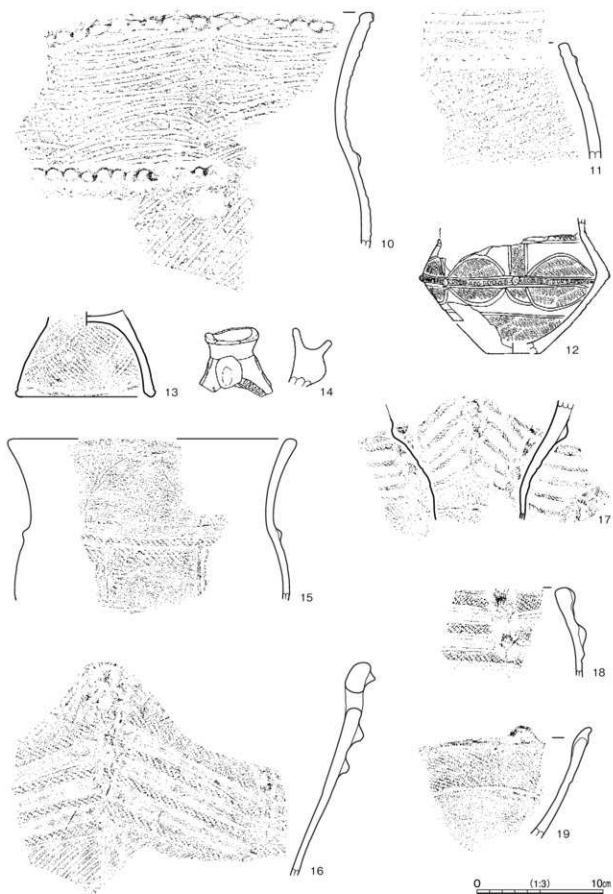


第 259 図 第 12 号斜面貝層実測図 (4)

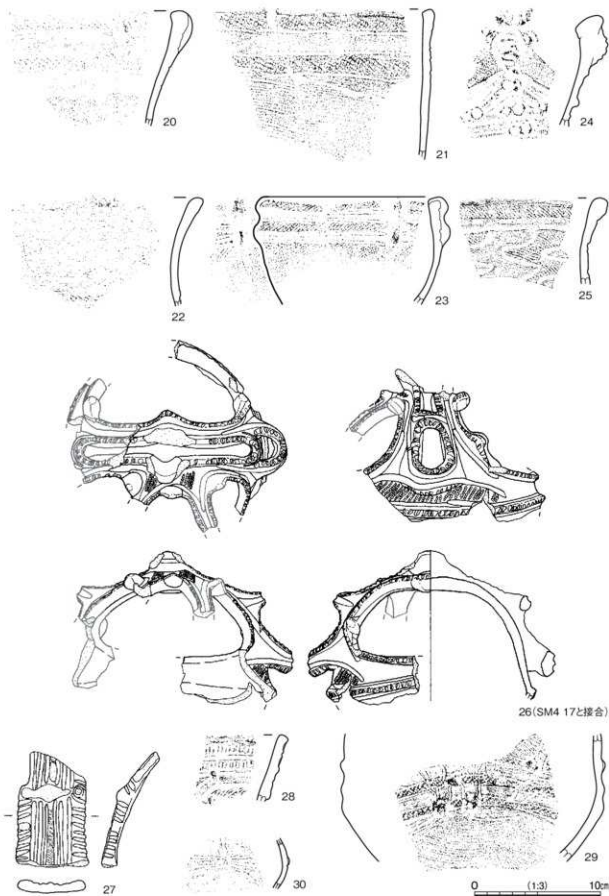
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
20	縄文土器	深鉢	-	9.0	-	長石・石英	褐色	普通	外面磨貼付→隆起帯筋沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC623区 縄目層下層	P1.97 15行1式 P1.98 安行1式
21	縄文土器	深鉢	-	11.8	-	長石・石英・雲母・ 赤色砂子	褐色	普通	外面条線→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナテ	KC619区 縄目層下層	P1.98 安行1式
22	縄文土器	深鉢	-	8.6	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC633区 縄目層下層	P1.98 安行1式
23	縄文土器	深鉢 [140]	-	8.5	-	長石・石英・雲母・ 針状物質	明赤褐色	普通	外面磨貼付→隆起帯筋沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KCS212区 縄目層下層	15% P1.98 安行1式
24	縄文土器	深鉢	-	8.8	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	外面隆起帯筋沈線→縄文LR→磨貼付→無文部磨き 内面磨き	KCS210区 縄目層下層	P1.98 安行2式
25	縄文土器	深鉢	-	6.8	-	長石・石英・雲母・ 赤色砂子	褐色	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KR6415区 縄目層下層	P1.98 安行1式
26	縄文土器	内手土器 [166]	-	12.2	-	長石・石英・雲母	にぶみ褐色	普通	外面隆起帯筋沈線→割み→縄文LR→無文部磨き 内面磨き SM 4.17と接合	KR6116区 縄目層下層	40% P1.96 磨付式
27	縄文土器	内手土器	-	9.1	-	長石・石英	にぶみ褐色	普通	外面沈線→縄文LR 内面ナテ	KR6313区 縄目層下層	磨付式
28	縄文土器	深鉢	-	5.3	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	外面磨貼付→沈線→割み→無文部磨き 内面磨き	KR641区 縄目層下層	P1.98 安行1式
29	縄文土器	深鉢	-	10.0	-	長石・石英	にぶみ褐色	普通	外面条線→磨貼付→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KR6413区 縄目層下層	P1.98 安行1式
30	縄文土器	深鉢	-	4.0	-	長石・石英	にぶみ褐色	普通	外面磨貼付→沈線→無文部磨き 内面磨き	KCS28区 縄目層下層	磨付第1段階
31	縄文土器	深鉢 [240]	-	32.9	-	長石・石英・雲母・ 赤色砂子	黒褐色	普通	外面隆起帯筋沈線→縄文LR→磨貼付→無文部磨き 内面磨き	KCS216区 縄目層下層	30% P1.98 安行1式
32	縄文土器	深鉢 [230]	-	15.9	-	長石・石英	黒褐色	普通	外面隆起帯筋沈線→縄文LR→磨貼付→無文部磨き 内面磨き	KCS43区 縄目層下層	10% P1.98 安行3a式
33	縄文土器	深鉢 [264]	-	19.4	-	長石・石英	にぶみ褐色	普通	外面隆起帯筋沈線→縄文LR→磨貼付→無文部磨き 内面ナテ	KC613区 縄目層下層	10% P1.98 安行3a式
34	縄文土器	深鉢	-	8.9	-	長石・石英	黒褐色	普通	外面隆起帯筋沈線→縄文LR→磨貼付→無文部磨き 内面沈線部4本の沈線	KCS210区 縄目層下層	安行3a式
35	縄文土器	深鉢	-	8.1	-	長石・石英	褐色	普通	外面隆起帯筋沈線→縄文LR→磨貼付→無文部磨き 内面磨き	KR6210区 縄目層下層	P1.98 安行3a式
36	縄文土器	深鉢 [254]	-	9.9	-	長石・石英・雲母・ 赤色砂子	褐色	普通	口唇部白突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KCS25区 縄目層下層	20% P1.98 安行3a式
37	縄文土器	深鉢	-	14.5	-	長石・石英・雲母・ 赤色砂子	にぶみ褐色	普通	外面磨貼付→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC614区 縄目層下層	安行3b式
38	縄文土器	深鉢 [260]	-	6.6	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KCS215区 縄目層下層	安行3b式
39	縄文土器	深鉢	-	5.0	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	口唇部白突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC619区 縄目層下層	安行2式
40	縄文土器	深鉢	-	5.9	-	長石・石英	黒褐色	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KCS210区 縄目層下層	P1.98 安行2-3a式
41	縄文土器	深鉢 [284]	-	6.5	-	長石・石英	にぶみ褐色	普通	外面沈線→縄文LR→磨貼付→無文部磨き 内面磨き	KC618区 縄目層下層	安行2-3a式
42	縄文土器	深鉢 [216]	-	8.8	-	長石・石英・雲母・ 赤色砂子	にぶみ褐色	普通	外面沈線→縄文LR→磨貼付→無文部磨き 内面磨き	KC614区 縄目層下層	10% P1.99 安行2-3a式
43	縄文土器	深鉢 [250]	-	9.2	-	長石・石英	灰黄褐色	普通	外面磨貼付→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KCS14区 縄目層下層	10% P1.98 安行3b式
44	縄文土器	深鉢	-	5.6	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	外面沈線→縄文LR→磨貼付→無文部磨き 内面磨き	KR6314区 縄目層下層	安行3a式
45	縄文土器	深鉢	-	8.4	-	長石・石英・雲母	にぶみ褐色	普通	外面沈線→縄文LR→磨貼付→無文部磨き 内面磨き	KCS13区 縄目層下層	安行3a式
46	縄文土器	深鉢	-	7.0	-	長石・石英・雲母	にぶみ褐色	普通	外面条線→沈線→縄文LR→磨貼付→無文部磨き 内面磨き	KR6316区 縄目層下層	安行3a式
47	縄文土器	深鉢	-	7.7	-	長石・石英	褐色	普通	外面沈線→細密沈線→無文部磨き 内面磨き	KCS214区 縄目層下層	P1.99 鞍山Ⅱ式
48	縄文土器	深鉢	-	9.3	-	長石・石英	にぶみ褐色	普通	口唇部白突起 外面沈線→縄文LR→磨貼付→無文部磨き 内面磨き	KC626区 縄目層下層	P1.99 安行3b式
49	縄文土器	深鉢 [140]	-	8.0	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	口唇部白突起 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC6113区 縄目層下層	10% P1.99 安行3b式
50	縄文土器	深鉢	-	7.5	-	長石・雲母	にぶみ褐色	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KCS215区 縄目層下層	安行3b式
51	縄文土器	深鉢	-	7.0	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	口唇部白突起 外面沈線→列点文 内面磨き	KC647区 縄目層下層	P1.99 安行3c式
52	縄文土器	深鉢	-	8.0	-	長石・石英	黒褐色	普通	外面沈線→列点文 内面磨き	KCS212区 縄目層下層	安行3c式
53	縄文土器	深鉢 [248]	-	11.2	-	長石・石英・雲母・ 赤色砂子	にぶみ褐色	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC6110区 縄目層下層	10% P1.99 安行3c式
54	縄文土器	深鉢 [170]	-	11.6	-	長石・石英・雲母	にぶみ褐色	普通	口唇部白突起 外面沈線→細密沈線→列点文→無文部磨き 内面磨き	KCS212区 縄目層下層	20% P1.99 鞍山Ⅱ式
55	縄文土器	深鉢	-	11.0	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	外面沈線→細密沈線→無文部磨き 内面磨き	KC6113区 縄目層下層	P1.99 鞍山Ⅱ式
56	縄文土器	深鉢	-	9.2	-	長石・石英・雲母	にぶみ褐色	普通	外面条線→沈線→細密沈線→無文部磨き 内面磨き	KC614区 縄目層下層	鞍山Ⅱ式
57	縄文土器	深鉢	-	12.7	-	長石・石英・雲母・ 針状物質	褐色	普通	外面条線→沈線→細密沈線→無文部磨き 内面磨き	KC642区 縄目層下層	15% P1.99 鞍山Ⅱ式
58	縄文土器	深鉢	-	5.9	-	長石・雲母	褐色	普通	外面沈線→細密沈線→無文部磨き 内面磨き	KCS11区 縄目層下層	鞍山Ⅱ式
59	縄文土器	深鉢 [256]	-	26.2	-	石英・赤色砂子	にぶみ褐色	普通	口唇部白突起貼付 外面条線→面平沈線による区画文・蛇行文・沈線磨き→細密沈線→列点文→無文部磨き 内面磨き	KCS11区 縄目層下層	20% P1.99 磨面磨き
60	縄文土器	深鉢	-	10.3	-	長石・石英	褐色	普通	外面条線→平行沈線による区画文・蛇行文→区画文・沈線磨き→細密沈線→列点文→無文部磨き 内面磨き	KCS212区 縄目層下層	P1.99 磨面磨き
61	縄文土器	深鉢	-	10.8	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	外面条線→区画文磨き→細密沈線 内面磨き	KCS212区 縄目層下層	P1.99 磨面磨き
62	縄文土器	深鉢	-	8.0	-	長石・石英	黒褐色	普通	外面条線→沈線 内面ナテ	KR6411区 縄目層下層	磨面磨き
63	縄文土器	深鉢	-	11.5	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	外面条線→沈線 内面磨き	KCS210区 縄目層下層	10% 磨面磨き
64	縄文土器	深鉢 [260]	-	8.1	-	長石・石英	灰黄褐色	普通	外面条線→平行沈線による区画文・沈線磨き→細密沈線 内面磨き	KCS18区 縄目層下層	P1.100 磨面磨き
65	縄文土器	深鉢	-	7.4	-	長石・石英・赤色砂子	にぶみ褐色	普通	外面条線→平行沈線による区画文→沈線磨き→磨貼付 内面磨き	KCS213区 縄目層下層	磨面磨き
66	縄文土器	深鉢	-	6.6	-	長石・石英	にぶみ褐色	普通	外面口縁部割み 条線→沈線 内面磨き	KCS210区 縄目層下層	10% 磨面磨き
67	縄文土器	深鉢	-	20.3	-	長石・石英・雲母・ 赤色砂子	褐色	普通	外面条線→平行沈線による区画文→沈線磨き→磨貼付 内面磨き	KCS213区 縄目層下層	10% 磨面磨き



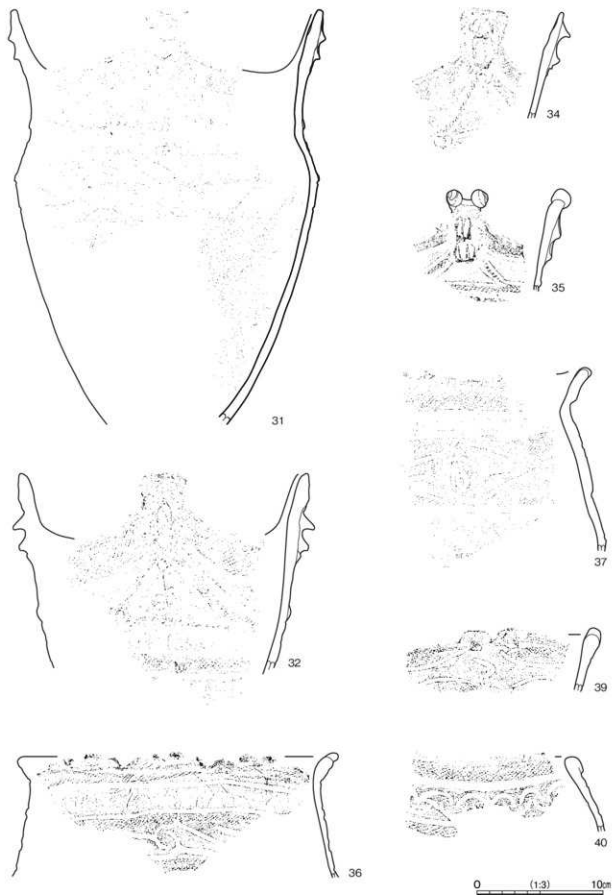
第 260 图 第 12 号斜面层出土文物实测图 (1)



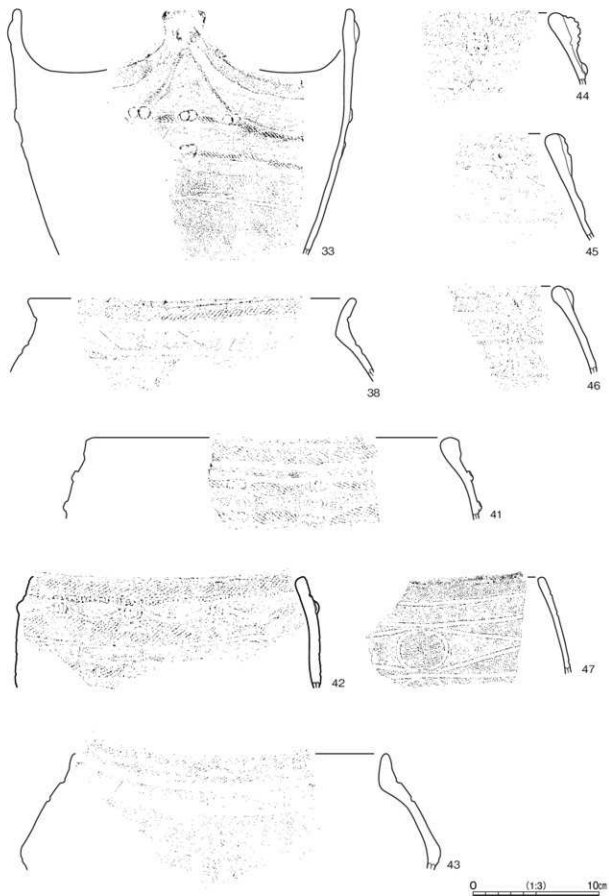
第 261 图 第 12 号斜面具层出土文物实测图 (2)



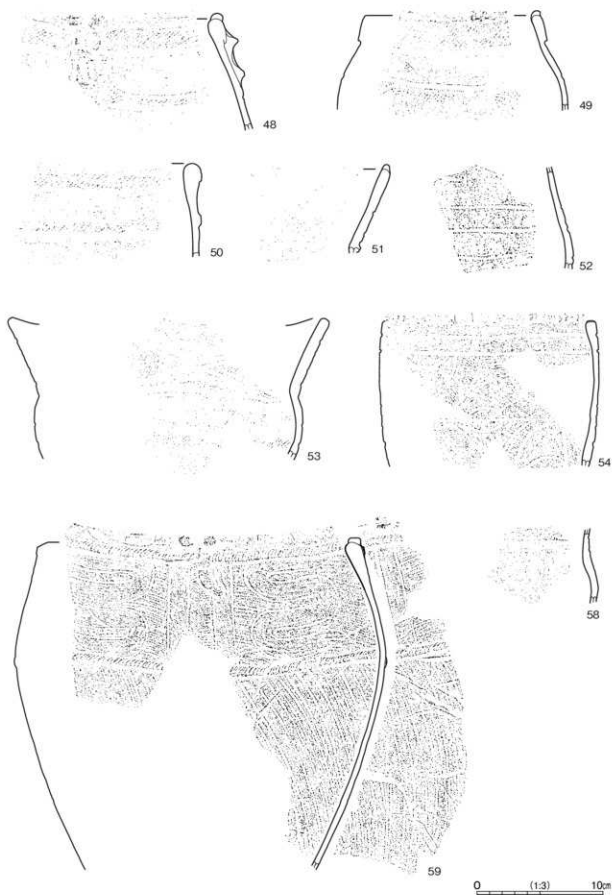
第 262 图 第 12 号斜面层出土物实测图 (3)



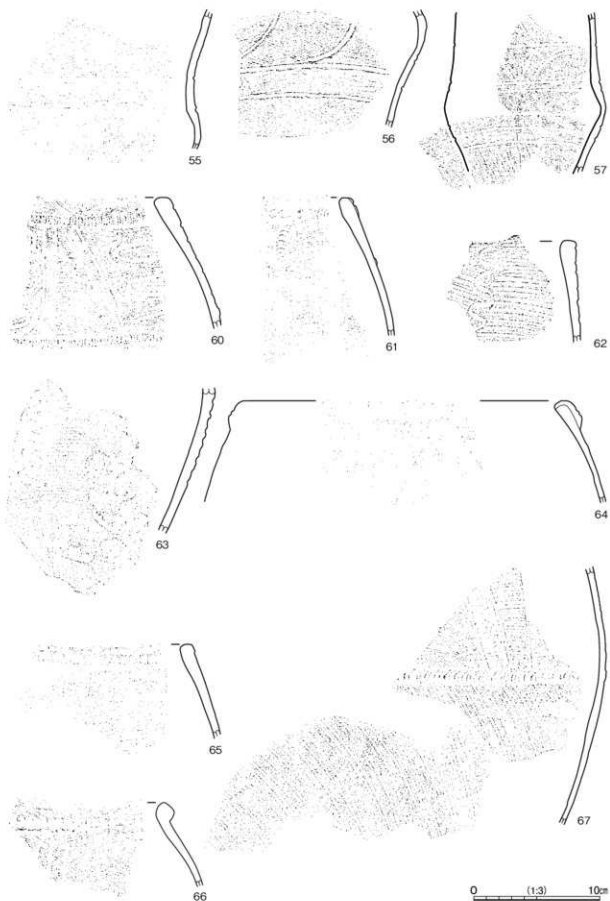
第 263 图 第 12 号斜面具层出土物实测图 (4)



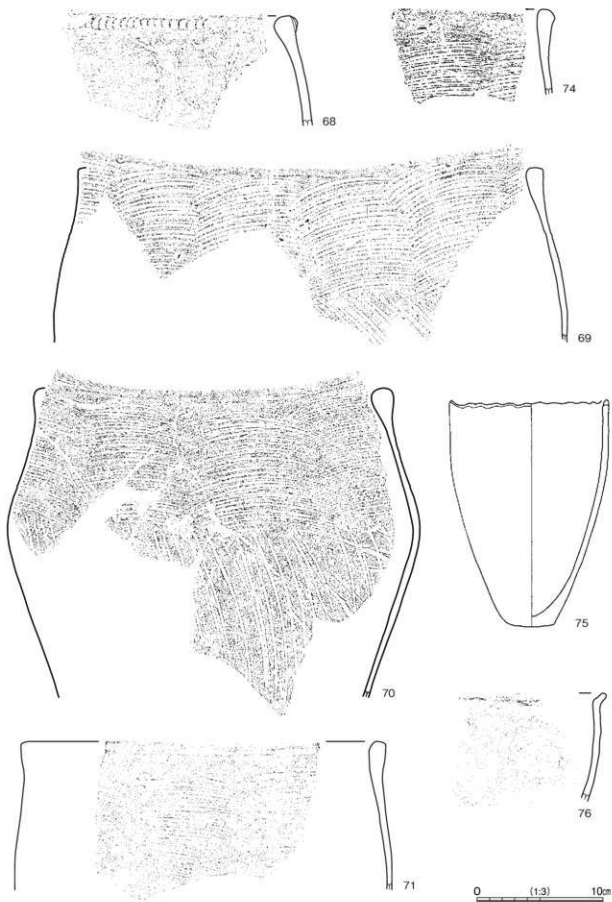
第 264 图 第 12 号斜面具层出土物实测图 (5)



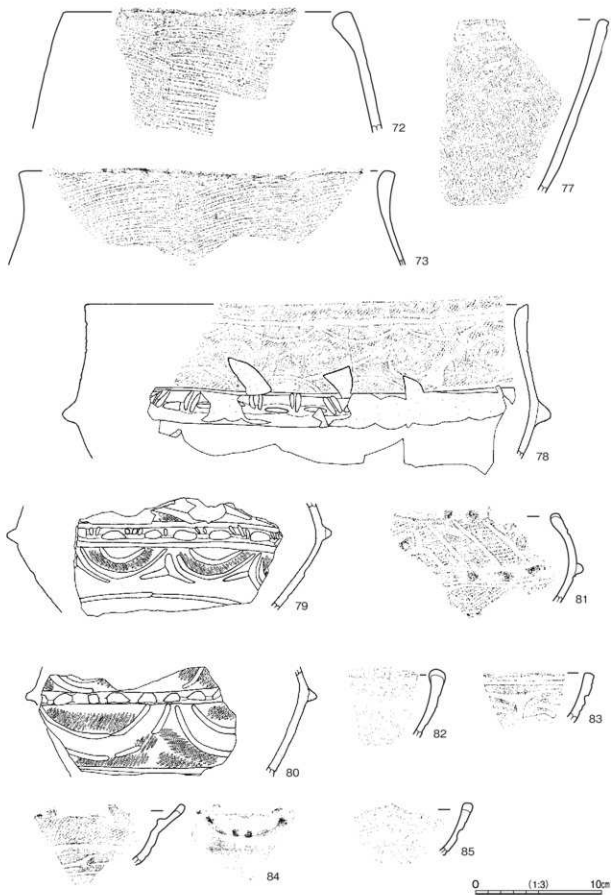
第 265 图 第 12 号斜面具层出土物实测图 (6)



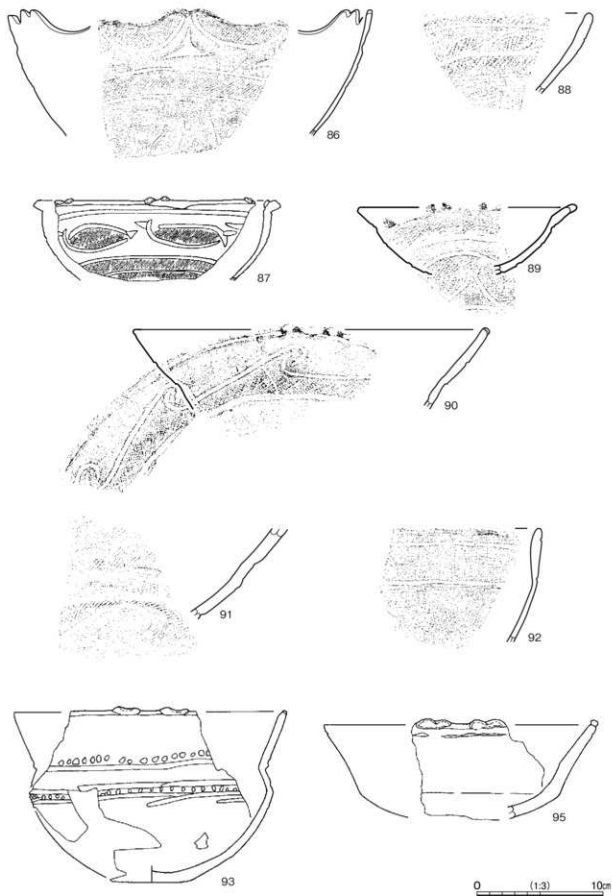
第 266 图 第 12 号斜面貝層出土遺物実測图 (7)



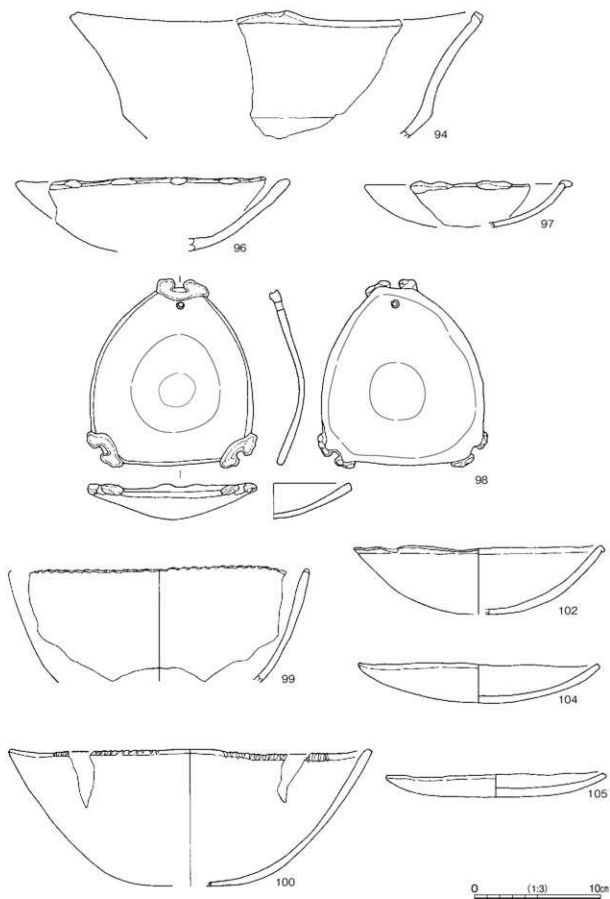
第 267 图 第 12 号斜面具层出土物实测图 (8)



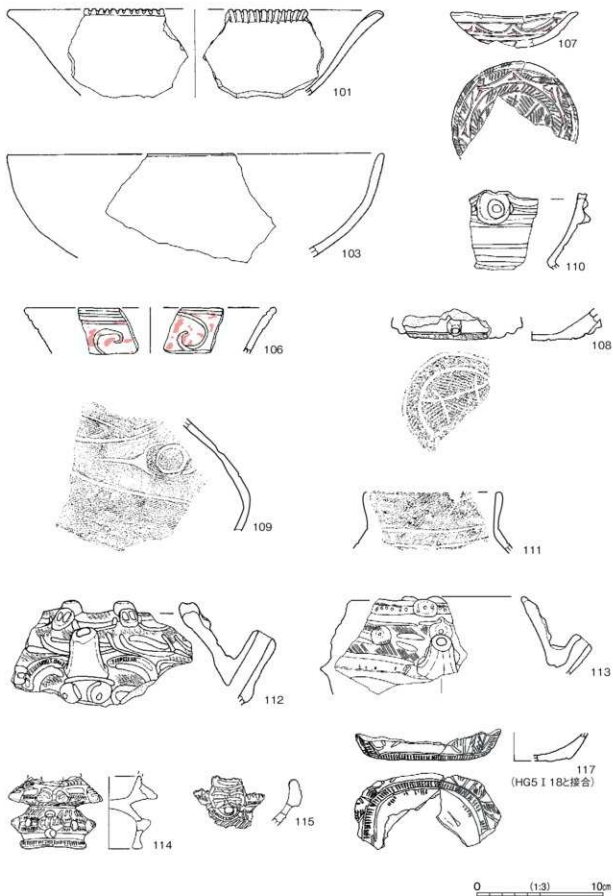
第 268 图 第 12 号斜面层出土物实测图 (9)



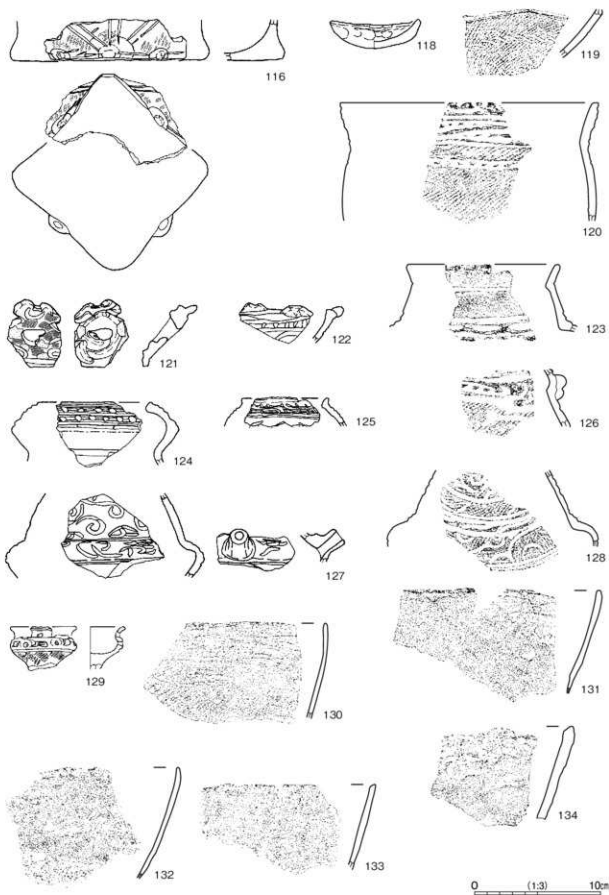
第 269 图 第 12 号斜面具层出土物实测图 (10)



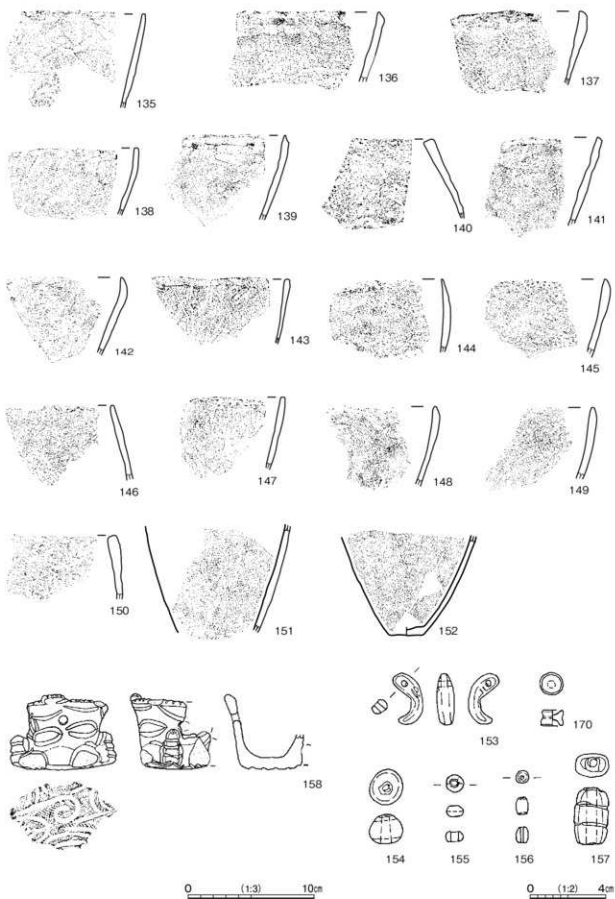
第270图 第12号斜面貝層出土遺物実測図(11)



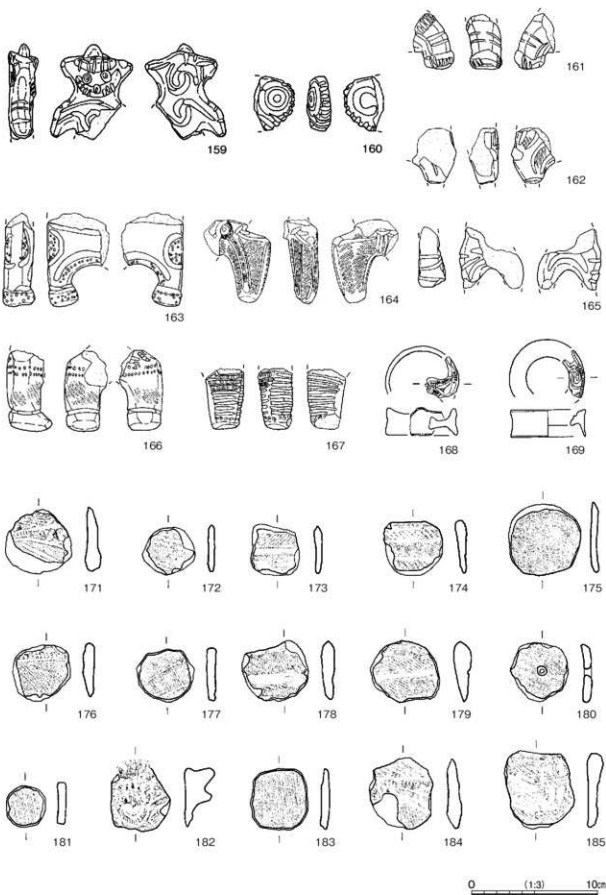
第 271 图 第 12 号斜面具层出土物实测图 (12)



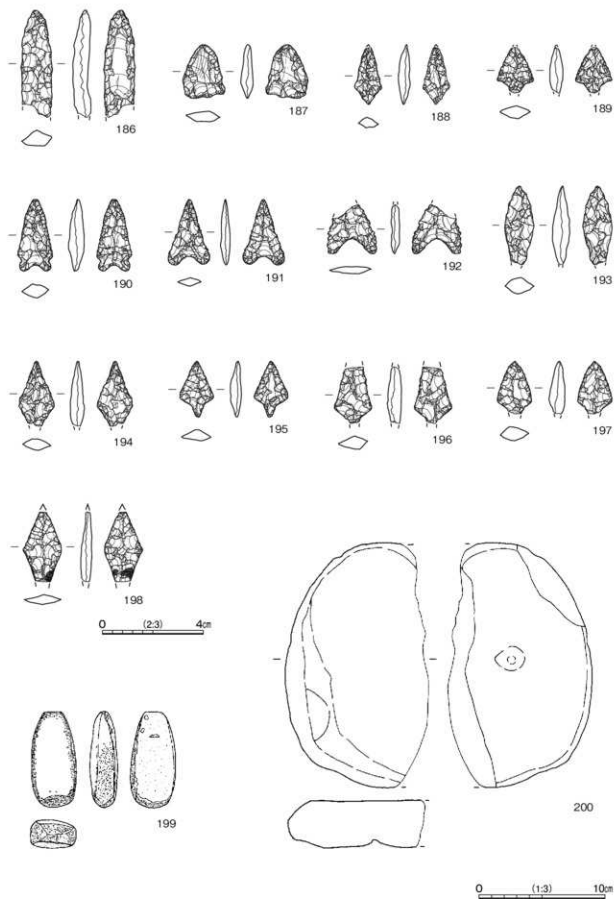
第 272 图 第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (13)



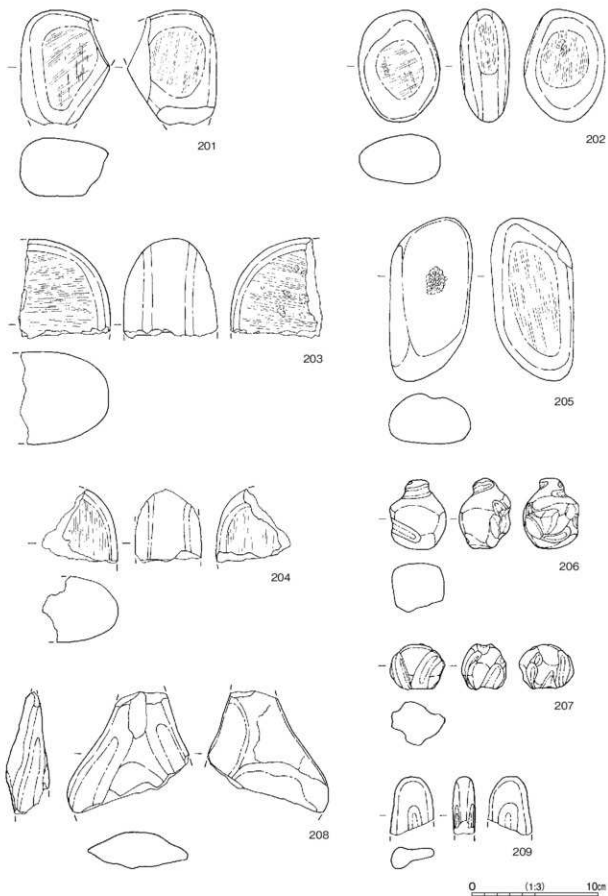
第 273 图 第 12 号斜面层出土物实测图 (14)



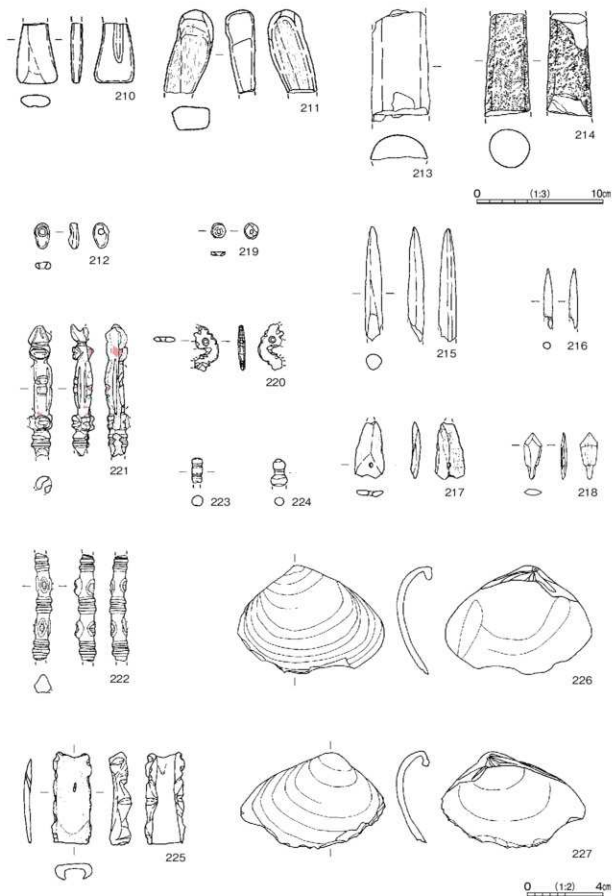
第 274 图 第 12 号斜面貝層出土遺物実測图 (15)



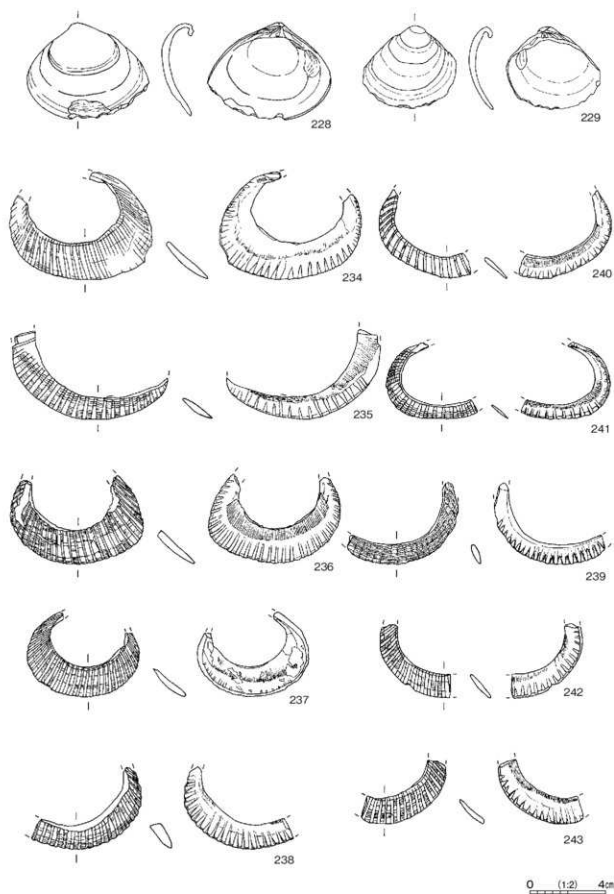
第 275 图 第 12 号斜面具层出土物实测图 (16)



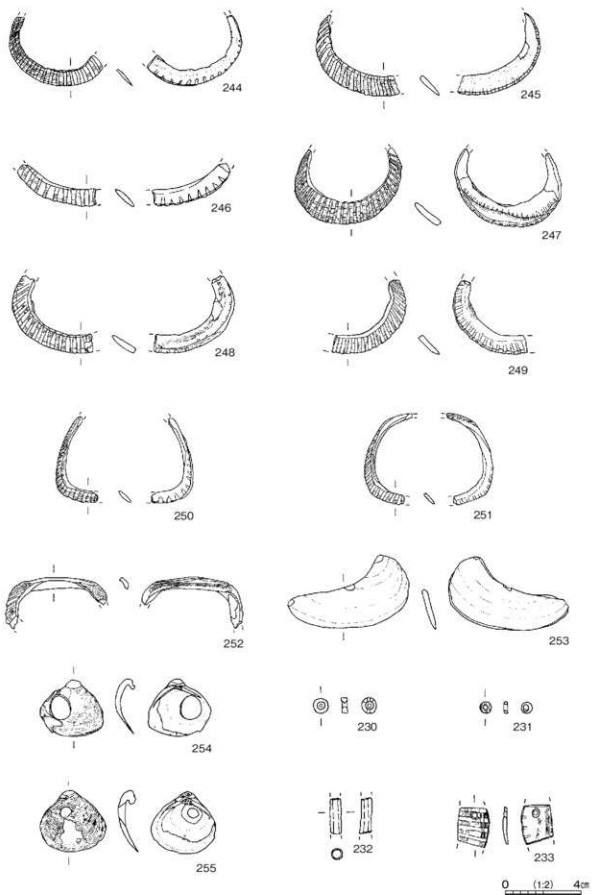
第 276 图 第 12 号斜面层出土物实测图 (17)



第 277 图 第 12 号斜面具层出土物实测图 (18)



第 278 图 第 12 号斜面贝层出土遗物实测图 (19)



第 279 图 第 12 号斜面具层出土物实测图 (20)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
68	縄文土器	深鉢	-	(87)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	浅黄緑	普通	外面糸線→沈線による区画文→沈線磨き→縦線貼付 内面磨き	K9645区 縄文土層	PL100 晩期前葉
69	縄文土器	深鉢	[370]	(138)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい青	普通	外面糸線 内面ナテ	K95312区 縄文土層	10% PL100 晩期前葉
70	縄文土器	深鉢	[280]	(245)	-	長石・石英・雲母	にぶい青	普通	外面糸線 内面磨き	K9619区 縄文土層	23% PL100 晩期前葉
71	縄文土器	深鉢	[290]	(117)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面糸線 内面磨き	K96111区 縄文土層	10% 晩期前葉
72	縄文土器	深鉢	[228]	(95)	-	長石・石英・雲母	灰黄緑	普通	外面糸線 内面磨き	K96316区 縄文土層	晩期前葉
73	縄文土器	深鉢	[300]	(74)	-	長石・石英	にぶい青	普通	外面糸線 内面ナテ	K95215区 縄文土層	10% 晩期前葉
74	縄文土器	深鉢	-	(67)	-	長石・石英	灰黄緑	普通	外面糸線 内面磨き	K95210区 縄文土層	晩期前葉
75	縄文土器	深鉢	[125]	179	35	長石・石英・雲母	にぶい青	普通	口唇部削み 外面磨り 内面ナテ	K7566区 縄文土層	50% PL95 晩期前葉
76	縄文土器	深鉢	-	(85)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	外面磨り 内面ナテ	K9615区 縄文土層	晩期前葉
77	縄文土器	深鉢	-	(137)	-	長石・石英・雲母	にぶい青	普通	外面磨り 内面ナテ	K9514区 縄文土層	10% 晩期前葉
78	縄文土器	鉢	[352]	(123)	-	長石・石英	黄緑	普通	外面瘤状の隆帯貼付→沈線→縄文LR→無文磨き 内面ナテ	K95408区 縄文土層	29% PL101 安行3b式
79	縄文土器	鉢	-	(85)	-	長石・石英・赤色粒子	灰黒	普通	外面瘤状の隆帯貼付→沈線→縄文RL→無文磨き 内面磨き	K95214区 縄文土層	10% PL100 晩期前葉
80	縄文土器	鉢	-	(86)	-	長石・石英・赤色粒子	灰黒	普通	外面瘤状の隆帯貼付→沈線→縄文LR→無文磨き 内面磨き	K96412区 縄文土層	10% 安行3a式
81	縄文土器	鉢	-	(71)	-	長石・石英	橙	普通	外面瘤状の隆帯貼付→沈線→縄文LR→無文磨き 内面磨き	K9641区 縄文土層	10% 安行3a式
82	縄文土器	鉢	-	(54)	-	長石・石英	灰黄緑	普通	口唇部を有する小突起 外面沈線→縄文RL→無文磨き 内面磨き	K95212区 縄文土層	安行2式
83	縄文土器	鉢	-	(39)	-	長石・石英・雲母	明赤黒	普通	外面沈線→無文磨き 内面磨き	K96414区 縄文土層	大淵B1式
84	縄文土器	鉢	-	(48)	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	口唇部突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文磨き 内面磨き	K9619区 縄文土層	大淵B2式
85	縄文土器	鉢	-	(41)	-	長石・石英	暗赤黒	普通	外面沈線→縄文LR→磨き 内面磨き	K97110区 下層	安行3a式
86	縄文土器	鉢	[288]	(100)	-	長石・石英	にぶい青	普通	外面沈線→縄文LR→無文磨き 内面磨き	K9622区 縄文土層	15% PL100 安行3a式
87	縄文土器	鉢	[196]	(63)	-	長石・石英	にぶい青	普通	口唇部突起 外面沈線→縄文LR→無文磨き 内面磨り→磨き	K9613区 縄文土層	59% PL100 大淵B1式
88	縄文土器	鉢	-	(64)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面沈線→縄文LR→無文磨き 内面磨き	K9735区 縄文土層	大淵B2式
89	縄文土器	鉢	[174]	(56)	-	長石・石英・雲母	にぶい青	普通	口唇部突起貼付 外面沈線→無文磨き 内面磨き	K95315区 縄文土層	10% PL100 安行3b式
90	縄文土器	鉢	[274]	(64)	-	長石・石英	にぶい青	普通	口唇部突起 外面沈線→縄文LR→無文磨き 内面磨き	K95210区 縄文土層	10% PL100 安行3b式
91	縄文土器	鉢	-	(73)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面沈線→縄文LR→無文磨き 内面磨き	K95215区 縄文土層	安行3b式
92	縄文土器	鉢	-	(90)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面沈線→無文磨き 内面磨き	K9615区 縄文土層	15% 晩期前葉
93	縄文土器	鉢	[218]	140	[64]	長石・石英	灰黒	普通	口唇部突起貼付 外面沈線→列点文→無文磨き 内面磨り1条の沈線→磨き	K95215区 縄文土層	40% PL95 安行3c式
94	縄文土器	鉢	[328]	(100)	-	長石・石英・雲母	灰黄緑	普通	口唇部緩やかな湾状 波頭部面取り 外面磨り 内面磨き	K9733区 下層	15% 晩期前葉
95	縄文土器	鉢	[215]	(79)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい青	普通	口唇部突起貼付 外面磨り→磨き 内面磨き	K95213区 縄文土層	晩期前葉
96	縄文土器	浅鉢	[213]	(58)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰黒	普通	口唇部緩やかな湾状 波頭部面取り 外面磨り→内面磨き	K96416区 縄文土層	30% 晩期前葉
97	縄文土器	浅鉢	[160]	(37)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰黒	普通	口唇部突起貼付 外面磨り 内面磨き	K9623区 縄文土層	30% 晩期前葉
98	縄文土器	浅鉢	135-149	(88)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口唇部3単位B突起貼付 外面磨り 内面磨き	K9618区 縄文土層	100% PL100 晩期前葉
99	縄文土器	浅鉢	[237]	289	-	長石・石英・雲母	浅黄緑	普通	口唇部削み 外面磨り 内面磨き	K9631区 下層	15% 晩期前葉
100	縄文土器	浅鉢	[283]	(107)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰黒	普通	口唇部削み 外面磨り 内面磨き	K9514区 縄文土層	25% 晩期前葉
101	縄文土器	浅鉢	[300]	(70)	-	長石・石英	灰黄緑	普通	口唇部削み 外面磨り→ナテ 内面磨き	K96216区 縄文土層	晩期前葉
102	縄文土器	浅鉢	196	54	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰	普通	外面磨り→磨き 内面磨き	K97313区 縄文土層	60% PL97 晩期前葉
103	縄文土器	浅鉢	[300]	(82)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい青	普通	外面磨り→磨き 内面磨き	K96113区 縄文土層	10% 晩期前葉
104	縄文土器	浅鉢	189	31	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰	普通	外・内面磨き	K95111区 縄文土層	10% PL97 晩期前葉
105	縄文土器	浅鉢	172	18	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	暗灰	普通	外・内面磨き	K95143区 縄文土層	60% PL97 晩期前葉
106	縄文土器	浅鉢	[195]	(36)	-	長石・石英	黒黒	普通	外・内面沈線→磨き→赤線塗布	K95415区 縄文土層	晩期前葉
107	縄文土器	浅鉢	[102]	(29)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい青	普通	外面沈線→縄文L→無文磨き→赤線 内面ナテ	K97313区 下層	50% PL97 安行3a式
108	縄文土器	壺	-	(25)	[70]	長石・石英・雲母	にぶい青	普通	外面底部貼付 沈線→縄文RL 内面磨き	K9627区 縄文土層	10% PL100 安行3b式
109	縄文土器	壺	-	(88)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰	普通	外面沈線→縄文LR→無文磨き 内面磨き	K96315区 縄文土層	安行3a式
110	縄文土器	壺	-	(62)	-	長石・石英・雲母	にぶい青	普通	外面沈線→無文磨き 内面磨き	K95212区 縄文土層	晩期前葉
111	縄文土器	壺	[118]	(49)	-	長石・石英	明赤黒	普通	外面沈線→縄文LR→無文磨き 内面ナテ	K9649区 縄文土層	29% 晩期前葉
112	縄文土器	注口土器	-	(81)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒黒	普通	外面隆起帯臨沈線→縄文RL・筋目・瘤貼付→無文磨き 内面ナテ	K96114区 縄文土層	10% PL100 安行3b式
113	縄文土器	注口土器	[140]	(77)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰黒	普通	外面沈線→縄文LR・列点文→無文磨き 内面磨き	K9517区 下層	10% PL100 安行3b式
114	縄文土器	磨り付土器	-	58	49	長石・石英・雲母	灰黒	普通	外面瘤貼付→沈線→筋目→無文磨き 内面ナテ	K97111区 下層	60% PL97 安行2式
115	縄文土器	磨り付土器	-	(37)	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	外面突起・瘤貼付→沈線→筋目 内面ナテ	K95316区 下層	安行2式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
116	縄文土器	内底土器	-	(3.2)	[115]	長石・石英	にぶい	普通	外面底部陥付→沈線→縄文LR→無文部磨き内面磨き	K86-115(区)	PL101 晩期前葉
117	縄文土器	内底土器	-	(1.7)	101	長石・雲母	灰黄緑	普通	外面刷毛→沈線 内面磨き HG 5.1 18 と接合	K64-4(区)	10% 縄文前葉
118	縄文土器	深鉢	6.8	2.3	-	長石・石英	灰黒	普通	外・内面ナテ	K61-14(区)	20% 縄文前葉
119	縄文土器	深鉢	-	(3.8)	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	外面縄文LR→磨給文→沈線 内面磨き	K61-12(区)	晩期前葉
120	縄文土器	深鉢	[204]	9.3(-)	-	長石・石英	黒黒	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	K64-4(区)	縄文前葉
121	縄文土器	浅鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	黒灰	普通	突起部 外面LR 縄文 内面磨き	K63-35(区)	PL101 大淵B2式
122	縄文土器	浅鉢	-	(2.9)	-	長石・石英	灰黄緑	普通	口唇部突起陥付 外面沈線→磨き 内面磨き	K63-33(区)	大淵C1系
123	縄文土器	壺	[120]	(5.3)	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	外面沈線→無文部磨き 内面磨き	K65-212(区)	安行3a式
124	縄文土器	壺	[88]	(5.0)	-	長石・石英	黒灰	普通	外面沈線→無文部磨き 内面ナテ	K62-11(区)	PL101 大淵B2式
125	縄文土器	香印	[6.8]	(2.2)	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	外面沈線→磨き 胴部に透かし孔3ヶ所 内面ナテ	K61-18(区)	大淵B2式
126	縄文土器	鉢	-	(4.4)	-	長石・石英	暗灰	普通	外面磨給文→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	K65-20(区)	PL101 大淵B2式
127	縄文土器	注口土器	-	(6.7)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面沈線→磨き 内面ナテ	K64-4(区)	10% 大淵B2式
128	縄文土器	注口土器	-	(6.0)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面沈線→縄文LR 内面ナテ	K65-212(区)	大淵B2式
129	縄文土器	香印	[5.2]	(3.4)	-	長石・雲母	黒灰	普通	外面穿孔・沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナテ	K63-17(区)	40% PL97 大淵B2式
130	縄文土器	製塩土器	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	橙	普通	外・内面削り 口縁部ナテ	K64-11(区)	PL101 晩期前葉
131	縄文土器	製塩土器	-	(8.2)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面削り 口縁部指痕ナテ 内面ナテ	K61-13(区)	晩期前葉
132	縄文土器	製塩土器	-	(8.7)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面削り 口縁部指痕ナテ 内面ナテ	K65-21(区)	PL101 晩期前葉
133	縄文土器	製塩土器	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	明赤褐	普通	外・内面ナテ	K66-34(区)	晩期前葉
134	縄文土器	製塩土器	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	灰黄緑	普通	外面削り 口縁部指痕ナテ 内面ナテ	K66-416(区)	晩期前葉
135	縄文土器	製塩土器	-	(7.5)	-	長石・石英	橙	普通	外面削り 口縁部・内面ナテ	K61-13(区)	晩期前葉
136	縄文土器	製塩土器	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	橙	普通	外面削り 口縁部指痕ナテ 内面ナテ	K63-14(区)	晩期前葉
137	縄文土器	製塩土器	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	橙	普通	外面削り 口唇部面取り 内面ナテ	K61-15(区)	晩期前葉
138	縄文土器	製塩土器	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面削り 口唇部面取り 内面ナテ	K64-4(区)	PL101 晩期前葉
139	縄文土器	製塩土器	-	(6.7)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面削り 口縁部・内面ナテ	K65-28(区)	PL101 晩期前葉
140	縄文土器	製塩土器	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外・内面ナテ 口唇部面取り	K65-26(区)	晩期前葉
141	縄文土器	製塩土器	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	外面削り 口縁部指痕ナテ 内面ナテ	K61-6(区)	晩期前葉
142	縄文土器	製塩土器	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外・内面ナテ 口縁部指痕ナテ	K66-27(区)	晩期前葉
143	縄文土器	製塩土器	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面削り 口唇部面取り 内面ナテ	K65-21(区)	PL101 晩期前葉
144	縄文土器	製塩土器	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外・内面ナテ 口縁部指痕ナテ	K65-25(区)	晩期前葉
145	縄文土器	製塩土器	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外・内面ナテ 口縁部指痕ナテ	K61-14(区)	晩期前葉
146	縄文土器	製塩土器	-	(5.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面削り 口唇部面取り 内面ナテ	K65-413(区)	PL101 晩期前葉
147	縄文土器	製塩土器	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面削り 口縁部指痕ナテ 内面ナテ	K61-9(区)	晩期前葉
148	縄文土器	製塩土器	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面削り 口縁部指痕ナテ 内面ナテ	K61-215(区)	晩期前葉
149	縄文土器	製塩土器	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面削り 口唇部面取り 内面ナテ	K66-4(区)	晩期前葉
150	縄文土器	製塩土器	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外・内面ナテ 口唇部面取り	K65-17(区)	晩期前葉
151	縄文土器	製塩土器	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	外面削り 内面ナテ	K66-112(区)	晩期前葉
152	縄文土器	製塩土器	-	(7.8)	2.6	長石・石英	灰黄緑	普通	外面削り 内面ナテ	K63-14(区)	30% 晩期前葉

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
153	勾玉	2.8	1.6	1.0	2.9	長石・石英・赤色砂子	橙	孔径 0.4cm 一方からの穿孔 ナテ	K66-28(区)	PL101
154	土玉	1.8	1.6	1.6	4.8	長石	にぶい	孔径 0.4 ~ 0.5cm 一方からの穿孔 ナテ	K62-13(区)	PL101
155	土玉	0.9	0.9	0.6	0.4	長石・石英	橙	孔径 0.4cm 一方からの穿孔 ナテ	K65-311(区)	PL101
156	土玉	0.7	0.7	0.9	0.5	長石	黒黒	孔径 0.2cm 一方からの穿孔 ナテ	K65-210(区)	PL101
157	土玉	3.0	1.8	1.3	7.2	長石・石英・雲母	橙	孔径 0.5cm 一方からの穿孔 ナテ→沈線	K61-13(区)	PL101
158	手環形	(6.4)	8.5	6.0	(12.8)	長石・石英・雲母	黒灰	器台部片 内孔之所 口唇部削み 胴部・首部 沈線による対文・透文→R1 縄文	K64-2(区)	PL101
159	土偶	(7.5)	(6.6)	2.3	(77.2)	長石・石英	灰	ミミズク形 胴・胴部 隆帯上削み 沈線文	K66-3(区)	PL101
160	土偶	(4.3)	(3.2)	(1.9)	(20.9)	長石・石英・雲母	灰黒	ミミズク形 胴部 端部削み 沈線による円文	K65-215(区)	PL101
161	土偶	(4.4)	(2.8)	(3.3)	(29.1)	長石・石英	橙	山形 左腕部 削み 沈線	K63-11(区)	PL101

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
162	土偶	(4.5)	(3.6)	(2.3)	(25.3)	長石・石英・赤色 粒子	橙	ミズク形 左脚部 沈線→L区縄文	KP6-412区 縄目層下層	
163	土偶	(7.4)	(4.9)	(2.5)	(67.8)	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄橙	瓶状 胴→右脚部 沈線による区画文 区画内縦 突文 H25-127と同一カ	KC5-216区 縄目層下層	
164	土偶	(6.5)	(5.3)	(2.7)	(56.4)	長石・石英	暗赤褐	ミズク形 右脚部 隆帯上唇片 沈線→R区縄文	KP6-314区 下層	PL101
165	土偶	(4.8)	(5.1)	(2.2)	(32.1)	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	褐灰	山形 左脚部 沈線文	KC6-212区 縄目層下層	
166	土偶	(6.4)	(3.5)	(3.7)	(66.5)	長石・石英・雲母	黒褐	山形 右脚部 刺突文 R区縄文	KC6-44区 縄目層下層	
167	土偶	(4.8)	(3.1)	(2.8)	(45.1)	長石・雲母	褐灰	山形 左脚部 沈線→内影刺突文	KC6-133区 縄目層下層	
168	耳飾り	[5.8]	[5.8]	2.1	(7.7)	長石・石英・雲母	橙	透かし彫り型 プリッジ部刻み	KC6-116区 下層	
169	耳飾り	[6.0]	[6.0]	2.2	(6.2)	長石・石英・雲母	明赤褐	滑車型 端部刻み 入組文	KC5-245区 下層	
170	耳栓	1.2	1.2	0.8	1.0	長石・雲母	橙	ナゲ	KC6-27区 縄目層下層	
171	土器内側	5.1	5.2	1.3	27.2	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	黒褐	後期後葉精製深鉢部片 周縁部打ち欠き	KR5-316区 下層	
172	土器内側	3.7	4.2	0.5	13.5	長石・石英	黒褐	深鉢部片 周縁部打ち欠き	KC7-113区 縄目層下層	
173	土器内側	4.2	3.9	0.8	15.2	長石・石英・赤色 粒子	褐灰	晩期前葉精製深鉢部片 周縁部打ち欠き	KC6-116区 縄目層下層	
174	土器内側	4.2	4.6	1.0	22.6	長石・石英・雲母	明赤褐	晩期前葉精製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	KC6-112区 縄目層下層	
175	土器内側	5.7	5.8	0.7	28.1	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい橙	深鉢部片 周縁部打ち欠き	KH5-39区 下層	
176	土器内側	4.4	4.5	1.0	20.2	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	黒褐	後期後葉精製深鉢部片 周縁部打ち欠き	KC6-45区 縄目層下層	
177	土器内側	4.1	4.6	0.8	17.3	長石・石英・雲母	にぶい褐	後期前葉精製深鉢部片 周縁部研磨	KC6-43区 縄目層下層	
178	土器内側	4.8	5.3	1.1	28.4	長石・石英・赤色 粒子	にぶい赤褐	晩期前葉精製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	KC5-48区 縄目層下層	
179	土器内側	4.9	5.6	1.4	34.2	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	明赤褐	晩期前葉精製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	KC5-131区 縄目層下層	
180	土器内側	4.7	4.6	0.8	17.9	長石・石英	にぶい橙	深鉢部片 有孔 周縁部研磨	KC7-310区 下層	
181	土器内側	3.3	3.2	0.7	8.2	長石・石英・針状 物質	褐灰	後期後葉精製深鉢部片 周縁部研磨	KC7-327区 縄目層下層	
182	土器内側	4.9	4.7	2.5	36.4	長石・石英	褐灰	安行2式精製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	KP6-313区 下層	
183	土器内側	4.8	4.6	0.8	19.3	長石・石英・雲母	橙	深鉢部片 周縁部打ち欠き→研磨	KC5-211区 下層	
184	土器内側	5.6	5.0	1.2	(33.6)	長石・石英	灰黄褐	安行2式精製深鉢部片 周縁部打ち欠き	KC6-21区 下層	
185	土器内側	6.2	5.2	1.3	44.6	長石・石英	にぶい橙	安行3a式精製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	KC6-44区 下層	

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	材 質	特 徴	出土位置	備 考
186	尖頭器	(4.2)	(1.2)	(0.9)	(3.6)	頁岩	本ノ葉形 基部欠損	KC6-281区 縄目層上層	PL102
187	石鎌	2.1	1.7	0.5	1.5	黒曜石	平基無葉鎌	KC5-211区 下層	PL102
188	石鎌	(2.2)	1.1	0.5	(0.8)	瑪瑙	凸基有葉鎌	KP6-312区 縄目層上層	PL102
189	石鎌	(1.8)	1.4	0.6	(1.0)	瑪瑙	平基有葉鎌 先端部・基部欠損	KC6-1区 下層	PL102
190	石鎌	2.9	1.3	0.7	1.8	頁岩	筒形 凸基有葉鎌	KC6-27区 縄目層上層	PL102
191	石鎌	2.6	1.6	0.4	1.0	チャート	四基無葉鎌	KC6-110区 縄目層上層	PL102
192	石鎌	(2.0)	1.9	0.3	(1.1)	チャート	四基無葉鎌 先端部欠損	KC6-12区 縄目層上層	PL102
193	石鎌	(3.1)	1.2	0.7	(2.0)	チャート	凸基無 基部欠損	KC7-34区 縄目層上層	PL102
194	石鎌	(2.6)	1.4	0.6	(1.5)	チャート	凸基有葉鎌 基部欠損	KC6-19区 縄目層下層	PL102
195	石鎌	2.2	1.4	0.4	0.9	チャート	凸基有葉鎌	KC7-32区 縄目層上層	PL102
196	石鎌	(2.2)	1.5	0.6	(1.6)	チャート	凸基有葉鎌 先端部・基部欠損	KC6-23区 縄目層上層	PL102
197	石鎌	(2.1)	1.3	0.7	(1.4)	チャート	凸基有葉鎌 基部欠損	KP6-38区 縄目層上層	PL102
198	石鎌	(2.7)	1.5	0.5	(1.4)	頁岩	凸基有葉鎌 先端部・基部欠損	KC6-23区 縄目層上層	PL102
199	砥石	7.6	3.6	2.2	116.9	角閃岩	磨製石斧転用 出刃部・側面敲打痕	KC5-14区 縄目層下層	PL102
200	磨石	1.96	(1.15)	3.8	(346.1)	雲母片岩	表裏面磨痕→凹痕1か所	KC6-110区 縄目層上層	
201	磨石	(9.2)	(7.1)	4.6	(466.1)	安山岩	表裏面磨痕	KH7-36区 下層	
202	磨石	8.9	6.5	4.1	310.0	デイサイト	表裏・側面磨痕	KC5-41区 縄目層下層	
203	磨石	(8.0)	(7.3)	(7.6)	(518.4)	安山岩	表裏面磨痕	KC6-110区 縄目層上層	
204	磨石	(5.9)	(6.0)	(5.3)	(R3.9)	安山岩	表裏面磨痕	KC6-112区 縄目層上層	
205	四石	1.30	6.6	3.9	546.9	變成花崗岩	表裏面磨痕→敲打痕	KC6-23区 下層	
206	砥石	5.6	4.5	4.2	103.7	砂岩	螺旋状の砥痕	KP6-39区 縄目層下層	PL102
207	砥石	3.6	4.4	3.5	53.0	砂岩	螺旋状の砥痕	KC5-48区 縄目層下層	PL102

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
208	砥石	(9.6)	(9.7)	(3.4)	(236.2)	砂岩	線状の砥痕	KC6-211区 下層	
209	砥石	(4.6)	3.4	1.7	(31.7)	砂岩	表裏面砥痕	KC5-1区x 下層	
210	砥石	(4.8)	3.2	0.9	(16.7)	砂岩	表裏・側面砥痕	KB6-315区 縄目層上層	
211	砥石	(6.7)	(3.9)	2.4	(63.7)	砂岩	表裏・側面砥痕	KC6-11区 下層	
212	垂軸	1.3	0.8	0.5	0.8	軟珉	孔径0.3～0.5cm 一方向からの穿孔 研磨整形	KC8-215区 縄目層上層	PL102
213	石棒	(9.0)	4.7	(2.0)	(111.3)	粘板岩	表面研磨痕	KC6-38区 縄目層上層	
214	石棒	(8.2)	3.7	3.0	(145.5)	粘板岩	未成品 表面敲打痕	KC6-44区 縄目層下層	
215	刺突具	(6.1)	1.0	0.8	(2.7)	獣類四肢骨	研磨整形 基部欠損	KP6-316区 縄目層下層	PL102
216	刺突具	(3.2)	0.5	0.4	(0.4)	獣類四肢骨	研磨整形 基部欠損	KIS-47区 縄目層上層	
217	牙銀	(3.0)	1.5	0.5	(1.2)	イノシシ歯	先端部欠損 一方向からの穿孔 研磨整形	KC6-15区 下層	PL102
218	骨鏃	2.5	1.0	0.3	1.2	鹿角	剥離整形	KD6-415区 下層	PL102
219	小玉	0.8	0.8	0.3	0.1	獣骨	一方向からの穿孔 研磨整形	KD6-314区 縄目層上層	PL102
220	垂軸	(2.5)	(1.4)	0.3	(0.5)	獣骨	二方向からの穿孔 孔径0.3～0.4cm 縁部に削み 研磨整形	KC6-25区 縄目層上層	PL102
221	簪	(7.0)	(1.3)	(1.2)	(4.3)	獣類四肢骨	端部欠損 研磨整形 赤彩	KC6-18区 縄目層上層	PL102
222	簪	(5.7)	(1.1)	1.0	(3.1)	獣類四肢骨	端部欠損 研磨整形	KC6-15区 縄目層下層	PL102
223	簪	(1.3)	0.6	0.5	(0.3)	獣類四肢骨	端部欠損 研磨整形	KC6-27区 縄目層下層	
224	簪	(1.5)	0.8	0.8	(0.6)	獣類四肢骨	端部欠損 研磨整形	KC5-28区 縄目層上層	
225	不明製品	(4.9)	2.2	1.2	(4.4)	獣類四肢骨	縁縁部に削み 研磨整形	KC6-16区 縄目層下層	PL102
226	貝刃	(7.7)	(5.7)	(1.8)	(29.7)	ハマグリ	腹縁部に剥離痕	KC6-113区 下層	PL102
227	貝刃	7.2	(5.0)	(1.7)	(23.0)	ハマグリ	腹縁部に連続する剥離痕	KD6-45区 縄目層下層	PL102
228	貝刃	6.5	5.1	1.7	(18.8)	ハマグリ	腹縁部に連続する剥離痕	KC5-212区 縄目層上層	
229	貝刃	5.0	4.4	1.3	(10.0)	ハマグリ	腹縁部に連続する剥離痕	KC6-113区 縄目層上層	
230	小玉	0.8	0.8	0.3	0.3	サルゴウ属	孔径0.3cm 二方向からの穿孔	KC6-213区 縄目層下層	PL102
231	小玉	0.6	0.6	0.2	0.1	サルゴウ属	孔径0.2cm 一方向からの穿孔	KC6-18区 縄目層上層	PL102
232	碧玉	(1.9)	0.6	0.7	(0.5)	ツノガイ	端部欠損 研磨整形	KC5-210区 縄目層下層	
233	垂軸	(1.7)	(2.2)	0.3	(1.0)	サルゴウ属	内端部欠損 孔径0.2cm 二方向からの穿孔 研磨整形	KC6-113区 縄目層上層	PL102
234	貝輪	7.5	(5.7)	2.3	(23.1)	サルゴウ属	未成品 打ち欠きによる穿孔後 研磨	KC6-29区 縄目層下層	PL102
235	貝輪	(8.2)	(4.7)	1.6	(11.4)	サルゴウ属	未成品 研磨整形	KC6-1区x 下層	PL102
236	貝輪	7.0	(4.7)	(1.8)	(16.2)	サルゴウ属	未成品 殻頂部～腹面打ち欠き後 研磨	KC6-34区 下層	PL102
237	貝輪	5.9	(4.5)	1.6	(13.4)	サルゴウ属	未成品 殻頂部～腹面打ち欠き後 研磨	覆土中	
238	貝輪	(5.8)	(4.3)	(1.2)	(11.7)	サルゴウ属	未成品 研磨整形	KC6-211区 縄目層上層	PL102
239	貝輪	(5.9)	(4.3)	0.5	(4.8)	サルゴウ属	未成品 研磨整形	KC6-11区 縄目層上層	
240	貝輪	(4.9)	(4.7)	1.1	(4.8)	サルゴウ属	未成品 研磨整形	KC6-13区 縄目層下層	
241	貝輪	(4.8)	(4.1)	0.9	(4.3)	サルゴウ属	未成品 研磨整形	KD6-416区 縄目層上層	
242	貝輪	(3.9)	(3.9)	1.2	(5.4)	サルゴウ属	未成品 研磨整形	KD6-416区 下層	
243	貝輪	(4.5)	(3.4)	1.3	(6.2)	サルゴウ属	未成品 研磨整形	KC6-210区 縄目層上層	
244	貝輪	(4.9)	(3.7)	0.9	(3.8)	サルゴウ属	未成品 研磨整形	KC6-18区 下層	
245	貝輪	(4.4)	(4.3)	1.0	(6.7)	サルゴウ属	未成品 研磨整形	KIS-37区 縄目層上層	
246	貝輪	(4.2)	(2.2)	0.9	(3.4)	サルゴウ属	未成品 研磨整形	KC7-110区 縄目層上層	
247	貝輪	5.7	(3.9)	1.2	(8.1)	サルゴウ属	未成品 殻頂部～腹面打ち欠き後 研磨	KC6-24区 縄目層上層	
248	貝輪	(4.3)	(4.1)	1.0	(7.8)	サルゴウ属	未成品 研磨整形	KD6-415区 縄目層上層	
249	貝輪	(4.0)	(3.9)	1.0	(4.3)	サルゴウ属	未成品 研磨整形	KD6-413区 縄目層上層	
250	貝輪	(4.6)	(2.3)	(0.7)	(3.8)	サルゴウ属	未成品 研磨整形	KC6-22区 縄目層上層	
251	貝輪	(2.5)	(4.9)	(0.6)	(3.3)	サルゴウ属	未成品 研磨整形	KC6-1区x 下層	
252	貝輪	(5.5)	(2.7)	(0.6)	(4.4)	サルゴウ属	未成品 研磨整形	KIS-315区 下層	
253	貝輪	(6.4)	(3.9)	(0.8)	(10.8)	ハマグリ	未成品 研磨整形	KD6-416区 縄目層上層	
254	有孔製品	3.3	3.0	1.0	3.2	ヤマトシジミ	孔径1.3cm 一方向からの穿孔	覆土中	
255	有孔製品	3.5	3.3	1.1	4.8	ヤマトシジミ	孔径0.5cm 一方向からの穿孔	KIS-413区 下層	

第224表 第12号斜面貝層出土貝殻集計表

腹足綱	点数			重量 (g)			備考			
アカニシ	101			3608.0						
アラムシロガイ	109			56.4						
アワビ	2			160.3						
イボニシ	6			5.9						
ウミニナ	306			241.3						
ウラジロベッコウマイマイ	1			0.3						
オオタニシ	46			150.9						
カノコガイ	206			134.7						
カワアイ	171			146.6						
カワザンショウガイ	3			2.1						
カワニナ	84			89.8						
キサゴ	13			18.5						
キセルガイ	78			36.1						
キビガイ	2			1.2						
コカモガイ	1			0.4						
チリメンカワニナ	6			6.8						
ツノガイ	12			8.4						
フメタガイ	-			21.9			破片のみ			
ネコガイ	13			10.7						
ヒロクチカノコ	44			40.7						
ヘナタリ	17			14.8						
ヘビガイ	1			2.3						
ホソオカチョウジガイ	1			0.7						
マイマイ類	19			40.7						
マテガイ	-			2.2			破片のみ			
ムギガイ	6			3.2						
ヤマダルマガイ	15			11.2						
小計	1,283			4,816.1						
二枚貝綱	左殻	右殻	左右不明	合計	左殻	右殻	左右不明	破片	合計	備考
アサガイ	4	1	-	5	19.4	1.4	-	35.9	56.7	
アサリ	2	8	-	10	4.2	14.0	-	16.3	34.5	
イシガイ	126	106	77	309	968.9	797.8	218.2	1,999.9	3,174.8	
イタダガキ	-	-	1	1	-	-	18.1	1.2	19.3	
イタダガイ	-	-	4	4	-	-	11.2	9.9	21.1	
ウナムラサキ	-	-	-	-	-	-	-	21.7	21.7	破片のみ
ウネナシトマヤガイ	1	3	-	4	6.8	4.0	-	11.5	22.3	
オオノガイ	4	3	-	7	4.0	22.0	-	43.7	69.7	
オキシジミ	102	92	-	194	311.1	276.1	-	446.6	631.8	
カガミガイ	-	-	1	1	-	-	-	3.7	5.7	
ゴイサギ	-	-	-	-	-	-	-	0.5	0.5	破片のみ
サルボウ	193	172	5	370	802.2	667.9	6.7	439.0	1,915.8	
シオフキ	1,015	908	112	2,035	1,760.0	1,500.9	107.1	3,608.8	3,758.8	
チョウセンハマグリ	2	2	2	6	63.0	29.1	42.0	131.2	265.3	
ナミマガシラ	-	-	2	2	-	-	2.2	2.4	4.6	
ハイガイ	3	2	-	5	14.9	4.9	-	16.0	35.8	
バカガイ	-	-	-	-	-	-	-	2.7	2.7	破片のみ
ハマグリ	12,108	12,154	179	24,441	32,747.5	32,835.8	120.2	12,792.8	78,496.3	
パンケイガイ	-	-	-	-	-	-	-	2.0	2.0	破片のみ
マサキ	-	-	2	2	-	-	-	4.9	38.5	43.4
マツカサガイ	1,313	1,082	626	3,021	1,631.9	1,320.7	382.1	1,498.7	4,743.4	
ヤマトシジミ	537,943	519,675	54,183	1,111,801	951,567.5	931,500.4	31,634.4	80,466.2	1,995,228.5	
小計	552,816	534,206	55,194	1,142,216	989,891.4	969,060.0	32,552.8	97,045.5	2,088,554.7	
総合計	1,143,481			2,083,578						

(6) 遺物包含層

当遺跡は、東側に桜川低地へ延びる谷津が位置し、北部と南部に谷津から派生する小支谷が入り込んでおり、これらの台地斜面部や谷部には遺物包含層が形成されている。これまでに、北部では平成19年度の調査A区で第1～3号トレンチ（『第325集』所収）、南部では平成19年度の調査B区で第1～7号トレンチ（『第325集』所収）、平成21年度の調査B区で西部包含層・東部包含層（『第364集』所収）、平成23年度の調査E区で南部包含層（『第368集』所収）、東部では平成22年度の調査G区で北部を第4号遺物包含層、南部を第5号遺物包含層（『第397集』所収）として、それぞれ調査が行われている。

今回の調査では、調査K・L・P区が平成22年度の調査G区に隣接しており、北東側の調査P区は第4号遺物包含層、南東側の調査K区は第5号遺物包含層とし、東側の調査L区は、両包含層が合流して不可分な状況であったため、第4・5号遺物包含層と呼称した。また、調査C区で確認した遺物包含層は、調査B・K区で確認した小支谷の延長部分にあたることから、一連の谷の覆土として捉え、第5号遺物包含層とした。

本報告では、台地上の調査C区と斜面部から低地部にかけて連続する調査K・L・P区に分けて記述し、調査K・L・P区については、堆積状況に触れた上で、層位（第I～V層）ごとに、第4号遺物包含層（P区）、第4・5号遺物包含層（L区）、第5号遺物包含層（K区）の順に解説する。

ア) 調査C区

第5号遺物包含層（第280～284図 第225・226表 PL103）

位置 調査C区の南部、標高24～26mの台地上から台地縁辺部にかけて位置している。

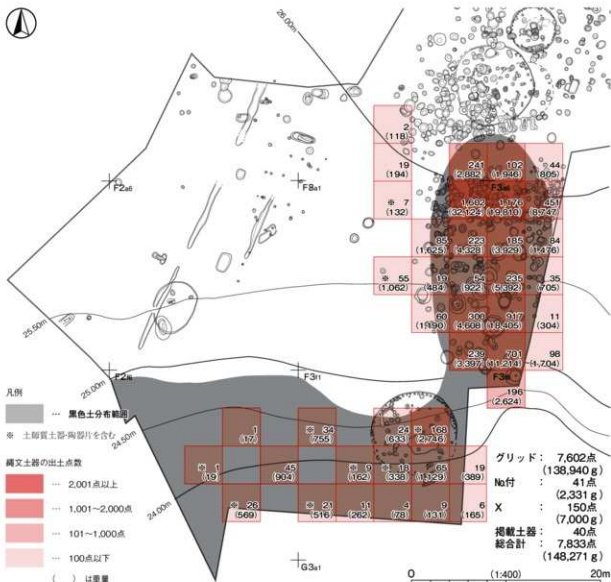
確認状況 調査区南部のF2f6～F3f5区には、調査B・K区から続く東西方向の谷が延びており、黒褐色を呈する砂質土が堆積している。また、調査区南東部のE3f5～F3f6区には、東西方向の谷から北方向に派生した小谷が入り込んでおり、遺構覆土と近似した暗褐色土が堆積している。暗褐色土は、当初、竪穴建物跡や土坑群、斜面貝層等が重複していると捉えて個別に調査したが、調査の進行に伴い、小谷の覆土と判断した。

重複関係 調査区南部の谷は、覆土が第31号竪穴建物跡の上部に堆積している。調査区南東部の小谷は、覆土の上部に第2号斜面貝層が形成されており、第1613～1617・1619・1628号土坑に掘り込まれている。その他の土坑群については、谷地形が埋没する過程で形成されたと考えられるが、明確な新旧関係は不明である。

調査方法 遺構に伴わない遺物について、4m四方の基本グリッドごとに取り上げた。

分布範囲と堆積状況 調査区南部の谷は、東方向（S-83°-E）に延びており、調査区域は谷の北岸斜面部にあたる。確認できた規模は、長さ382m、幅11.4～22.0mで、東・西部及び南部は調査区域外へ延びている。深さは38～158cmである。覆土は、黒褐色を呈する砂質土で、基本層序の遺物包含層の第I層に相当している。黒褐色土の下部では常総粘土層が露出しており、遺物包含層の第II～V層に相当する土層やローム層は確認できなかったことから、黒褐色土が堆積する以前は、自然営力による土砂の流出が優勢であったと考えられる。調査区南東部の小谷は、南方向（S-11°-E）に延びている。E3f5区付近を谷頭として、南北約25m、東西約13mの範囲に広がり、南部の谷に合流している。深さは最深部で約40cmである。覆土は、ロームや焼土、炭化物の粒子を少量含む暗褐色土である。

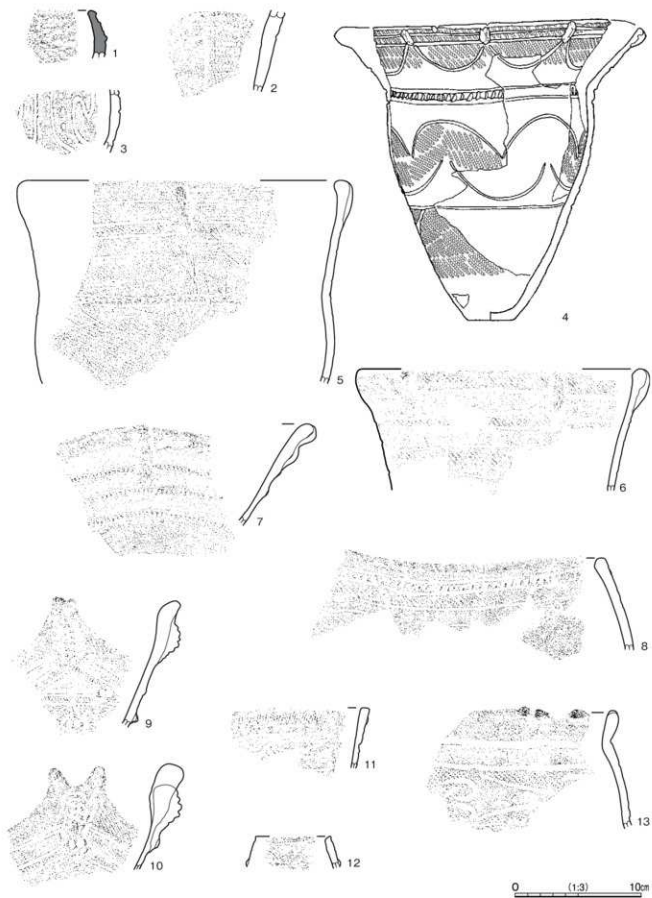
遺物出土状況 縄文土器7,833点（148,271g）、土師器3点（坏（古埴）1、甕2）、須恵器1点（甕）、土師質土器12点（小皿）、陶器6点（碗1、鉢4、瓶1）、土製品72点（耳飾り1、土偶3、土器片鍾1、土器片円盤67）、石器・石製品23点（尖頭器1、磨石12、敲石1、凹石7、砥石1、石剣1）、剥片19点（頁岩1、黒曜石3、チャート15）、瓦4点（平瓦）が出土している。調査区南部の谷からは、縄文土器片の他、近世以



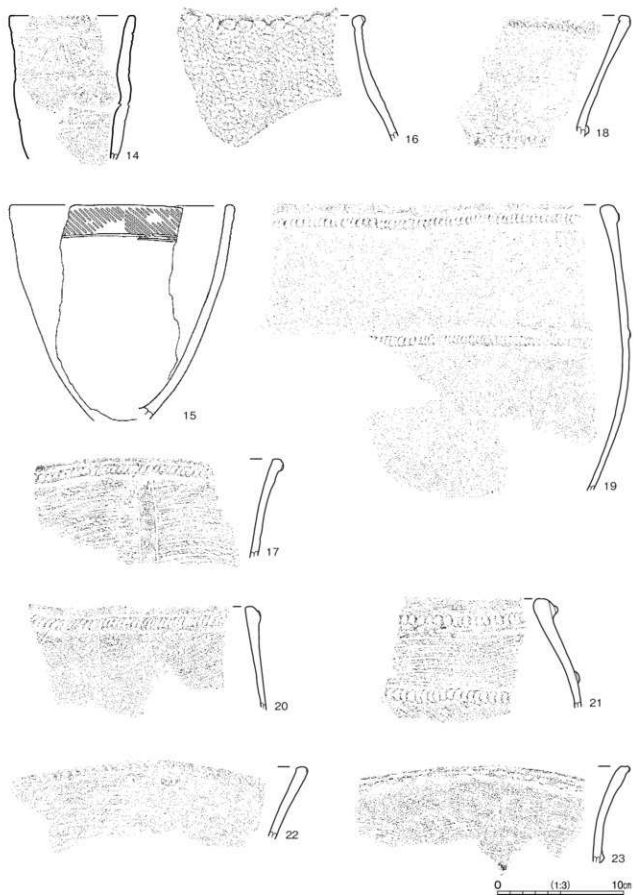
第 280 図 第 5 号遺物包含層 (C 区) 実測図

降の陶器片や瓦が出土している。遺物量は少なく、いずれも摩滅した細片である。一方、調査区南東部の小谷からは、前期前半の黒浜式や称名寺 1 式～安行 3 c 式の縄文土器片などが出土しており、曾谷式～安行 3 b 式のもの为主体である。谷頭付近の F 3 a5・a6 区に集中しており、接合関係が認められる大型破片もあることから、直接投棄されたものと考えられる。

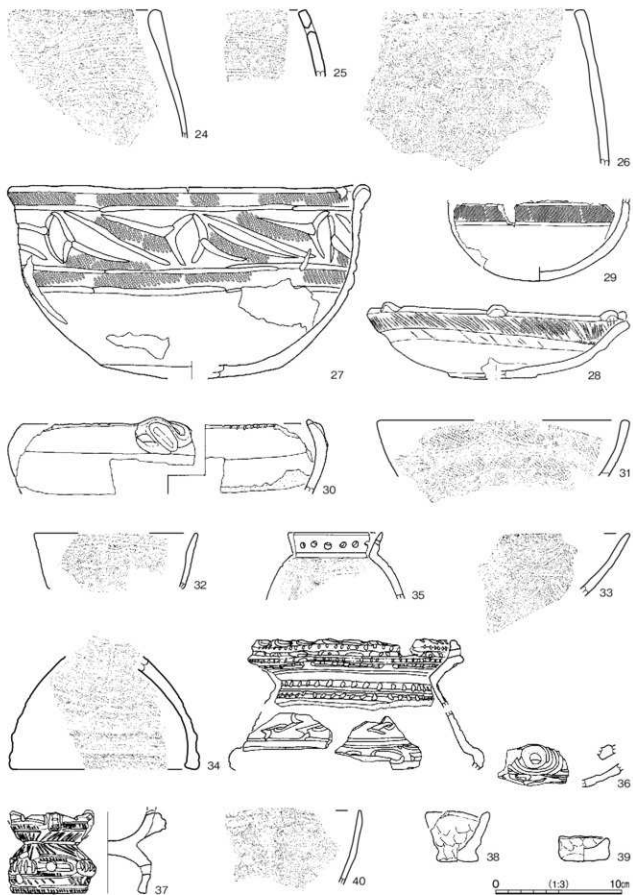
所見 調査区南部の谷は、堆積状況や出土遺物から近世以降に堆積したと考えられ、古い土層は流出している状況がみられた。調査区南東部の小谷は、重複している第 1357・1373・1437・1464・1565・1578・1598・1610・1617 号土坑の壁面 (PL24・26～28・30～32・34 参照) で、関東ローム層や常総粘土層が急勾配で傾斜している様子が観察でき、形成時期が第四紀更新世にさかのぼる。出土土器の時期は、後期後葉～晩期前葉 (曾谷式～安行 3 b 式) のものが混在していることから、集落が営まれていた縄文時代にも谷地形が存在し、土器等の廃棄行為を伴いながら埋積が進行したと考えられる。



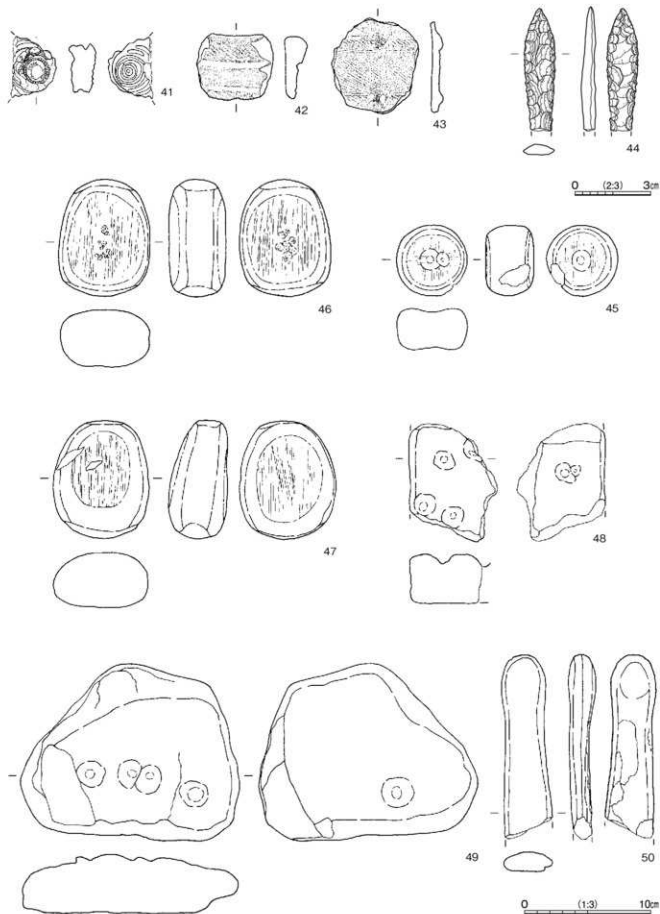
第 281 图 第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土遺物実測図 (1)



第 282 图 第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土遺物実測図 (2)



第 283 图 第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土遺物実測図 (3)



第 284 图 第 5 号遗物包含层 (C 区) 出土遗物实测图 (4)

第225表 第5号遺物包含層(C区)出土未掲載土器集計表

層	第1層		第2層		第3層		第4層			第5層			第6層					第7層				第8層							
	前期	後半式	前半式	後半式	前半式	後半式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式	加飾付式
点数	19	1	13	12	17	8	4	1	26	12	21	17	8	15	3	1	2	4											
重量(g)	330	35	384	863	368	117	144	19	904	618	843	780	200	255	80	28	43	51											

第226表 第5号遺物包含層(C区)出土遺物一覧(第281~284図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴はか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(3.8)	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	橙	普通	形状・口縁部に3本の長方形文・RL織文	F36区	前期中葉
2	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石美・雲母	灰褐	普通	脚状口縁部による判別可能な十字文	F35区	終末寺式
3	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	橙	普通	光沢剥離文による「J」字文	F36・c7区	終末寺式
4	縄文土器	深鉢	[23.6]	23.3	3.8	長石・石美	灰黄褐	普通	口縁部2段のRL光沢織文帯→縦帯付着 胴部RL光沢の縦帯文 胴部RL光沢の交互縦帯文	F36区	10% PLIG 常行1式
5	縄文土器	深鉢	[26.0]	(16.0)	-	長石・石美・赤色粘土	にぶ・暗	普通	口縁部2段のRL隆起帯織文 胴部RL光沢織文 胴部RL光沢の交互縦帯文 内面書き	F35区	70% PLIG 常行1式
6	縄文土器	深鉢	[21.6]	(10.2)	-	長石・石美・赤色粘土	にぶ・暗	普通	口縁部2段のRL隆起帯織文 胴部RL光沢織文 胴部RL光沢の交互縦帯文 内面書き	F35区	20% PLIG 常行1式
7	縄文土器	鉢	-	(8.1)	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	橙	普通	口縁部に4段の筋み隆帯と2段の縦帯 内面書き	F35区	常行1式
8	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	橙	普通	風船 口縁部に2段のRL光沢織文帯 胴に押し引き状の刺突文 胴部RL光沢の縦帯文 内面書き	F36・c7区	10% PLIG 常行1式
9	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	長石・石美・雲母	黒褐	普通	口縁部2段の筋み隆帯による三角形区画文 胴部RL光沢の交互縦帯文 胴部RL光沢の交互縦帯文 胴部RL光沢の交互縦帯文	F35区	常行2式
10	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	橙	普通	口縁部に筋み隆帯による三角形区画文 胴部RL光沢の交互縦帯文	F35区	常行2式
11	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	橙	普通	口縁部に1つの筋み隆帯と2個1単位の筋み隆帯と2個1単位の筋み隆帯	F35・c6区	常行第4段階
12	縄文土器	深鉢	[6.0]	(2.6)	-	長石・石美・雲母	にぶ・暗	普通	ミニチュア 風船 口縁部2段 胴部にLR光沢の波状縦帯文	F36区	常付式
13	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・石美・雲母	にぶ・暗	普通	口縁部2段の筋み隆帯による三角形区画文 胴部RL光沢の交互縦帯文	F36区	常行3b式
14	縄文土器	深鉢	[10.0]	(11.3)	-	長石・石美	灰黄褐	普通	小型 口縁部筋み隆帯と2段の筋み隆帯 無文部削れているが全体的に内面ナゲ	F36区	10% PLIG 常行3b式
15	縄文土器	深鉢	[18.0]	(17.1)	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	にぶ・暗	普通	口縁部RL織文帯 胴部側付 内面ナゲ	F36区	10% PLIG 常行3b式
16	縄文土器	深鉢	-	(9.1)	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	橙	普通	外面LR織文・口縁部縦帯付 内面書き 口縁部に1段	F35区	常行3b式
17	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	にぶ・暗	普通	LR織文・口縁部縦帯付・胴部縦帯区画・区画内書き 内面ナゲ 口縁部に1段	F36区	後期後葉
18	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石美・雲母	にぶ・暗	普通	口縁部筋み隆帯・胴部縦帯の条線・縦帯付 内面ナゲ	F35区	後期後葉
19	縄文土器	深鉢	-	(22.7)	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	橙	普通	口縁部筋み隆帯・胴部縦帯の条線・縦帯付・胴部縦帯区画・区画内書き 内面ナゲ	F35区	10% PLIG 後期後葉
20	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	にぶ・暗	普通	口縁部筋み隆帯・胴部縦帯の条線・縦帯付 内面ナゲ	F35区	後期後葉
21	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石美・雲母	にぶ・暗	普通	口縁部筋み隆帯・胴部縦帯の条線・縦帯付 内面ナゲ	F36区	8割と8割目
22	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石美・雲母	にぶ・暗	普通	口縁部筋み隆帯・胴部縦帯の条線・縦帯付 内面ナゲ	F35区	後期後葉
23	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石美・雲母	にぶ・暗	普通	口縁部筋み隆帯・胴部縦帯の条線・縦帯付 内面ナゲ	F36区	後期後葉
24	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	長石・石美・雲母	にぶ・暗	普通	口縁部筋み隆帯・胴部縦帯の条線 内面ナゲ	F36区	後期前葉
25	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	橙	普通	口縁部筋み隆帯の条線 焼成後穿孔1か所 内面ナゲ	E35区	後期後葉
26	縄文土器	深鉢	-	(12.3)	-	長石・石美・雲母	橙	普通	口縁部筋み隆帯 胴部縦帯の側付 内面ナゲ	F35区	後期前葉
27	縄文土器	鉢	28.2	15.4	14.4	長石・石美・雲母・赤色粘土	にぶ・暗	普通	口縁部RL織文帯 胴部RL光沢の入り組み三文文 胴部・底面側付 内面ナゲ SM 2.10と接合	F36区	10% PLIG 常行3b式
28	縄文土器	浅鉢	30.8	6.2	6.9	長石・石美・雲母	にぶ・暗	普通	口縁部に7単位の筋み隆帯 口縁部RL織文・細帯 洗文 口縁部下段 胴部側付 内面書き	F34・c6区	70% PLIG 常行3b式
29	縄文土器	鉢	-	(6.5)	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	橙	普通	胴部にLR光沢織文帯 胴部側付 内面ナゲ	F36区	20% PLIG 常行3b式
30	縄文土器	浅鉢	[23.0]	(5.7)	-	長石・石美・赤色粘土	灰黄褐	普通	口縁部筋み隆帯 口縁部内側 書き C字状の筋み隆帯付 胴部側付 内面書き	F36・c7区	10% PLIG 長期中葉
31	縄文土器	浅鉢	[19.6]	(4.5)	-	長石・石美・雲母	黒褐	普通	口縁部にRL光沢織文帯 胴部RL光沢の交互縦帯文 内面書き	F35区	10% PLIG 前期前葉
32	縄文土器	浅鉢	[13.0]	(4.4)	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	橙	普通	口縁部に洗文で入り組み文 無筋目光沢 内面ナゲ	F35区	20% PLIG 常行3b式
33	縄文土器	浅鉢	-	(5.0)	-	長石・石美	灰黄褐	普通	2本1単位の洗文で2段の縦帯 内面ナゲ	F35区	常行3b式
34	縄文土器	台付鉢	-	(8.9)	[14.8]	長石・石美・雲母・赤色粘土	にぶ・暗	普通	台部 下部第5条のRL隆起帯織文 無文部筋み隆帯付 内面ナゲ	F35区	10% PLIG 常行1式
35	縄文土器	壺	[7.6]	(5.6)	-	長石・石美・雲母	黒褐	普通	外筒に口縁部に6か所の貫通孔 胴部RL光沢の筋み隆帯 内面ナゲ	F36区	10% PLIG 常行3b式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
36	縄文土器	注口土器	[158]	(116)	-	長石・石英・赤色 粘土	橙	普通	口縁部より突起連体気泡文・通かし孔5孔・胴部・ 胴部に直線化した玉串状文・胴・体部気字状文	F 3 a6 区	29% PL103 大福C1式
37	縄文土器	甕形付注 口土器	-	(66)	60	長石・石英	黒褐色	普通	胴部一帯部・胴底帯と縦長帯で棒状文・胴部下 一帯部上端斜条線	F 3 c5 区	67% PL103 安行2式
38	縄文土器	ミニチュア 土器	[50]	4.0	[32]	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	指図によるナデ整形	F 3 c6・c7 区	50%
39	縄文土器	ミニチュア 土器	39	20	38	長石・石英・針状 物質	褐色	普通	指図によるナデ整形	F 3 c5 区	100%
40	縄文土器	頸環土器	-	(59)	-	長石・石英	にぶい褐色	普通	口縁部カット 外面縦位の傾り 内面ナデ	F 3 a7 区	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
41	土偶	(5.0)	(3.6)	(2.1)	(35.3)	長石・石英	にぶい黄褐色	ミニスタ形 左耳部 瘤と瘤かい筋みで耳飾り表現 背面は多重凹文	F 3 a6 区	
42	土器内筒	5.3	6.1	1.8	51.0	長石・石英・雲母	黒褐色	安行2式平縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	F 3 c5 区	
43	土器内筒	7.3	7.0	1.0	44.4	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	にぶい赤褐色	安行2式深縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	F 3 c5 区	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
44	尖頭器	(4.9)	1.3	0.6	(3.8)	黒色ガラス貫雲山岩	両面押圧剥離	F 3 a6 区	PL103
45	磨石	5.6	5.7	3.8	164.9	安山岩	表裏面ざらつきのある磨り面・凹痕 周縁ざらつきのある摩耗痕 剥離	F 3 c5 区	
46	磨石	9.3	7.3	4.5	462.5	安山岩	表裏面光沢のある磨り面・縦打痕 上下端部ざらつきのある摩耗痕 剥離	E 3 c7 区	
47	磨石	9.4	7.7	4.6	493.4	安山岩	表裏面ざらつきのある磨り面 上下端部ざらつきのある摩耗痕	覆土中	
48	凹石	(9.4)	(7.1)	3.9	(261.8)	安山岩	表裏面磨り面・凹痕 剥離	F 3 c5 区	
49	凹石	14.2	17.5	4.6	1674.1	雲母片岩	表裏面に凹痕	F 3 g3 区	
50	石剣	(14.6)	(4.1)	2.2	(172.8)	緑泥片岩	表裏・側面に縦打痕残す	F 3 c5 区	PL103

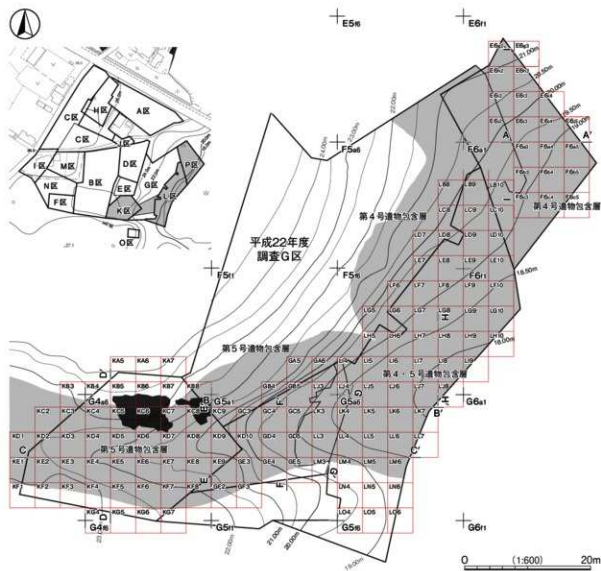
イ) 調査K・L・P区

い) 調査方法 (第285図)

調査K区は、中央部を東西方向に延びる谷が通っており、4m四方の基本グリッドが谷底の最深部を包括するように、既設の基本グリッドを北へ2m移設して調査を実施した。グリッドの呼称は、調査K区の北西部 (F 4 j3区)の北西隅から北へ2mの点を起点に、アルファベットと算用数字を用いて、北から南へA, B, C…、西から東へ1, 2, 3…とし、調査K区の「K」を付して、「KA1区」のように呼称した。掘り込みは、4m四方の基本グリッドごとに人工層位で15cmずつ掘り下げるグリッド法を採用し、上層から1x, 2x…と呼称して出土遺物を回収した。表土を除去した第I層から人力掘削で掘り込みを開始し、第IV層まで行った。第IV層は上部から約30cmまで掘り込んだところで、遺物がほとんど出土しなくなったことから調査を終了した。

調査L区は、調査K区の東側に位置し、調査K区から延びる谷が調査区南部を通っていることから、調査K区と同様、既設の4m四方の基本グリッドを北へ2m移設して調査を実施した。グリッドの呼称は、F 5 b3区)の北西隅から北へ2mの点を起点とし、調査L区の「L」を付して、「LA1区」のように呼称した。調査K区の調査成果から、第I・II層が中世以降の新しい堆積土と判断し、第III層の上面付近まで重機で除去作業を行った。第III層の検出作業で出土した遺物は第II層に帰属するものとし、第V層まで調査を行った。

調査P区は、調査L区の北東側に位置している。旧調査区のトレンチ等により、調査L区との境界が連続しなかったことから、既設の基本グリッドを使用した。調査K区の調査成果から、第I・II層は新しい堆積土と判断し、第III層の上面付近まで重機で除去作業を行った。第III層の検出作業で出土した遺物は第II層に帰属するものとし、第IV層まで調査を行った。第IV層は上部から約30cmまで掘り込んだところで、遺物がほとんど出土しなくなったことから調査を終了した。



第 285 図 調査K・L・P区グリッド設定図

ii) 堆積状況 (第286～290図)

調査K・L・P区では、台地斜面部から低地部にかけて遺物包含層が形成されており、第I～V層に大別できる。ここでは、各層の特徴について述べる。

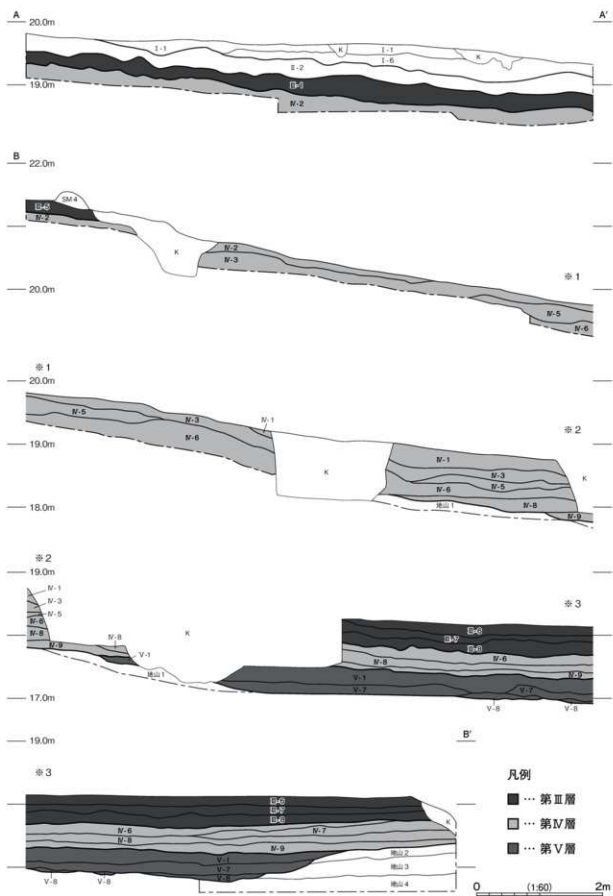
第I層 現代の耕作土の直下で確認できる。黒褐色を呈する砂質土で、ローム粒子を少量含み、粘性は普通で、斜面部の上位ではやや締まりがある。層厚は、8～56cmである。摩滅した縄文土器片や近世以降の陶磁器類が出土し、出土量は微量である。新しい時代の堆積土と判断し、調査L・P区では調査対象から除外した。

第II層 暗褐色を呈する砂質土で、ローム粒子を微量含み、粘性・締まりはともに普通である。層厚は、調査K区の谷部で22～52cmである。摩滅した縄文土器片と古墳時代前期の土師器、奈良～平安時代の土師器と須恵器、中世の土師質土器と陶器などが出土しており、出土量は微量である。新しい時代の堆積土と判断し、調査L・P区では人力掘削による調査対象から除外した。

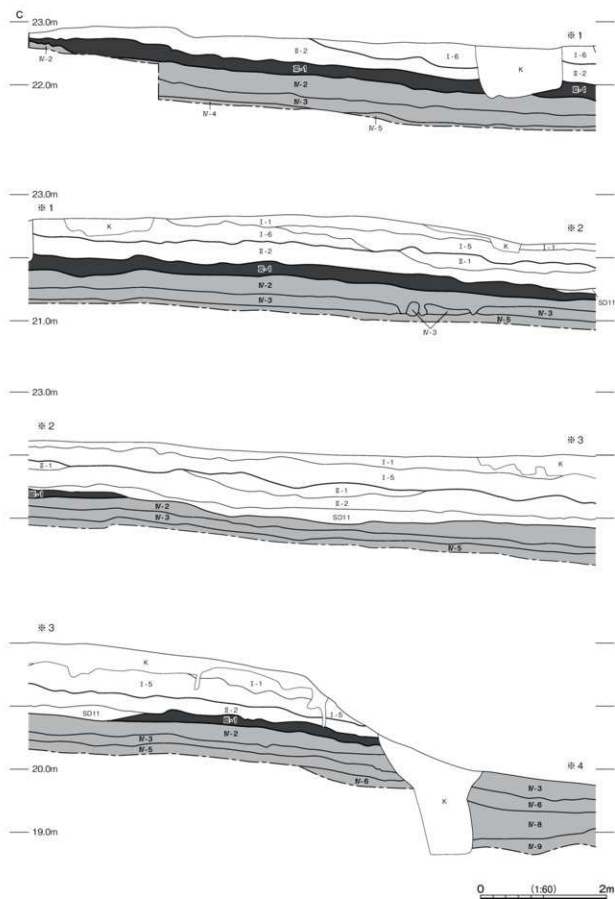
第III層 黒色を呈する粘質土層を主体とし、ローム粒子を微量含み、粘性はやや強く、締まりは普通である。調査K・P区の斜面部や谷部では層厚18～39cmで、第IV層の旧地形を30cm前後の層厚で覆っている。調査K区の第12号斜面貝層の周辺には、後世に流出したと考えられる混貝土層(第III～3層)が確認できた。また、第4号斜面貝層の下部には、ほぼ同質の黒褐色粘質土(第III～5層)が認められ、包含層の形成過程において貝層が形成されたことを示している。調査L区の低地部では層厚36～58cmで、標高が低くなるにしたがって層厚が厚くなっている。土層は3～5層に細分でき(第III～6～9層)、砂粒が含まれ、粘性がより強くなり、締まりが弱くなることから、水成堆積の影響を受けていると考えられる。遺物は、縄文時代晩期の縄文土器片が中心で、出土量は非常に多く、特に、下位の第IV層との層界付近に集積した状態で出土している。

第IV層 10層に細分でき、上位では褐色を呈する粘質土層で、粗～細砂を少量、ローム粒子と焼土粒子、炭化粒子を微量含んでいる。下位では、酸化した暗褐色粘質土やグライ化した灰黄褐色～灰色粘質土などが観察でき、層中には管状や帯状に鉄分の沈着があり、水成堆積の影響がみられる。層厚は20～122cmで、斜面部から低地部へと移行する土層断面F-F'ライン付近が最も厚く、低地部では第III層の浸食を受けている。遺物は後期初頭～晩期前葉の縄文土器片などが出土しており、第III層との層界付近に遺物が集積しているが、それより下位では少量で、下位ほど遺物量が少なくなる。調査K・P区では、本層の上部約30cmについて人力掘削による調査を行い、遺物がほとんど出土しなくなった段階で調査を終了した。

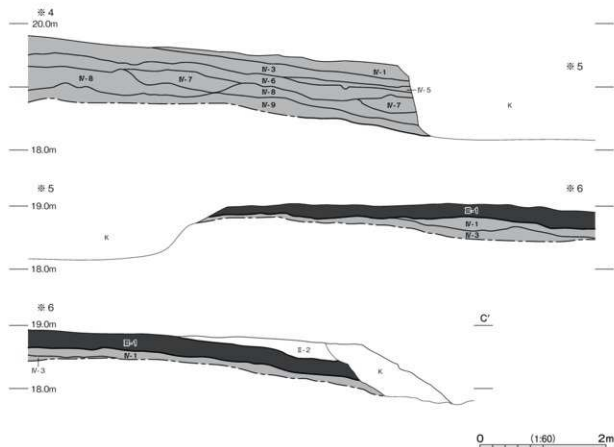
第V層 調査L区の低地部で確認した土層で、8層に細分できる。上位には植物遺体を多量に含む黒色系の粘質土と黄褐～黄灰色の細砂が互層状に堆積しており、下位には黒褐色を呈する粘土層が堆積している。底面の砂礫層からは地下水の湧水が認められ、各層とも含水率が非常に高い状態であった。珪藻化石分析(「第3章第4節 自然科学分析 4」参照)により、一時的に砂などが流れ込む湿地の状態で、埋積が進むにつれて、次第に乾燥した状態へ変化していることが明らかになっている。層厚は7～87cmで、標高が低くなるにしたがって層厚が厚くなっている。遺物は、後期前葉の縄文土器片や石器類が多量に出土しているほか、地下水の影響により消失を免れた漆器や木製品、編組製品、自然木や種子類が出土している。



第 286 图 第 4 号遗物包含层 (P 区), 第 4·5 号遗物包含层 (L 区), 第 5 号遗物包含层 (K 区) 实测图 (1)



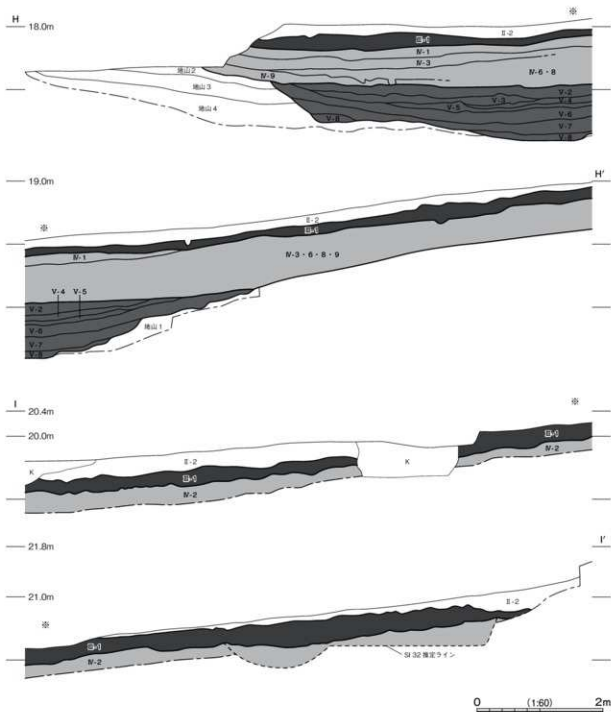
第 287 图 第 4 号遗物包含层 (P 区), 第 4·5 号遗物包含层 (L 区), 第 5 号遗物包含层 (K 区) 实测图 (2)



土層解説

- | | |
|--|---|
| I-1 黒 褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量 (漸移層) | N-1 褐 色 粘質土、細礫～細砂少量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量、層中に管状の鉄分沈着少量 |
| I-2 黒 褐色 ロームブロック少量 | N-2 灰 褐色 粘質土、細砂少量、草層との境界に土器片多量 |
| I-3 暗 褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・破砕貝微量 | N-3 灰褐～灰黄褐色 粘質土、粗～細砂、炭化粒子少量、ローム粒子・焼土粒子微量、層中に管状、下部に管状の鉄分沈着 |
| I-4 混 貝土層 黒褐色土主体、混貝率10% (ヤマトシジミ主体、破砕率70%)、ローム粒子少量、焼土粒子微量 | N-4 褐 灰色 粘質土、粗～細砂中量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| I-5 黒 褐色 ロームブロック・焼土粒子・破砕貝微量 | N-5 黄灰～灰黄色 粘質土、粗～細砂少量、細礫微量、下部に管状の鉄分沈着 |
| I-6 黒 褐色 ロームブロック少量 | N-6 黄 灰色 粘質土、炭化粒子少量、細砂微量 |
| II-1 黒 褐色 砂質土、ローム粒子少量 | N-7 灰 色 粘質土、細礫微量 |
| II-2 暗 褐色 砂質土、ローム粒子微量 | N-8 灰 色 粘土、炭化粒子・細礫微量 |
| III-1 黒 褐色 粘質土、ローム粒子微量、吉野との境界に土器片多量 | N-9 灰 色 粘土、細礫～細砂少量、植物遺体微量 |
| III-2 黒 褐色 粘質土、ローム粒子微量 | N-10 暗 灰色 粘土、植物遺体少量、粗～細砂の層層を挟む |
| III-3 混 貝土層 黒褐色土主体、混貝率40% (ヤマトシジミ主体、ハマグリ・軟骨微量、破砕率20%)、炭化物・焼土粒子微量 | V-1 黒 色 粘質土、植物遺体多量、細砂少量 |
| III-4 灰 褐色 粘質土、ローム粒子少量 | V-2 黒 褐色 粘質土、粗～細砂少量 (分析資料⑤-1) |
| III-5 黒 褐色 粘質土、ローム粒子・焼土粒子微量 | V-3 オリーブ黒色 粘質土と黄褐色細礫～細砂の互層、下部に鉄分沈着 (分析資料⑤-2) |
| III-6 黒 褐色 粘質土、粗～細砂少量、ローム粒子・細礫微量 | V-4 灰 色 粘質土、植物遺体多量、細砂微量 (分析資料⑤) |
| III-7 黒 褐色 粘質土、ローム粒子・細礫～細砂微量 | V-5 黄 灰色 細砂と粘質土の互層、植物遺体中量 |
| III-8 暗 灰色 粘質土、細砂微量 | V-6 暗 褐色 細砂混じり粘質土、植物遺体多量 (分析資料⑤) |
| III-9 黒 褐色 粘質土、細砂微量、鉄分沈着 | V-7 黒 色 粘質土、植物遺体中量、細砂少量、細礫微量 |
| | V-8 黒 褐色 粘土、細砂・植物遺体少量、細礫微量 (分析資料⑤) |
| | 地山1 灰 黄色 細礫～粗砂混じり粘土 |
| | 地山2 暗 灰色 粘質土、粗～細砂少量、細礫微量 |
| | 地山3 オリーブ黒色 粘質土、粗～細砂少量 |
| | 地山4 灰 色 粘土、細礫～細砂少量 |
| | 地山5 にぶい黄褐色 粗～細砂混じり粘質土 (常態粘土層への漸移層) |

第288図 第4号遺物包含層 (P区)、第4・5号遺物包含層 (L区)、第5号遺物包含層 (K区) 実測図 (3)



第290図 第4号遺物包含層 (P区), 第4・5号遺物包含層 (L区), 第5号遺物包含層 (K区) 実測図 (5)

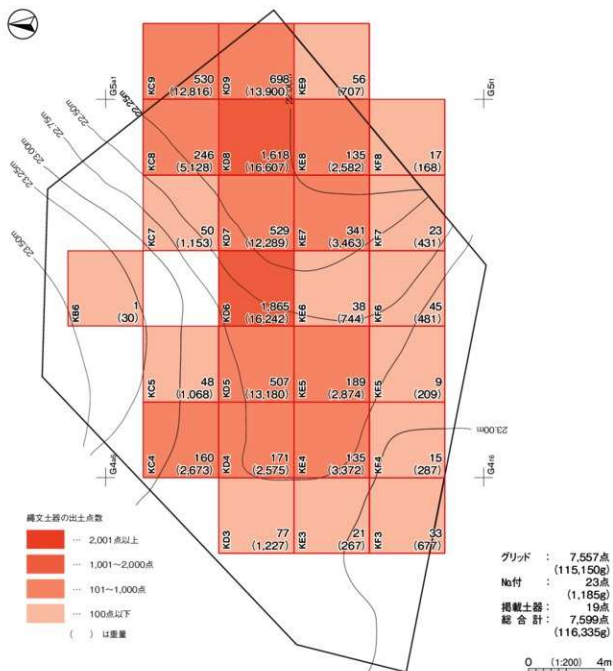
iii) 第1層

第5号遺物包含層 (第291～294図 第227・228表 PL52・104)

位置 調査K区のG-4a6～G-5e1区, 東西方向に延びる谷部に位置し, 確認面の標高は220～235mである。

重複関係 第5号遺物包含層の第Ⅱ層の上部に形成されており, 現代の耕作土が上部に形成されている。

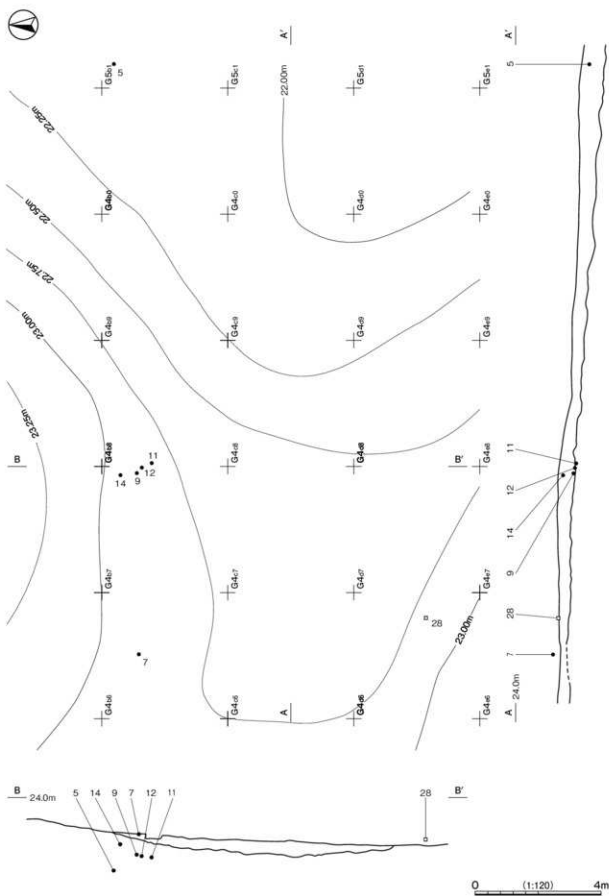
分布範囲 調査区域のほぼ全域に広がっている。中央部に谷の最深部が通っており, 東方向 (S-87°-E) へ延びている。



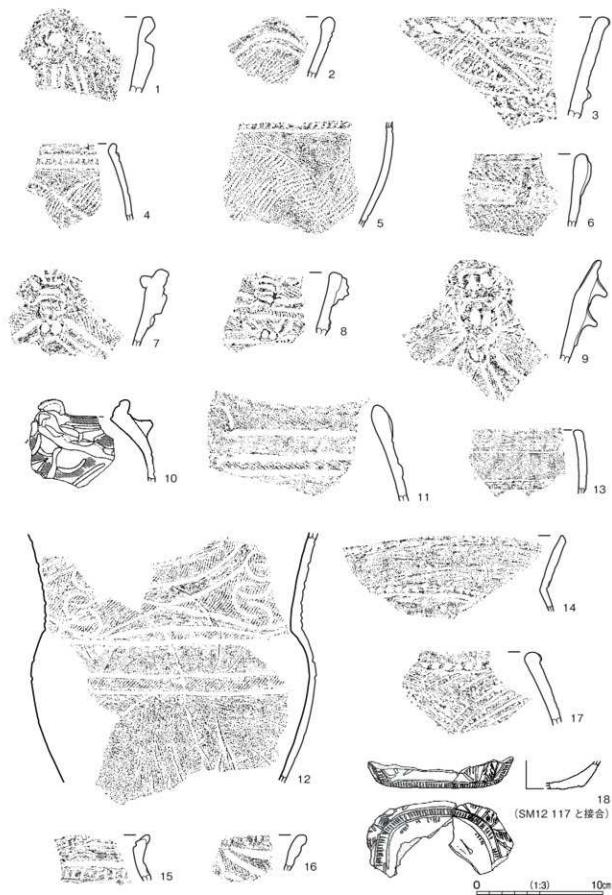
第 291 図 第 5 号遺物包含層第 1 層実測図 (1)

遺物出土状況 縄文土器 7,599 点 (116,335 g)、土師器 1 点 (高坏)、須恵器 5 点 (坏 1、蓋 2、甕 2)、土師質土器 9 点 (小皿 8、内耳鍋 1)、陶器 1 点 (鉢)、磁器 3 点 (碗 2、瓶 1)、土製品 11 点 (土偶 6、土版 1、土器片円盤 4)、石器・石製品 19 点 (石鏃 1、磨製石斧 2、石皿 1、磨石 9、石錘 1、砥石 4、石棒 1)、剥片 36 点 (頁岩 2、黒曜石 6、瑪瑙 3、チャート 21、石英 1、緑色片岩 3)、石核 3 点 (チャート)、瓦 1 点 (平瓦)、骨 695.4 g が出土している。いずれも磨減した細片で、疎らに散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土遺物から近世以降と考えられる。



第 292 图 第 5 号遗物包含层第 1 层实测图 (2)



第 293 图 第 5 号遗物包含层第 1 层出土遗物实测图 (1)



第 294 图 第 5 号遺物包含層第 I 層出土遺物実測図 (2)

第 227 表 第 5 号遺物包含層第 I 層出土未掲載土器集計表

期	第 3 層		第 4 層		第 5 層			第 6 層			第 7 層			第 8 層		第 9 層		
	姓名寺式 1式	姓名寺式 2式	堀之内 1式	堀之内 2式	加賀利 1式	加賀利 2式	加賀利 3式	安行 1式	安行 2式	安行 3a式	安行 3b式	安行 3c式	磯山 1式	前溝式	地盤 埋没	沈埋文	刺文	滑文
点数	1	1	21	13	3	7	7	8	24	28	5	30	1	6		204	161	306
重量 (g)	33	31	535	240	34	127	167	282	575	695	98	410	27	45		2,777	2,140	4,034

第 228 表 第 5 号遺物包含層第 I 層出土遺物一覧 (第 293・294 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(60)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面沈埋 内面ナツ	K C 9 区	堀之内 1 式
2	縄文土器	深鉢	-	(49)	-	長石・石英・赤色 粒子	灰褐色	普通	外面沈埋→刺文→縄文 LR 内面磨き	K C 8 区	加賀利 B 3 式
3	縄文土器	深鉢	-	(80)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	外面縄文 LR→赤線→縁彫刻付 内面磨き	K F 4 区	後期前～中葉
4	縄文土器	深鉢	-	(61)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐色	普通	外面沈埋→刺文→縄文 LR→無文部磨き 内面磨き	K E 8 区	管付式
5	縄文土器	深鉢	-	(83)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	外面沈埋→刺文→縄文 LR→無文部磨き 内面磨き	K C 9 区	後期後葉
6	縄文土器	深鉢	-	(58)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	褐色	普通	外面彫刻付→沈埋→縄文 LR→無文部磨き 内面磨き	K E 6 区	安行 1 式
7	縄文土器	深鉢	-	(61)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面隆起帯幅沈埋→縄文 LR・筋み→彫刻付→無文部磨き 内面磨き	K C 4 区	安行 2 式
8	縄文土器	深鉢	-	(50)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	外面隆起帯幅沈埋→縄文 LR・筋み→彫刻付→無文部磨き 内面磨き	K D 5 区	安行 2 式
9	縄文土器	深鉢	-	(81)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	外面隆起帯幅沈埋→縄文 LR・彫刻付→無文部磨き 内面磨き	K C 5 区	安行 3 a 式
10	縄文土器	鉢	-	(66)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面隆起帯幅沈埋→縄文 LR→無文部磨き 内面ナツ	K E 5 区	安行 3 式
11	縄文土器	深鉢	-	(75)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい	普通	外面隆起帯幅沈埋→縄文 LR→無文部磨き 内面磨き	K C 6 区	安行 3 b 式
12	縄文土器	深鉢	-	(197)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい	普通	表面部 4 単位 外面沈埋→縄文 LR→無文部磨き 内面磨き	K C 5 区	15% PL104 掘山 1 式
13	縄文土器	深鉢	-	(50)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面沈埋→細面沈埋→無文部磨き 内面磨き	K D 9 区	掘山 2 式
14	縄文土器	深鉢	-	(60)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面磨き→沈埋→列点文 内面磨き	K C 5 区	安行 3 c 式
15	縄文土器	深鉢	-	(37)	-	長石・石英	橙	普通	外面磨き→沈埋→列点文 内面磨き	K D 7 区	安行 3 c 式
16	縄文土器	深鉢	-	(29)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	外面沈埋→縄文 LR→無文部磨き 内面磨き	K E 4 区	前溝 2 式
17	縄文土器	深鉢	-	(58)	-	長石・石英	赤灰	普通	外面縄文 LR→赤線→縁彫刻付 内面磨き	K D 5 区	後期前～中葉
18	縄文土器	角底土器	-	(17)	101	長石・雲母	灰黄褐色	普通	外面筋み→沈埋 内面ナツ SM12 117 と結合	K C 7 区	10% 堀前前葉
19	縄文土器	手土器	-	(66)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい	普通	外面隆起帯幅付→筋み 内面ナツ	K E 7 区	後期中葉
20	土器土器	小皿	[108]	[34]	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい	普通	ロクロナテ 外面下半部回転ヘラ磨り	K D 5 区	15% PL104 掘山 1 式
21	土器土器	小皿	[83]	[18]	[43]	長石	橙	普通	ロクロナテ 外面下半部回転ヘラ磨り	K C 9 区	20% PL104 掘山 1 式
22	土器土器	小皿	[80]	1.9	[53]	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	橙	普通	ロクロナテ 外面下半部回転ヘラ磨り 底部細面転磨り	K E 8 区	40% PL104 掘山 1 式

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
23	土偶	(49)	(59)	(27)	(645)	長石・石英	にぶい	山形 顔部片 目・口縁部 背面沈埋を伴う	K D 7 区	
24	土版	(53)	(38)	(18)	(305)	石英・赤色粒子	にぶい	表面面沈埋文	K D 9 区	
25	土器内器	39	3.3	1.3	21.2	長石・石英	灰黄褐色	底部片 刺代痕 縁部部打ち欠き	K D 5 区	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
26	石鏝	(1.6)	1.7	0.5	(0.8)	チャート	円形無稜 先端部欠損	K D 5 区	PL104
27	磨製石片	(7.0)	(5.2)	2.9	(129.2)	安山岩	定角式 研磨成形 基部欠損 被熱	K C 9 区	
28	磨製石片	(9.5)	(9.1)	5.0	(381.7)	燧石	定角式 研磨成形 基部欠損	K F 4 区	PL104
29	磨石	(6.1)	(7.8)	2.7	(215.8)	デイサイト	表面面磨痕	K C 9 区	
30	石鏝	4.7	4.0	1.4	30.4	デイサイト	長軸方向の両端部打ち欠き	K D 5 区	PL104
31	砥石	(4.7)	2.8	1.4	(25.2)	砂岩	両縁部磨痕	K E 8 区	
32	砥石	5.2	3.6	2.3	49.6	砂岩	螺旋状の磨痕	K C 6 区	PL104

iv) 第Ⅱ層

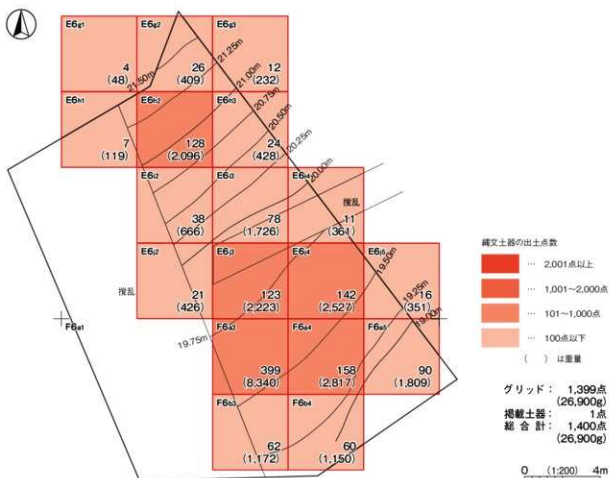
第4号遺物包含層 (第295・296図 第229・230表)

位置 調査P区のE 6 g1区～F 6 b5区、南東方向へ傾斜する台地斜面部に位置している。確認面の標高は19.0～21.5 mである。

重複関係 第4号遺物包含層の第Ⅲ層の上部に形成されている。

分布範囲 調査区域のほぼ全域に広がっている。

遺物出土状況 縄文土器1,400点(26,900g)、土師器10点(坏(古墳)1、坏(平安)2、壺5、甕2)、須恵器5点(瓶1、甕4)、土師質土器6点(小皿5、内耳鍋1)、陶器3点(瓶1、甕2)、土製品4点(土版1、有孔円盤2、土器片円盤1)、石器4点(磨製石斧、磨石、敲石、砥石)、剥片7点(頁岩1、黒曜石1、瑪瑙2、



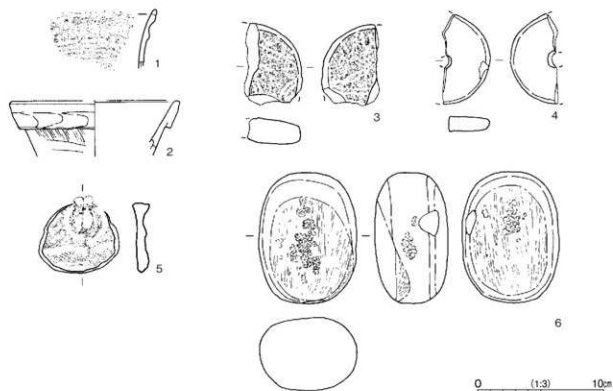
第295図 第4号遺物包含層第Ⅱ層実測図

第229表 第4号遺物包含層第Ⅱ層出土未掲載土器集計表

群	第1群	第2群	第4群	第5群	第6群	第7群	第8群	第9群									
類	曲頸 瓶平	中腹 残平	壺之内 1式	壺之内 2式	加曽利B 1式	加曽利B 3式	後期 中腹	安行1式	安行2式	安行3式	安行3式	安行3式	安行3式	地盤 群杯部	洗滌文	刺突文	磨凹文
点数	1	1	2	6	1	2	2	4	6	4	6	4	1	82	29	68	
重量 (g)	18	40	73	151	9	45	27	233	140	115	61	80	8	1,217	410	1,047	

群	第9群					第10群		第11群		第12群		第13群	合計		
類	陸奥形 縄文	群文 (古)	群文 (新)	群子粒文	条線文	縄文	無文	筑部 (古)	筑部 (新)	洗滌	群付鉢	群付土器	群付土器	群不明	
点数	73	35	62	3	866	154	612	31	23	10	2	4	5	—	1,399
重量 (g)	1,536	594	1,289	35	3,036	2,401	8,896	1,281	633	146	228	95	33	3,083	26,900

チャート3)、石核1点(瑪瑙)が出土している。いずれも磨滅した細片で、疎らに散在した状態で出土している。
所見 時期は、出土遺物から古墳時代～中世と考えられる。



第296図 第4号遺物包含層第Ⅱ層出土遺物実測図

第230表 第4号遺物包含層第Ⅱ層出土遺物一覧(第296図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	壺	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	口唇部凸状粘付付 外周沈澱→無文部磨き 内面ナデ	E 6 h3区	大洞C 2式
2	土師器	壺	[136]	(4.4)	-	長石・石英	にぶい黄褐色	普通	口縁部ナデ 胴部外面ハケ目 内面ナデ	E 6 i2区	4世紀代
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考	
3	土版	(6.4)	(4.6)	(2.1)	(72.8)	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	表面沈澱文	F 6 d5区		
4	有孔陶甕	(7.1)	(3.8)	(1.2)	(34.3)	長石・石英・赤色粘土	灰黄褐色	孔径(1.1)cm 一方向からの穿孔	E 6 i2区		
5	土師器内甕	5.6	6.4	1.4	35.4	長石・石英・雲母・赤色粘土	橙	安行2式精製土器片割部片 周縁部研磨	E 6 i2区		
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考	
6	磁石	10.5	7.8	5.9	206.1	安山岩	磨石転用	表面磨痕→表面敲打痕	E 6 i4区		

第4・5号遺物包含層(第297図 第231・232表 PL104)

位置 調査L区のF 6 c1～G 5 d8区。南東方向へ傾斜する台地斜面部に位置している。確認面の標高は、18.3～19.5mである。

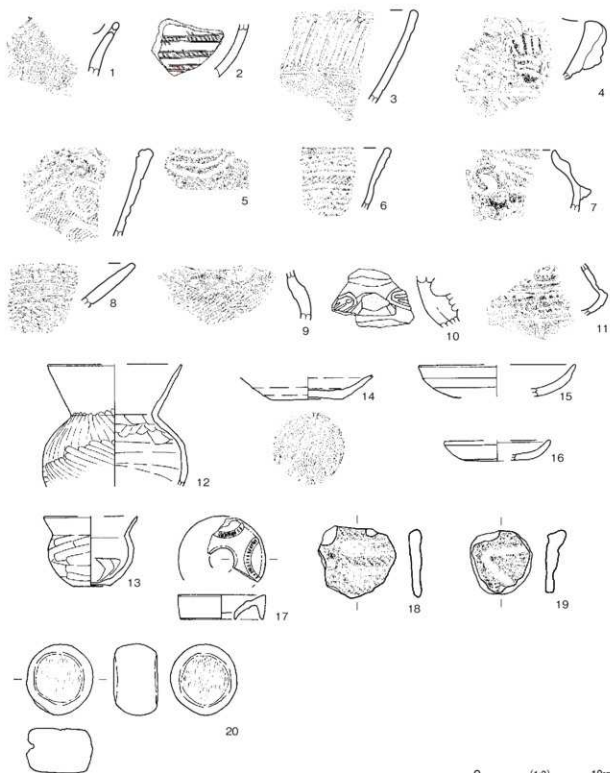
重複関係 第4・5号遺物包含層の第Ⅲ層の上部に形成されている。

分布範囲 調査区域のほぼ全域に広がっている。

遺物出土状況 縄文土器1,711点(33,500g)、土師器4点(坏(平安)1、増2、壺1)、土師質土器7点(小皿、

陶器1点(甕), 土製品11点(耳飾り1, 土偶1, 土器片円盤9), 石器・石製品9点(磨製石斧3, 石皿1, 磨石4, 砥石(中世)1), 剥片2点(チャート), 鉄滓1点, 骨4.7gが出土している。いずれも磨滅した細片で, 疎らに散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土遺物から古墳時代～中世と考えられる。



第297図 第4・5号遺物包含層第Ⅱ層出土遺物実測図

第 231 表 第 4・5号遺物包含層第Ⅱ層出土未掲載土器集計表

器	第4群		第5群			第6群		第7群		第8群		第9群						
	縦之内 1式	縦之内 2式	加賀科B 1式	加賀科B 2式	加賀科B 3式	後期 中世	器形式	安行 1式	安行 2式	安行 3a式	安行 3b式	徳山 B式	安行 3c式	安行 3d式	晩期 B群1式	沈泥文	刺突文	磨消文
点数	9	2	4	3	1	2	2	4	9	30	30	6	1	2	5	34	27	36
重量 (g)	293	63	130	40	23	66	49	177	272	464	280	102	20	72	72	919	497	1,320

第 232 表 第 4・5号遺物包含層第Ⅱ層出土遺物一覽 (第 297 図)

番号	器種	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか				出土位置	備考	
									外面	内面	口縁	底			
1	縄文土器	深鉢	-	(42)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面縄文LR→沈泥	種穴あり	内面磨き	LF9区	縦之内1式		
2	縄文土器	鉢	-	(42)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面沈泥→縄文LR	無文部磨き	非遺部磨	内面ナデ	LG9区	後期中・長葦	
3	縄文土器	深鉢	-	(74)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面沈泥→条線	無文部磨き	内面磨き	LG9区	加賀科B2式		
4	縄文土器	深鉢	-	(46)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面隆起帯幅沈泥	縄文LR・磨み	口縁貼付→無文部磨き	内面磨き	LG9区	安行2式	
5	縄文土器	深鉢	-	(69)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	波状口縁	外面縄文LR	沈泥	内面口縁部3条の沈泥	LG9区	徳山B2式	
6	縄文土器	深鉢	-	(49)	-	長石・石英	暗灰黄	普通	外面沈泥・半歯状文	縄文LR	内面磨き	LD9区	大洞B C式		
7	縄文土器	鉢	-	(49)	-	長石・石英・雲母・赤色粘子	灰褐	普通	外面隆起帯貼付	沈泥	縄文LR	無文部磨き	内面磨き	LE9区	安行3a式
8	縄文土器	深鉢	-	(35)	-	長石・石英・雲母・赤色粘子	橙	普通	外面沈泥	刺点文	内面ナデ	LD8区	安行3c式		
9	縄文土器	甕	-	(40)	-	長石・石英・雲母・赤色粘子	橙	普通	外面縄文LR	口縁部ナデ	内面ナデ	LE9区	後晩期		
10	縄文土器	注口土器	-	(41)	-	長石・石英・雲母・赤色粘子	灰褐	普通	外面把手貼付	沈泥	内面ナデ	LE9区	後期前者		
11	縄文土器	注口土器	-	(41)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面沈泥	無文部磨き	内面ナデ	LG8区	大洞B C式		
12	土師器	埴	[105]	(97)	-	長石・石英・雲母・赤色粘子	にぶい	普通	外部外面ヘラナデ	内面ナデ	LD9区	25% PL104 4世紀代			
13	土師器	埴	[86]	51	3.0	長石・石英	橙	普通	外部外・内面ヘラナデ		LE8区	60% 4世紀代			
14	土師器土器	小皿	-	(19)	5.4	長石・石英・雲母	にぶい	普通	口コナナデ	外部外面下位回転ヘラ削り	底部回転削り	LG9区	23% 11-15世紀代		
15	土師器土器	小皿	[124]	(25)	-	長石・赤色粘子	にぶい	普通	外・内面ナデ		LF9区	15% 11-15世紀代			
16	土師器土器	小皿	[84]	1.6	[44]	長石・石英	橙	普通	口コナナデ	胴部下半ヘラ削り		LG9区	23% 11-15世紀代		

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考		
17	耳飾り	[70]	[70]	1.9	(17.8)	長石・石英	にぶい	黄褐	滑車型	隆起貼付→磨み	LE9区	PL104
18	土器内蓋	5.7	6.2	1.0	40.7	長石・石英・雲母	灰褐		安行1式精製深鉢口縁部片	周縁部打ち欠き	LE9区	
19	土器内蓋	5.0	5.0	1.6	29.5	長石・石英・雲母・赤色粘子	にぶい	橙	前溝式深鉢口縁部片	周縁部研磨	LE9区	

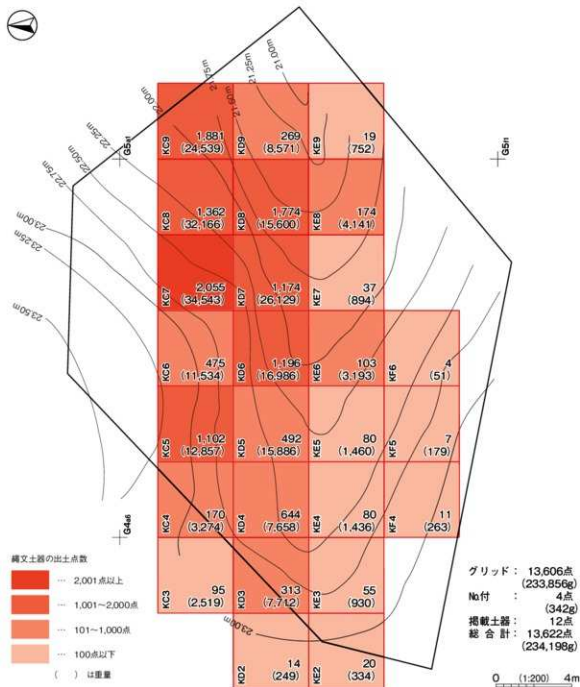
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
20	磨石	5.6	5.4	3.5	165.6	安山岩	表裏面磨痕	LE9区	

第5号遺物包含層 (第 298 ~ 302 図 第 233・234 表 PL52・104)

位置 調査K区のG 4 a6 ~ G 5 e1区, 東西方向に延びる谷部に位置している。確認面の標高は, 21.0 ~ 23.3 mである。

重複関係 第11号溝跡, 第5号遺物包含層の第Ⅲ層の上部に形成されており, 第Ⅰ層が上部に形成されている。

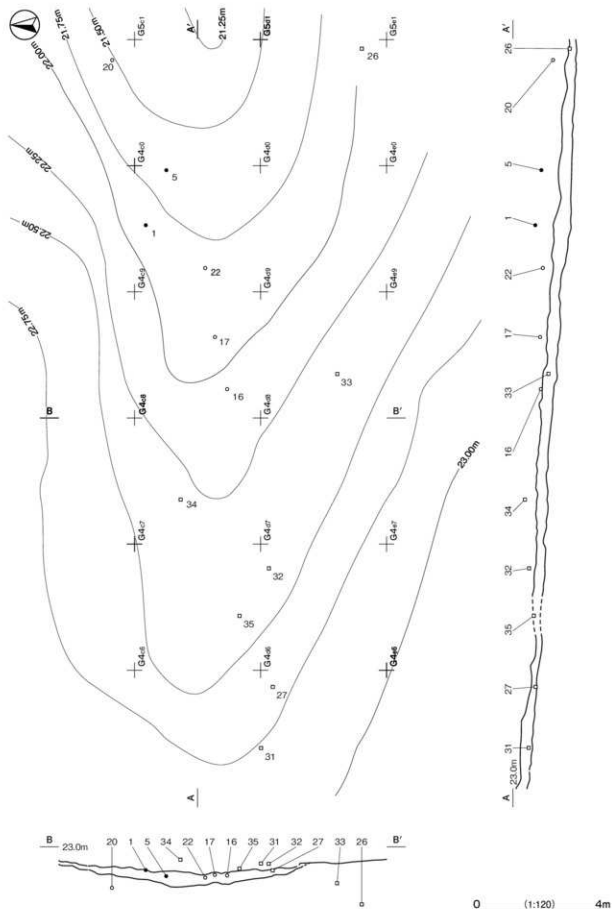
分布範囲 高所では下層の第Ⅲ・Ⅳ層が露出しており, 谷底部の幅約 13 mの範囲に堆積している。東方向 (N - 90°) へ緩やかに傾斜しており, 調査区域内の比高差は 2.0 mである。



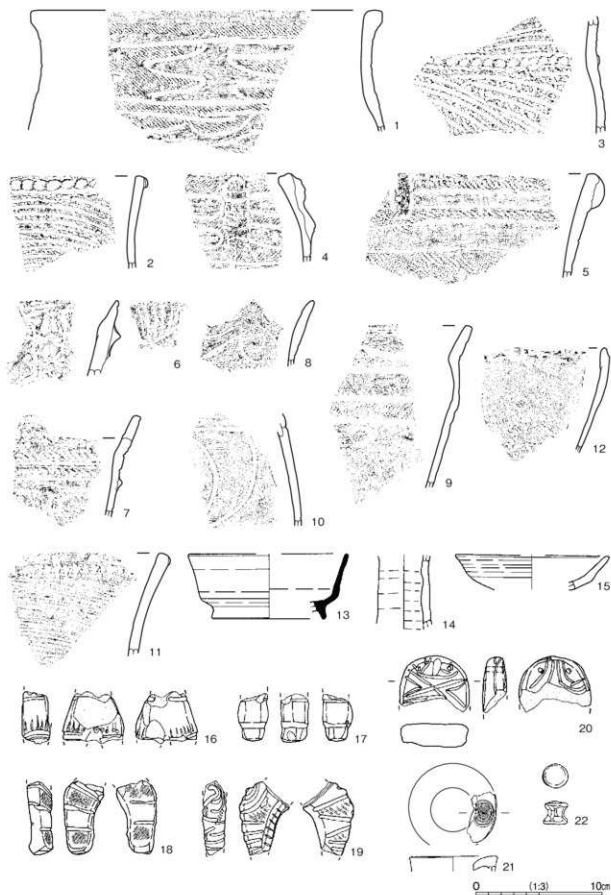
第 298 図 第 5 号遺物包含層第 II 層実測図 (1)

遺物出土状況 縄文土器 13,622 点 (234,198 g), 土師器 5 点 (碗 (古墳) 2, 坏 (古墳) 1, 甕 2), 須恵器 4 点 (高台付坏 3, 甕 1), 灰釉陶器 1 点 (長頸瓶), 土師質土器 3 点 (小皿), 陶器 1 点 (甕), 土製品 33 点 (耳飾り 1, 耳栓 1, 土偶 7, 土版 2, 有孔円盤 1, 土器片円盤 21), 石器・石製品 52 点 (石鏃 1, 磨製石斧 1, 石皿 4, 磨石 24, 敲石 9, 凹石 1, 石錘 7, 砥石 4, 石棒 1), 剥片 64 点 (頁岩 3, 黒曜石 4, 瑪瑙 3, チャート 54), 石核 25 点 (頁岩 1, チャート 24), 粘土塊 3 点, 貝 418 g, 骨 2,296.3 g が出土している。いずれも磨減した細片で, 谷の北斜面部から多く出土しており, 北側の台地上から流れ込んだものと考えられる。

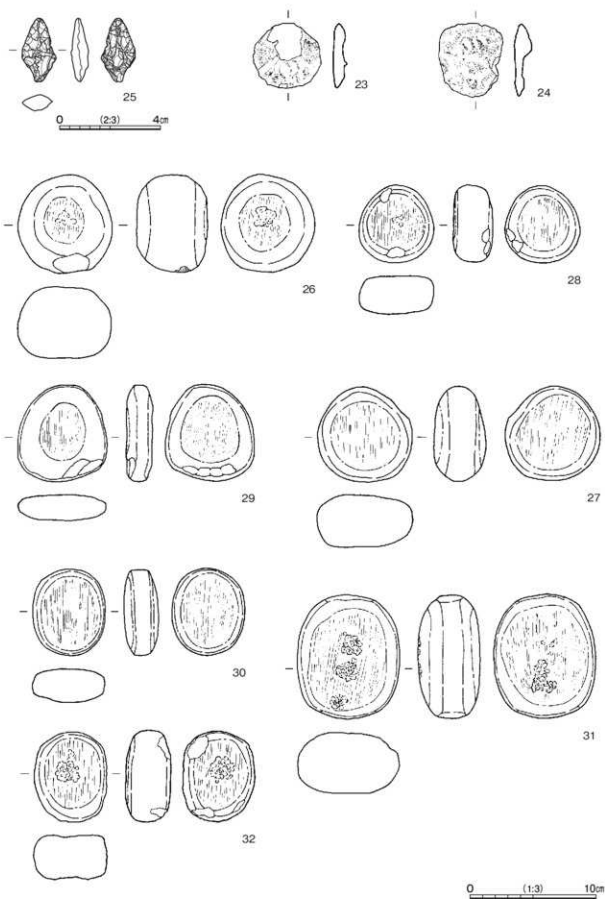
所見 時期は, 出土土器から古墳時代~中世と考えられる。



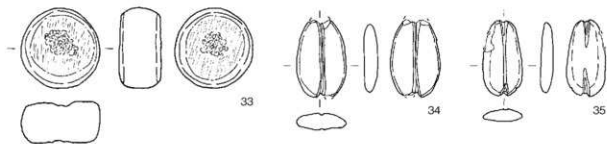
第 299 图 第 5 号遗址包含层第 II 层实测图 (2)



第300图 第5号遗物包含层第Ⅱ层出土遗物实测图(1)



第301图 第5号遺物包含層第Ⅱ層出土遺物実測図(2)



第 302 図 第 5 号遺物包含層第 II 層出土遺物実測図 (3)

第 233 表 第 5 号遺物包含層第 II 層出土未掲載土器集計表

群	第 3 群			第 4 群			第 5 群			第 6 群			第 9 群	第 10 群	第 11 群	第 12 群	第 13 群	合計
	長方分 器式	短之内 1 式	短之内 2 式	加蓋付 B1 式	加蓋付 B2 式	加蓋付 B3 式	管付式	安行 1 式	安行 2 式	安行 3 式	安行 3 b 式	竪山 器式						
点数	1	45	7	10	7	4	1	14	15	44	48	70	35	4	18	504	286	603
重量 (g)	29	1048	130	143	181	75	14	57	403	1,110	1,004	845	534	114	216	6,208	3,909	7,837

群	第 9 群			第 10 群			第 11 群			第 12 群	第 13 群	合計								
	線刻文 刺突文	刺突文 (古)	刺突文 (新)	刺突文	刺突文	刺突文	底面 (古)	底面 (新)	沈埋				鉢	台付鉢	口口土器	壺	刺突文	長方形付土器	短方形付土器	刺突文
点数	571	164	468	42	2,598	1,110	6,137	130	161	29	7	11	7	1	1	5	1	401	-	13610
重量 (g)	10,168	2,780	8,792	501	33,730	13,217	63,498	4,860	4,623	541	187	488	147	16	25	68	9	2,232	61,978	234,198

第 234 表 第 5 号遺物包含層第 II 層出土遺物一覧 (第 300 ~ 302 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	(27.5)	(10.0)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面沈埋→縄文 L R →無文部磨き 内面ナテ	KD 7 区	10% P/L104 安行 3 a 式
2	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英	灰黄黒	普通	外面縦位の縄文 L R →糸線→紐刺付 内面磨き	KD 7 区	後期中→後葉
3	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	外面縦位の縄文 L R →糸線→紐刺付 内面磨き	KC 8 区	後期中→後葉
4	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・針状 物混	にぶい	普通	外面磨貼付→隆起帯筋沈埋→縄文 L R →無文部磨き 内面ナテ	KD 9 区	安行 2 式
5	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面磨貼付→沈埋→縄文 L R →無文部磨き 内面磨き	KD 8 区	安行 1 式
6	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい	普通	外面磨貼付→沈埋→無文部磨き 内面磨き→液塗 部 3 条の沈埋	KC 5 区	安行 3 a 式
7	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面沈埋→縄文 L R →刺突文部磨き 内面磨き	KD 7 区	磨付第 3 段階
8	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面沈埋→縄文 L R →無文部磨き 内面磨き	KC 5 区	安行 3 b 式
9	縄文土器	深鉢	-	(12.9)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面沈埋→縄文 L R →無文部磨き 内面磨き	KC 9 区	安行 3 b 式
10	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英	黒赤黒	普通	外面沈埋→細密沈埋→無文部磨き 内面磨き	KC 8 区	竪山 II 式
11	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面糸線→刺突文 内面磨き	KC 8 区	後期後葉
12	縄文土器	竪塚土器	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面磨り 口縁部、内面ナテ	KD 3 区	晩期前葉
13	須恵器	高台付環	(12.6)	(5.1)	(9.0)	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	外・内面ロクロナテ	KD 5 区	20% 新治産 8 世紀代 9 世紀代
14	灰吹陶器	長皿	-	(5.9)	-	石英	灰白	良好	外・内面ロクロナテ 外面施釉 灰オリーブ色	KC 7 区	新治産 9 世紀代
15	土師質土器	小瓶	(12.2)	(2.7)	-	長石・石英	にぶい	普通	外・内面ロクロナテ	KD 6 区	10% 11~15 世紀代

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
16	土偶	(4.1)	(4.9)	(2.2)	(45.8)	長石・石英	橙	山形 胴部片 沈埋 半軟竹管による刺突文	KE 6 区	P/L104
17	土偶	(3.8)	(2.4)	(2.3)	(20.2)	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	橙	山形 脚部片 ナテ→沈埋	KE 6 区	
18	土偶	(5.8)	(3.2)	(1.9)	(31.8)	長石・石英	にぶい	山形 脚部片 沈埋→縄文 L R	KD 9 区	P/L104
19	土偶	(5.9)	(4.0)	(1.9)	(30.8)	長石・石英	黒黒	ミズタケ 脚部片 沈埋→縄文 L R	KC 9 区	P/L104
20	土版	(4.4)	(5.6)	(1.9)	(39.5)	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい	孔 2 小孔 孔径 0.3 ~ 0.4cm 一方からの穿孔孔 表面、側面沈埋文	KD 8 区	P/L104

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
21	耳飾り	[7.0]	[7.0]	(1.2)	(96)	長石・石英	橙	滑車製 沈澱による渦巻文	KD4区	
22	耳栓	2.0	2.0	1.9	6.4	長石・雲母	橙	ナデ	KE7区	PL104
23	土器片(甕)	5.2	5.5	1.1	35.4	長石・石英	にぶい黄褐色	安行2式精製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	KC8区	
24	土器片(甕)	5.8	5.1	1.4	35.3	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	安行2式精製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	KE8区	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
25	石鏝	2.5	1.4	0.7	1.7	チャート	凸基有平縁	KD8区	PL104
26	磨石	7.8	7.5	5.7	403.9	安山岩	敲打痕→表裏面磨痕	KF8区	
27	磨石	7.5	7.6	4.2	352.1	安山岩	表裏面磨痕	KE3区	
28	磨石	6.2	6.0	3.1	151.8	安山岩	表裏面磨痕	KD3区	
29	磨石	7.7	7.1	2.2	147.1	安山岩	表裏面磨痕	KD3区	
30	磨石	6.9	5.8	2.8	159.8	安山岩	表裏面磨痕	KC7区	
31	敲石	9.9	8.1	4.9	585.1	安山岩	表裏面磨痕→敲打痕	KE3区	
32	敲石	7.2	5.8	3.6	(235.7)	安山岩	表裏面磨痕→敲打痕	KE4区	
33	敲石	6.4	6.3	3.4	200.4	安山岩	表裏面磨痕→敲打痕	KF6区	
34	石鏝	(6.1)	3.9	1.3	(45.2)	雲母片岩	長軸方向に有溝 被熱	KD5区	PL104
35	石鏝	6.0	3.1	1.0	(26.2)	粘板岩	長軸方向に有溝 被熱	KE4区	PL104

v) 第Ⅲ層

第4号遺物包含層 (第303～312図 第235・236表 PL43・105・106)

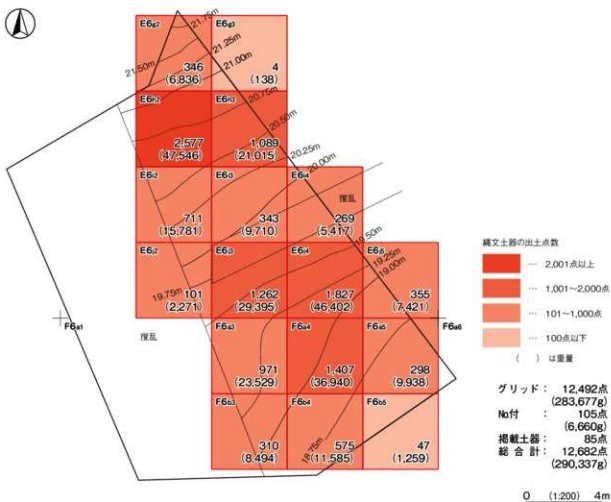
位置 調査P区のE6g1～F6b5区、南東方向へ傾斜する台地斜面部に位置している。確認面の標高は18.5～21.8mである。

重複関係 第32号竪穴建物跡、第1671・1673・1676号土坑、第4号遺物包含層の第Ⅳ層の上部に形成されており、第Ⅱ層が上部に形成されている。第32号竪穴建物跡については、本包含層を掘削している過程で確認したが、遺構の覆土との判別が困難であった。したがって、第32号竪穴建物跡が位置するE6h2～E6i3区の出土遺物には、本来、第32号竪穴建物跡の覆土中に帰属するものが含まれている。

分布範囲 調査区域のほぼ全域に広がっている。

遺物出土状況 縄文土器片12682点(290.337g)、土製品41点(勾玉1、耳飾り1、土偶11、土版3、有孔円盤10、土器片円盤15)、石器・石製品71点(打製石斧1、磨製石斧6、石皿4、磨石36、敲石2、凹石1、砥石7、浮子。1、石剣7、石棒6)、剥片41点(頁岩5、黒曜石4、瑪瑙9、チャート22、緑色片岩1)、石核16点(瑪瑙2、チャート14)、粘土塊23点、骨742gが出土している。土器は、堀之内1式～安行3c式のものが出土しており、安行3b式～3c式が主体である。遺物は多量で、下部の第Ⅳ層との層界付近から集積した状態で出土している。また、第32号竪穴建物跡が位置しているE6h2～i3区と南部のE6j3～F6a4区に遺物が集中しており、特に、E6j3～F6a4区周辺からは、安行3b式の深鉢や浅鉢、台付鉢、ミニチュア土器や土偶、土版、石剣、石棒などの祭祀的な遺物がまとめて出土している。同じ特徴が第32号竪穴建物跡の出土遺物にもみられることから、本包含層が形成される過程で第32号竪穴建物跡の覆土の一部が斜面部の下位へ流出した可能性がある。

所見 時期は、重複関係や出土遺物から晩期前葉(安行3b式期)以降と考えられる。



第 303 図 第 4 号遺物包含層第Ⅲ層実測図 (1)

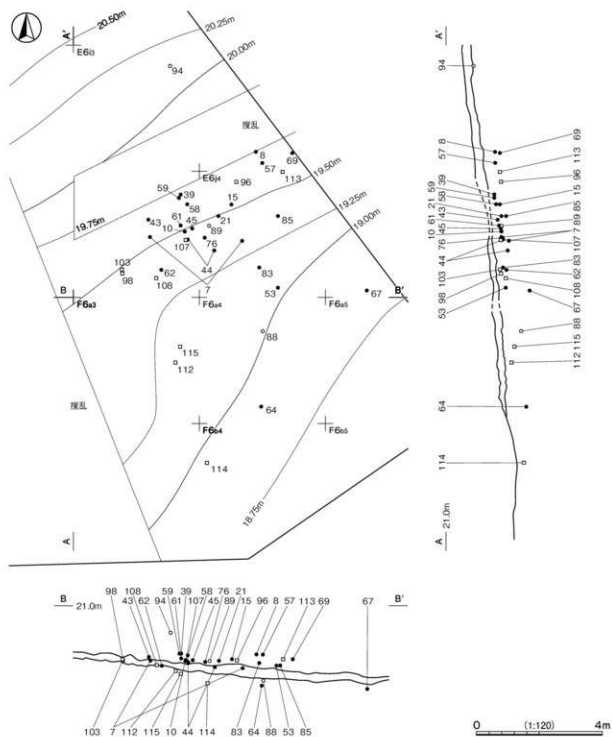
第 235 表 第 4 号遺物包含層第Ⅲ層出土未掲載土器集計表

層	第1群	第2群	第3群	第4群	第5群	第6群	第7群	第8群	第9群
期	前期後半	中期後半	後半1式	後半2式	後半3式	後半4式	後半5式	後半6式	後半7式
点数	1	1	2	3	22	8	9	12	19
重量(g)	16	37	143	84	541	344	140	382	969

層	第10群										第11群				第12群		第13群		合計
期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	合計
点数	538	303	162	250	13	1,511	699	6,405	94	318	78	11	31	6	29	8	309	-	12,597
重量(g)	9,371	7,296	4,179	5,474	323	31,554	12,992	125,210	4,632	13,057	2,142	316	1,945	398	841	133	2,784	35,732	290,337

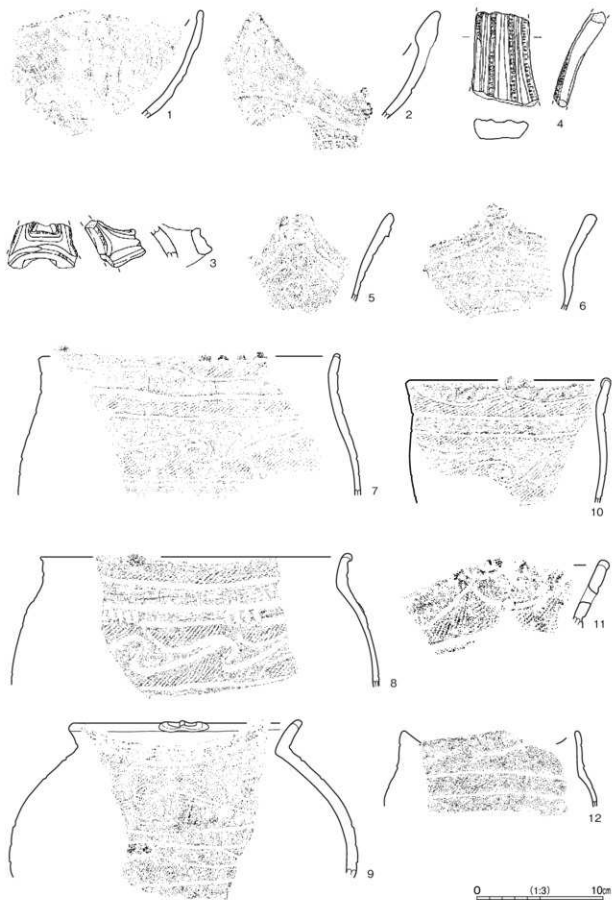
第 236 表 第 4 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物一覧 (第 305 ~ 312 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き	内面磨き	F 6a3 区 30% 加曾利皿2式
2	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英	黒黒	普通	外面沈線→格子目文→無文部磨き	内面磨き	F 6a4 区 加曾利皿2式
3	縄文土器	の手土器	-	(3.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面把手胎付→削み	内面ナゲ	E 6j4 区 後期中葉
4	縄文土器	の手土器	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面縁帯胎付→削み	内面ナゲ	E 6i3 区 後期中葉
5	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面沈線→縄文LR→磨胎付→無文部磨き	内面磨き	F 6a4 区 龍山皿2式
6	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英	灰青黒	普通	外面磨胎突起胎付	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	E 6j3 区 安行3b式

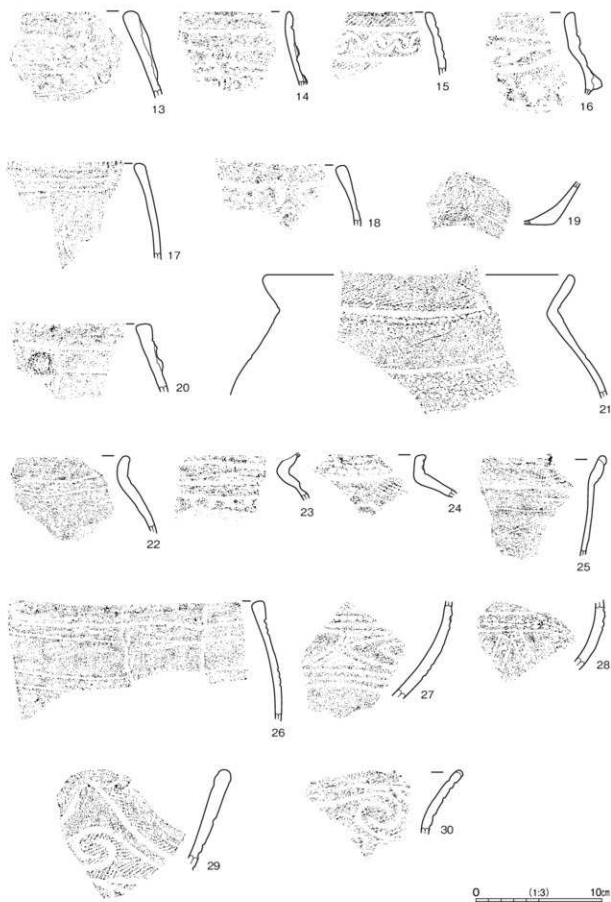


第304図 第4号遺物包含層第Ⅲ層土測図(2)

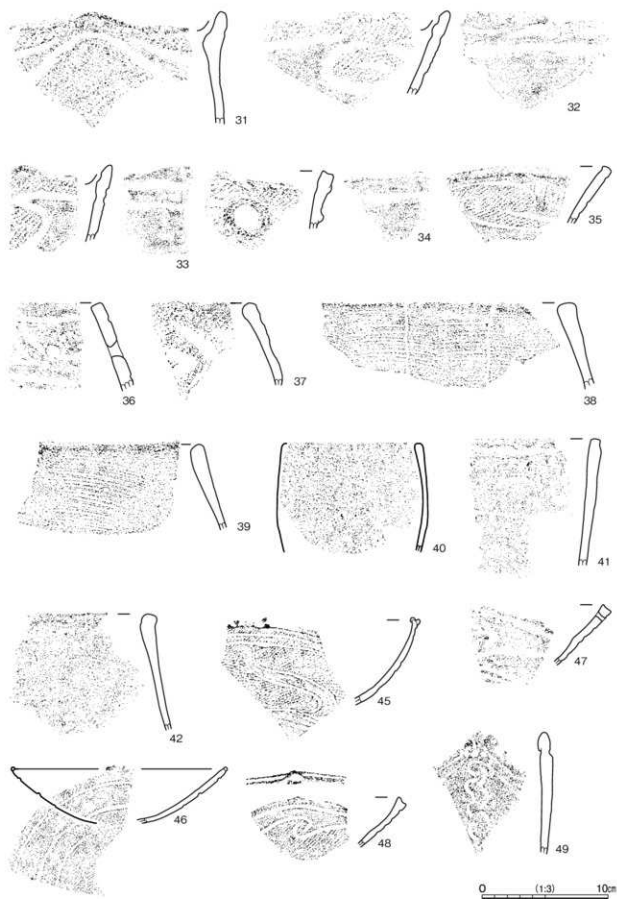
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	構成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
7	縄文土器	深鉢	[240]	(11.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい地	普通	口唇部凸突起貼付 外面沈澱→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	E 6β-j Ⅰ区	15% PL105 安行3 b式
8	縄文土器	深鉢	[244]	(10.6)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口唇部凸突起貼付 外面沈澱→縄文LR→無文部磨き 内面ヤブ	E 6ⅠⅠ区	10% PL105 安行3 b式
9	縄文土器	深鉢	[18.8]	(12.5)	-	長石・石英・雲母	灰黄地	普通	口唇部凸突起貼付 外面沈澱→縄文LR→無文部磨き 内面ヤブ	E 6βⅠ区	10% PL105 安行3 b式
10	縄文土器	深鉢	[16.4]	(9.8)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	口唇部凸突起貼付 外面沈澱→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	E 6ⅠⅠ区	10% 安行3 b式
11	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい地	普通	口唇部凸突起貼付 外面沈澱→縄文LR→無文部磨き 内面磨き 看孔 内側から穿孔	E 6a2 Ⅰ区	安行3 b式



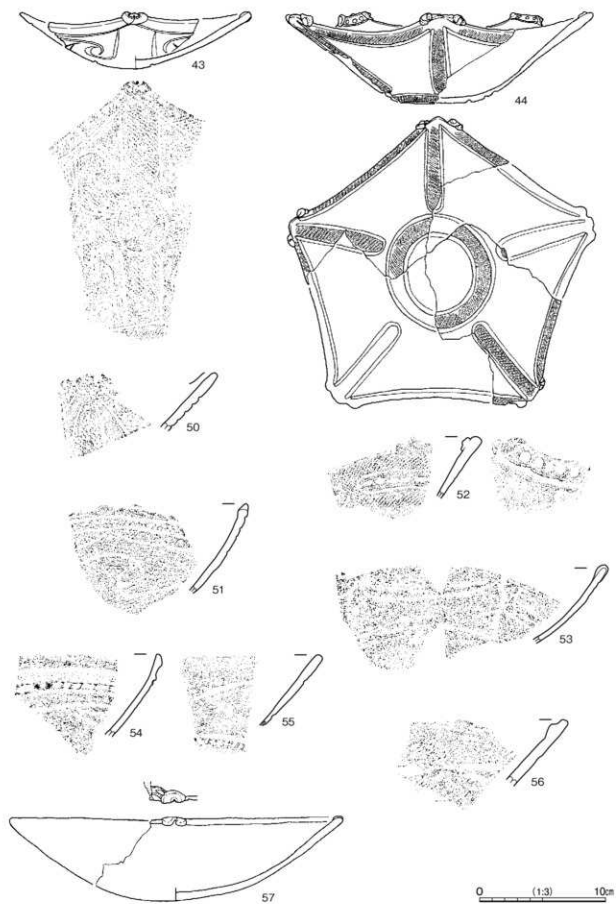
第 305 图 第 4 号遗址包含层第三层出土文物实测图 (1)



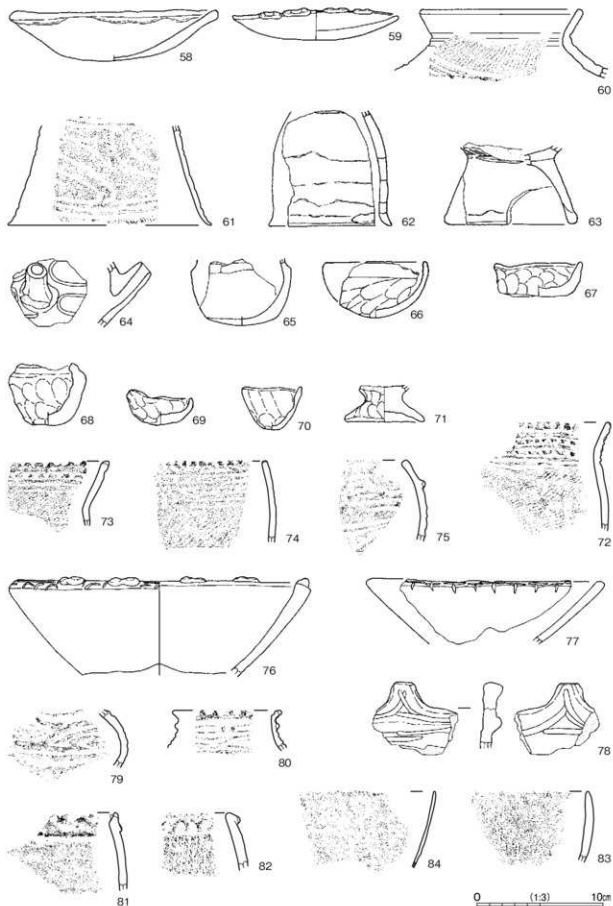
第 306 图 第 4 号遗址包含层第Ⅲ层出土遗物实测图 (2)



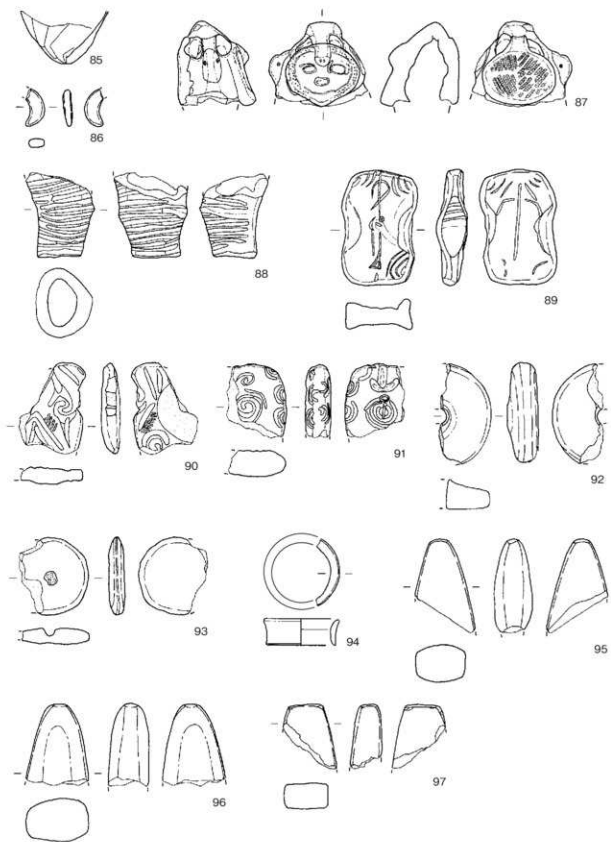
第 307 图 第 4 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (3)



第308图 第4号遗址包含层Ⅲ层出土文物实图(4)



第309图 第4号遗物包含层第Ⅲ层出土遗物实测图(5)

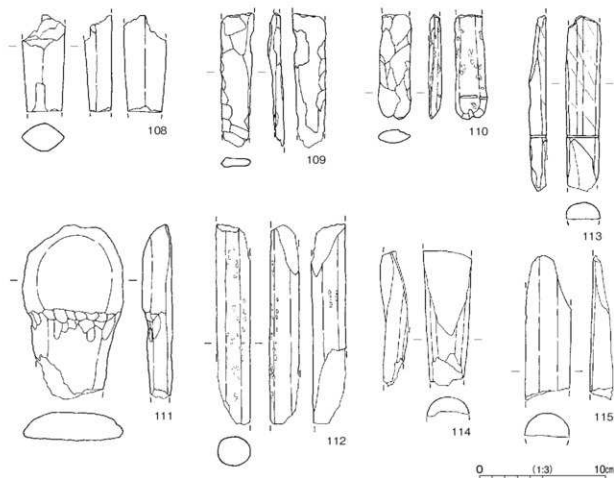


0 (1:3) 10cm

第310图 第4号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(6)



第 311 图 第 4 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (7)



第312図 第4号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(8)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
12	縄文土器	深鉢	[138]	(60)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナデ	E 614区	安行3 b式
13	縄文土器	深鉢	-	(69)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面磨貼付→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナデ	F 6 a1区	安行3 c式
14	縄文土器	深鉢	-	(58)	-	長石・石英・赤色 粒子	浅黄褐色	普通	外面沈線→縄文LR→磨貼付→無文部磨き 内面ナデ	E 6 g2区	安行3 a式
15	縄文土器	深鉢	-	(49)	-	長石・石英	明赤褐色	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナデ	E 614区	安行3 a式
16	縄文土器	深鉢	-	(65)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面磨貼付→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	E 613区	安行3 a式
17	縄文土器	深鉢	-	(77)	-	長石・石英	灰黄褐色	普通	口唇部磨み 外面沈線→磨密沈線→無文部磨き 内面ナデ	E 6 g2区	越山Ⅱ式
18	縄文土器	深鉢	-	(47)	-	長石・石英	明赤褐色	普通	外面沈線→磨密沈線→無文部磨き 内面ナデ	E 615区	越山Ⅱ式
19	縄文土器	角底土器	-	(35)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐色	普通	外面沈線→磨密沈線→無文部磨き 内面磨き	F 6 b4区	越山Ⅱ式
20	縄文土器	深鉢	-	(54)	-	長石・石英	橙	普通	外面磨貼付→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	E 612区	越山Ⅱ式
21	縄文土器	深鉢	[240]	(97)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	外面沈線→縄文LR→列点文 内面磨き	E 614区	10% PL105 安行3 c式
22	縄文土器	深鉢	-	(61)	-	長石・石英	明赤褐色	普通	外面沈線→縄文LR→列点文 内面ナデ	E 614区	安行3 c式
23	縄文土器	鉢	-	(38)	-	長石・石英	橙	普通	外面沈線→無文部磨き 内面ナデ	E 614区	大淵C 1式
24	縄文土器	深鉢	-	(33)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	外面列点文→縄文LR 内面ナデ	E 612区	安行3 c式
25	縄文土器	深鉢	-	(80)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	口唇部B突縮貼付 外面沈線→列点文 内面磨き	E 613区	安行3 c式
26	縄文土器	深鉢	-	(95)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面沈線→列点文 内面ナデ	E 613区	10% 安行3 c式
27	縄文土器	深鉢	-	(77)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面沈線→無文部磨き 内面ナデ	E 614区	大淵C 2式
28	縄文土器	深鉢	-	(54)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面沈線→列点文→無文部磨き 内面磨き	E 613区	安行3 c式
29	縄文土器	深鉢	-	(81)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面口縁部1条 の沈線	E 614区	PL105 安行3式
30	縄文土器	深鉢	-	(51)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	口唇部B突縮貼付 外面沈線→縄文LR 内面磨き →口縁部1条の沈線	E 612区	前浦1式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考	
31	縄文土器	深鉢	-	(88)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	浅黄緑	普通	外面沈線→縄文LR 内面磨き	E 6J4区	前溝2式	
32	縄文土器	深鉢	-	96.6	-	長石・石英・雲母	にぶい暗	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き→沈線	E 6J5区	前溝2式	
33	縄文土器	深鉢	-	66.0	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き→口縁部2条の沈線	F 6a3区	前溝2式	
34	縄文土器	深鉢	-	(45)	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	外面沈線→内文貼付→縄文LR 内面磨き→口縁部1条の沈線	E 6J2区	前溝2式	
35	縄文土器	浅鉢	-	(44)	-	長石・石英・雲母	にぶい暗	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	E 6J4区	大淵C1式	
36	縄文土器	深鉢	-	(70)	-	長石・石英	黒黒	普通	外面沈線 内面ナテ 孔1ヶ所 2方向からの穿孔	E 6J2区	晩期中葉	
37	縄文土器	深鉢	-	66.5	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	外面沈線→縄文LR 内面ナテ	E 6J3区	前溝式	
38	縄文土器	深鉢	-	66.8	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	外面条線 内面ナテ	F 6a3区	晩期前葉	
39	縄文土器	深鉢	-	(67)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	にぶい暗	普通	外面条線 内面磨き	E 6J3区	晩期前葉	
40	縄文土器	深鉢	(110)	98.6	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい暗	普通	外面条線 内面ナテ	E 6a2区	10% 晩期前葉	
41	縄文土器	深鉢	-	(100)	-	長石・石英	にぶい暗	普通	外面磨り 内面ナテ	F 6a3区	前溝式	
42	縄文土器	深鉢	-	90.0	-	長石・石英	にぶい暗	普通	外面ナテ 内面ナテ→口縁部1条の沈線	F 6a3区	晩期前葉	
43	縄文土器	浅鉢	(181)	4.4	-	長石・石英	明赤黒	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナテ	E 6J3区	45% PL106 実行3b式	
44	縄文土器	浅鉢	(245)	7.1	(70)	長石・石英・雲母	にぶい暗	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	E 6J1区	60% PL106 実行3b式	
45	縄文土器	浅鉢	-	69.9	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	橙	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	E 6J3区	10% 大淵C2式	
46	縄文土器	浅鉢	(169)	(4.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	F 6a5区	10% 大淵3b式	
47	縄文土器	浅鉢	-	(48)	-	長石・石英	にぶい暗	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き 孔2ヶ所 2方向からの穿孔	E 6J2区	実行3b式	
48	縄文土器	浅鉢	-	(40)	-	長石・石英・雲母	にぶい暗	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	E 6J2区	実行3b式	
49	縄文土器	深鉢	-	99.7	-	長石・石英・雲母	にぶい暗	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	F 6a4区	実行3b式	
50	縄文土器	浅鉢	-	(45)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	にぶい暗	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	F 6a5区	実行3c式	
51	縄文土器	浅鉢	-	(71)	-	長石・石英	黒黒	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	E 6J4区	実行3c式	
52	縄文土器	浅鉢	-	(49)	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き 孔2ヶ所 2方向からの穿孔	E 6J3区	実行3c式	
53	縄文土器	浅鉢	-	66.2	-	長石・石英・赤色砂子	にぶい暗	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナテ	E 6J3区	30% 実行3c式	
54	縄文土器	浅鉢	-	96.5	-	長石・石英・雲母	にぶい暗	普通	外面沈線→無文部磨き 内面ナテ	E 6J4区	大淵C2式	
55	縄文土器	浅鉢	-	(55)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい暗	普通	外面沈線→縄文LR 内面ナテ	E 6a2区	実行3c式	
56	縄文土器	浅鉢	-	(52)	-	長石・石英	黒黒	普通	外面沈線→縄文LR 内面口縁部隆帯沈線→磨き	E 6J2区	前溝式	
57	縄文土器	浅鉢	26.5	6.7	-	長石・石英	にぶい暗	普通	口唇部B突起貼付 外面磨り 内面磨き	E 6J4区	60% 晩期前葉	
58	縄文土器	浅鉢	15.8	4.0	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	にぶい暗	普通	外・内面ナテ	E 6J3区	100% PL106 晩期前葉	
59	縄文土器	浅鉢	13.0	2.5	-	長石・石英	黒黒	普通	口唇部B突起貼付 外面磨り→磨き 内面ナテ	E 6J3区	80% 晩期前葉	
60	縄文土器	壺	(125)	(5.4)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	灰黒	普通	外面沈線→縄文LR 内面磨き	E 6J4区	10% 晩期前葉	
61	縄文土器	台付鉢	-	(78)	(162)	長石・石英・雲母	にぶい暗	普通	台部片 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナテ	E 6J3区	大淵C2式	
62	縄文土器	台付鉢	-	(91)	(98)	長石・石英・雲母	にぶい暗	普通	台部片 外・内面ナテ	E 6J3区	晩期前葉	
63	縄文土器	台付鉢	-	66.2	(98)	長石・石英・雲母・赤色砂子	にぶい暗	普通	台部片 外面ナテ→接合部沈線 内面磨き	F 6a3区	加納B2-3式	
64	縄文土器	注口土器	-	(51)	-	長石・石英・赤色砂子	にぶい暗	普通	外面沈線→磨き 内面ナテ	F 6a4区	10% 晩期前葉	
65	縄文土器	注口土器	(12.4) 土器	-	(52)	5.6	長石・石英	にぶい暗	普通	外・内面ナテ	E 6J3区	30% 長晩期
66	縄文土器	注口土器	(12.4) 土器	(7.9)	4.5	-	長石・石英	普通	外・内面ナテ 指痕痕	E 6J2区	10% 長晩期	
67	縄文土器	注口土器	(12.4) 土器	7.0	2.7	4.2	長石・石英	にぶい暗	普通	外・内面ナテ 指痕痕	E 6J5区	100% PL106 長晩期
68	縄文土器	注口土器	(12.4) 土器	(4.0)	4.9	2.6	長石・石英・赤色砂子	橙	普通	外・内面ナテ 指痕痕	F 6a3区	30% 長晩期
69	縄文土器	注口土器	(12.4) 土器	(4.9)	2.9	-	長石・石英・赤色砂子	にぶい暗	普通	外・内面ナテ 指痕痕	E 6J4区	80% PL106 長晩期
70	縄文土器	注口土器	(12.4) 土器	(4.5)	3.4	-	長石・石英	にぶい暗	普通	外・内面ナテ 指痕痕	E 6J2区	80% PL106 長晩期
71	縄文土器	注口土器	(12.4) 土器	-	(29)	6.2	長石・石英・雲母・赤色砂子	浅黄緑	普通	蓋形 外・内面ナテ 指痕痕	E 6J4区	50% 長晩期
72	縄文土器	深鉢	-	96.6	-	長石・石英・雲母	灰黒	普通	外面沈線→縄文LR 内面磨き	E 6J2区	大淵C1式	
73	縄文土器	深鉢	-	(51)	-	長石・石英	橙	普通	外面沈線→縄文LR 内面ナテ	E 6J3区	大淵C1式	
74	縄文土器	深鉢	-	96.4	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	外面沈線→縄文LR 内面磨き	E 6J4区	大淵C1式	
75	縄文土器	鉢	-	66.5	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	褐灰	普通	外面磨り付→沈線→縄文LR 内面ナテ	E 6J2区	大淵C2式	
76	縄文土器	浅鉢	(240)	(7.8)	-	長石・石英・雲母	灰黄黒	普通	口唇部B突起貼付→沈線 外面磨り 内面磨き	E 6J4区	25% 晩期中葉	
77	縄文土器	浅鉢	(190)	(5.0)	-	長石・石英	にぶい暗	普通	口唇部沈線 外面ナテ 内面磨き	E 6J5区	10% 晩期中葉	
78	縄文土器	深鉢	-	(57)	-	長石・石英	黒黒	普通	口縁部外・内面沈線→磨き	E 6J2区	大淵C2-A式	
79	縄文土器	壺	-	(46)	-	長石・石英	灰黄	普通	外面沈線→無文部磨き 内面ナテ	E 6J2区	10% 大淵C2式	
80	縄文土器	壺	(84)	(3.2)	-	長石・石英	黒黒	普通	外面沈線→輪貼付 内面磨き	F 6a4区	大淵C2式	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
81	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・赤色 鉄粒子	明赤灰	普通	外面ナデ→口縁部磨痕 内面磨き	E 63区	晩期中葉
82	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母	明赤灰	普通	外面網目状磨糸文→縦線筋付 内面ナデ	F 6a4区	晩期中葉
83	縄文土器	製塩土器	-	(5.6)	-	長石・石英	橙	普通	外・内面ナデ	E 64区	晩期前葉
84	縄文土器	製塩土器	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外・内面ナデ	E 63区	晩期前葉
85	縄文土器	製塩土器	-	(4.2)	1.0	長石・石英・赤色 鉄粒子	明赤灰	普通	外面磨り 内面ナデ	E 64区	晩期前葉

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
86	勾玉	(2.9)	(1.5)	(0.7)	(2.4)	長石・石英	褐灰	一部欠損 ナデ	E 63区	PL106
87	土偶	(6.7)	(8.0)	(6.2)	(181.0)	長石・石英	にぶい黄橙	中空土偶 顔部片 構成の縄文瓦	F 6a5区	PL106
88	土偶	(6.7)	(5.4)	(5.9)	(108.2)	長石・石英・雲母	にぶい橙	中空土偶 顔部片 外面沈線文	F 6a4区	PL106
89	土版	9.2	6.1	2.4	108.6	長石・石英・雲母・ 赤色鉄粒子	にぶい橙	表表面沈線文	E 64区	PL106
90	土版	7.2(2)	(5.2)	(1.5)	(42.3)	長石・石英・雲母	灰褐色	表表面沈線文→縄文RL 手摺形の積部の可能性あり	E 65区	
91	土版	(5.8)	(4.7)	2.0	(56.7)	長石・石英・雲母	褐灰	表表面沈線文	E 64区	PL106
92	有孔円盤	[8.0]	[8.0]	2.4	(71.7)	長石・石英	にぶい黄橙	孔径 [1.3] cm 一方内からの穿孔 ナデ	F 6a4区	
93	有孔円盤	[6.2]	[6.2]	1.4	(38.3)	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	未穿孔 ナデ	F 6a4区	
94	耳飾り	[6.0]	[6.0]	2.1	(10.2)	長石・石英・雲母	明黄褐	滑車型 磨き	E 63区	

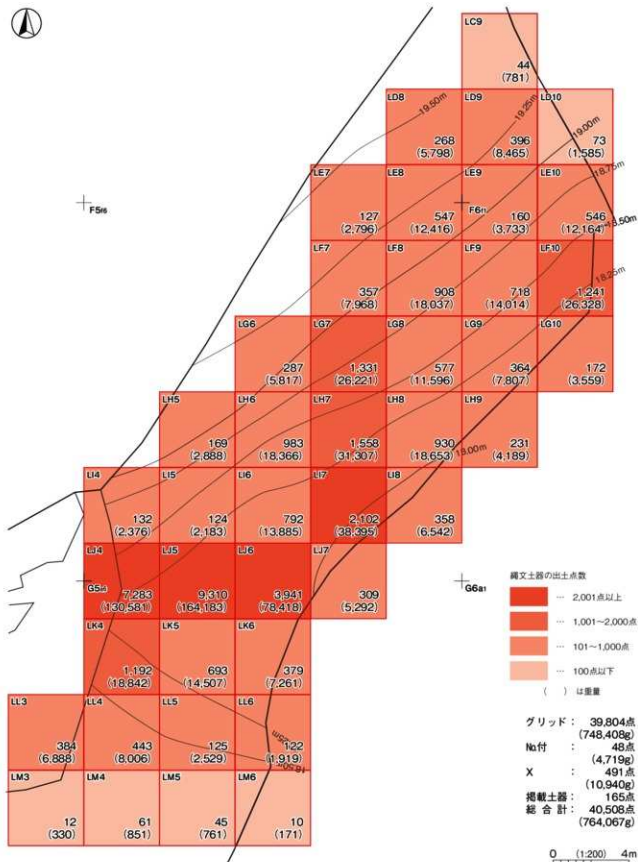
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
96	磨製石斧	(7.5)	(4.8)	3.2	(131.1)	総絞岩	定角式 研磨成形 刃部欠損	F 6a4区	PL106
96	磨製石斧	(6.5)	(5.0)	3.3	(168.9)	四稜岩	定角式 研磨成形 刃部欠損	E 64区	PL106
97	磨製石斧	(5.1)	(4.3)	(2.5)	(68.3)	総絞岩	定角式 研磨成形 刃部欠損	E 64区	
98	石圓	(11.9)	(8.5)	5.2	(371.0)	安山岩	表面磨痕 裏面凹痕	E 63区	
99	磨石	8.6	8.4	3.4	326.3	安山岩	表裏面磨痕	E 64区	
100	磨石	7.2	7.0	1.6	120.2	デイスヤイト	表裏面磨痕	F 6a3区	
101	磨石	5.8	5.9	3.1	153.6	安山岩	表裏・二側面磨痕	E 6a2区	
102	磨石	5.9	5.5	3.1	132.3	安山岩	表裏・側面磨痕	F 6a3区	
103	磨石	6.1	5.8	5.9	202.3	安山岩	磨石転用 六面に磨痕→凹痕	E 63区	
104	磨石	(7.4)	(5.2)	(5.2)	(175.9)	安山岩	磨石転用 三面に磨痕→凹痕	F 6a3区	
105	凹石	(12.4)	(11.4)	5.0	(497.2)	安山岩	表裏面凹痕	E 64区	
106	砥石	4.7	3.1	2.0	35.8	砂岩	線状の砥痕	E 63区	
107	石剣	11.2	3.2	1.8	(93.7)	粘板岩	研磨成形 上下端・側面に敲打痕 再利用か	E 63区	PL106
108	石剣	(7.6)	3.3	2.2	(77.5)	緑色片岩	研磨成形	E 63区	
109	石剣	(10.6)	(2.7)	(1.3)	(34.7)	粘板岩	研磨成形 両側縁から打撃痕	E 65区	
110	石剣	(8.3)	2.7	(1.1)	(31.9)	粘板岩	研磨成形 一部敲打痕が残る 縦削 上部部に切り目直あり 石剣に転用。	E 64区	
111	石棒	(13.8)	8.0	(2.4)	(334.2)	雲母片岩	敲打成形	E 62区	PL106
112	石棒	(15.8)	2.8	2.4	(156.7)	粘板岩	研磨成形 一部敲打痕が残る	F 6a3区	PL106
113	石棒	(13.9)	2.8	(1.4)	(81.0)	緑色片岩	研磨成形 縦削	E 64区	PL106
114	石棒	(10.6)	3.7	(2.1)	(101.4)	粘板岩	研磨成形 被熱	F 6a4区	PL106
115	石棒	(11.5)	3.7	(1.9)	(83.6)	粘板岩	研磨成形 被熱	F 6a3区	

第4・5号遺物包含層 (第313～331図 第237・238表 PL44・45・107～110)

位置 調査L区のF 5 c0～G 5 d8区、南東方向へ傾斜する台地斜面部に位置している。確認面の標高は18.0～19.7mである。

重複関係 第4・5号遺物包含層の第IV層の上部に形成されており、第II層が上部に形成されている。

分布範囲 調査区域のほぼ全域に広がっている。西側の調査K区から続く谷が、東方向(N-84°-E)へ延びており、南部のG 5 a6～a9区(L J 4～7区)が谷底部となっている。谷底部の堆積状況(第286～290



第 313 図 第 4・5号遺物包含層第三層実測図 (1)

図 Ⅲ-5～7層)は、水成堆積の特徴を示し、特に、L J 4区付近は、下部の第Ⅳ層を浸食して凹地状を呈し、一部が第Ⅴ層の直上まで達している状況が確認できた(第357図)。西側に隣接する平成22年度調査区のG 5a5区において、第296号土坑(『第364集』所収)が確認されており、同土坑を湧水点とした水場が形成されていた可能性がある。

遺物出土状況 縄文土器40,508点(764,067g)、土製品228点(手燭形土製品1、耳栓1、土偶20、土版2、土器片錘1、土器片円盤202、不明1)、石器・石製品276点(石鏃2、打製石斧4、磨製石斧5、石皿20、磨石194、敲石18、凹石5、石錘4、砥石12、浮子1、石剣9、石棒1、独鈷石1)、剥片26点(頁岩1、黒曜石3、瑪瑙4、チャート18)、石核20点(頁岩1、チャート19)、骨27.2gが出土している。土器は、前期前半の黒浜式や中期後半の加曾利E式のものが見られるほか、称名寺I式～安行3d式の縄文土器が出土しており、安行3a式～安行3c式のものも主体である。遺物は、下部の第Ⅳ層との層界付近から多量に出土している。斜面部のL F 10・L G 7～L I 7区など、部分的に遺物が集中している箇所もあるが、全体的には破片が散在している状態である。また、谷底部のL J 4区周辺では、最下層から小破片が石畳状に集積した状態で出土している(写真図版PL45参照)。台地上から流れ込んだもの、あるいは台地縁部部の土砂流出に伴い混入したものと考えられる。

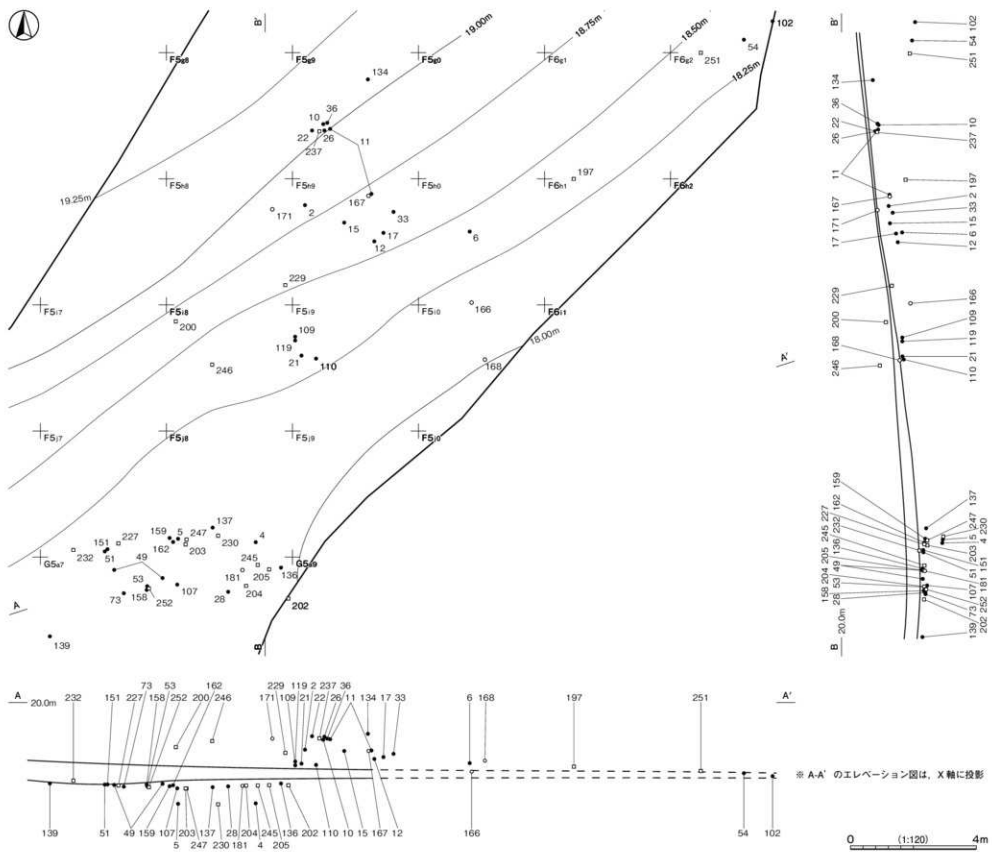
所見 出土土器が第Ⅳ層との層界付近から出土していることから、晩期前葉～中葉(安行3a式～安行3c式期)に第Ⅳ層から第Ⅲ層へと堆積環境が変化したと考えられ、その一因に、第296号土坑が新たな湧水点として開口した可能性が挙げられる。

第237表 第4・5号遺物包含層第Ⅲ層出土未掲載土器集計表

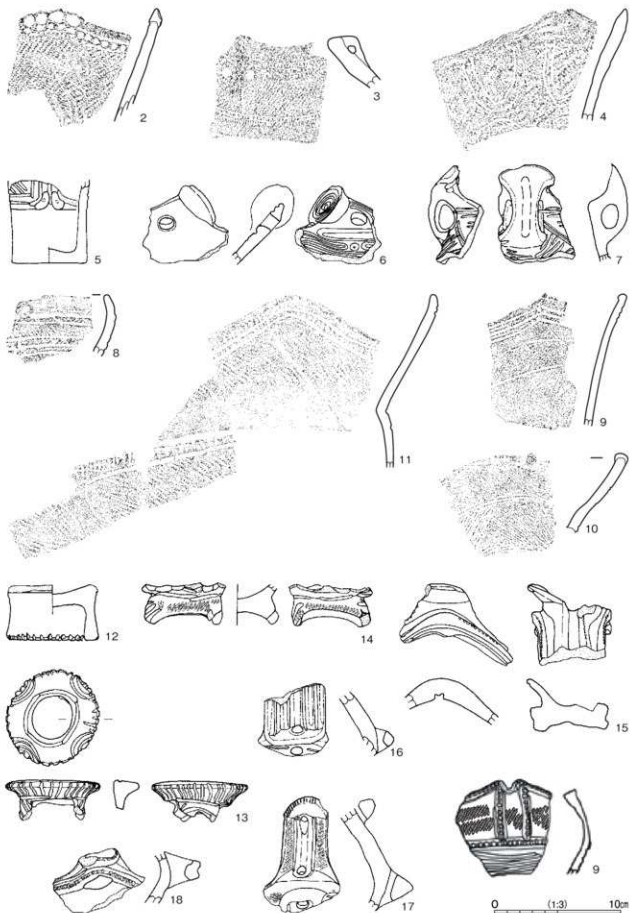
部	第1層		第2層		第3層		第4層		第5層			第6層			第7層			第8層		第9層		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
種別	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	手燭形	
点数	7	3	7	12	87	30	22	23	14	16	39	97	229	241	426	392	88	17	12	134	2153	933
重量(g)	151	261	345	467	2,491	743	309	857	435	516	1,779	2,950	7,236	6,120	6,302	4,046	2,278	392	232	2,006	33,612	17,609

第238表 第4・5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物一覧(第315～331図)

番号	種別	器種	口径	器高	口径	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	浅鉢	-	(10.3)	-	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	刷突を有する隆起帯で上下・幅位を区画 内形は直交形状。PL12・4・5 直交と適合	L D 10区1 a	堀之内1式併行
2	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	-	長石・石英・赤色粒子	にがい埋	普通	内面にL R 光景→曲線付付 口唇部に押注を伴う弧状の交配 内面に縁部沈線	L G 7区1 x	後期前葉
3	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	外面口縁部彫突縁 口縁部3条、肩部2条の短スリ列口縁部に位置の貫通孔有り交配 肩部L R 交配の構造文	L J 4区6 x	PL107 後期後葉
4	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	外面口縁部→弧状彫突縁1条あり 縦文L R →対弧状の沈線文、撥付磨き 内面ナシ	L J 6区6 x	PL107 堀之内1式
5	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	5.8	-	長石・石英	灰黒	普通	外面内形深文を伴う縦線による縦交区画 縦線上面ナシ 区画内沈線文並列 無文部、屈張丁帯交差部 内面ナシ	L J 6区6 x	2% 堀之内2式
6	縄文土器	浅鉢	-	(6.2)	-	-	長石・石英・針状物質	にがい埋	普通	外・内面丁寧な磨き 内面に沈線文	L G 8区2 x	堀之内2式
7	縄文土器	注口土器	-	(7.7)	-	-	長石・石英	灰白	普通	把手片、外・内面丁寧な磨き 外面手載竹管文による沈線文	L J 6区5 x	堀之内2式
8	縄文土器	鉢	-	(4.9)	-	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外面縦文L R 光景の横帯文 内面磨き	L K 5区1 x	加曾利B 1式
9	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	-	長石・石英・雲母	にがい埋	普通	縦い窪状 肩部に線部縦付 外面口縁部L R 光景の2条の横帯文 肩部L R 光景の横帯文 内面に縁部沈線	L J 6区5 x	堀之内2式
10	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	-	長石・石英	灰黒	普通	外面口唇部に粘土細結付 肩部交互斜線文 内面磨き	L G 7区1 x	加曾利B 2式
11	縄文土器	深鉢	-	(13.7)	-	-	長石・石英	にがい埋	普通	外面口縁部に2条の短スリ列 口唇部内面縦文並列 下腹部縦線あり 腹部彫突縁の十字文 内面磨き	L G 7区1-2 a	10% PL107 加曾利B 3式



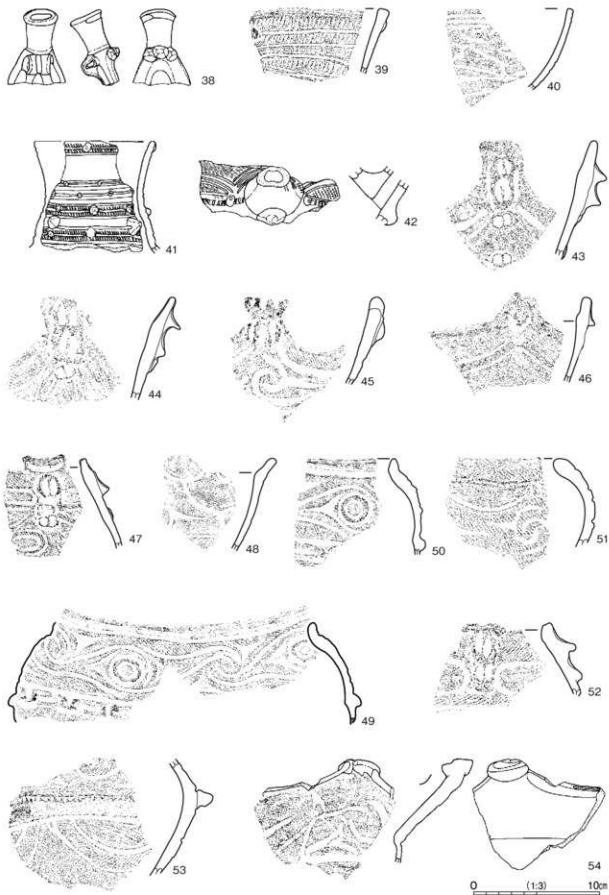
第314図 第4・5号遺物包含層第Ⅲ層実測図(2)



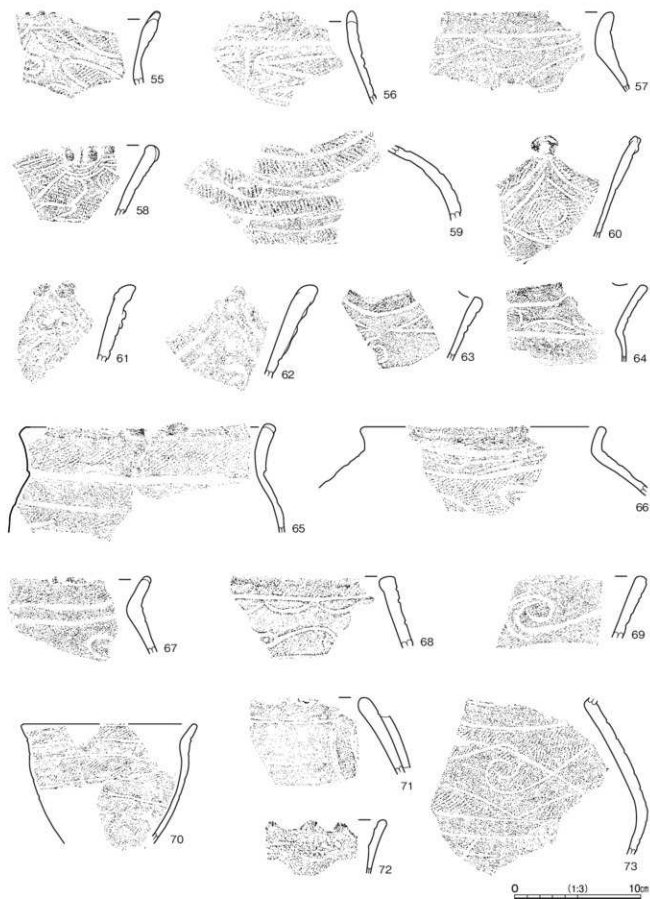
第315图 第4·5号遺物包含層第三層出土遺物实测图(1)



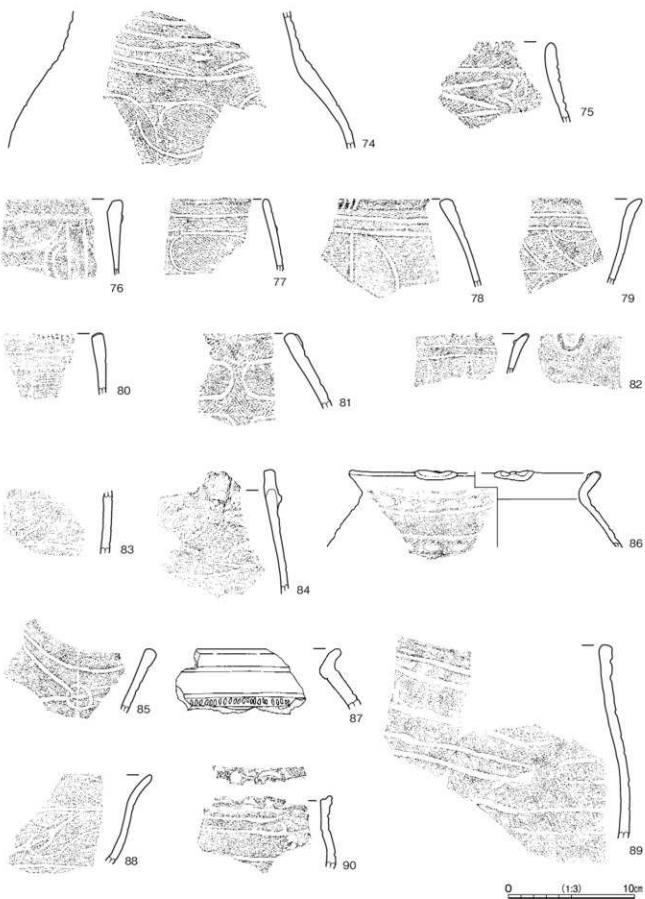
第316图 第4·5号遗物包含层第Ⅲ层出土遗物实测图(2)



第317图 第4·5号遺物包含層第三層出土遺物实测图(3)



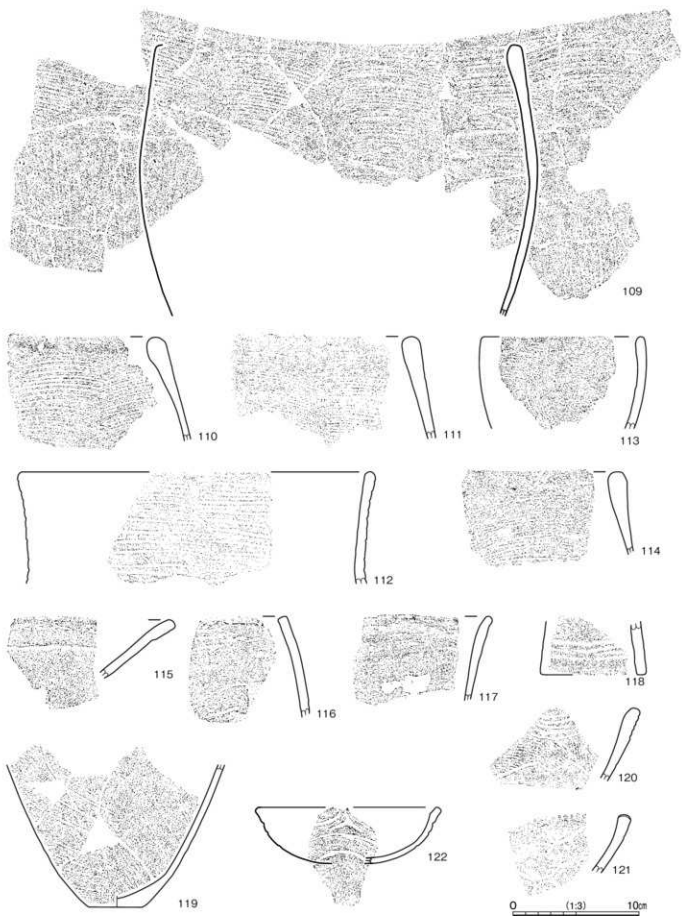
第 318 图 第 4·5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (4)



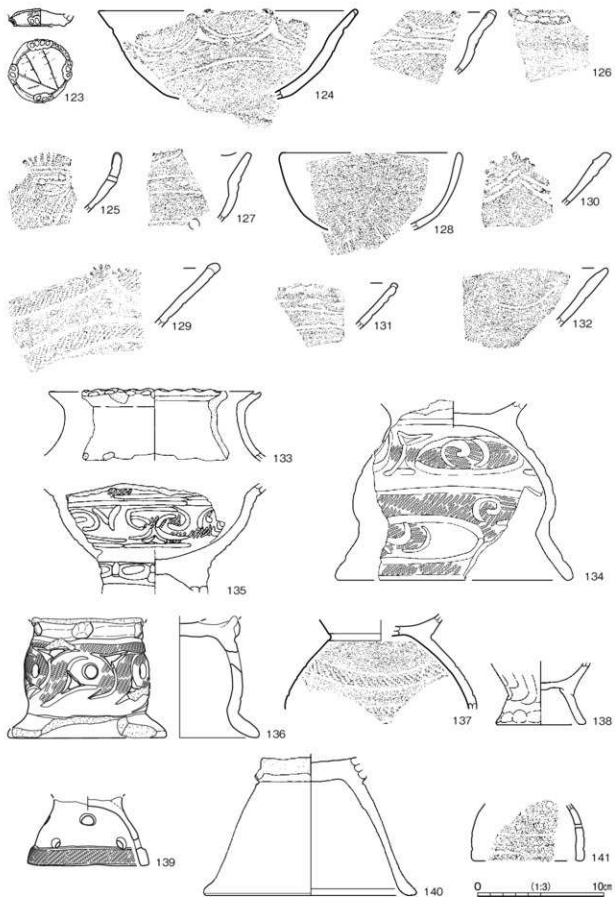
第 319 图 第 4·5 号遺物包含層第 III 層出土遺物实测图 (5)



第 320 图 第 4·5 号遗物包含层第Ⅲ层出土遗物实测图 (6)



第 321 图 第 4 · 5 号遺物包含層第三層出土遺物实测图 (7)



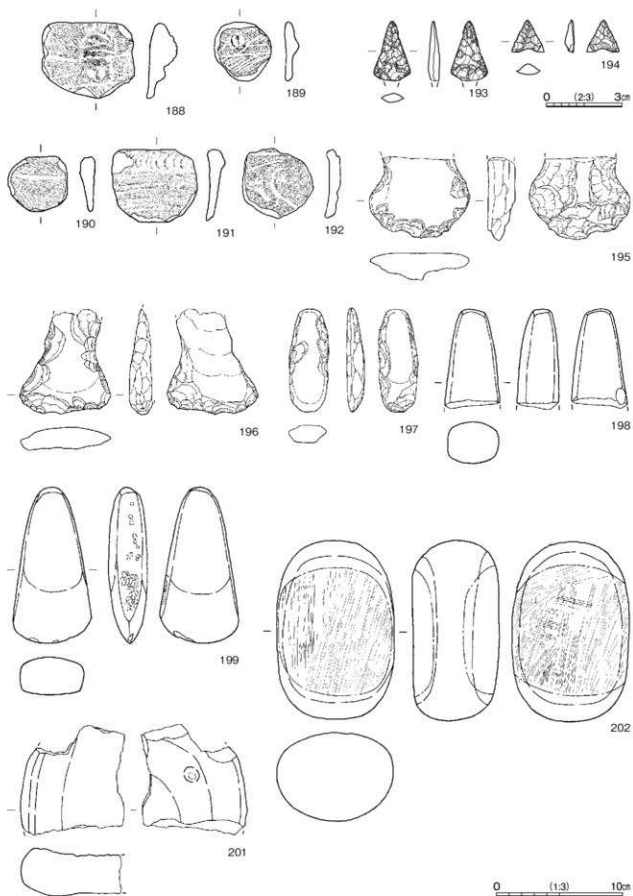
第 322 图 第 4 · 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (8)



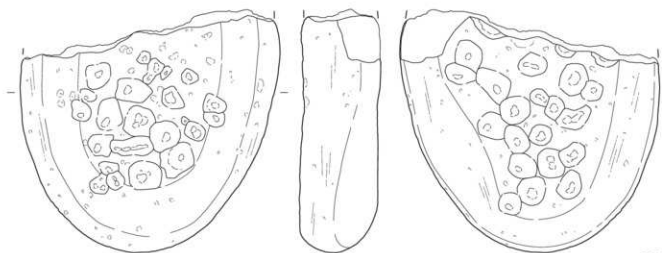
第 323 图 第 4·5 号遺物包含層第三層出土遺物実測图 (9)



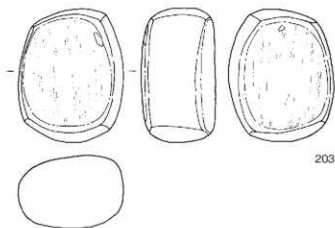
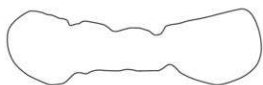
第 324 图 第 4·5 号道物包含层第 III 层出土物实测图 (10)



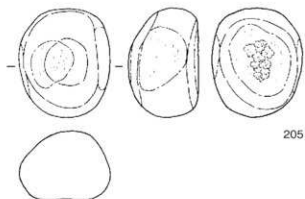
第 325 图 第 4·5 号遺物包含層第三層出土遺物実測図 (11)



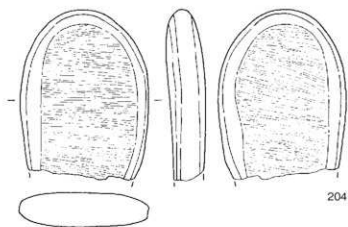
200



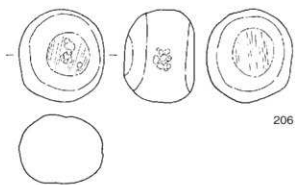
203



205



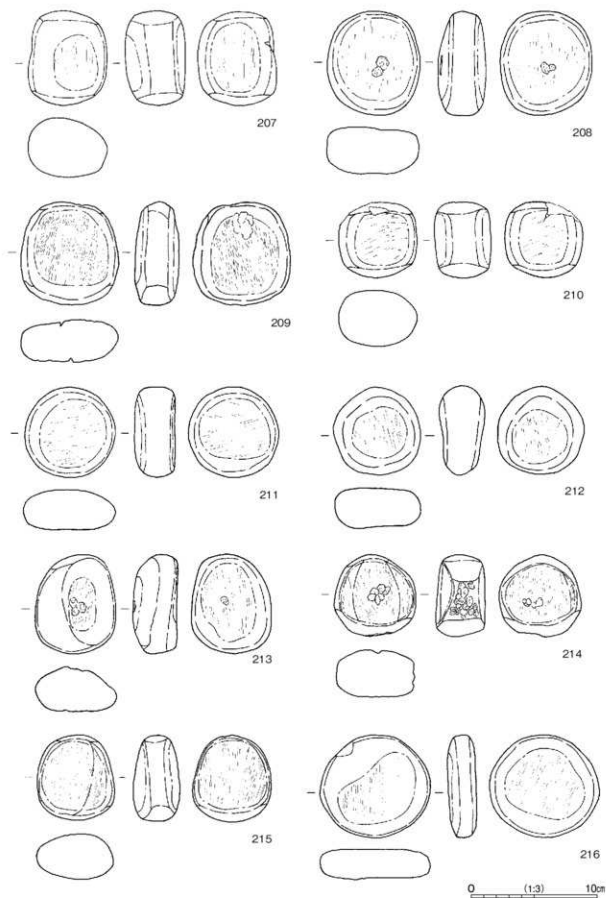
204



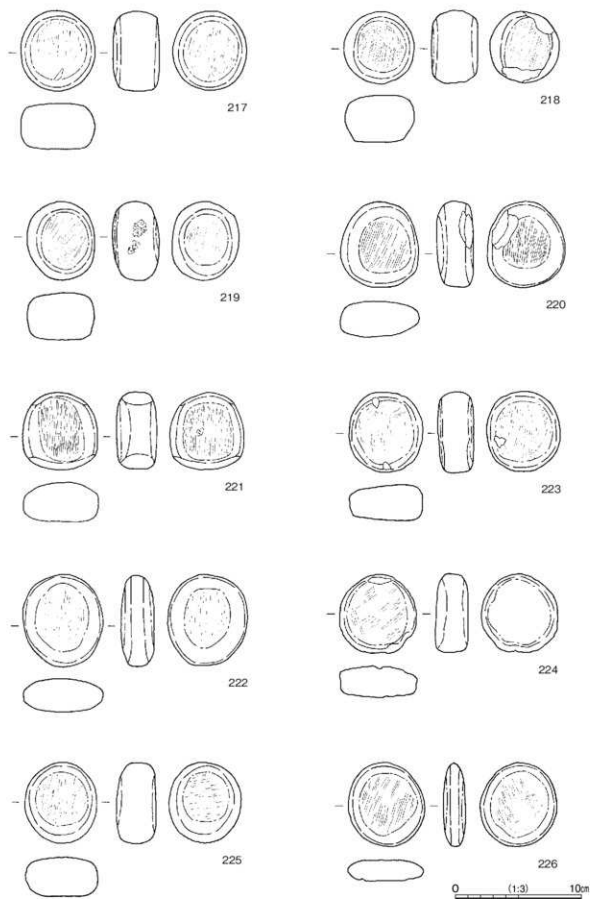
206

0 (1:3) 10cm

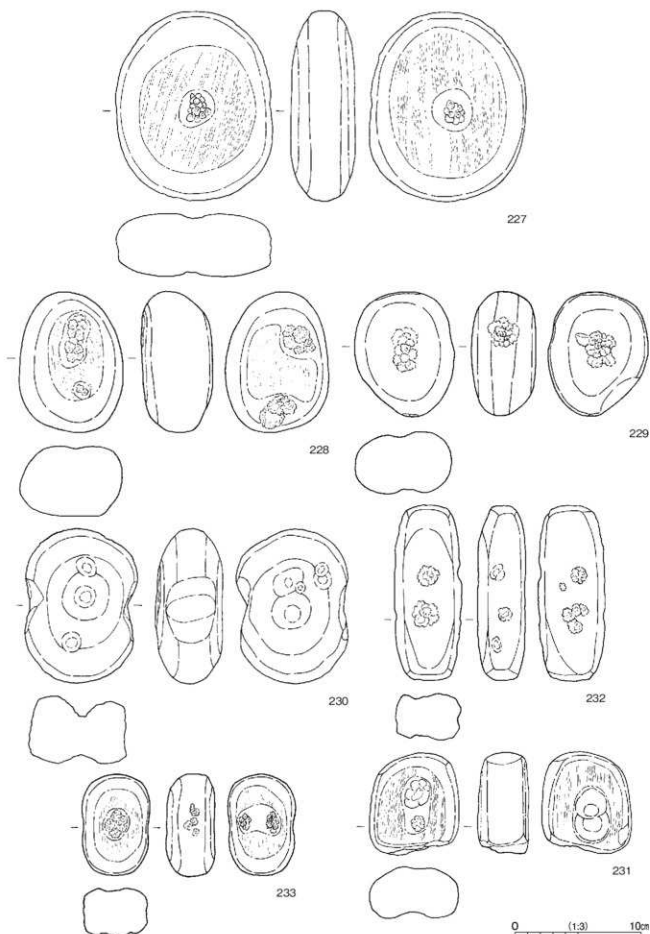
第 326 图 第 4 · 5 号遗物包含层第 III 层出土物实测图 (12)



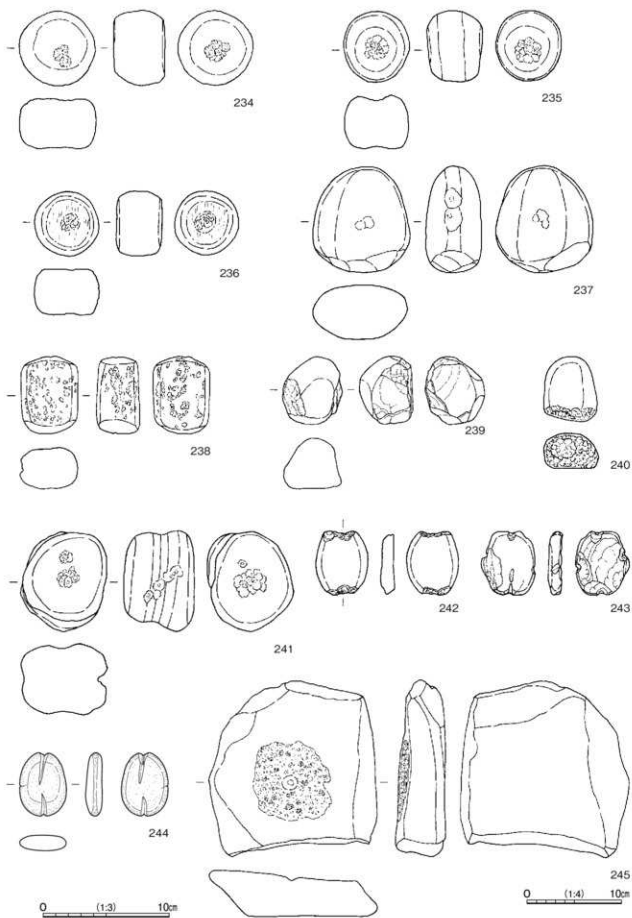
第 327 图 第 4·5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (13)



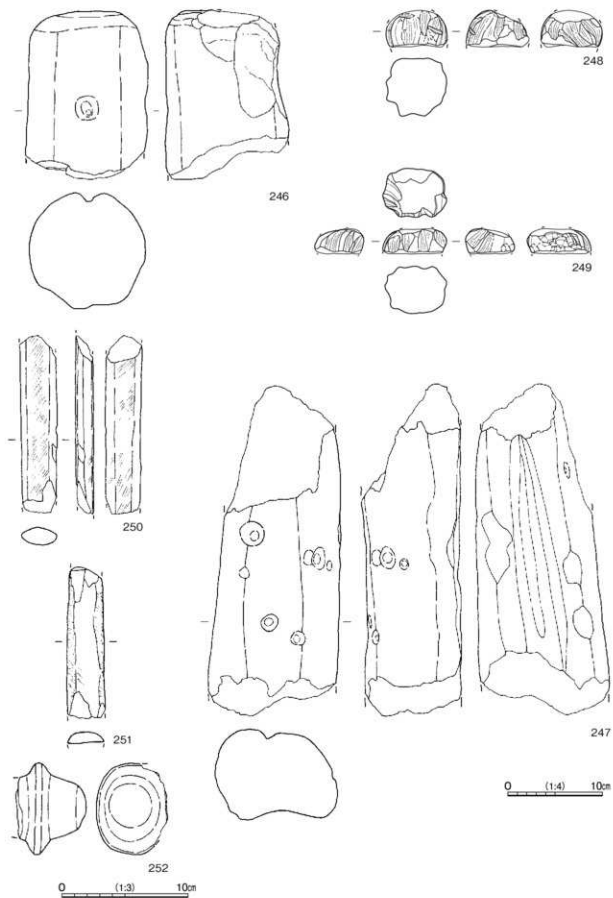
第 328 图 第 4·5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (14)



第 329 图 第 4·5 号遺物包含層第三層出土遺物实测图 (15)



第330图 第4·5号道物包含层第Ⅲ层出土道物实测图(16)



第331图 第4·5号遺物包含層第三層出土遺物実測図(17)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
12	縄文土器	台付鉢	-	(44)	70	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤黒	普通	台部 外面磨きで端部に削み	L.G7R2a	10% 後期中葉
13	縄文土器	黄粉台付土器	-	(32)	-	長石・石英	黒黒	普通	上面に縦線、外面磨粉状、円形の2×2単位の透かし孔、あるいは台部	L.J6R5a	PI.07 後期後葉
14	縄文土器	の手土器	-	(34)	-	長石・石英	にぶみ黒	普通	円筒形台付・三次元の2×2単位透かし孔、受け部も大きく4単位透かし孔	L.F8R2a	経線・経線
15	縄文土器	の手土器	-	(65)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶみ黒	普通	底部 外面磨みを伴う側面起帯によるブリッジ内面磨き	L.G7R2a	後期中葉
16	縄文土器	の手土器	-	(51)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	ブリッジ部 外面磨き施文文の隆起帯 懸垂孔内面ナデ	L.F10R2a	後期中葉
17	縄文土器	の手土器	-	(92)	-	長石・石英・雲母	にぶみ黒	普通	ブリッジ部 外面磨、隆起帯隆帯 懸垂孔2ヶ所に上の穿孔部分は削みを持つ横長の輪 内面ナデ	L.G7R2a	PI.07 安行2式
18	縄文土器	の手土器	-	(40)	-	長石・石英・雲母	にぶみ黒	普通	ブリッジ部 削みを有する隆起帯による横状突起、外 内面ナデ	L.F8R2a	後期後葉
19	縄文土器	鉢	-	(75)	-	長石・石英・雲母	にぶみ黒	普通	内面下帯 鉢部に削み 口部下帯経線で区画L.R光沢・山形突起下の部位の経線貼付 胴部条線	L.J4R6a	後期中葉・後葉
20	縄文土器	深鉢	-	(140)	-	長石・石英・雲母・針状物質	黒灰	普通	外面口縁部2条の細み列 胴部 外面の縦線文・胴部 外、L.R光沢の交互縦線文 内面ナデ	L.J6R1a	曾谷式
21	縄文土器	鉢 [183]	(80)	-	-	長石・石英・雲母	灰黄黒	普通	横状突起・縄文L.R.光沢 磨滅跡	L.H7R1a	後期中葉
22	縄文土器	鉢 [149]	(83)	-	-	長石・石英・雲母	明赤黒	普通	口縁部に3条のR.L.隆起帯隆帯 胴部条線文 台付鉢の部の同様なものあり	L.G7R1a	10% 安行1式
23	縄文土器	鉢 [111]	(67)	-	-	長石・石英	黒灰	普通	口縁部隆帯・横み列 胴部・胴部L.R.光沢の横帯文 無文磨き 内面磨き	L.E8R1a	10% 後期中葉・後葉
24	縄文土器	深鉢	-	(71)	-	長石・石英	黄黒	普通	波状口縁 口縁部に4条のR.L.隆起帯隆帯 2次焼成	L.J4R6a	安行1式
25	縄文土器	深鉢	-	(102)	-	長石・石英	黒黒	普通	波状口縁 口縁部に4条のR.L.隆起帯隆帯 胴部縦線文・対角文 内面削り磨き	L.J6R5a	安行1式
26	縄文土器	台付鉢 [256]	(96)	-	-	長石・石英	明赤黒	普通	口部削り磨み 口部縦線部の条線 胴部削り磨帯と輪内面磨き	L.G7R1a	20% 安行1式
27	縄文土器	台付鉢	-	(70)	-	長石・石英・赤色	明赤黒	普通	口部削り磨み 口部無文 胴部削り磨帯 内面磨き	L.E10R2a	安行1式
28	縄文土器	深鉢	-	(100)	-	長石・石英・雲母	にぶみ黒	普通	口部削り磨み隆帯による三角形区画文 胴部 外、L.R.光沢施文文 内面磨き	L.J6R5a	PI.07 安行2式
29	縄文土器	深鉢	-	(68)	-	長石・石英	にぶみ黒	普通	山の波状部下・横長帯と縦長帯 口部削り磨帯による三角形区画文 内面磨き	L.J5R6a	安行2式
30	縄文土器	深鉢	-	(78)	-	長石・石英	橙	普通	波状口の條状突起下の縦長帯と横長帯 口部削り磨帯 口部削り磨帯による三角形区画文 内面磨き	L.J6R4a	安行2式
31	縄文土器	台付鉢	-	(45)	-	長石・石英・針状物質	にぶみ黒	普通	鉢部 L.R.光沢の滑潤文 接合部削り磨と4単位透かし孔の磨	L.J5R4a	後期後葉
32	縄文土器	注口土器	-	(58)	-	長石・石英	にぶみ黒	普通	口縁部2条のR.L.隆起帯隆帯文 胴部 外、L.R.光沢の帯線文	L.J4R3a	安行2式
33	縄文土器	黄粉台付土器	-	(45)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	交代部削り磨帯による縦線文 内面の透かし孔4ヶ所横状突起出に縦線文 台部4ヶ所の透かし孔	L.G7R2a	20% 安行2式
34	縄文土器	黄粉台付土器	-	(27)	-	長石・石英・赤色	明赤黒	普通	台部 削り磨帯とR.L.横文帯 透かし孔7ヶ所	L.F8R1a	安行2式
35	縄文土器	台付鉢	-	(33)	-	長石・石英	にぶみ黒	普通	外面洗染光沢の縦線文 経線文 接合部隆帯に削り磨	L.J7R1a	後期後葉
36	縄文土器	深鉢	-	(72)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口部部横状の条線→経線貼付 内面磨き	L.G7R1a	後期後葉
37	縄文土器	深鉢	-	(69)	-	長石・石英	灰黒	普通	外面縄文L.R.→経線貼付 内面ナデ 口縁部に円線	L.J4R6a	後期中葉
38	縄文土器	深鉢	-	(60)	-	長石・石英	にぶみ黒	普通	外面口縁部削り磨・特状文 外面突起部:輪貼付	L.E10R2a	高井式
39	縄文土器	深鉢	-	(52)	-	長石・石英	黒灰	普通	外面削り磨の入り組み帯状文 2輪1対の縦貼付内面磨き	L.J5R6a	輪付帯隆帯
40	縄文土器	浅鉢	-	(64)	-	長石・石英・雲母	にぶみ黒	普通	外面磨粉文 縄文L.R.光沢 内面磨き	L.J4R2a	穴割1式
41	縄文土器	注口土器 [92]	(88)	-	-	長石・石英・赤色	にぶみ黒	普通	外面口縁部・胴部削り磨の2条の隆起帯と輪 胴部2条の隆起帯と輪 内面口縁部磨き	L.J4R6a	20% PI.07 安行第2段階
42	縄文土器	注口土器	-	(46)	-	長石・石英	にぶみ黒	普通	外面縦線文・縄文L.R.光沢 胴部突起+磨	L.J4R6a	安行第2段階
43	縄文土器	深鉢	-	(93)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶみ黒	普通	波状部2段階の経線状突起貼付の横状突起 胴部R.L.隆起帯隆帯文による三角形区画文 内面ナデ	L.H8R2a	PI.07 安行3b式
44	縄文土器	深鉢	-	(81)	-	長石・石英・赤色	橙	普通	波状部3段階の経線状突起貼付の横状突起 胴部R.L.隆起帯隆帯文による三角形区画文 内面削り磨	L.G7R2a	安行3b式
45	縄文土器	深鉢	-	(69)	-	長石・石英	灰黒	普通	口部部人組三文文 縄文L.R.光沢 内面ナデ	L.J6R5a	PI.07 安行3a式
46	縄文土器	深鉢	-	(67)	-	長石・石英	黒灰	普通	波状部有孔状 削り磨の押圧輪2段 胴部R.L.隆起帯隆帯文による三角形区画文 磨滅跡	L.J6R1a	安行3b式
47	縄文土器	深鉢	-	(71)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶみ黒	普通	横状突起 口部部2条のR.L.隆起帯隆帯 胴部R.L.隆起帯隆帯文による三角形区画文	L.E8R1a	安行3b式
48	縄文土器	浅鉢	-	(75)	-	長石・石英・雲母	灰黒	普通	口部部縄文L.R.光沢の人組三文文 内面磨き	L.J4R4a	大淵B2式
49	縄文土器	鉢 [204]	(81)	-	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	胴部削り磨帯、口部部縄文L.R.光沢の人組三文文、上部削り磨帯、削り磨を有する円ナデ状 内面磨き	L.J5R5a	20% PI.07 安行3a式
50	縄文土器	鉢	-	(76)	-	長石・石英	黒黒	普通	9和同一家	L.J5R6a	安行3a式
51	縄文土器	鉢	-	(70)	-	長石・石英	黒黒	普通	外面口縁部L.R.光沢の人組三文文 口部部縄文帯を区画する突起部・削り磨が深い 内面磨き	L.J5R5a	安行3a式
52	縄文土器	鉢	-	(58)	-	長石・石英	黒灰	普通	口部部L.R.隆起帯隆帯文による特状文 2段階の経線状突起 内面磨き	L.J5R5a	安行3b式
53	縄文土器	鉢	-	(92)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶみ黒	普通	胴部削り磨帯 胴部部縄文L.R.光沢の人組三文文 胴部条線文	L.J5R5a	安行3a式
54	縄文土器	浅鉢	-	(84)	-	長石・石英	にぶみ黒	普通	鉢部突起の波状部 口部部に波線 口部部縄文L.R.光沢の人組三文文帯隆帯 内面磨き	L.F10R2a	安行3b式
55	縄文土器	深鉢	-	(59)	-	長石・石英・針状物質	灰黒	普通	口部部に削り磨を持つ横長の輪 胴部縄文L.R.光沢の細条状隆帯文 内面磨き	L.J6R5a	安行3a式
56	縄文土器	深鉢	-	(74)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰黒	普通	口部部に削り磨を持つ横長の輪 胴部縄文L.R.光沢の細条状隆帯文 内面ナデ	L.J4R6a	PI.07 安行3a式
57	縄文土器	深鉢	-	(63)	-	長石・石英	黒灰	普通	波状口縁 口部部縄文L.R.光沢の人組三文文帯隆帯内面ナデ	L.J6R5a	安行3b式
58	縄文土器	深鉢	-	(56)	-	長石・石英	黒灰	普通	口部部2輪1対の輪 半片管片により削り文隆帯作出 胴部部縄文L.R.光沢の扇条状隆帯文	L.J4R4a	後期後葉
59	縄文土器	壺	-	(59)	-	長石・石英	にぶみ黒	普通	縄文L.R.光沢「の」の字文 無文磨き	L.J4・5R4-6a	曾谷式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴はか	出土位置	備考
60	縄文土器	深鉢	-	(80)	-	長石・石英	灰黄緑	普通	流面部鉢巻状突起 口縁部縄文LR光輝の菱形区画 無文部・内面磨き	LJ5R6	PL107 龍山Ⅱ式
61	縄文土器	深鉢	-	(61)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	流面部鉢巻状突起 流面部下縁部突起 口縁部 縄文LR光輝の菱形区画 無文部・内面磨き	LJ4R4s	龍山Ⅱ式
62	縄文土器	深鉢	-	(73)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	橙	普通	流面部鉢巻状突起 流面部下縁部突起の端 口縁部 縄文LR光輝の菱形区画 無文部・内面磨き	LH6R1s	龍山Ⅱ式
63	縄文土器	深鉢	-	(50)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	橙	普通	口縁部縄文LR光輝の菱形区画 流面部対向直線文	LJ5R1s	龍山Ⅱ式
64	縄文土器	鉢	-	(61)	-	長石・石英・針状 物質	明赤褐	普通	口縁部縄文LR光輝の針状文 胴部磨き 内面磨き	LJ4R6s	安行3B式
65	縄文土器	深鉢	[189]	(86)	-	長石・石英・針状 物質	黒褐	普通	広口型状 口縁部LR縄文 口唇部に山形突起 胴部ニ又文を伴うLR縄文帯 内面口縁部磨き	LJ5R6s	15% PL107 安行3B式
66	縄文土器	深鉢	[192]	(54)	-	長石・石英	にぶい	普通	広口型状 口縁部LR縄文 胴部縄文LR光輝の S字状入組文 無文部・内面磨き	LJ5R6s	10% PL107 安行3B式
67	縄文土器	深鉢	-	(62)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	広口型状 口縁部LR縄文 胴部縄文LR光輝の S字状入組文	LK6R2s	安行3B式
68	縄文土器	深鉢	-	(58)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	口縁部LR縄文 胴部縄文LR光輝のS字状入組文 入り組み部は凸凹状 無文部・内面磨き	LH6R1s	安行3B式
69	縄文土器	深鉢	-	(50)	-	長石・石英	にぶい	普通	口縁部縄文LR光輝のS字状入組文 無文部・内面磨き	LH9R1s	安行3B式
70	縄文土器	鉢	[123]	(95)	-	長石・石英	黒褐	普通	口縁部縄文LR 孤線となるが 胴部LR縄文帯 無文部・内面磨き	LJ5R5s	20% 安行3A式
71	縄文土器	深鉢	-	(61)	-	長石・石英・雲母・ 針状物質	にぶい	普通	口縁部縄文LR 胴部孤状帯上に縄文LR光輝 無文部・内面磨き	LK5R1s	晩期南東
72	縄文土器	深鉢	-	(43)	-	長石・石英	にぶい	普通	口縁部縄文LR 胴部LR光輝の孤線文 内面口縁部凹線状	L6R82s	晩期南東
73	縄文土器	深鉢	-	(124)	-	長石・石英	明褐色	普通	広口型状 胴部LR光輝のS字状入組文 胴部削り	L16R1s	10% 安行3B式
74	縄文土器	深鉢	-	(110)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	胴部RL光輝の針状文 胴部RL光輝の交互孤線文	LJ4R6s	10% 安行3A式
75	縄文土器	深鉢	-	(59)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	口唇部に横長瘤 胴部LR光輝の極狭状前直線文と 蛇行状線 無文部・内面磨き	LH3R1s	晩期南東
76	縄文土器	深鉢	-	(56)	-	長石・石英・雲母・ 針状物質	明赤褐	普通	口唇部孤線文と縦状区画による菱形区画 縦状区画を伴って又又対向 縄文LR光輝 無文部・内面磨き	LH7R2s	安行3B式
77	縄文土器	深鉢	-	(57)	-	長石・石英	黒褐	普通	口縁部・胴部区画内細密流線文光輝 無文部・ 内面磨き	LJ5R6s	安行3B式
78	縄文土器	深鉢	-	(70)	-	長石・石英	にぶい	普通	口唇部・胴部区画内細密流線文光輝 口唇部に削み 無文部・内面磨き	LH6R1s	安行3B式
79	縄文土器	深鉢	-	(68)	-	長石・石英・雲母・ 針状物質	橙	普通	口唇部・胴部区画内細密流線文光輝 無文部・ 内面磨き	LH5R1s	安行3B式
80	縄文土器	深鉢	-	(47)	-	長石・石英	にぶい	普通	口唇部・胴部区画内細密流線文光輝 口唇部・ 胴部区画の上に削み 無文部磨き	LH9R2s	安行3B式
81	縄文土器	深鉢	-	(60)	-	長石・石英	黒褐	普通	口縁部LR光輝の枠状文 口縁部に縦一線LR 無文部・内面磨き	LJ5R6s	安行3B式
82	縄文土器	浅鉢	-	(31)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	にぶい	普通	口唇部・胴部区画内細密流線文光輝 内面貼土 線の孤状貼付文	LJ4R3s	安行3B式
83	縄文土器	深鉢	-	(46)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	にぶい	普通	口縁部・胴部区画内細密流線文光輝 無文部磨き 内面ナゲ	LJ4R1s	安行3B式
84	縄文土器	深鉢	-	(94)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	山形突起に押圧した瘤 流線沈線による菱形 区画文 内面ナゲ	LJ4R1s	龍山Ⅲ式 龍山Ⅱ式
85	縄文土器	深鉢	-	(50)	-	長石・石英・雲母・ 針状物質	にぶい	普通	口縁部沈線による菱形区画 無文部・内面磨き	L6R1R2s	10% PL107 龍山Ⅱ式
86	縄文土器	深鉢	[196]	(61)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	橙	普通	広口型 口唇部内面に押圧のある貼付文 胴部LR 縄文光輝の粗突文 無文部磨き	LH8R2s	10% 安行3B式
87	縄文土器	深鉢	-	(48)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	広口型 胴部に斜列 磨滅顯著	LH5R1s	安行3C式
88	縄文土器	浅鉢	-	(71)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	にぶい	普通	口縁部に孤線文 胴部に入組又文	LJ5R6s	安行3B式
89	縄文土器	深鉢	-	(152)	-	長石・石英	にぶい	普通	口唇部細密の沈線による枠状文 無文部磨き	LJ5R6s	PL108 安行3C式
90	縄文土器	深鉢	-	(58)	-	長石・石英	灰黄	普通	口唇部に横長状の貼付文と押圧 口唇部に孤線文 →横文LR光輝 無文部磨き	LJ5R2s	PL108 前溝2式
91	縄文土器	鉢	[242]	(62)	-	長石・石英	橙	普通	無文部 口唇部に押圧のある横長の貼付文 外・ 内面磨き	LH6R1s	10% 晩期中葉
92	縄文土器	深鉢	-	(68)	-	長石・石英	黒褐	普通	口唇部孤線文による菱形区画 無文部・内面磨き	LJ5R6s	安行3B式
93	縄文土器	深鉢	[140]	(36)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	口唇部・胴部区画内に削み刺突文光輝 極狭状 区画文 無文部磨き 内面ナゲ	LJ45R6s	10% PL107 安行3B式
94	縄文土器	鉢	-	(74)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	LR光輝枠状文+の字文 内面口縁部に縦線文 無文部・内面磨き	LJ5R6s	PL108 前溝2式
95	縄文土器	深鉢	-	(55)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	LR光輝枠状文+枠状文+の字文 無文部・内面磨き	LJ6R4s	PL108 前溝2式
96	縄文土器	深鉢	-	(50)	-	長石・石英	にぶい	普通	LR光輝の奇形枠状文	LH9R1s	PL108 前溝2式
97	縄文土器	深鉢	-	(49)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	LR光輝枠状文+の字文 磨滅顯著	LJ5R4s	前溝2式
98	縄文土器	浅鉢	-	(32)	-	長石・石英	灰黄緑	普通	縦い流状 LR光輝枠状文+の字文 内面に凹線 状の沈線	LJ4R3s	前溝2式
99	縄文土器	深鉢	-	(61)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	LR光輝枠状文+の字文 内面に凹線状の沈線	LJ4R3s	前溝2式
100	縄文土器	浅鉢	-	(40)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	橙	普通	縦い流状 LR光輝枠状文+の字文 内面に凹線 状の沈線	LJ4R3s	前溝2式
101	縄文土器	深鉢	-	(38)	-	長石・石英・赤色 粘土	橙	普通	S字状入組文+ 縄文LR光輝	LH9R1s	安行3B式
102	縄文土器	深鉢	[210]	(160)	-	長石・石英・赤色 粘土	明赤褐	普通	縁線貼付→口唇部横位・胴部縦位の条線→口唇部 孤線による区画文 内面ナゲ	LH10R2s	10% PL108 縁線+縁線
103	縄文土器	深鉢	-	(79)	-	長石・石英・針状 物質	明赤褐	普通	口唇部横位の条線→縦状区画・区画内磨き→縁線 貼付 内面ナゲ	LH10R2s	縁線+縁線
104	縄文土器	深鉢	-	(81)	-	長石・石英・針状 物質	橙	普通	縁線貼付→口唇部横位・胴部縦位の条線→口唇部 孤線による区画文 内面磨き	L6R7R1s	縁線+縁線
105	縄文土器	深鉢	-	(60)	-	長石・石英	褐色	普通	口唇部横位の条線→縦状区画・区画内磨き→縁線 貼付 内面磨き	LJ5R6s	縁線+縁線
106	縄文土器	深鉢	-	(63)	-	長石・石英・針状 物質	橙	普通	口唇部横位の条線→縦状区画・口縁部・胴部付点 縁線文	L6R7R1s	晩期後葉
107	縄文土器	深鉢	-	(92)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	横文文有り+ 口唇部横位の条線→口唇部削み 内面磨き	LJ6R5s	晩期後葉

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
108	縄文土器	深鉢	-	(82)	-	長石・石英・針状物質	橙	普通	口頸部横位の条線→口縁部刻み 内面磨き	L 6 R 2 x	後期後葉
109	縄文土器	深鉢	(28.4)	(21.5)	-	長石・石英・雲母・針状物質	橙	普通	口頸部横位・胴部縦位の条線 内面ナデ	L H 7 R 1 x	50% PL108 晩期前葉
110	縄文土器	深鉢	-	(77)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口頸部横位の条線 口縁部肥厚 内面ナデ	L H 7 R 1 x	晩期前葉
111	縄文土器	深鉢	-	(79)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	口頸部横位の条線 口縁部肥厚 内面粗い磨き	L H 4 R 3 x	晩期前葉
112	縄文土器	深鉢	(28.0)	(89)	-	長石・石英	普通	普通	口頸部横位の条線 沈線状 内面磨き	L J 5 R 6 x	後期後葉
113	縄文土器	深鉢	(12.3)	(72)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい	普通	口頸部横位・胴部縦位の条線 内面ナデ	L J 5 R 6 x	10% 晩期前葉
114	縄文土器	深鉢	-	(64)	-	長石・石英・針状物質	灰褐	普通	口頸部横位の条線 口縁部肥厚 内面ナデ	L J 5 R 2 x	晩期前葉
115	縄文土器	浅鉢	-	(48)	-	長石・石英	灰褐	普通	外面削り 内面磨き	L J 6 R 1 x	晩期後葉
116	縄文土器	深鉢	-	(80)	-	長石・石英・雲母・針状物質	橙	普通	外面削り 内面ナデ	L L 4 R 1 x	晩期前葉・中葉
117	縄文土器	深鉢	-	(66)	-	長石・石英	灰褐	普通	口頸部横位・胴部縦位のナデ→粗い磨き 内面粗い磨き	L J 4 R 3 x	後期*
118	縄文土器	台付土器	-	(42)	(8.4)	長石・石英・雲母・針状物質	橙	普通	台付片 下腹部に沈線文	L 1 R 1 R 1 x	晩期*
119	縄文土器	深鉢	-	(11.3)	4.2	長石・石英	にぶい	普通	胴部条線 底面削り 内面ナデ	L H 7 R 1 x	10% 晩期*
120	縄文土器	深鉢	-	(58)	-	長石・石英	黒	普通	底面口縁 底孔の縦帯状磨消縄文・無文部磨き 内面ナデ	L J 6 R 5 x	安行2式
121	縄文土器	浅鉢	-	(46)	-	長石・石英	黒	普通	口縁部にはスタック状入り面文と横間文で細帯状磨消縄文施文・無文部磨き 内面磨き	L J 5 R 6 x	安行2式
122	縄文土器	浅鉢	(14.6)	4.5	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	底面下部に三叉文 縄文LR光輝 無文部・内面磨き	L J 5 R 6 x	安行3 a式
123	縄文土器	深鉢	-	(1.4)	3.9	長石・石英・赤色粒子・針状物質	にぶい	普通	外面LR縄文→輪胎付 底部木葉痕 内面磨き	L J 5 R 6 x	安行3 a式
124	縄文土器	浅鉢	(20.2)	(7.1)	-	長石・石英	にぶい	普通	B突起をLR光輝の弧線文で連続 突起下に三叉文 胴部LR光輝の磨消文 無文部・内面磨き	L H 8 R 1 x	15% PL108 安行3 a式
125	縄文土器	浅鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	縁状突起下に2孔の貫通孔 入り組み文→縄文LR磨消文	L G 8 R 2 x	安行3 b式
126	縄文土器	鉢	-	(5.1)	-	長石・石英	橙	普通	LR光輝の弧線文 突起下三叉文 胴部刻交刺交突起を縁状磨消で連続	L H 10 R 2 x	安行3 a式
127	縄文土器	鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・針状物質	にぶい	普通	口縁部LR光輝の弧線文 胴部刻交刺 胴部LR光輝の磨消文 下部に焼成後穿孔 内面磨き	L 1 R 7 R 2 x	安行3 a式
128	縄文土器	鉢	(14.2)	(6.1)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面削り 内面磨き	L H 7 R 1 x	10%晩期
129	縄文土器	浅鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい	普通	口縁部には赤色突起・縁状磨消胎付・口縁部LR光輝の磨消文 胴部LR光輝の磨消文・無文部磨き 内面ナデ	L F 8 R 1 x	PL108 安行3 b式
130	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石英	にぶい	普通	底面口縁 表面径に2単位位の縁状突起 口縁部弧状刺交刺 胴部削り 内面磨き	L J 4 R 4 x	安行3 c式
131	縄文土器	浅鉢	-	(3.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部にB突起 口縁部に刺交刺 無文部磨き	L 1 R 7 R 2 x	安行3 c式
132	縄文土器	浅鉢	-	(4.6)	-	長石・石英・針状物質	褐	普通	口縁部弧線文 胴部削り 内面ナデ 磨消施書	L G 10 R 2 x	安行3 c式
133	縄文土器	壺	(16.8)	(5.7)	-	長石・石英	にぶい	普通	密口縁→胴部 口頸部透穴 胴部磨き 内面磨き	L E 8 R 1 x	10% 大淵C-1式
134	縄文土器	台付鉢	-	(14.0)	(18.3)	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	LR光輝の縁状文・の字文 無文部磨き 内面ナデ 上下部の可能性もあり	L F 7 R 2 x	10% PL108 無文部
135	縄文土器	台付鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	縁部LR光輝の雲形文 複合部縁状磨消 縁部内面磨き	L H 6 R 1 x	15% PL108 大淵C 2式
136	縄文土器	台付鉢	-	(9.6)	(12.6)	長石・石英	黒褐	普通	複合部胎付文6単位 台部縄文LR光輝の玉粒磨き 文より上部・三叉部透孔	L J 6 R 5 x	30% 安行3 a式
137	縄文土器	台付鉢	-	(7.6)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	縁部内面磨き 台部RL光輝の磨消文 内面ナデ	L J 6 R 5 x	15% 晩期後葉
138	縄文土器	台付鉢	-	(4.9)	7.0	長石・石英	にぶい	普通	外・内面ナデ	L J 4 R 4 x	10% 晩期
139	縄文土器	台付鉢	-	(5.5)	9.7	長石・石英	にぶい	普通	透孔上下5単位(計10か所) 台部下層LR磨消磨消縄文 無文部磨き	L K 5 R 6 x	50% 晩期後葉
140	縄文土器	台付鉢	-	(11.0)	(16.8)	長石・石英	浅黄褐	普通	台部外・内面ナデ	L K 4 R 3 x	15% 晩期
141	縄文土器	台付鉢	-	(4.5)	(8.5)	長石・石英・雲母	黒	普通	台部上半部(内形)の透かし孔 細かい刺交文光輝→下部磨消縄文LR光輝の磨消文 磨消施書	L J 5 R 4 x	縁部→縁部 縁部前葉・中葉
142	縄文土器	注口土器	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	注口部下端にボタン状の胎付 胴部縄文LR光輝	L J 5 R 6 x	10% 晩期前葉・中葉
143	縄文土器	注口土器	(8.0)	(2.7)	(8.0)	長石・石英・赤色粒子	にぶい	普通	中空突起 注口付き 沈線による磨消文 無文部磨き	L K 4 R 1 x	70% 晩期前葉
144	縄文土器	角底土器	-	(2.9)	(11.2)	長石・石英・雲母	にぶい	普通	コーナー部に磨消 沈線状 無文部・底面ナデ	L J 5 R 5 x	縁部磨消*
145	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口縁部B突起 胴部二溝間のサイ痕 胴部縄文LR内面ナデ	L J 4 R 3 x	PL109 大淵C 1式
146	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英	黒褐	普通	口唇部刻み 口唇部半歯状文 胴部縄文LR内面ナデ	L J 5 R 6 x	大淵C 1式
147	縄文土器	鉢	-	(4.0)	-	長石・石英	にぶい	普通	口唇部二溝間のサイ痕 胴部縄文LR光輝の雲形文 内面磨き	L H 6 R 1 x	大淵C 1式
148	縄文土器	壺	-	(3.0)	-	石英	にぶい	普通	口唇部にB突起と刺交刺 外・内面磨き	L H 6 R 1 x	晩期
149	縄文土器	注口土器	-	(5.2)	-	長石・石英	褐灰	普通	胴部上半二溝間のサイ痕と縄文LR光輝の雲形文	L 1 R 7 R 2 x	大淵C 1式
150	縄文土器	壺	(10.3)	(8.5)	-	長石・石英	にぶい	普通	胴部上半二溝間のサイ痕と縄文LR光輝の入り組む半歯状文 下半無施L縄文	L J 6 R 5 x	10% 大淵B C式
151	縄文土器	壺	(6.0)	(5.7)	-	長石・石英	褐灰	普通	胴部上半半歯状文 下半無施L縄文	L J 5 R 5 x	30% PL109 大淵B C式
152	縄文土器	注口土器	-	(3.4)	-	長石・石英	褐灰	普通	縄文LR光輝	L J 4 R 2 x	大淵C-1式
153	縄文土器	注口土器	-	(7.4)	-	長石・石英	にぶい	普通	胴部上半部位の二溝間のサイ痕 無施L縄文光輝下半無施L縄文	L F 8 R 1 x	晩期中葉
154	縄文土器	注口土器	-	(3.4)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	胴部部に入り組む半歯状文 磨き調整	L J 6 R 3 x	大淵B C式
155	縄文土器	注口土器	-	(4.9)	-	長石・石英	褐灰	普通	胴部部半歯状文 胴部磨き	L J 5 R 6 x	大淵B C式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
156	縄文土器	注口土器	-	(5.2)	-	長石・石英	暗灰黄	普通	胴部屈曲部縁状隆部 胴部縄文LR光塊の入り組み文	LJ7R1s	実行30式
157	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部と口頸部に積層付付 口頸部平直竹管による割変文 内面口縁部凹線	LJ6R1s	加賀料B1式
158	縄文土器	壺	-	(4.0)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	胴部上半平歯状文 赤彩 帯き調整	LJ5R5s	PL109 大塚古石式
159	縄文土器	壺	-	(3.7)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	胴部赤彩文 赤漆塗布	LJ6R5s	PL109 大塚古石式
160	縄文土器	浅鉢	-	(4.2)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	縄文LR光塊の雲彩文 外・内面赤漆塗布	LJ5R5s	PL109 船岡中巻
161	縄文土器	壺*	-	(4.4)	-	長石・石英	黒	普通	縄文LR光塊の雲彩文* 外面赤漆塗布	LJ6R5s	PL109 船岡中巻
162	縄文土器	浅鉢*	-	(3.8)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外・内面帯き 外面に赤漆塗布	LJ6R3s	PL109 船岡中巻+船岡
163	縄文土器	壺	-	(3.2)	-	長石・石英	明赤褐	普通	外面無文 赤漆塗布	LJ6R5s	PL109 船岡中巻+船岡
164	縄文土器	製塩土器	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	口唇部ナテ 外面口縁部積付・胴部縦段の削り内面ナテ	LJ7R2s	船岡*
165	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部にミミズク彩土器胴部貼付	LJ6R1s	PL109 実行30式

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
166	土偶	(6.2)	(8.2)	(4.2)	(93.9)	長石・石英・雲母・針状物質	褐灰	ミミズク彩土器胴部 磨滅跡	LJ8R2s	PL109
167	土偶	(4.4)	(5.2)	(1.8)	(31.5)	長石・石英・雲母・赤色粘土	明赤褐	ミミズク彩土器胴部 胸突沈凹による顔面表現	LJ6R2s	PL109
168	土偶	(4.9)	(5.8)	(2.2)	(56.6)	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶい橙	胴部 胸突 正面沈凹による顔面文 腹部は輪状の貼付文 背面入り組み文	LJ8R1s	PL109 船岡中巻*
169	土偶	(6.5)	(4.9)	(3.6)	(83.1)	長石・石英	橙	肩一腕部 中央 肩パットは粘土粘着付で手先は二枚沈凹同列変文 腕の下部は沈凹同列変文あり	LJ7R1s	PL109
170	土偶	(5.4)	(4.2)	(3.0)	(56.3)	長石・石英	にぶい黄褐	肩一腕部 沈凹同列変文による文様	LJ6R1s	PL109
171	土偶	(5.7)	(4.0)	(2.3)	(43.8)	長石・石英・雲母	にぶい橙	胴部 胸突 縄文LRの磨滅文 脚部の可能性もあり	LJ6R1s	PL109
172	土偶	(3.1)	(4.2)	(3.0)	(30.9)	長石・石英	にぶい橙	ミミズク彩土器胴部 肩から胸部に刻みを伴う隆部	LJ5R4s	PL109
173	土偶	(5.1)	(5.9)	(2.7)	(68.9)	長石・石英・針状物質	にぶい赤褐	ミミズク彩土器胴部一腕部 腹部一腕部の磨滅跡 顔部に弧線文 胴部縄文	LJ4R6s	PL109
174	土偶	(7.2)	(4.8)	(5.0)	(108.3)	長石・石英	褐灰	胴部 中央 背面沈凹による顔面文 腕部一腕部の磨滅跡 腕部一腕部の磨滅跡 腕部一腕部の磨滅跡 腕部一腕部の磨滅跡	LK5R1s	PL109
175	土偶	(7.7)	(4.1)	(3.7)	(93.2)	長石・石英	褐灰	ミミズク彩土器胴部 縄文LRの磨滅文	LJ4R4s	PL109
176	土偶	(5.0)	(4.0)	(2.0)	(31.3)	長石・石英・雲母・赤色粘土	褐灰	ミミズク彩土器胴部 顔面前縁 正面 LR 光塊の入り組み文 背面 LR 光塊の磨滅文	LJ5R2s	PL109
177	土偶	(5.5)	(3.7)	(3.7)	(52.6)	長石・石英・雲母	黄灰	流光器土器系の脚部 中空	LJ4R6s	PL109
178	土版	(5.1)	(7.1)	(2.2)	(53.9)	長石・石英・雲母	にぶい橙	表面 2本1対の沈凹による顔面文 裏面直三角文	LJ5R6s	船岡中巻
179	土版	(5.6)	(6.5)	(2.0)	(32.6)	長石・石英・赤色粘土	にぶい橙	表面弧線文 顔部に細かい割変文光塊*	LJ5R6s	船岡中巻
180	不明	(7.2)	(3.4)	(3.8)	(50.5)	長石・石英	にぶい橙	中空 沈凹による顔面文 焼成前穿孔あり	LJ5R6s	PL109
181	耳輪	2.2	2.2	1.7	9.8	長石・石英	にぶい黄褐	器面ナテ整形	LJ6R6s	PL109
182	手摺形土製品	(6.9)	(7.0)	(2.9)	(65.0)	長石・石英・赤色粘土	橙	沈凹→穿孔2か所・胸突	LJ8R2s	PL109
183	土器片断	5.2	5.1	0.8	20.5	長石・石英	にぶい橙	深鉢体部片利用 周縁打ち欠き	LJ3R1s	PL109
184	土器片断	3.3	3.0	1.1	9.5	長石・石英・雲母	灰黄褐	絞線文系深鉢体部片利用 周縁打ち欠き	LJ5R2s	船岡中巻
185	土器片断	8.0	7.8	1.8	56.3	長石・石英・雲母	灰褐	液状口縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	LJ4R6s	加賀料E3式
186	土器片断	5.4	5.6	1.3	37.5	長石・石英・雲母	黒褐	平縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	LJ5R6s	実行1式
187	土器片断	6.1	7.2	1.8	58.3	長石・石英・赤色粘土	にぶい赤褐	平縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	LK4R3s	実行2式
188	土器片断	6.0	7.4	2.5	67.2	長石・石英・赤色粘土	橙	平縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	LJ6R2s	実行2式
189	土器片断	4.7	4.6	1.2	20.6	長石・石英	黒褐	液状口縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	LJ4R6s	実行2式
190	土器片断	4.4	4.8	1.3	24.9	長石・石英・雲母	褐灰	液状口縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	LJ5R6s	船山II式
191	土器片断	5.6	6.9	1.5	45.9	長石・石英	にぶい橙	椀型土器口縁部片利用 周縁打ち欠き	LJ4R3s	船岡中巻
192	土器片断	5.4	5.7	1.3	37.3	長石・石英・赤色粘土	橙	浅鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	LJ5R2s	実行30式

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
193	石鏝	(2.4)	(1.5)	(0.5)	(1.1)	チャート	凸基有茶黒 基部欠損	LJ5R1s	PL109
194	石鏝	(1.4)	(1.2)	0.4	(0.4)	チャート	平基無茶黒	LJ4R6s	PL109
195	打製石斧	(6.6)	(8.0)	(2.2)	(145.6)	安山岩	分瓣形 両面調整	LJ7R2s	PL109
196	打製石斧	(8.3)	(7.3)	(1.9)	(109.7)	安山岩	分瓣形 両面調整	LJ6R2s	PL110
197	磨製石斧	(8.2)	(3.2)	1.5	(58.1)	角閃岩	片刃 刃部片面・側面両面調整	LJ6R2s	PL110
198	磨製石斧	(8.0)	(4.5)	3.3	(178.8)	流紋岩	定角式 研磨成形 刃部欠損	LJ6R1s	PL110
199	磨製石斧	12.3	6.3	3.1	339.3	角閃岩	定角式 研磨成形 側面縦行痕現る	LJ4R3s	PL110

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
200	石皿	(193)	20.6	6.5	(1799)	安山岩	表面でらつきのある摩耗痕+凹み	L16R1x	
201	石皿	(88)	(85)	3.9	(3173)	花崗岩	背面凹み	L16R3x	
202	磨石	14.3	9.3	7.0	13782	安山岩	表面光沢のある磨り面 上下・側面敲打痕	L16R5x	
203	磨石	10.7	8.5	5.9	9022	花崗斑岩	表面光沢のある磨り面 上下・側縁ややざらつきのある摩耗痕	L16R5x	PL110
204	磨石	(136)	10.3	3.1	(5846)	安山岩	表面ざらつきのある摩耗痕 一側縁敲打痕	L16R5x	PL110
205	磨石	8.7	7.2	5.6	5099	安山岩	表面光沢のある磨り面 裏面に凹み 上下・側縁ややざらつきのある摩耗痕	L16R6x	PL110
206	磨石	7.5	6.7	5.6	3767	安山岩	表面・上下・側縁ざらつきのある摩耗痕 表面に凹み 一側縁敲打痕	L6R82x	
207	磨石	7.5	6.3	4.8	3393	安山岩	表面光沢のある磨り面 上下・側縁ややざらつきのある摩耗痕	L15R6x	
208	磨石	8.2	7.4	3.8	3291	安山岩	表面光沢のある磨り面+凹み 側縁ややざらつきのある摩耗痕	L14R4x	
209	磨石	8.2	7.8	3.4	2833	安山岩	表面・上下端ざらつきのある摩耗痕	LF7R1x	
210	磨石	6.0	6.3	4.4	(2702)	安山岩	表面・上下端・側縁とも光沢のある磨り面	L15R6x	
211	磨石	7.1	7.2	3.3	2506	安山岩	表面光沢のある磨り面 側縁ややざらつきのある摩耗痕	L15R6x	
212	磨石	7.1	7.0	3.7	2486	安山岩	表面・側縁ざらつきのある摩耗痕	L16R1x	
213	磨石	7.9	6.5	3.6	2449	安山岩	被熱 表面ざらつきのある摩耗痕+凹み 上下・側縁ざらつきのある摩耗痕	L15R6x	
214	磨石	6.5	6.6	4.0	2376	安山岩	表面光沢のある磨り面+凹み 上下・側面ざらつきのある摩耗痕 一側縁に敲打痕	LK4R3x	
215	磨石	6.8	6.2	3.8	2369	安山岩	表面光沢のある磨り面 上下端ややざらつきのある摩耗痕	L6R71x	
216	磨石	8.0	8.8	2.3	(2331)	安山岩	表面ややざらつきのある摩耗痕	L15R6x	
217	磨石	6.3	5.9	3.7	1914	安山岩	表面光沢のある磨り面 側縁ややざらつきのある摩耗痕	L16R5x	
218	磨石	5.8	5.6	3.7	(1894)	安山岩	表面光沢のある磨り面 側縁ややざらつきのある摩耗痕 一部に凹み	L14R3x	
219	磨石	6.2	5.4	3.7	184.5	安山岩	表面光沢のある磨り面 側縁ややざらつきのある摩耗痕 一側縁凹み	L15R1x	
220	磨石	6.8	6.2	3.0	(1789)	安山岩	表面・側縁ややざらつきのある摩耗痕	L14R4x	
221	磨石	6.2	6.0	3.2	1739	安山岩	表面光沢のある磨り面 上下・側縁ややざらつきのある摩耗痕 被熱	L6R82x	
222	磨石	7.2	6.3	2.7	1732	安山岩	表面ざらつきのある摩耗痕	L14R4x	
223	磨石	6.3	5.9	2.9	1083	安山岩	表面光沢のある磨り面 側縁ややざらつきのある摩耗痕	L14R4x	
224	磨石	6.2	6.1	2.7	1432	安山岩	表面・側縁ややざらつきのある摩耗痕	LF8R1x	
225	磨石	6.4	5.8	3.3	1366	安山岩	表面・側縁ざらつきのある摩耗痕	L6R61x	
226	磨石	6.7	6.2	1.9	897	安山岩	表面ざらつきのある摩耗痕	L14R3x	
227	磨石	15.0	12.5	5.2	(13849)	安山岩	表面ややざらつきのある摩耗痕+凹み 側縁敲打痕	L15R5x	PL110
228	敲石	11.2	8.2	5.7	8679	閃緑岩	表面ややざらつきのある摩耗痕+凹み 一側縁・上下端敲打痕	LK4R3x	
229	敲石	9.9	8.0	5.2	5957	花崗岩	表面光沢のある磨り面+凹み 側縁ややざらつきのある摩耗痕 一側縁に敲打痕 被熱	L16R1x	PL110
230	敲石	12.3	8.9	5.3	4628	安山岩	表面・両側縁に敲打痕	L16R6x	PL110
231	敲石	8.1	7.2	4.1	3788	安山岩	表面光沢のある磨り面+凹み 上・側縁ややざらつきのある摩耗痕	L14R1x	
232	敲石	13.8	5.3	3.7	3279	安山岩	表面・一側縁に凹み	L15R2x	PL110
233	敲石	8.0	5.4	3.9	2184	安山岩	表面・両側縁ざらつきのある摩耗痕+凹み 上下端ざらつきのある摩耗痕	L16R2x	
234	敲石	6.0	6.0	4.0	2143	安山岩	表面ややざらつきのある摩耗痕+凹み 側縁ざらつきのある摩耗痕	L10R22x	
235	敲石	5.6	5.1	4.4	1703	安山岩	表面凹み 側縁ざらつきのある摩耗痕	L15R5x	
236	敲石	5.1	5.1	3.6	1537	安山岩	表面光沢のある磨り面+凹み 側縁ざらつきのある摩耗痕	L16R1x	
237	敲石	8.4	7.8	4.4	4131	石英	表面光沢のある磨り面+凹み 下端部ややざらつきのある摩耗痕 一側縁に敲打痕	L6R71x	PL110
238	敲石	6.2	4.7	3.4	1506	安山岩	表面光沢のある磨り面 上下端ざらつきのある摩耗痕	L14R3x	
239	敲石	5.4	4.7	4.3	(1431)	馬場	側縁細かい敲打痕	LF8R2x	
240	敲石	5.1	4.3	2.7	931	砂岩	下端部敲打痕	L15R6x	
241	石鉢	7.9	6.9	5.6	2034	安山岩	表面に凹み 側縁に溝状の磨痕	L15R4x	
242	石鉢	5.0	4.1	1.1	330	安山岩	礫石鉢 長軸側上下打ち欠き	L14R3x	
243	石鉢	5.0	4.3	1.1	336	粘板岩	切り目石鉢 長軸側に切り込み	LK4R3x	
244	石鉢	5.0	3.7	1.3	367	安山岩	切り目石鉢 長軸側に切り込み	L14R6x	
245	石皿	18.7	17.9	5.3	23024	砂岩	表面面滑らかな磨り面 表面に凹みと敲打痕 被熱	L16R5x	PL110
246	凹石	(135)	9.8	9.8	(16813)	花崗岩	大形石鉢を転用 上面敲打により整形 表面に凹み 被熱	L16R1x	PL110

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
247	砥石	(35.0)	14.1	10.5	(758.3)	緑色片岩	大形石棒を転用 上面・側面滑らかな厚鈍頭と凹み 裏面積状の厚片状	L16区5s	PL110
248	砥石	(2.9)	4.9	5.0	(79.1)	砂岩	溝状の研ぎ痕	L16区3s	
249	砥石	(2.0)	5.1	3.9	(46.5)	砂岩	溝状の研ぎ痕	L14区3s	
250	石剣	(14.1)	3.0	1.4	(100.4)	粘板岩	表裏面に細かい縦状の研ぎ痕 縦熟	L17区2s	
251	石剣	(12.0)	3.0	1.0	(59.1)	粘板岩	側縁を中心に細かい縦状の研ぎ痕	L17区2s	
252	熱粘石	(5.6)	7.3	(5.6)	(157.7)	安山岩	先端部縦打痕	L15区5s	PL110

第5号遺物包含層 (第332～352図 第239・240表 PL52・54・111～115)

位置 調査K区のG4a6～G5e1区, 東西方向に延びる谷部に位置している。確認面の標高は, 20.7～23.3 mである。

重複関係 第18号竪穴建物跡, 第4・12号斜面貝層, 第5号遺物包含層の第IV層の上部に形成されており, 第11号溝に掘り込まれ, 第II層が上部に形成されている。

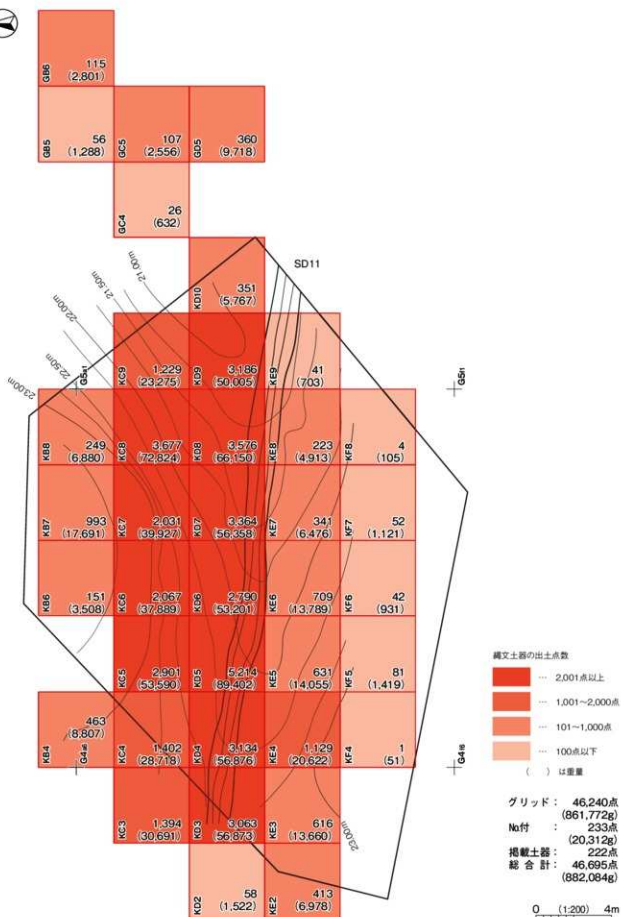
分布範囲 調査区域のほぼ全域に広がっている。谷底部は, 東方向 (S-83°-E) へ緩やかに傾斜しており, 調査区域内の比高差は1.3 mである。

遺物出土状況 縄文土器 46,695点 (882,084 g), 土製品 222点 (彫形土製品3, 耳飾り1, 耳栓1, 土偶30, 土版5, 有孔円盤7, 土器片錘1, 土器片円盤172, 不明2), 石器・石製品 144点 (石刃2, 石鏃6, 石錐1, 打製石斧7, 磨製石斧6, 石皿11, 磨石67, 敲石4, 凹石2, 砥石16, 石錘4, 浮子, 1, 石剣15, 石棒2), 剥片40点 (頁岩4, 黒曜石4, 瑪瑙5, チャート27), 石核29点 (瑪瑙3, チャート26), 粘土塊7点, 貝92.1 g, 骨1,083.2 gが出土している。土器は, 前期前半の黒浜式や中期後半の加曾利E1式のものが見られるほか, 称名寺I式～安行3d式のもの出土しており, 安行3b式～安行3c式のもの主体である。遺物は, 下部の第IV層との層界付近から多量に出土し, 北斜面部から谷底部にかけてのKC3～KD10区では特に密な散布状況を示している。北側の台地上にある集落からの投棄や流れ込み, あるいは下部の第18号竪穴建物跡の覆土や第4・12号斜面貝層が流出したものと考えられる。一方, 南斜面部は出土量が極端に少ないことから, 南側の台地上が空白域であった可能性を示唆している。

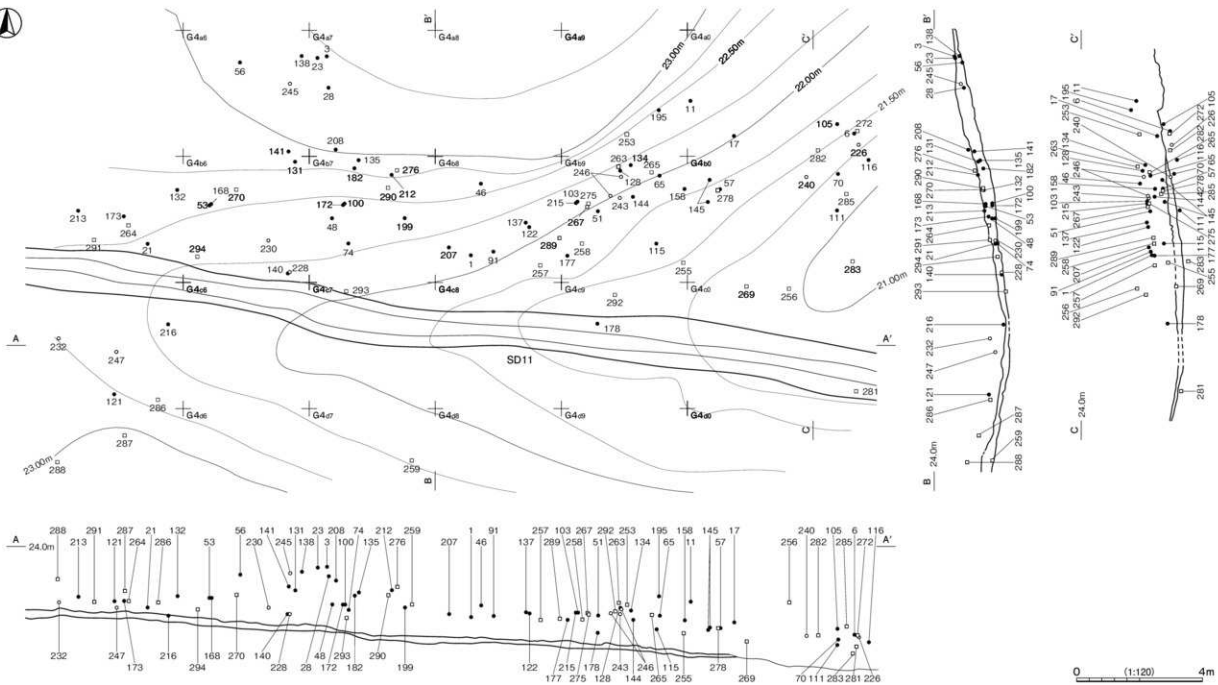
所見 時期は, 後期末葉 (安行2式期) の第18号竪穴建物跡や晩期前葉 (安行3a式～安行3b式期) の第4・5号斜面貝層の上部に形成されていることから, 晩期前葉 (安行3a式～安行3b式期) 以降と考えられる。また, 本層と同質の土が第4号斜面貝層の下部に介在していることから, 本層が堆積する過程で第4号斜面貝層が形成されたと考えられる。

第239表 第5号遺物包含層第III層出土未掲載土器集計表

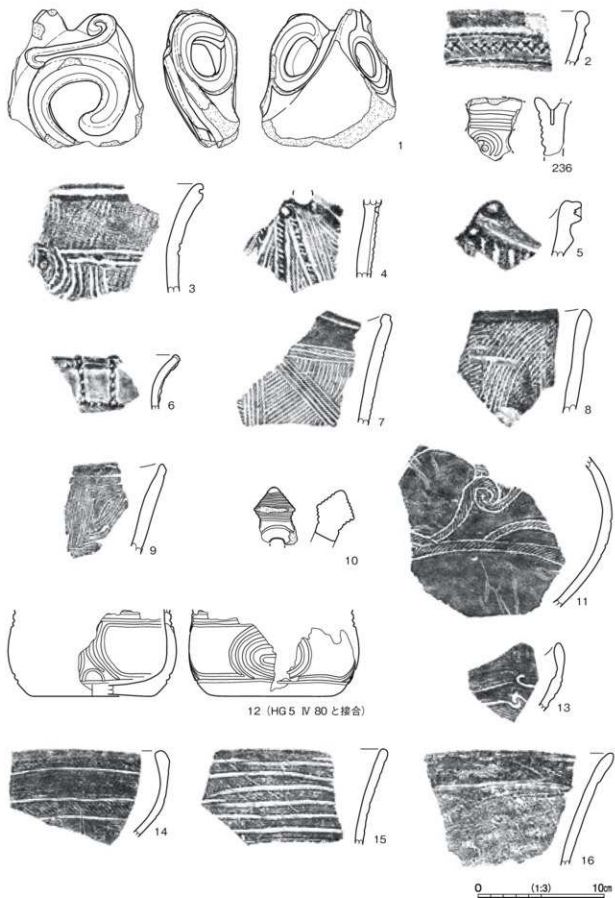
群	第1群		第2群		第3群		第4群		第5群		第6群		第7群		第8群		第9群					
	前期	中期	称名寺I式	称名寺II式	黒之内I式	黒之内II式	加曾利B1式	加曾利B2式	加曾利B3式	加曾利B4式	安行2式	安行3a式	安行3b式	安行3c式	安行3d式	加曾利E1式	加曾利E2式	浅井文	称名寺			
点数	2	5	9	10	279	81	31	38	21	13	40	62	149	209	321	574	326	1	6	109	2,551	816
重量 (g)	51	363	238	254	6,537	2,083	476	1,090	732	506	3,357	2,185	5,543	5,319	4,876	10,177	8,114	42	79	1,809	40,062	13,596
群	第9群		第10群		第11群		第12群		第13群		第14群		第15群		第16群		第17群					
	岩淵文	浅井文	浅井文	浅井文	浅井文	浅井文	浅井文	浅井文	浅井文	浅井文	浅井文	浅井文	浅井文	浅井文	浅井文	浅井文	浅井文	浅井文				
点数	2,158	1,199	696	1,253	236	9,968	4,179	18,255	314	737	408	19	93	13	38	2	5	3	11	1,279	-	46,473
重量 (g)	33,357	25,927	16,767	29,041	3,909	109,453	63,494	283,961	18,550	30,650	11,189	672	6,870	450	908	54	119	34	187	11,161	66,302	582,984



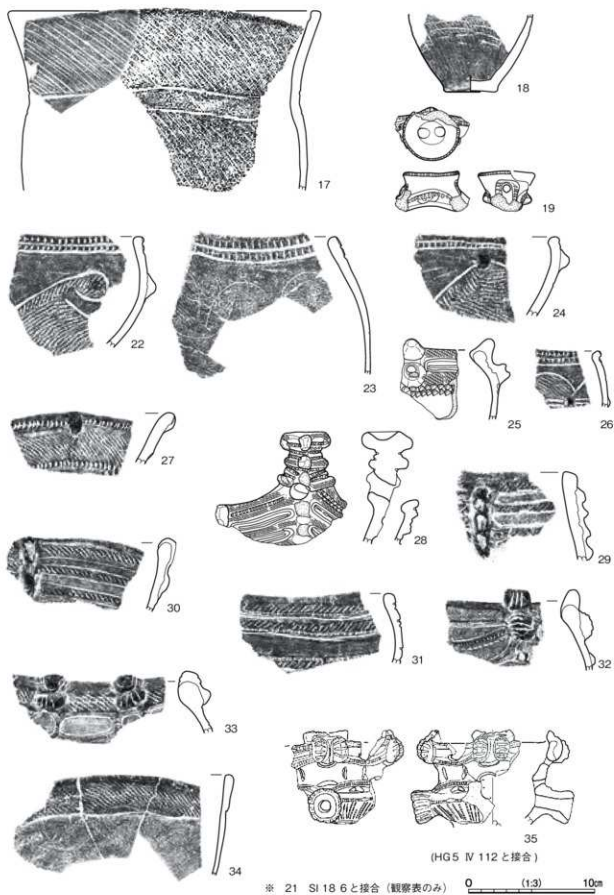
第 332 図 第 5 号遺物包含層Ⅲ層実測図 (1)



第 333 图 第 5 号遗址包含层第三层实测图 (2)



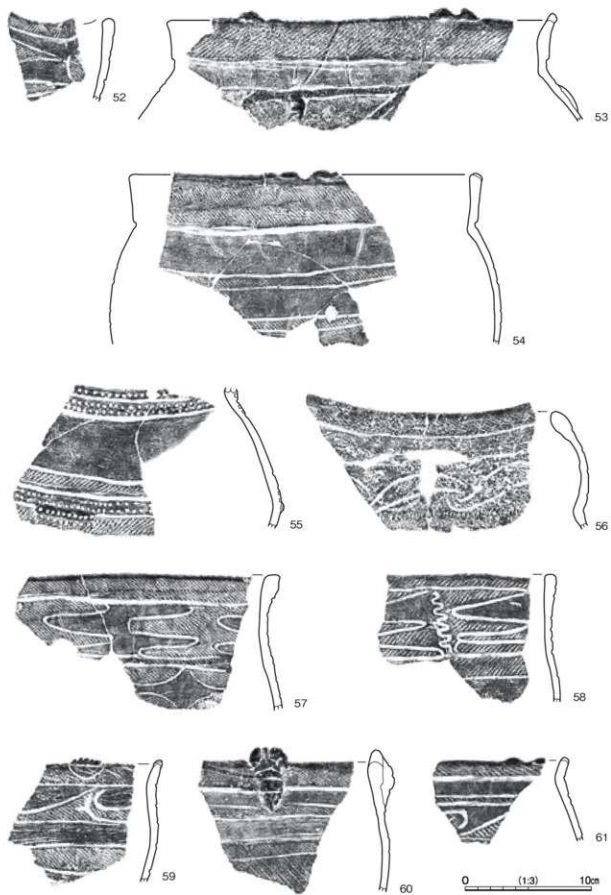
第 334 图 第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (1)



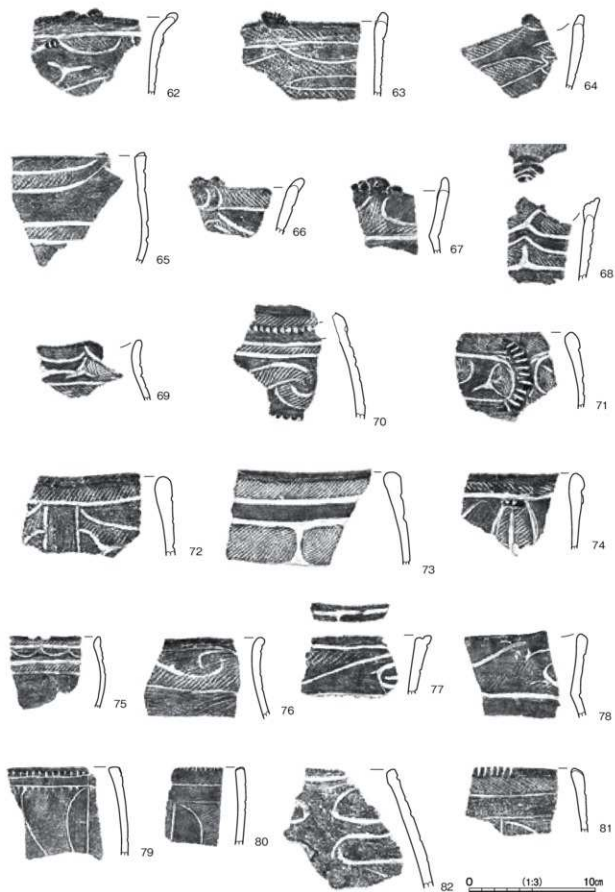
第 335 図 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (2)



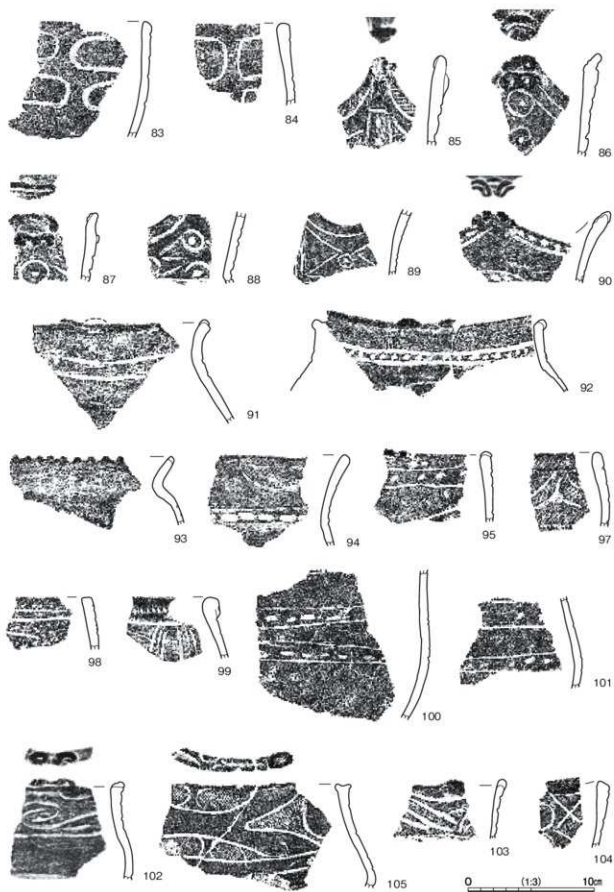
第 336 图 第 5 号遗物包含层第 III 层出土文物实测图 (3)



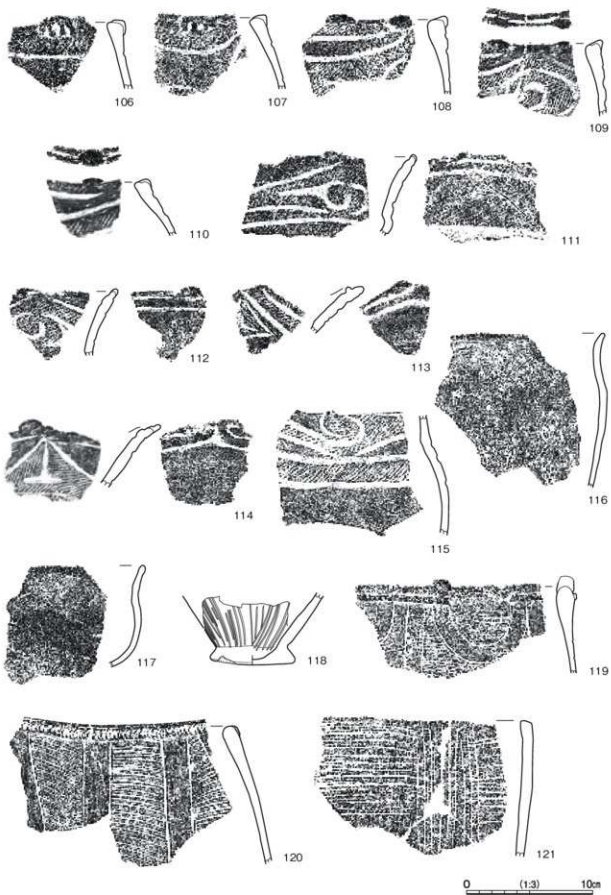
第 337 图 第 5 号遗物包含层第 III 层出土遗物实测图 (4)



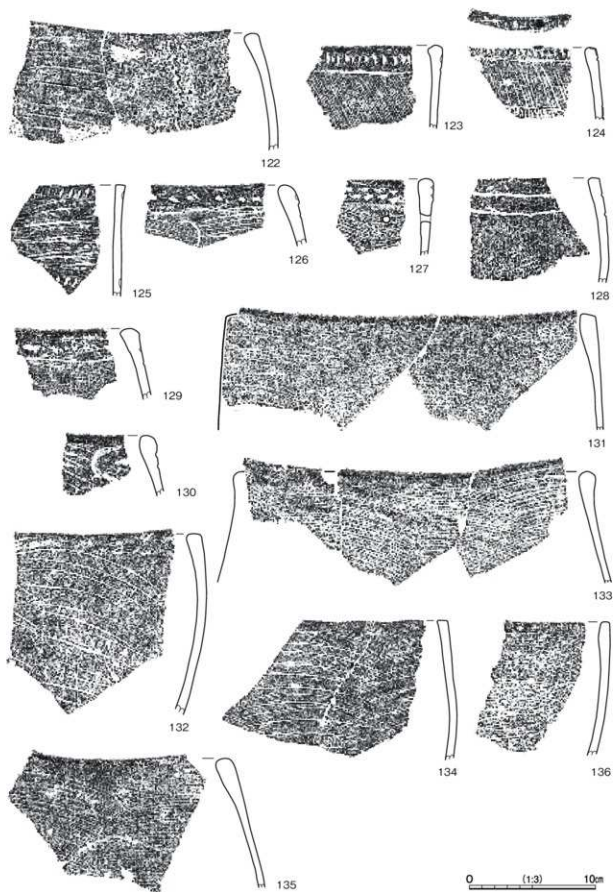
第 338 图 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物实测图 (5)



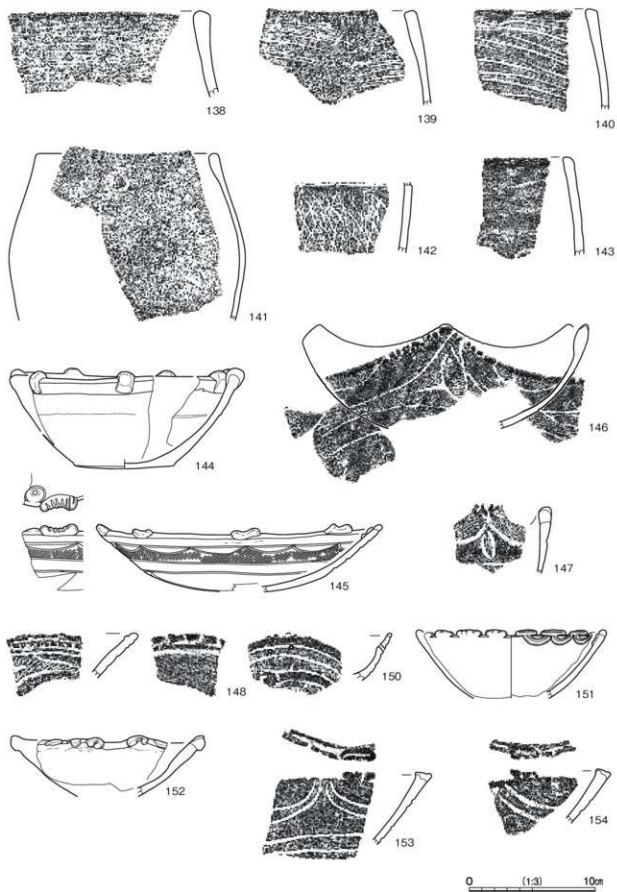
第 339 图 第 5 号遗物包含层第 III 层出土遗物实测图 (6)



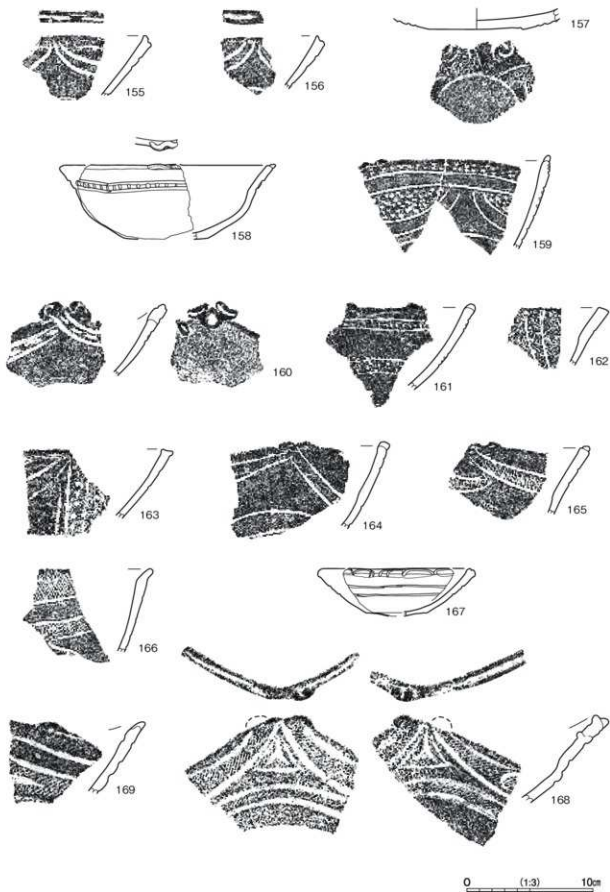
第 340 图 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (7)



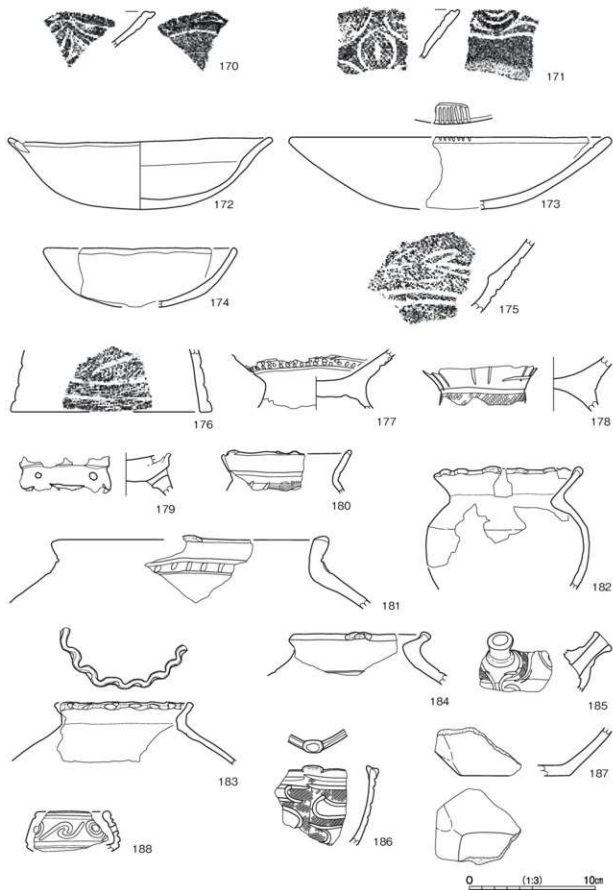
第 341 图 第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物実測図 (8)



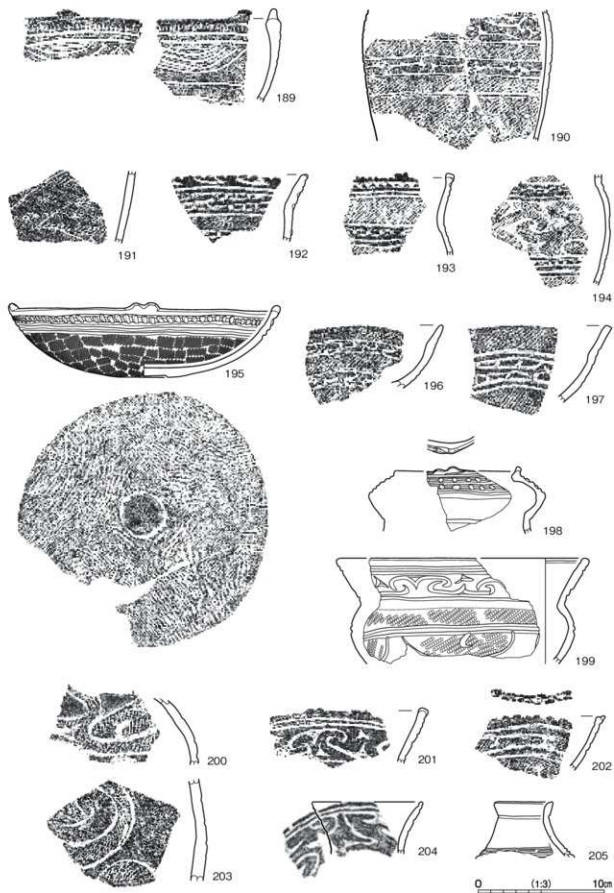
第342图 第5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(9)



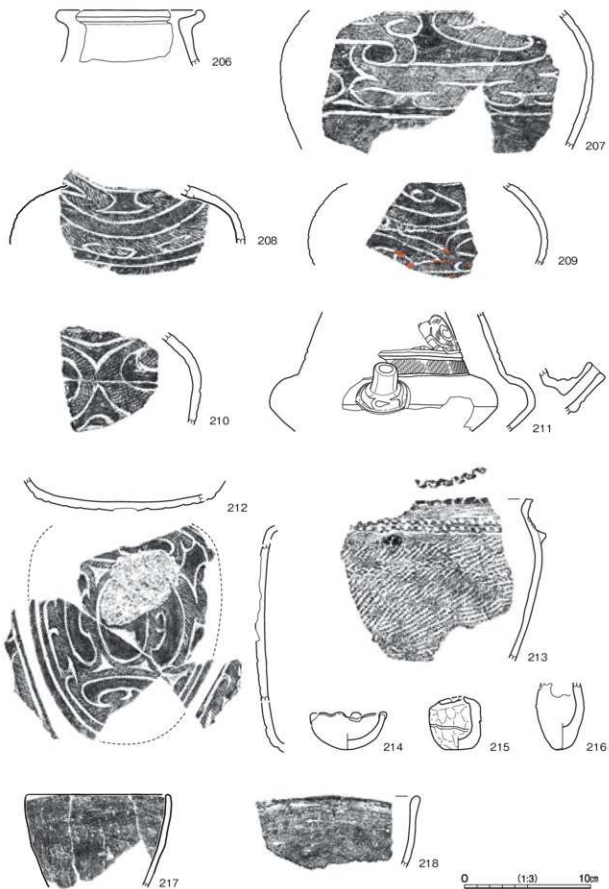
第343图 第5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(10)



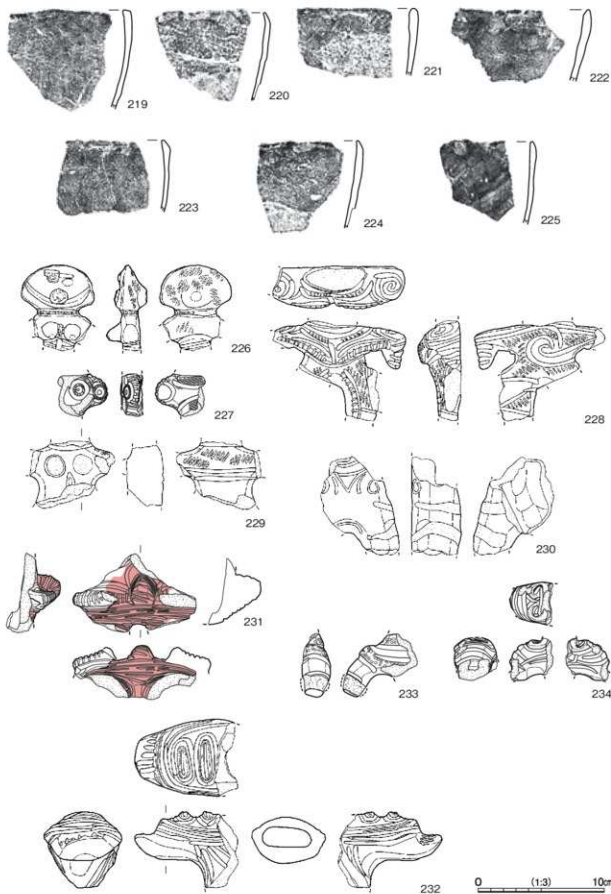
第344图 第5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(11)



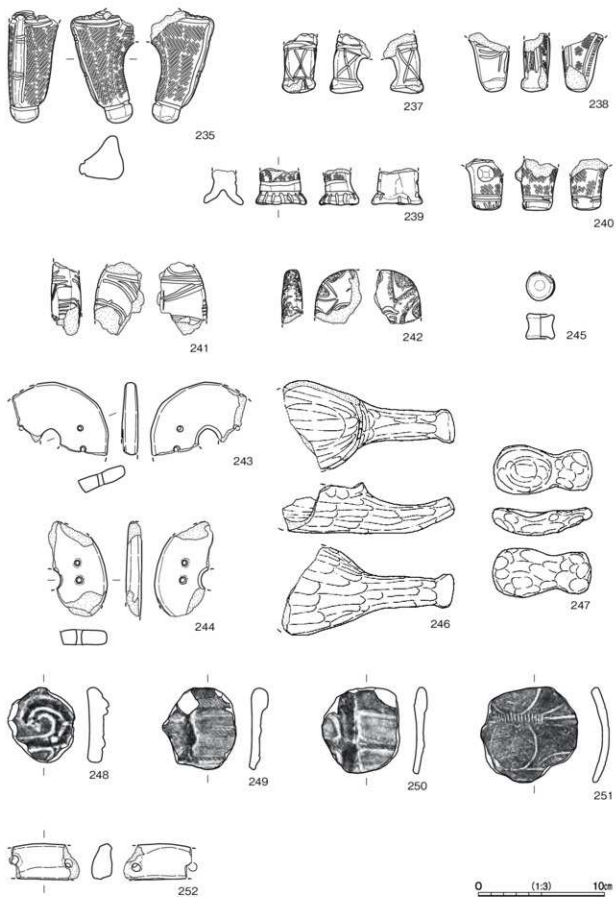
第345图 第5号遗物包含层第Ⅲ层出土遗物实测图(12)



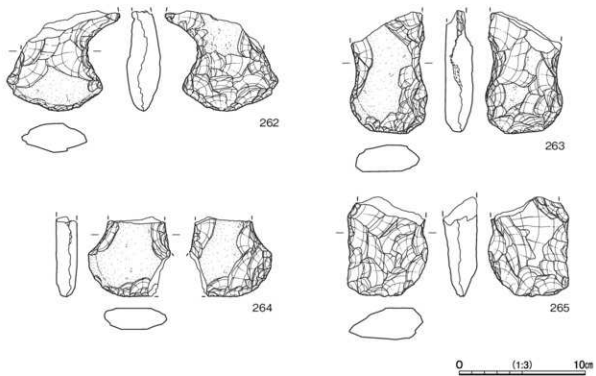
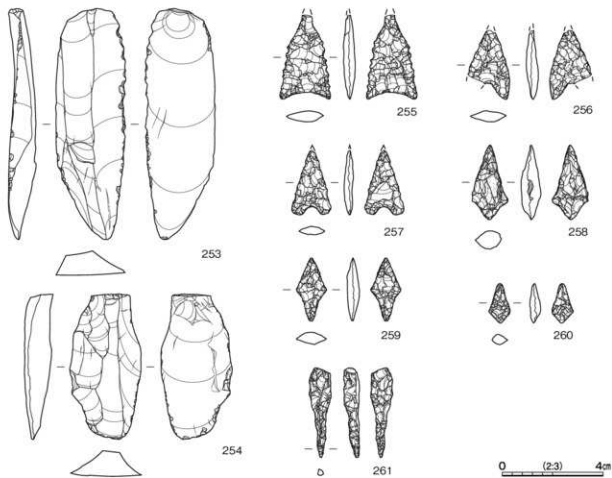
第 346 图 第 5 号遗址包含层第Ⅲ层出土文物实测图 (13)



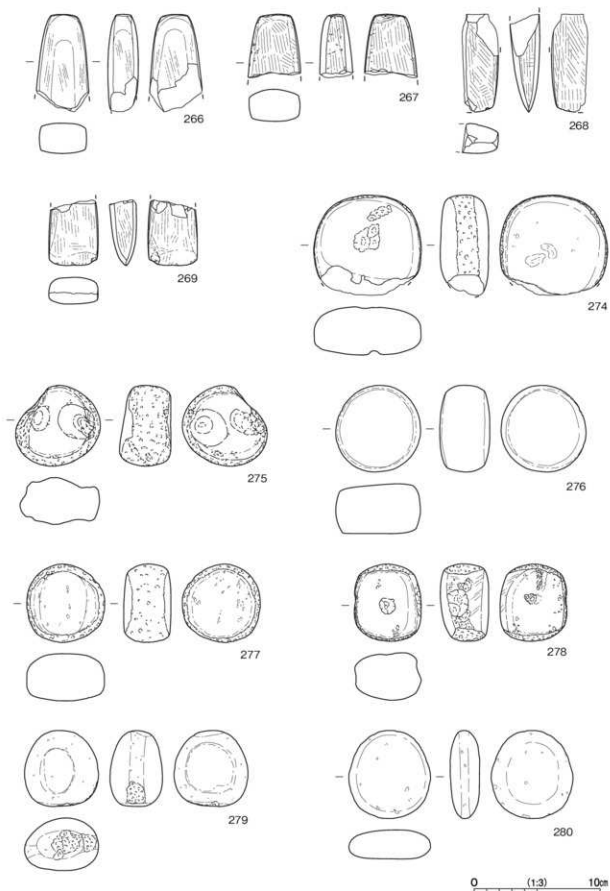
第 347 图 第 5 号遗址包含层 III 层出土遗物实测图 (14)



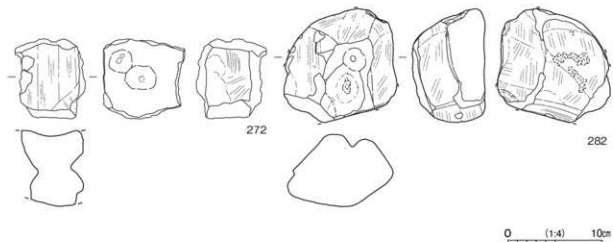
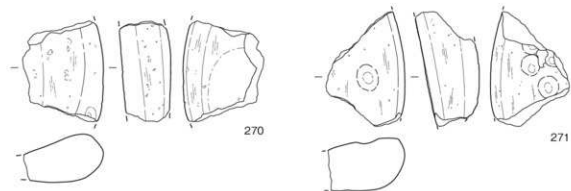
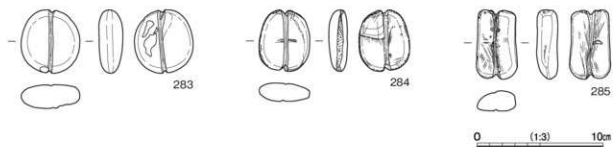
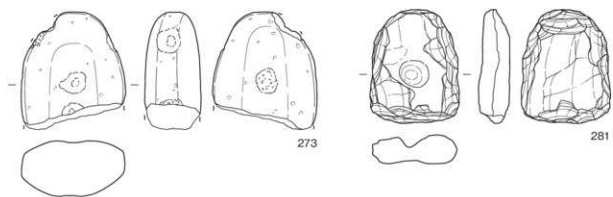
第348图 第5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(15)



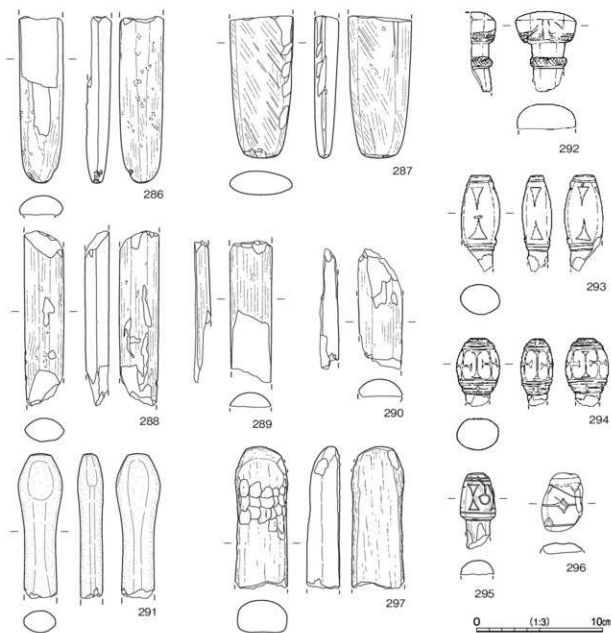
第349图 第5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(16)



第350图 第5号遗物包含层第Ⅲ层出土物实测图(17)



第 351 图 第 5 号遗物包含层第 III 层出土遗物实测图 (18)



第 352 図 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (19)

第 240 表 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物一覧 (第 334 ~ 352 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(11.0)	-	長石・石英・雲母	靑	普通	口縁大形突起部	KD 6 区	PL111 加曾科E1式
2	縄文土器	深鉢	-	(4.3)	-	長石・石英・雲母	靑	普通	粘土練貼付による格子目文	KF 5 区	加曾科E1式
3	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口縁部凹線 地縄文LR→懸垂文 内面磨き	KB 5 区	PL111 堀之内1式
4	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英	靑	普通	波状口縁 地縄文→縹斑縁帯→平蕨竹管による集合点縄文 内面磨き	KD 4 区	堀之内1式
5	縄文土器	深鉢	-	(4.4)	-	長石・石英・赤色 粘土	明黄褐	普通	波状口縁 口唇部凹線	KE 8 区	堀之内1式
6	縄文土器	深鉢	-	(4.3)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面口縁部縹斑貼付 無文部磨き 内面口縁部沈線磨き	KC 9 区	堀之内2式
7	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・赤色 粘土	黒褐	普通	波状口縁 口唇部沈線 胴部集合沈線で区画沈線 →形沈線北端 無文部磨き 内面磨き	KC 3 区	PL111 堀之内2式
8	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英	靑	普通	口唇部沈線 縄文LR→平蕨竹管による懸垂文 内面磨き	KD 4 区	堀之内1式
9	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英	にぶ・黄褐	普通	縹・波状口縁 沈線による重要形文 内面口縁部に 浅い沈線 磨き	KC 9 区	堀之内2式
10	縄文土器	浅鉢	-	(4.6)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口縁突起部 穿孔 外・内面沈線	KD 5 区	堀之内2式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
11	縄文土器	山口土器	-	(120)	-	長石・石英	にがい青	普通	幅狭い縄文LR光輝の縄文帯による入り組み文 無文部置き 内面置き	KC8区	10% PL111 埋山Ⅱ式
12	縄文土器	鉢	-	(69)	99	長石・石英	橙	普通	外面浅線による渦巻文と杵文・無文部置き 底面・内面置き 1段目 高 20と接合	KE5区	20% PL113 埋山Ⅱ式
13	縄文土器	鉢	-	(54)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	底面浅線・外面→縄文し→無文部置き 内面口縁 部内面置き	KC8区	加群埋Ⅱ式
14	縄文土器	鉢	-	(68)	-	長石・石英・赤色 粒子	にがい青	普通	口縁部にLR光輝の縄文帯 無文部・内面置き	KC4区	埋山Ⅲ-3型II
15	縄文土器	深鉢	-	(76)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口縁部に多量の横線文 内面置き	KD6区	埋山Ⅲ-2式
16	縄文土器	深鉢	-	(90)	-	長石・石英	靑	普通	外面傾り→口縁部粗い置き 内面置き	KB7区	埋山Ⅲ-1型Ⅱ
17	縄文土器	深鉢	[248]	(142)	-	長石・石英・赤色	明靑	普通	漆文→外面平行浅線→平行浅線間置き 内面置き 無文部置き 内面置き	KC8区	20% PL111 埋山Ⅲ式
18	縄文土器	深鉢	-	(61)	42	長石・石英	明靑	普通	横線浅線→縄文文→底部縦線置き 底面置き 内面ナシ	KD8区	10% 加群埋Ⅲ式
19	縄文土器	釣手土器	-	(32)	-	長石・石英・赤色 粒子	明赤靑	普通	天井部片	KD8区	埋山Ⅲ式
21	縄文土器	山口土器	-	(62)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	外面置き 内面ナシ SI 18 6と接合	覆土層	30% 埋山Ⅲ
22	縄文土器	鉢	-	(87)	-	長石・石英	にがい青	普通	口縁部2条の折み列 胴部縄文LR光輝の入り組み文 無文部置き 内面置き	KC8区	10% 埋山Ⅲ-1型II
23	縄文土器	深鉢	-	(107)	-	長石・石英・赤色 粒子	にがい青	普通	胴部 口縁部に2条の折み列 胴部縄文LR光輝の 入り組み文 内面置き	KB5区	骨管式
24	縄文土器	鉢	-	(63)	-	長石・石英	にがい青	普通	口縁部1条の折み列 胴部縄文LR光輝の渦巻文 無文部置き 内面置き	KE5区	骨管式
25	縄文土器	深鉢	-	(64)	-	長石・石英	にがい青	普通	口縁部粗い置き列 隆起部縄文 下端に2列の 押し込み状の置き 内面置き	KD8区	安行1式
26	縄文土器	深鉢	-	(45)	-	長石・石英・雲母	黒靑	普通	口縁部2条の折み列 口唇部無文 胴部縄文LR 光輝の渦巻状部置き 無文部・内面置き	KC5区	骨管式
27	縄文土器	鉢	-	(40)	-	長石・石英	明靑	普通	口縁部粗い置き列で粗い置き列 口唇部2条の 折み列と粗い置き列の間に粗い置き列 に折み列と粗い置き列の間に粗い置き列	KC9区	骨管・安行1式
28	縄文土器	深鉢	-	(90)	-	長石・石英	灰黄靑	普通	口縁部粗い置き列と粗い置き列による粗い置き列 口唇部粗い 置き列 隆起部縄文4条で粗い粗い置き列と杵文 内面置き	KC7区	PL111 安行1式
29	縄文土器	深鉢	-	(72)	-	長石・石英・赤色 粒子	明靑	普通	口縁部3条のLR隆起部縄文→3段押印文	KC9区	埋山Ⅲ-1型II
30	縄文土器	深鉢	-	(58)	-	長石・石英・雲母	にがい青	普通	平縁で粗い置き列 口縁部3条のLR隆起部縄文 2段の縦長輪 内面置き	KC7区	安行1式
31	縄文土器	深鉢	-	(55)	-	長石・石英	靑	普通	口縁部2条のLR隆起部縄文と押し込み状の置き列 無文部置き 内面置き	KD6区	安行1式
32	縄文土器	深鉢	-	(62)	-	長石・石英	明赤靑	普通	胴部置き 隆起部粗い置き列による幾何学文 無文部 内面置き	KD8区	安行2式
33	縄文土器	深鉢	-	(49)	-	長石・石英	明赤靑	普通	胴部 口縁部LR隆起部縄文 粗い置き列 厚唇 胴部 粗い置き列による杵文 無文部置き 内面ナシ	KE3区	安行2-3式
34	縄文土器	深鉢	-	(79)	-	長石・石英	靑	普通	口縁部LR隆起部 若干肥厚 胴部傾り 内面ナシ	KC5区	安行1式
35	縄文土器	磨石付土器	[94]	(74)	-	長石・石英・赤色 粒子	にがい青	普通	磨石置き 口唇部粗い置き列と2個の折み列と接合 縦長輪置き 胴部粗い置き列 1段目 高 11と合	KD5区	20% PL111 安行2式
36	縄文土器	深鉢	-	(122)	-	長石・石英	にがい青	普通	底面浅線・横線浅線 口唇部LR隆起部縄文の三角 形区画文 内面ナシ	KC6区	PL111 安行3式
37	縄文土器	深鉢	-	(91)	-	長石・石英	黒靑	普通	底面浅線 横線浅線に2段の押印文 口唇部LR隆起 部縄文の三角形区画文 区画内に杵文 内面置き	KC7区	PL111 安行3 a式
38	縄文土器	深鉢	-	(94)	-	長石・石英	にがい青	普通	底面浅線 横線浅線 区画のある横線置き 横線置き 粗い置き列 口唇部粗い置き列の入り組み文 内面ナシ	KB5区	安行3 a式
39	縄文土器	深鉢	-	(77)	-	長石・石英	にがい青	普通	底面浅線 横線浅線に縦長輪置き 口縁部LR隆起 部縄文 隆起部粗い 無文部・内面ナシ	KD4区	安行3 a式
40	縄文土器	深鉢	-	(76)	-	長石・石英	橙	普通	底面浅線 横線浅線と2段押印文横線置き 口唇部 LR隆起部粗い置き列による三角区画文 内面置き	KD3区	安行3 b式
41	縄文土器	深鉢	-	(68)	-	長石・石英	黒靑	普通	底面浅線 横線浅線に高さのある折み列の押印文 口唇部 LR隆起部縄文 粗い置き列による三角区画文 内面置き	KD3区	安行3 a式
42	縄文土器	深鉢	-	(87)	-	長石・石英	にがい青	普通	底面浅線 横線浅線に1段の押印文 口唇部LR隆起 部縄文の三角区画文 隆起部粗い置き列による三角区 画文 無文部・内面ナシ	KB7区	安行3 b式
43	縄文土器	深鉢	-	(57)	-	長石・石英	にがい青	普通	底面浅線 横線浅線 口唇部LR隆起部縄文の三角 形区画文 無文部・内面置き	KC7区	安行3 a式
44	縄文土器	深鉢	-	(98)	-	長石・石英	にがい青	普通	底面浅線粗い置き列 口唇部LR隆起部縄文の三角 形区画文 粗い置き列の中程に折み列 粗い置き列 無文部置き	KD6区	安行3 a式
45	縄文土器	深鉢	-	(53)	-	長石・石英・赤色 粒子	明靑	普通	胴部 口唇部LR隆起部縄文による幾何学文 無文部 置き 内面置き	KD3区	安行3 a式
46	縄文土器	深鉢	-	(80)	-	長石・石英	黒靑	普通	内面置き 口唇部に押し込み 口唇部粗い置き列・ 内面置き 口唇部粗い置き列・無文部 隆起部粗い置き 列・内面置き 口唇部粗い置き列・無文部置き 隆起部 粗い置き列 口唇部粗い置き列・無文部置き	KC6区	安行3 a式
47	縄文土器	深鉢	-	(47)	-	長石・石英	黒靑	普通	内面置き 口唇部粗い置き列・無文部置き 隆起部 粗い置き列 口唇部粗い置き列・無文部置き	KB7区	安行3 a式
48	縄文土器	深鉢	-	(140)	-	長石・石英	明靑	普通	底面浅線 口唇部粗い置き列・無文部置き 隆起部 粗い置き列・無文部置き 隆起部粗い置き列・無文部 置き 隆起部粗い置き列・無文部置き	KC5区	PL111 埋山Ⅱ式
49	縄文土器	深鉢	-	(92)	-	長石・石英	明赤靑	普通	底面浅線 口唇部粗い置き列・無文部置き 隆起部 粗い置き列・無文部置き 隆起部粗い置き列・無文部 置き 隆起部粗い置き列・無文部置き	KC8区	埋山Ⅱ式
50	縄文土器	深鉢	-	(87)	-	長石・石英	黒靑	普通	底面浅線 口唇部粗い置き列・無文部置き 隆起部 粗い置き列・無文部置き 隆起部粗い置き列・無文部 置き 隆起部粗い置き列・無文部置き	KC6区	埋山Ⅱ式
51	縄文土器	深鉢	-	(72)	-	長石・石英	黒靑	普通	底面浅線 口唇部粗い置き列・無文部置き 隆起部 粗い置き列・無文部置き 隆起部粗い置き列・無文部 置き 隆起部粗い置き列・無文部置き	KC7区	埋山Ⅰ式
52	縄文土器	深鉢	-	(65)	-	長石・石英	明赤靑	普通	底面浅線 口唇部粗い置き列・無文部置き 隆起部 粗い置き列・無文部置き 隆起部粗い置き列・無文部 置き 隆起部粗い置き列・無文部置き	KC8区	埋山Ⅱ式
53	縄文土器	深鉢	[306]	(85)	-	長石・石英	靑	普通	底面浅線 口唇部粗い置き列・無文部置き 隆起部 粗い置き列・無文部置き 隆起部粗い置き列・無文部 置き 隆起部粗い置き列・無文部置き	KC4区	20% 安行3 b式
54	縄文土器	深鉢	[280]	(135)	-	長石・石英	黒靑	普通	底面浅線 口唇部粗い置き列・無文部置き 隆起部 粗い置き列・無文部置き 隆起部粗い置き列・無文部 置き 隆起部粗い置き列・無文部置き	KC6区	20% PL111 安行3 b式
55	縄文土器	深鉢	-	(109)	-	長石・石英	黒靑	普通	底面浅線 口唇部粗い置き列・無文部置き 隆起部 粗い置き列・無文部置き 隆起部粗い置き列・無文部 置き 隆起部粗い置き列・無文部置き	KC5区	10% PL111 安行3 b式
56	縄文土器	深鉢	-	(92)	-	長石・石英	明赤靑	普通	底面浅線 口唇部粗い置き列・無文部置き 隆起部 粗い置き列・無文部置き 隆起部粗い置き列・無文部 置き 隆起部粗い置き列・無文部置き	KB4区	安行3 b式
57	縄文土器	深鉢	-	(107)	-	長石・石英・赤色 粒子	靑	普通	口唇部LR隆起部縄文 胴部粗い置き列・無文部 置き 隆起部粗い置き列・無文部置き 隆起部粗い置き 列・無文部置き	KC8区	10% 安行3 a式
58	縄文土器	深鉢	-	(102)	-	長石・石英・赤色 粒子	にがい青	普通	口唇部粗い置き列・無文部置き 隆起部粗い置き 列・無文部置き 隆起部粗い置き列・無文部置き	KC7区	安行3 a式
59	縄文土器	鉢	-	(98)	-	長石・石英	にがい青	普通	口唇部粗い置き列・無文部置き 隆起部粗い置き 列・無文部置き 隆起部粗い置き列・無文部置き	KC7区	PL112 安行3 b式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴はか	出土位置	備考
60	縄文土器	深鉢	-	(11.2)	-	長石・石美	明赤褐色	普通	口唇部縦長楕 口縁部に縦長楕 口唇部・胴部縦長楕 胴部縦長楕 無文部磨き 内面ナデ	KB 8区	安行3a式
61	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石美	にぶ・黒	普通	広口器状 口唇部に山形突起 胴部縦文 丸 光填のS字状入り組み文 無文部磨き 内面ナデ	KD 8区	安行3b式
62	縄文土器	鉢	-	(6.5)	-	長石・石美	にぶ・黒	普通	口唇部2対1の楕円状の輪 胴部縦文 丸 光填の縦文と入り組み文 内面磨き 内面に縦文状の口縁無文部磨き 内面ナデ	KD 8区	安行3b式
63	縄文土器	鉢	-	(6.6)	-	長石・石美	黒	普通	口唇部に縦長楕 口唇部縦文 丸 光填の垂状状文 無文部磨き 内面ナデ	KC 5区	安行3c式
64	縄文土器	鉢	-	(5.9)	-	長石・石美	黒	普通	縦い・成状口縁 唇部部に垂状状付文 口唇部縦文 丸 光填の垂状状付文 無文部磨き 内面ナデ	KD 8区	安行3b式
65	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石美	暗赤褐色	普通	口唇部に楕円状の輪 口唇部縦文 L R 光填の縦文 口唇部縦文 L R 光填の垂文 無文部磨き 内面ナデ	KC 7区	安行3c式
66	縄文土器	鉢	-	(4.7)	-	長石・石美	にぶ・黒	普通	口唇部に山形突起 口唇部縦文 無文部磨き 丸 光填の垂状状文 無文部磨き 内面ナデ	KD 3区	安行3b式
67	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石美	にぶ・黒	普通	広口器状 口唇部に耳状・棒状突起付内面ナデ 口唇部縦文 L R 光填のS字状入り組み文 無文部磨き	KD 5区	安行3b式
68	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石美・雲母	黒	普通	縦い・成状 後長部に垂状状付文 口唇部縦文 丸 光填の入り組み文 無文部磨き 内面ナデ	KC 4区	安行3b式
69	縄文土器	鉢	-	(4.6)	-	長石・石美	黒	普通	縦い・成状 口唇部縦文 丸 光填の入り組み文 上下端の縦文帯はやや隆起 無文部・内面磨き	KC 5区	安行3a式
70	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石美	黒	普通	横形 口唇部 L R 隆起形縦文 胴部縦文 L R 光填の垂文帯付文 無文部磨き 内面ナデ	KC 9区	8808-8809
71	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石美・赤色砂子	橙	普通	口唇部 L R 隆起形縦文 L R 光填の垂文帯付文 内面に縦文 L R 光填の垂文 内面ナデ	KD 9区	PL112 安行3a式
72	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石美	橙	普通	口唇部縦文 L R 光填の垂状状文 区画内縦文帯沈線と対抗する三文文 無文部磨き 内面ナデ	KD 4区	安行3b式
73	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石美・雲母	暗赤褐色	普通	口唇部対抗三文文→横文 L R 無文部磨き 内面磨き	KC 9区	前満1式
74	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石美	にぶ・黒	普通	口唇部縦文 L R 光填の対抗する三文文 押圧のある横文帯付文 無文部磨き 内面ナデ	KD 5区	安行3b式
75	縄文土器	鉢	-	(5.6)	-	長石・石美	黒	普通	口唇部に横形 口唇部 L R 縦文帯と縦文 胴部 L R 縦文帯 無文部磨き 内面ナデ	KD 6区	安行3b式
76	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石美	橙	普通	広口器状 口唇部無縁 L 横文光填のS字状入り組み文 無文部磨き 内面ナデ	KD 7区	PL112 嵯山II式
77	縄文土器	深鉢	-	(4.6)	-	長石・石美	明赤褐色	普通	口唇部に耳状突起 口唇部縦文 L R 光填のS字状入り組み文 無文部磨き 内面磨き	KD 3区	嵯山II式
78	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石美	黒	普通	広口器状 口唇部縦文 L R 光填のS字状入り組み文 無文部磨き 内面磨き	KD 3区	嵯山II式
79	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石美	黒	普通	唇部沈文 口唇部・胴部上部に割目 無文部磨き 内面ナデ	KC 6区	嵯山II式
80	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石美	にぶ・黒	普通	唇部沈文 口唇部に割目 無文部磨き 内面ナデ	KE 2区	嵯山II式
81	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石美	にぶ・黒	普通	唇部沈文 口唇部に割目 無文部磨き 内面ナデ	KD 4区	嵯山II式
82	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石美	橙	普通	幅広の沈線による棒状文 胴部割り 内面ナデ	KC 3区	前満1式
83	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石美	黒	普通	幅広の沈線による棒状文 胴部割り 内面磨き	KD 7区	PL112 前満1式
84	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石美	黒	普通	幅広の沈線による棒状文 胴部ナデ 内面磨き	KD 6区	前満1式
85	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石美・赤色砂子	橙	普通	成状口縁 波部部に棒状状付文 口唇部縦文 L R 光填の垂状状文 唇部・縦文帯内面に縦文 無文部磨き	KC 5区	PL112 嵯山II式
86	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石美・赤色砂子	明赤褐色	普通	成状口縁 波部部・棒状状付文 口唇部縦文による垂状状文 区画内に斜交を併つ文 無文部磨き	KD 8区	PL112 嵯山II式
87	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石美・赤色砂子	にぶ・黒	普通	成状口縁 波部部・棒状状付文 口唇部縦文による垂状状文 区画内に斜交を併つ文 無文部磨き	KD 4区	嵯山II式
88	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石美	黒	普通	成状口縁 波部部・棒状状付文 口唇部縦文による垂状状文 区画内に斜交を併つ文 無文部磨き	KC 7区	嵯山III式
89	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	長石・石美	黒	普通	成状口縁 波部部・棒状状付文 口唇部縦文による垂状状文 区画内に斜交を併つ文 無文部磨き 内面磨き	KD 5区	嵯山III式
90	縄文土器	浅鉢	-	(5.8)	-	長石・石美・赤色砂子	橙	普通	成状口縁 波部部・棒状状付文 光填縦文による垂状状文 区画内に斜交を併つ文 無文部磨き 内面ナデ	KD 6区	PL112 安行3c式
91	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石美	橙	普通	広口器状 口唇部に粘土線状の貼付文 胴部ナデ 内面ナデ	KD 6区	安行3c式
92	縄文土器	深鉢	(18.7)	(5.7)	-	長石・石美	橙	普通	広口器状 口唇部に二重の突起 胴部光填縦文 胴部縦文による棒状文 胴部ナデ 内面ナデ	KD 4区	10% PL112 安行3c式
93	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石美	黒	普通	広口器状 口唇部棒状文による突起 胴部縦文による垂状状文 外・内面ナデ	KD 9区	安行3c式
94	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石美	にぶ・黒	普通	口唇部縦文 L R 光填の縦文 胴部光填縦文 無文部磨き 内面磨き	KC 4区	安行3b式
95	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石美・赤色砂子	黒	普通	口唇部に二重の突起 光填縦文 無文部・内面ナデ	KD 5区	安行3c式
97	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石美	黒	普通	口唇部縦文 L R 光填の入り組み三文文 上下の沈線間に細かい斜交文 内面磨き	KD 3区	安行3b式
98	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石美	にぶ・黒	普通	棒状文に細かい斜交を充填 外・内面ナデ	KD 5区	安行3c式
99	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石美	にぶ・黒	普通	横線文系 胴部縦文→光填縦文の面文帯 内面ナデ	KE 2区	PL112 安行3c式
100	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	-	長石・石美・赤色砂子	にぶ・黒	普通	光填縦文 外・内面ナデ 101と同一。	KC 5区	安行3c式
101	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石美・赤色砂子	黒	普通	100と同一。	KD 5区	安行3c式
102	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石美・赤色砂子	にぶ・黒	普通	口唇部に二重突起 口唇部S字状入り組み文 無文部・内面磨き	KD 5区	PL112 安行3d式
103	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石美	黒	普通	縦い・成状口縁 口唇部多量のS字状入り組み文 内面ナデ	KC 4区	安行3d式
104	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	長石・石美	黒	普通	縦い・成状口縁 沈線による垂状状文と内文帯 外・内面ナデ	KD 4区	嵯山III式
105	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石美・赤色砂子	黒	普通	口唇部沈文 口唇部縦文 L R 光填の垂状状文 無文部磨き 内面ナデ	KC 3区	前満1式
106	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石美	にぶ・黒	普通	口唇部に粘土線状の貼付文 口唇部縦文 L R 光填の縦文 磨減面磨き	KD 5区	前満1式
107	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石美	にぶ・黒	普通	106と同一。	KD 6区	前満1式
108	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石美	明赤褐色	普通	口唇部に一重突起 口唇部縦文 L R 光填の垂状状文 区画内に入り組み三文文 内面磨き	KD 10区	前満1式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
109	縄文土器	深鉢	-	(60)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口唇部に沈縮と一帯突起 口頸部縄文LR光燒の 菱形状区画文・の字文 無文部・内面磨き	K C 7区	PL12 直溝1式
110	縄文土器	深鉢	-	(45)	-	長石・石英・赤色 粒子	こいみじ	普通	口唇部に沈縮と一帯突起 口頸部縄文LR光燒の 菱形状区画文 無文部・内面磨き	K D 5区	直溝2式
111	縄文土器	浅鉢	-	(64)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口唇部に沈縮と一帯突起 口頸部縄文LR光燒の 菱形状区画文 区画内1の字文 内面磨き	K C 8区	直溝2式
112	縄文土器	浅鉢	-	(40)	-	長石・石英	黒褐	普通	口唇部に沈縮と一帯突起付 口頸部縄文LR光燒の 菱形状区画文 区画内1の字文 無文部・内面磨き	K D 9区	直溝2式
113	縄文土器	浅鉢	-	(40)	-	長石	黒褐	普通	底状に縁 口唇部・内面に沈縮 口頸部縄文LR 光燒の菱形状区画文 無文部・内面磨き	K D 4区	直溝2式
114	縄文土器	浅鉢	-	(52)	-	長石・石英	こいみじ	普通	口唇部に一帯突起 内面に沈縮 口頸部縄文LR光燒の 三角状区画文 突起下に三文字 無文部・内面磨き	K C 8区	直溝2式
115	縄文土器	深鉢	-	(94)	-	長石・石英	褐	普通	口頸部縄文LR光燒の菱形状区画文との字文 突起ナゲ 内面磨き	K D 7区	直溝2式
116	縄文土器	深鉢	-	(122)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面開り後ナゲ 内面磨き	K C 9区	晩期中重
117	縄文土器	浅鉢	-	(80)	-	長石・石英	こいみじ	普通	外面開り後ナゲ 内面ナゲ	K E 5区	晩期
118	縄文土器	深鉢	-	(57)	-	長石・石英	こいみじ	普通	外面条線文 底部盛り出し気味 底面ナゲ 内面 粗い磨き	K C 9区	10%晩期
119	縄文土器	深鉢	-	(76)	-	長石・石英	こいみじ	普通	口唇部にのみ状突起 口頸部縄文 頸部磨き 条線文・突起の気味 区画内磨き 内面粗い磨き	K C 4区	晩期前重
120	縄文土器	深鉢	-	(109)	-	長石・石英	褐	普通	口頸部磨きの条線→縦位の気味 区画内磨き→ 横位磨き 内面ナゲ	K D 9区	晩期前重
121	縄文土器	深鉢	-	(107)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口頸部磨き→縦位の磨き 器具による条線 内面ナゲ	K E 3区	晩期前重
122	縄文土器	深鉢	-	(93)	-	長石・石英	黒褐	普通	口頸部磨きの条線→手管管状器具によるコンパス文 内面ナゲ	K D 9区	晩期前重
123	縄文土器	深鉢	-	(66)	-	長石・石英・赤色 粒子	明赤褐	普通	口頸部条線文→付点線文 内面磨き	K C 5区	後期後重
124	縄文土器	深鉢	-	(57)	-	長石・石英・赤色 粒子	黒褐	普通	口唇部に突起と粘土粒状の突起 口頸部条線文→ 付点線文 内面ナゲ	K D 5区	後期後重
125	縄文土器	深鉢	-	(88)	-	長石・石英・赤色 粒子	こいみじ	普通	口頸部磨きの条線→口縁部 頸部磨き 内面ナゲ	K C 5区	後期後重
126	縄文土器	深鉢	-	(47)	-	長石・石英・赤色 粒子	こいみじ	普通	口頸部磨きの条線→縦位の気味 内面ナゲ	K C 9区	晩期前重
127	縄文土器	深鉢	-	(60)	-	長石・石英・赤色 粒子	こいみじ	普通	口縁部凹線文で厚肉気味 2列の凹線文 頸部 磨きの条線 變成面穿孔1ヶ所 内面ナゲ	K C 7区	晩期前重
128	縄文土器	深鉢	-	(82)	-	長石・石英	こいみじ	普通	口縁部に2条の沈縮 頸部縄文LR 内面ナゲ	K C 7区	晩期前重
129	縄文土器	深鉢	-	(56)	-	長石・石英・赤色 粒子	こいみじ	普通	口縁部厚肉 口唇部に斜行沈縮あり 口頸部磨きの 条線文→口縁部に付点線文 内面ナゲ	K C 7区	直溝・横溝
130	縄文土器	深鉢	-	(47)	-	長石・石英・赤色 粒子	こいみじ	普通	口頸部磨きの条線文→縦位の交互気味入り粗み文 内面粗い磨き	K D 4区	晩期前重
131	縄文土器	深鉢	(29.4)	(92)	-	長石・石英・赤色 粒子	こいみじ	普通	口頸部磨きの条線文 内面ナゲ	K C 4区	20% 晩期前重
132	縄文土器	深鉢	-	(143)	-	長石・石英・赤色 粒子	褐	普通	口頸部磨きの条線文 内面粗い磨き	K C 3区	晩期前重
133	縄文土器	深鉢	(28.6)	(87)	-	長石・石英・赤色 粒子	褐	普通	口縁部厚肉 口頸部磨きの条線文 内面粗い磨き	K C 8区	10% 晩期前重
134	縄文土器	深鉢	-	(110)	-	長石・石英・赤色 粒子	こいみじ	普通	口頸部磨きの条線文 内面ナゲ	K D 7区	晩期前重→中重
135	縄文土器	深鉢	-	(101)	-	長石・石英・赤色 粒子	明褐色	普通	口縁部厚肉 口頸部磨きの条線文 内面粗い磨き	K C 5区	晩期前重
136	縄文土器	深鉢	-	(105)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口頸部磨きの条線文 内面ナゲ	K D 5区	晩期前重→中重
138	縄文土器	深鉢	-	(68)	-	長石・石英	こいみじ	普通	口縁部厚肉 口頸部磨きの条線文 内面ナゲ	K B 4区	晩期前重
139	縄文土器	深鉢	-	(75)	-	長石・石英・赤色 粒子	明赤褐	普通	口頸部磨きの条線文 内面ナゲ	K E 2区	晩期前重→中重
140	縄文土器	深鉢	-	(78)	-	長石・石英・赤色 粒子	褐	普通	口頸部磨きの条線文 内面粗い磨き	K D 6区	晩期前重→中重
141	縄文土器	深鉢	[145]	(131)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口頸部磨きの条線文→磨滅顯著 内面ナゲ	K C 4区	後期前重→中重
142	縄文土器	深鉢	-	(55)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	こいみじ	普通	縦目状赤系文(単純条線部第5層 厚肉1カ) 内面磨き	K D 5区	10% 晩期前重→中重
143	縄文土器	深鉢	-	(77)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	外面内面粗い磨き	K D 5区	晩期前重→中重
144	縄文土器	鉢	18.2- 18.8	8.0	8.0	長石・石英・赤色 粒子	明赤褐	普通	口縁部二つまた状突起7単位 口縁部に伏し無文部 厚肉 部・頸部磨き 底部磨き付 区画内 内面磨き	K C 7区	90% PL13 安行1式
145	縄文土器	浅鉢	22.0- 22.5	5.4	-	長石・石英・赤色 粒子	こいみじ	普通	底状に縁 口唇部・内面に沈縮 口頸部二つまた 状突起7単位 口縁部に伏し無文部 厚肉部・頸部磨 き付 区画内 内面磨き	K C 8区	80% PL13 安行3 b 式
146	縄文土器	浅鉢	[225]	(83)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	底状に縁 (5-6単位) 或は口唇部厚肉 口頸部縄文LR 光燒の風通文と三角状区画文 或は口唇部に三文字	K B 7区	30% 安行3 b 式
147	縄文土器	深鉢	-	(52)	-	長石・石英	褐	普通	底状に縁 口頸部縄文LR光燒の風通文 或は口唇部 に三文字 無文部磨き 内面磨き	K D 5区	安行3 b 式
148	縄文土器	浅鉢	-	(35)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口頸部二溝間のサイ直 縦部縄文LR光燒の並列文 内面磨き 口縁部手管状突起文	K D 3区	大淵C1式
150	縄文土器	浅鉢	-	(37)	-	長石・石英	黒褐	普通	口唇部に1突起 頸部縄文LR光燒の並列文 内面磨き 變成面穿孔2ヶ所	K C 7区	大淵C1式
151	縄文土器	浅鉢	[150]	(54)	-	長石・石英・赤色 粒子	こいみじ	普通	口唇部に鉢条状突起付 内面に弧状の縁に粘貼付 外面ナゲ 内面磨き	K D 5区	安行3 c 式
152	縄文土器	浅鉢	[154]	(48)	-	長石・石英	こいみじ	普通	底状に縁 或は口唇部に鉢条状突起付 或は口唇部に二帯 突起 無文部磨き 内面磨き	K D 8区	10% 安行3 c 式
153	縄文土器	浅鉢	-	(57)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口唇部に鉢条状突起付と沈縮 頸部磨り後縦線文 内面磨き 153-156同一	K C 6区	PL12 安行3 c 式
154	縄文土器	浅鉢	-	(43)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	153-156同一。	K C 4区	安行3 c 式
155	縄文土器	浅鉢	-	(47)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	153-156同一。	K D 5区	安行3 c 式
156	縄文土器	浅鉢	-	(41)	-	長石・石英	黒褐	普通	153-156同一。	K D 5区	安行3 c 式
157	縄文土器	浅鉢	-	(17)	(7.6)	長石・石英	黒褐	普通	交方気味文を持つ菱形区画文 縄文LR光燒 無文部・内面磨き	K D 5区	安行3-3 c 式
158	縄文土器	浅鉢	[170]	(60)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	口唇部に二帯状突起 底部に二溝間のサイ直 突起付 内面磨き	K C 7区	20% 安行3 c 式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴はか	出土位置	備考
139	縄文土器	浅鉢	-	(7.4)	-	長石・石英	黒黒	普通	口唇部に二重状突起 胴部弧線文 継がれ刺突文 無文部・内面磨き	KC 7区	10% PL112 安行3c式
160	縄文土器	浅鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・赤色	明黒	普通	波状口縁 液面部に飾状突起文 液面部から先部刺突文による弧線文 外面磨き・内面磨き	KD 6区	安行3c式
161	縄文土器	浅鉢	-	(6.7)	-	長石・石英	黒黒	普通	口唇部に二重状突起 胴部継がれ刺突文 無文部・内面磨き	KD 6区	安行3c式
162	縄文土器	浅鉢	-	(4.5)	-	長石・石英	こいぬ黒	普通	継がれ刺突文 光填り刺突文による弧線状無文部・内面磨き	KC 7区	安行3c式
163	縄文土器	浅鉢	-	(3.5)	-	長石・石英	こいぬ黒	普通	口唇部四重 胴部変形弧線文 外面ナデ 内面磨き	KC 6区	越山皿式
164	縄文土器	浅鉢	-	(6.8)	-	長石・石英	黒黒	普通	口唇部二重状突起 胴部弧線文で無文部は磨き	KC 8区	安行3c式
165	縄文土器	浅鉢	-	(5.3)	-	長石・石英	こいぬ黒	普通	口唇部二重状突起 胴部細密沈線文光填りの弧線文 無文部・内面磨き	KD 6区	安行3c式
166	縄文土器	浅鉢	-	(6.6)	-	長石・石英	こいぬ黒	普通	低い波状口縁 口唇部細密沈線文光填りの弧線文 無文部・内面磨き	KD 6区	安行3c式
167	縄文土器	浅鉢	(125)	(3.8)	-	長石・石英	こいぬ黒	普通	口唇部に半環状弧線文 胴部横線文 無文部・内面磨き	KC 7区	10% 安行3c式
168	縄文土器	浅鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・赤色	橙	普通	波状口縁 口唇部沈線 無筋1.5線文光填り 液面部下3文字文・液面部の文字の三角形配置 無文部・内面磨き	KC 4区	20% PL112 液面2式
169	縄文土器	浅鉢	-	(5.7)	-	長石・石英	こいぬ黒	普通	低い波状口縁 口唇部沈線 胴部縄文 L.R 光填りの筋文・内面磨き	KD 5区	液面2式
170	縄文土器	浅鉢	-	(2.7)	-	長石・石英	明黄黒	普通	波状口縁 口唇部・内面に沈線 液面部下弧線文と対向する三叉状の突起 内面磨き	KC 7区	液面2式
171	縄文土器	浅鉢	-	(3.8)	-	長石・石英	明黒	普通	内面に飾状突起文と2本の沈線 外面縄文 L.R 光填りの変形弧線文 中央に刺突を伴うナデ 内面磨き	KE 2区	液面2式
172	縄文土器	浅鉢	(210)	5.7	-	長石・石英	こいぬ黒	普通	外面削りナデ 内面磨き	KC 5区	70% 液面前・中費
173	縄文土器	浅鉢	(256)	(5.8)	-	長石・石英・赤色	明赤黒	普通	口唇部から口縁部内面に沈線光填り 外面削りナデ 内面磨き	KC 3区	液面前・中費
174	縄文土器	浅鉢	(15.4)	(4.7)	-	長石・石英・赤色	明赤黒	普通	外・内面磨き	KC 4区	液面前・中費
175	縄文土器	浅鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・赤色	橙	普通	縄文 L.R 光填りの雲形文 内面磨き	KD 9区	大洞C2式
176	縄文土器	台付鉢	-	(5.0)	(15.9)	長石・石英・赤色	こいぬ黒	普通	台部 縄文 L.R→沈線 内面ナデ	KD 4区	大洞2式
177	縄文土器	台付鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・赤色	明赤黒	普通	鉢部・台部 外面継がれ刺突文の光填り刺突文 無文部磨き 内面ナデ	KD 7区	10% 安行3c式
178	縄文土器	台付鉢	-	(4.3)	-	長石・石英・赤色	明赤黒	普通	鉢部・台部 外面2本1寸の面位沈線から単位台部縄文 L.R 内面磨き 内面内面→ナデ	KD 7区	10% 液面前・中費
179	縄文土器	台付鉢	-	(3.4)	-	長石・石英・赤色	明黒	普通	外面に円形穿孔6単位と三叉状の突起	KD 6区	10% 液面前・中費
180	縄文土器	壺	(102)	(3.4)	-	長石・石英・赤色	こいぬ黒	普通	口唇部に二重状突起 胴部細密沈線文 内面磨き 内面口縁部磨き	KD 7区	安行3c式
181	縄文土器	壺	(220)	(5.8)	-	長石・石英・赤色	灰黄黒	普通	口唇部に二重状突起 胴部光填り刺突文 無文部・内面口縁部磨き	KD 7区	安行3c式
182	縄文土器	壺	(117)	(9.7)	-	長石・石英・赤色	橙	普通	口唇部に二重状突起 口縁部・胴部ナデ 胴部削り 内面口縁部ナデ	KC 5区	60% PL113 液面前
183	縄文土器	壺	(110)	(5.0)	-	長石・石英	こいぬ黒	普通	口縁部押圧による沈線 胴部削り 内面ナデ	KC 4区	70% 液面前・中費
184	縄文土器	壺	(110)	(4.2)	-	長石・石英・赤色	こいぬ黒	普通	口唇部に飾状突起刺突文 口縁部受け口状 胴部磨き 内面磨き	KC 4区	液面前・中費
185	縄文土器	注口器	-	(4.7)	-	長石・石英・赤色	こいぬ黒	普通	注口部 外面縄文 L.R 光填りの磨消縄文 無文部磨き	KE 3区	液面前・中費
186	縄文土器	角底土器	-	(6.3)	-	長石・石英	こいぬ黒	普通	コーナー部の口唇につまみ状突起 胴部縄文 L.R 光填りの雲形文 無文部磨き 内面磨き	KC 5区	大洞C1式
187	縄文土器	角底土器	-	(3.8)	-	長石・石英・赤色	こいぬ黒	普通	外・内面・底面磨き	KC 5区	液面前・中費
188	縄文土器	筒形土器	(5.6)	(3.2)	-	長石・石英	こいぬ黒	普通	厚さ2か所残存 透かし孔間に入り組み文	KE 5区	液面前・中費
189	縄文土器	鉢	-	(7.3)	-	長石・石英	橙	普通	口唇部に一重状突起 口縁部削り 胴部弧線文 内面磨き 内面磨き	KC 7区	10% PL112 液面後部
190	縄文土器	深鉢	-	(10.3)	-	長石・石英	黒黒	普通	器高約15(10)cm 多段の玉指さ 3文字入り組み文 胴部縄文 L.R・始部回転R 光填り 内面ナデ	KB 7区	20% 大洞B2式
191	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・赤色	明黒	普通	縄文 L.R→始部回転R→沈線 内面磨き	KC 7区	大洞B2式
192	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英	黒黒	普通	口唇部B変形と三叉文 口縁部平行半環状文 胴部 L.R 縄文 内面磨き	KC 5区	大洞B2式
193	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英	黒黒	普通	口唇部B変形と刺突文 口縁部二溝筋のサイイ筋 胴部 L.R 光填り 胴部上半二溝筋のサイイ筋 内面磨き	KC 5区	大洞C1式
194	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英	黒黒	普通	胴部二溝筋のサイイ筋と縄文 L.R 光填りのK字雲形文 内面ナデ	KC 5区	大洞C1式
195	縄文土器	浅鉢	21.2→21.8	5.9	3.8→4.1	長石・石英	こいぬ黒	普通	口唇部に4単位のB変形 口縁部二溝筋のサイイ筋 胴部縄文 L.R 始部上げ波状 内面磨き	KC 7区	90% PL113 大洞C1式
196	縄文土器	浅鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・赤色	橙	普通	胴部・胴部に無筋 L.R 文と雷文 内面磨き	KD 3区	大洞C1式
197	縄文土器	浅鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・赤色	黒黒	普通	口唇部縄文 L.R 胴部上半半環状文 下半縄文 L.R 内面磨き	KD 5区	大洞C1式
198	縄文土器	鉢	(100)	(5.3)	-	長石・石英	明赤黒	普通	口唇部にB変形 口縁部平行半環状文 胴部磨き 内面磨き	KC 6区	大洞C1式
199	縄文土器	鉢	(200)	(8.4)	-	長石・石英	灰黄黒	普通	口唇部三文字入り組み文と三叉文 胴部縄文 L.R 光填りの雲形文 無文部磨き 内面磨き 口縁部に沈線	KC 5区	30% PL112 大洞C1式
200	縄文土器	壺	-	(5.2)	-	長石・石英・赤色	明黒	普通	胴部縄文 L.R 光填りの雲形文 内面ナデ	KC 9区	大洞C1式
201	縄文土器	鉢	-	(4.4)	-	長石・石英	こいぬ黒	普通	199と同一。	KC 6区	大洞C1式
202	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石英・赤色	こいぬ黒	普通	口唇部B変形と刺突文と三叉文 内面に沈線文 胴部 L.R 光填りの雲形文	KD 4区	大洞C1式
203	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英	こいぬ黒	普通	縄文 L.R 光填りの磨消縄文 丁字文 無文部・内面磨き	KD 9区	標名寺1式
204	縄文土器	壺	(8.8)	(4.1)	-	長石・石英	明黄黒	普通	胴部縄文 L.R 光填りの雲形文 内面口縁部に沈線	KE 3区	20% 大洞C1式
205	縄文土器	壺	(4.7)	(4.5)	-	長石・石英	橙	普通	胴部下端に胆状縁状突起 無文部磨き	KC 7区	20% 大洞C1式
206	縄文土器	壺	(11.8)	(4.4)	-	長石・石英	こいぬ黒	普通	外・内面磨き 口縁部受け口状	KD 7区	大洞C1式

番号	形 種	長さ	幅	厚さ	重量	材 質	特 徴	出土位置	備 考
253	石片	9.2	2.8	1.1	163	頁岩	縦長割片 背面に2-3本の稜線 一側縁に微細割痕	K C 7 区	PL115
254	石片	5.8	2.8	1.2	248	頁岩	縦長割片 背面に2本の稜線	K C 8 区	PL115
255	石鏃	(3.4)	2.0	0.5	(25)	チャート	平基無茶鏃 五角形 先端部欠損	K D 7 区	PL115
256	石鏃	(2.7)	(1.7)	0.5	(15)	チャート	四基無茶鏃 基部欠損	K D 8 区	
257	石鏃	(2.6)	1.6	0.4	(10)	チャート	四基無茶鏃	K D 6 区	PL115
258	石鏃	3.0	1.4	0.8	2.3	チャート	凸基有茶鏃 未成品*	K D 7 区	PL115
259	石鏃	2.5	1.2	0.5	1.0	チャート	凸基有茶鏃	K E 5 区	PL115
260	石鏃	1.6	0.9	0.4	0.4	黒曜石	凸基有茶鏃	K D 5 区	PL115
261	石鏃	3.6	0.9	0.6	1.4	チャート	頭部欠損あるいは未成品*	K D 5 区	PL115
262	打製石斧	(8.0)	(9.0)	2.7	(149.0)	凝灰岩	分銅形 表裏面に原石面残す 刃部と表裏面に磨減痕	K C 7 区	PL115
263	打製石斧	(9.6)	(6.1)	2.2	(171.1)	安山岩	分銅形 表裏面に原石面残す 側縁部に敲打痕	K C 7 区	PL115
264	打製石斧	(6.3)	(6.5)	1.7	(93.9)	安山岩	分銅形 表裏面に原石面残す 側縁部に敲打痕	K D 3 区	
265	打製石斧	(7.9)	(6.4)	2.7	(140.3)	ホルンフェルス	分銅形* 表裏面割離 側縁部一部残存	K C 7 区	
266	磨製石斧	(7.7)	(4.2)	2.4	(138.7)	砂岩	定角式 刃部欠損 被熱	K D 5 区	PL115
267	磨製石斧	(5.1)	(4.2)	2.6	(86.4)	凝灰岩	定角式 刃部欠損	K C 7 区	
268	磨製石斧	(7.8)	(2.9)	(2.4)	(78.3)	砂岩	定角式 基部欠損 被熱	K C 8 区	
269	磨製石斧	(5.2)	(3.9)	2.1	(77.7)	蛇紋岩	定角式 基部欠損	K D 8 区	
270	石鏃	(10.6)	(8.6)	(5.4)	(561.3)	安山岩	表裏面磨り面	K C 4 区	
271	石鏃	(12.1)	(8.4)	(6.8)	(372.3)	安山岩	表裏面磨り面+敲打痕 裏面ざらつきのある摩耗痕+凹痕	K E 4 区	
272	石鏃	(8.5)	(7.4)	(8.6)	(360.2)	安山岩	表裏面磨り面 断面に凹痕	K C 9 区	
273	磨石	(9.3)	8.3	4.5	(495.8)	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩耗痕	K E 6 区	
274	磨石	(8.0)	8.5	3.8	(415.0)	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 周縁敲打痕	K E 5 区	
275	磨石	6.4	6.7	4.1	190.9	安山岩	凹石の転用 表裏面光沢のある磨り面+凹痕 周縁ざらつきのある摩耗痕	K C 7 区	
276	磨石	6.9	6.8	4.0	227.5	安山岩	表裏面光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩耗痕	K C 5 区	
277	磨石	6.2	6.2	3.8	224.7	安山岩	表裏面光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩耗痕	K D 7 区	
278	磨石	6.1	5.3	3.8	184.2	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 両側縁ざらつきのある摩耗痕+敲打痕 上下縁ざらつきのある摩耗痕 被熱	K D 9 区	
279	磨石	6.0	5.9	4.2	210.4	安山岩	表裏面磨り面 下部部敲打痕	K D 4 区	
280	磨石	7.0	6.5	2.4	152.3	安山岩	表裏面磨り面 被熱	K D 7 区	
281	凹石	9.0	7.1	2.5	202.8	結晶片岩	表面に凹痕 被熱	K E 9 区	
282	凹石	(12.0)	(11.9)	7.7	(1199.1)	砂岩	砥石* 欠損部を除く6面に砥面 被熱	K C 8 区	
283	石鏃	5.0	4.7	1.9	63.7	安山岩	有溝 表裏面研磨	K D 9 区	PL115
284	石鏃	4.9	4.0	1.5	42.8	頁岩	有溝 表裏・両側縁部も丁寧に研磨	K C 6 区	
285	石鏃	5.5	3.3	1.7	49.3	頁岩	有溝	K C 9 区	PL115
286	石剣	(13.2)	(3.5)	(2.0)	(139.6)	緑色片岩	刃部 研磨整形 被熱	K E 3 区	PL115
287	石剣	(11.3)	(5.0)	1.9	(115.4)	凝灰岩	刃部 研磨整形 被熱	K E 3 区	PL115
288	石剣	(13.9)	(3.2)	2.0	(142.8)	緑色片岩	頭部・刃部欠損 研磨整形 被熱	K E 3 区	
289	石剣	(11.3)	(3.4)	(1.4)	(63.2)	緑色片岩	頭部・刃部欠損 研磨整形 被熱	K D 7 区	
290	石剣	(9.6)	(3.6)	(1.5)	(63.6)	緑色片岩	基部・刃部欠損 被熱により赤変	K C 5 区	
291	石剣	(11.5)	3.5	2.0	(117.2)	緑色片岩	頭部・刃部欠損 研磨整形	K D 3 区	PL115
292	石剣	(4.8)	(6.9)	(2.0)	(61.1)	粘板岩	成層野形頭部 洗滌間・隆起帯上に細かいつ羽根状文	K D 7 区	PL115
293	石剣	(7.6)	(3.0)	(2.4)	(75.1)	緑色片岩	頭部 対向三叉文4単位	K D 5 区	PL115
294	石剣	(5.4)	(3.4)	(2.6)	(61.9)	粘板岩	頭部 1字文	K D 4 区	PL115
295	石剣	(6.1)	(2.8)	(1.2)	(22.0)	緑色片岩	頭部 対向三叉文と凹文 被熱	K D 7 区	PL115
296	石剣	(4.6)	(3.3)	(1.0)	(8.7)	凝灰岩	刃部* 対向三叉文と横位の1字文	K E 2 区	
297	石棒	(11.3)	4.2	2.6	(204.7)	緑色片岩	頭部* 敲打による頭部作出痕あり 裏面欠損 被熱	K C 7 区	

vi) 第IV層

第4号遺物包含層 (第353～356図 第241・242表 PL43・116)

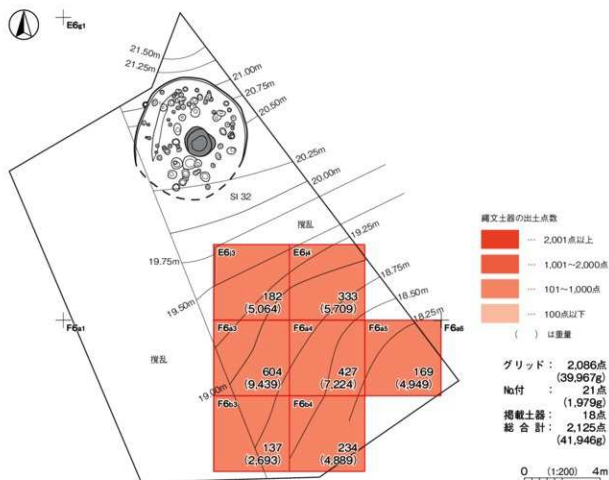
位置 調査P区南部のE 63～F 65区, 南東方向へ傾斜する台地斜面部に位置している。確認面の標高は182～21.5mである。

重複関係 第32号竪穴建物に掘り込まれており, 第Ⅲ層が上部に形成されている。

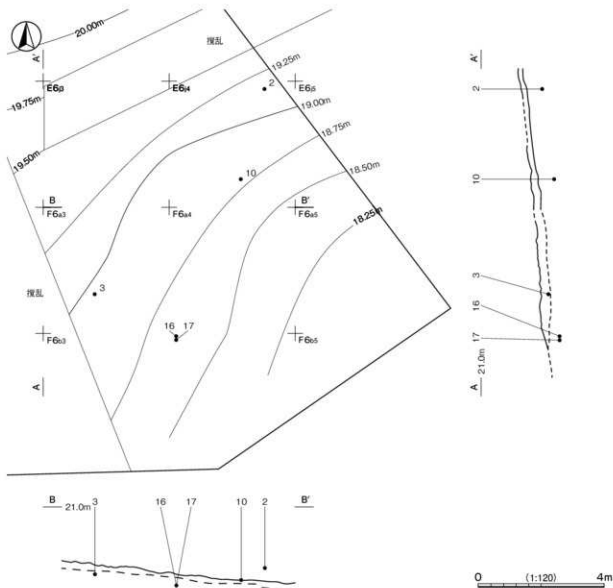
分布範囲 北半部は第32号竪穴建物に掘り込まれているため, 包含層がほとんど残存しておらず, 調査区域の南半部に広がっている。

遺物出土状況 縄文土器2,125点(41,946g), 土製品5点(土器片円盤), 石器・石製品7点(石皿1, 磨石4, 敲石1, 浮子1), 剥片3点(頁岩, 黒曜石, チャート), 石核4点(チャート)が出土している。土器は, 称名寺1式～安行3c式のものが出土しているが, 第Ⅲ層の堆積時期から, 安行3b式以降のものは第Ⅲ層との層界付近に集積していたものが混入したと考えられる。いずれも細片で, 疎らに散在した状態で出土している。

所見 時期は, 重複関係や出土土器から晩期前葉(安行3a式期)以前と考えられる。また, 後期前～中葉の土器が一定量出土していることから, 台地縁部に当該期の集落が存在していた可能性がある。



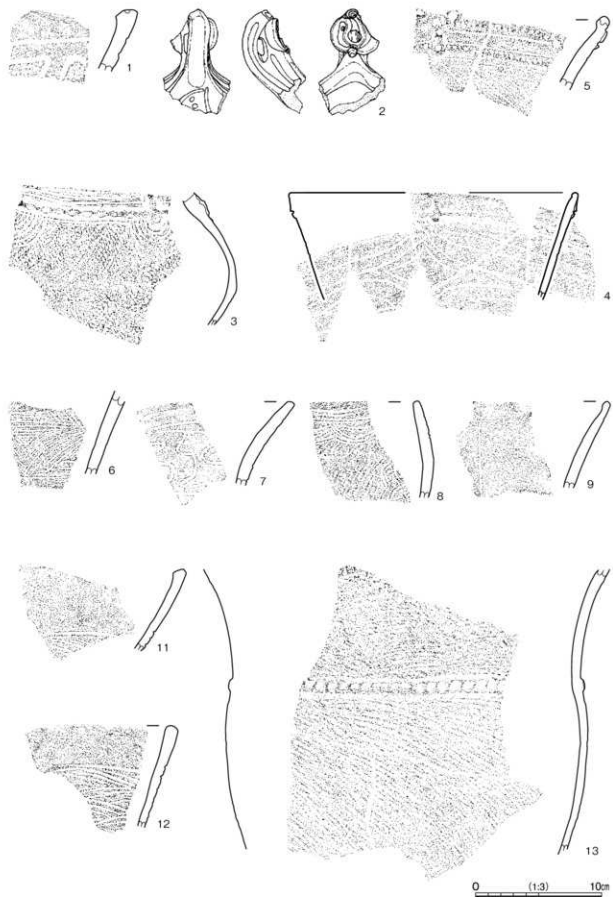
第353図 第4号遺物包含層第IV層出土物実測図(1)



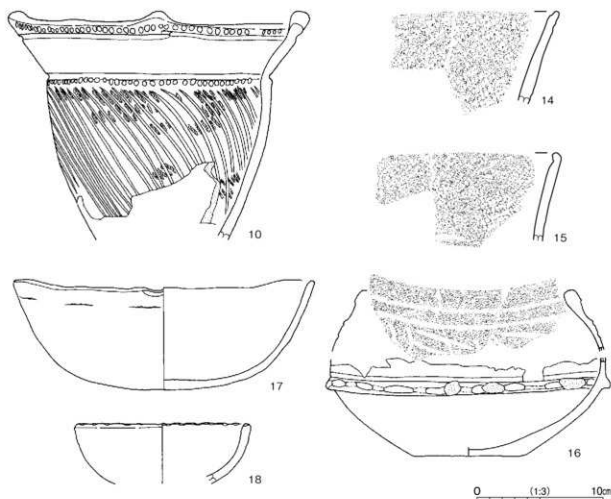
第354图 第4号遺物包含層第IV層出土遺物実測図(2)

第241表 第4号遺物包含層第IV層出土未掲載土器集計表

群	第1群		第2群		第3群		第4群		第5群			第6群		第7群		第8群				
種	前期 煎平	中期 煎平	中期 煎平	新瓦合 1式	和瓦合 2式	新2式 1式	新2式 2式	加曾利自 1式	加曾利自 2式	加曾利自 3式	曾形式	空行 2式	空行 3,4式	空行 3,5式	1連打 2式	空行 3<式	新式 瓦段上			
点数	2	1	1	3	3	16	7	2	13	2	2	2	1	6	6	3	6			
重量 (g)	39	14	28	115	67	587	171	26	429	68	55	18	22	138	107	172	279			
群	第9群		第10群		第11群		第12群		第13群		合計									
種	沈瀬文	刺突文	的洞文	特殊滑 縄文	特殊文 (A)	特殊文 (B)	唐子目文	条縄文	縄文	無文	洗部 (1)	洗部 (2)	洗鉢	存付鉢	口上器	系形台付 土器	1,2,4 7上器	新式土器	新式不明	
点数	119	46	92	28	58	40	3	274	326	93	42	42	5	1	2	1	1	36	-	2107
重量 (g)	2211	786	1637	457	1,408	287	46	5,914	6,193	14,074	2,654	1,662	131	31	56	11	9	235	2,135	41,946



第 355 图 第 4 号遗物包含层第 IV 层出土遗物实测图 (1)



第356図 第4号遺物包含層第IV層出土遺物実測図(2)

第242表 第4号遺物包含層第IV層出土遺物一覧(第355・356図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(49)	-	長石・石英・赤色 粘土	にぶい	普通	無飾LR光順の磨消縄文 縦い波状 口唇部に沈線	F 6a5区	称名寺1式
2	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい	増	外面沈線磨消変文・外面平らな口縁部に沈線文 内面に突起変態縄文を有するC字文	E 6j4区	称名寺E式
3	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	橙	普通	外面LR 基縄文→経線貼付→手載竹管による重弧文 内面磨き	F 6a3区	堀之内1式
4	縄文土器	深鉢	[226]	(8.5)	-	長石・石英・雲母・ 針状物質	明赤褐	普通	外面口縁部経線貼付 胴部LR 光順の菱形区画文 内面口縁部沈線	F 6a4区	10% PL116 堀之内2式
5	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口唇部に基弧と四角・沈線文 口縁部・唇部と8字状 貼付文・胴部三角文 内面口縁部に2か所の凸点	E 6j4区	堀之内2式
6	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・赤色 粘土・針状物質	明赤褐	普通	胴部二段三角文 内面磨き	F 6a3区	堀之内2式
7	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英	にぶい	増	外面単沈線による縦行懸垂文 内面口縁部凹線	E 6j3区	堀之内2式
8	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英	にぶい	増	外面LR 基縄文→手載竹管による重弧文と懸垂文 内面磨き	F 6b3区	堀之内1式
9	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母・ 針状物質	にぶい	増	外面単沈線による懸垂文 内面口縁部に凹線 磨き	F 6a5区	堀之内2式
10	縄文土器	深鉢	[224]	(18.0)	-	長石・石英	にぶい	赤褐	口唇部に4単位の突起 口縁部・唇部部に刺突文 胴部RL 縄文後斜行する基弧文 内面磨き	E 6j4区	60% PL116 加賀川B3式
11	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	にぶい	増	波状口縁 口縁部磨き 内面磨き	E 6j4区	加賀川B2式
12	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面胴部矢羽根状沈線文 内面磨き	F 6b4区	加賀川B2式
13	縄文土器	深鉢	-	(22.9)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	橙	普通	外面LR 基縄文→条線→経線貼付 磨滅顕著	E 6j3区	50% 加賀川 磨滅
14	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい	増	外面LR 縄文 内面口縁部に沈線 磨滅顕著	F 6b4区	後期
15	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・赤色 粘土	橙	普通	外面LR 縄文 内面口縁部に沈線 磨滅顕著	F 6b4区	後期
16	縄文土器	浅鉢	[170]	[13.2]	8.8	長石・石英・雲母	黒褐	普通	内面鉢 口縁部LR 磨滅帯縄文 外面LR 縄文光順 の糸籠状三叉文 外面口縁部沈線 磨滅顕著	E 6j・F 6b1区	40% PL116 実行3a式
17	縄文土器	浅鉢	23.5	8.7	-	長石・石英・赤色 粘土・針状物質	浅黄橙	普通	口唇部に押圧1か所 磨滅顕著	F 6b4区	80% PL116 磨滅
18	縄文土器	浅鉢	[134]	(4.7)	-	長石・石英	にぶい	増	口唇部押圧による小波状 磨滅顕著	F 6b4区	25% 磨滅

第4・5号遺物包含層 (第357～370図 第243・244表 PL44・45・116～119)

位置 調査L区のF5c0～G5d8区, 南東方向へ傾斜する台地斜面部と東方向へ延びる谷部との合流部に位置している。確認面の標高は175～198mである。

重複関係 第4・5号遺物包含層の第V層の上部に形成されている。第Ⅲ層が上部に形成されており、一部は流水等による浸食が及んでいる。

分布範囲 調査区域のほぼ全域に広がっている。南部の谷底部にあたるG5a6～a9区(LJ4～7区)は、第Ⅲ層段階で第296号土坑を湧水点とした水場が形成されていた可能性があり、流水等による浸食を受けて凹地状を呈している。

遺物出土状況 縄文土器23,620点(484,549g)、土製品129点(耳飾り1、土偶12、土器片錘2、土器片円盤114)、石器・石製品119点(石鏃1、打製石斧3、磨製石斧4、石皿8、磨石61、敲石7、凹石20、砥石1、石錘1、浮子₁、石剣6、石棒6)、剥片18点(頁岩1、黒曜石3、瑪瑙5、チャート9)、石核2点(チャート)、骨12.0gが出土している。土器は、前期前半の黒浜式、中期後半の加曾利E式、後期初頭の称名寺式、及び第Ⅲ層からの混入とみられる晩期中葉の安行3c式のものが見え、堀之内1式～安行3b式のもので一定量出土している。調査区域全体に破片が散在している状態で、台地上から流れ込んだものと考えられる。

所見 上部の第Ⅲ層と下部の第V層の堆積時期及び出土土器から、後期中葉(堀之内2式期)以降に堆積が始まり、晩期前葉(安行3a～安行3b式期)には台地上からの土砂流入が停止したと考えられる。

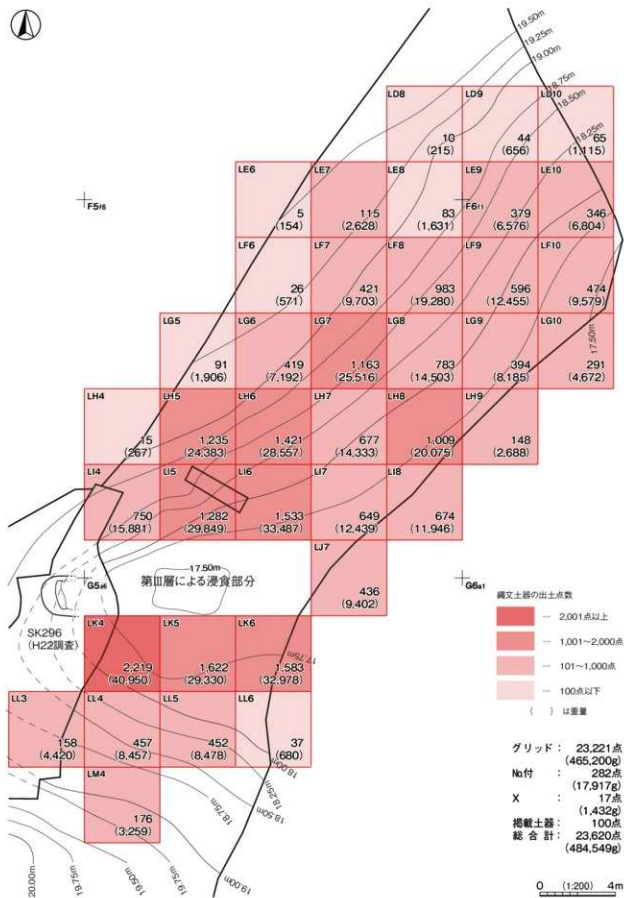
第243表 第4・5号遺物包含層第IV層出土未掲載土器集計表

種別	第1群		第2群		第3群		第4群		第5群			第6群		第7群			第8群		第9群		
	前期前半	中期後半	後期中葉1式	後期中葉2式	堀之内1式	堀之内2式	加曾利B1式	加曾利B2式	加曾利B3式	磨製式	安行1式	安行2式	安行3a式	安行3b式	安行3c式	徳山1式	安行3e式	黒浜式	晩期初頭	沈黙文	称名寺式
点数	8	1	6	8	155	52	54	34	24	20	37	53	93	36	138	19	4	37	1,720	781	1,182
重量(g)	161	85	270	254	5,780	1,213	1,127	1,251	1,039	407	1,347	2,033	2,852	1,266	1,725	537	127	719	33,603	15,266	19,676

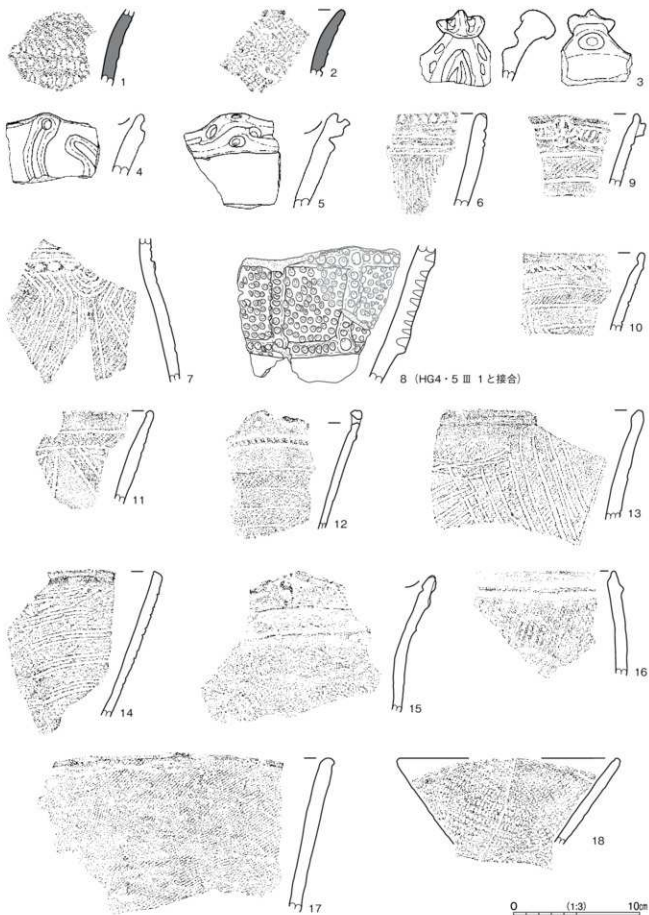
種別	第9群			第10群			第11群											第12群		第13群			
	段取土器(古)	称名寺式(新)	称名寺式(古)	第9群(新)	称名寺式	徳文	徳文(古)	底面(古)	底面(新)	灰面	鉢	鉢	台付鉢	凹石	凹石	徳	丸底土器	筒形土器	ア字土器	コ字土器	細口土器	細口土器	合
点数	885	790	472	130	4,010	4,100	7,389	583	371	76	7	42	24	9	2	4	1	143	-	23,520			
重量(g)	18,345	30,105	11,683	2,263	71,028	77,712	122,038	31,186	14,294	2,790	254	2,905	604	217	36	87	37	1,257	16,200	484,549			

第244表 第4・5号遺物包含層第IV層出土遺物一覧 (第359～370図)

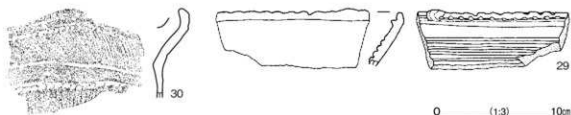
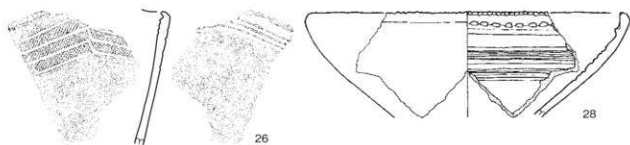
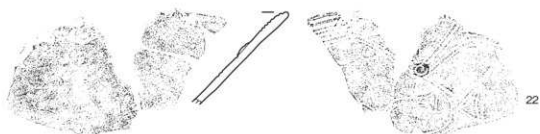
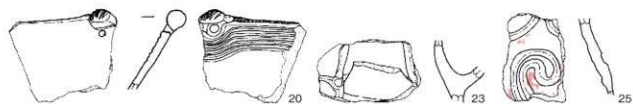
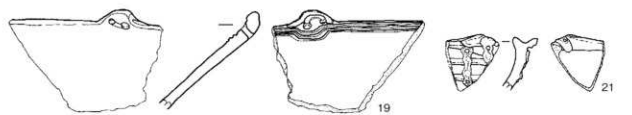
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	備考	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・燧石	橙	普通	上段直段多量のRL, 下段未端3段		L F 8 R 2 a	堀山B式
2	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	灰黄緑	普通	付加糸1種 (RL+ r と LR+ 1) の沢状構成		L 1 4 R 2 a	黒浜式
3	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英	黒	普通	破片口縁部突起, 短く屈曲する口縁部に腐蝕痕跡部に對向するC字文。内面に凹点		L K 5 R 1 a	PL116 称名寺B式
4	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石英	にがい焼	普通	口縁部に腐蝕痕跡文を持つC字胎付文		L 1 7 R 1 a	網俣1式
5	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英	橙	普通	狭い口縁部に腐蝕痕跡文。口縁部下の無文部・内面磨き		L F 7 R 1 a	網俣B式
6	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英	橙	普通	口縁部に粗糸, L R 地縄文及び手軌行管状工具の集合突起部並文等		L H 5 R 2 a	堀之内1式
7	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	にがい焼	普通	L R 地縄文及び集合突起部並文。屈曲部に粗線胎付。内面磨き		L K 6 R 3 a	堀之内1式
8	縄文土器	浅鉢	-	(10.3)	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	脚空を有する隆起部で上下・部位を区別。凹形付文並文。内径4・5mm以上縁部		L 1 6 R 1 a	堀之内1式並行
9	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	口縁部にC字胎付文と縦文。上部無縁L R 縄文並文の帯状突起。内面口縁部沈凹。磨き		L H 8 R 1 a	堀之内2式
10	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英	明赤焼	普通	口縁部に縦文。胴部縄文L R 光焼の三角文。内面口縁部沈凹。磨き		L 1 4 R 1 a	堀之内2式
11	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	にがい焼	普通	縄文L R 光焼の三角文。内面口縁部沈凹。磨き		L E 9 R 2 a	堀之内2式
12	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・雲母	にがい焼	普通	口縁部に突起(前縁)。口縁部に焼成痕跡。縦文並文L R 光焼の條状文。内面凹面。磨き		L 1 3 R 1 a	PL116 堀之内2式
13	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母	にがい焼	普通	断面L R 地縄文・集合突起部。口縁部は粗線。内面凹面。磨き		L 1 6 R 1 a	堀之内1式
14	縄文土器	深鉢	-	(11.5)	-	長石・石英・雲母	灰黒	普通	外面L R 地縄文・手軌行管状工具で斜線文。内面口縁部凹面。磨き		L E 10 R 1 a	後期前・中葉



第358図 第4・5号遺物包含層第IV層実測図(2)

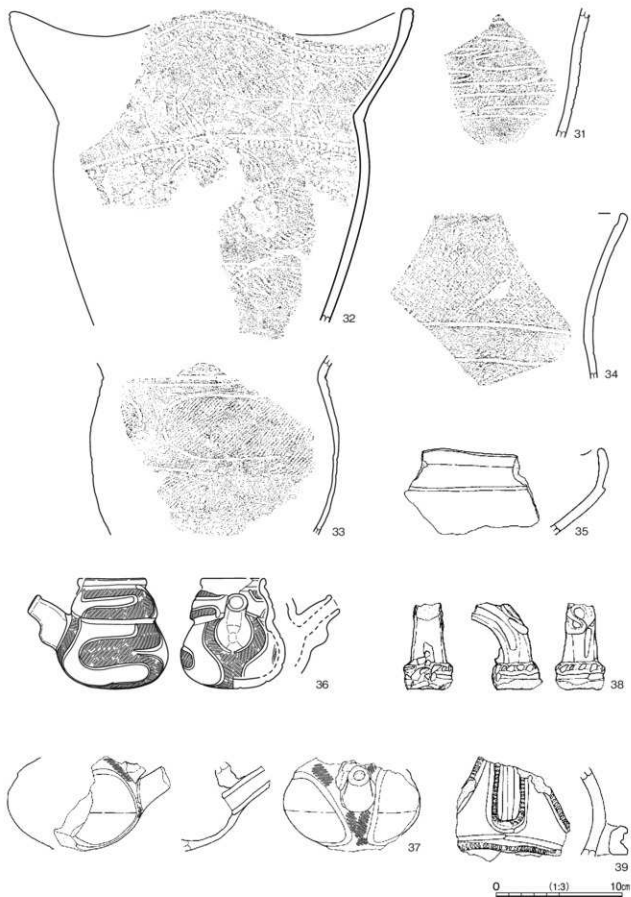


第359图 第4·5号道物包含層第IV層出土遺物実測図(1)

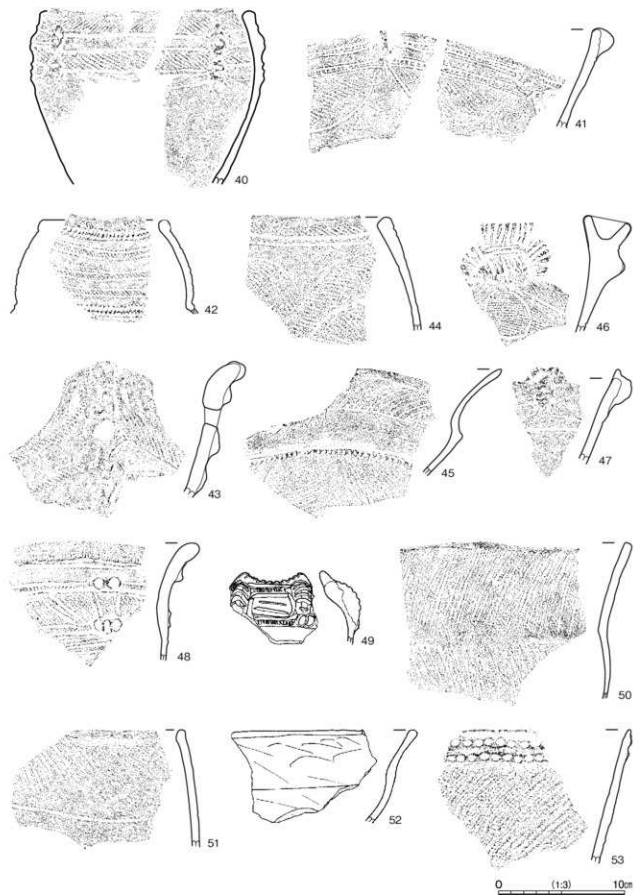


0 (1:3) 10cm

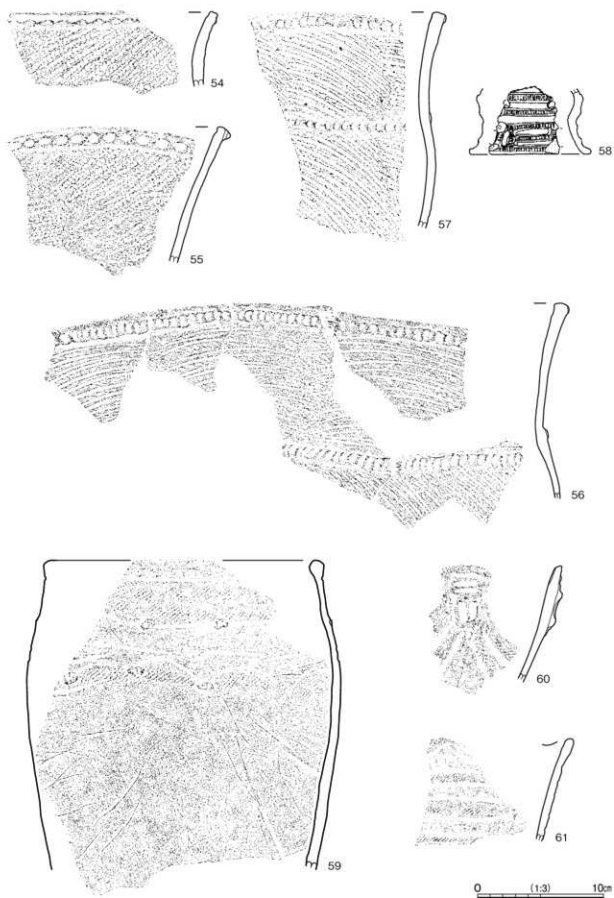
第 360 图 第 4·5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物实测图 (2)



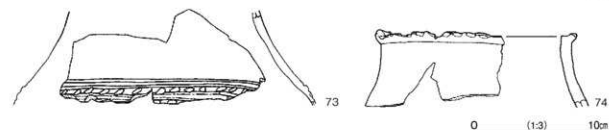
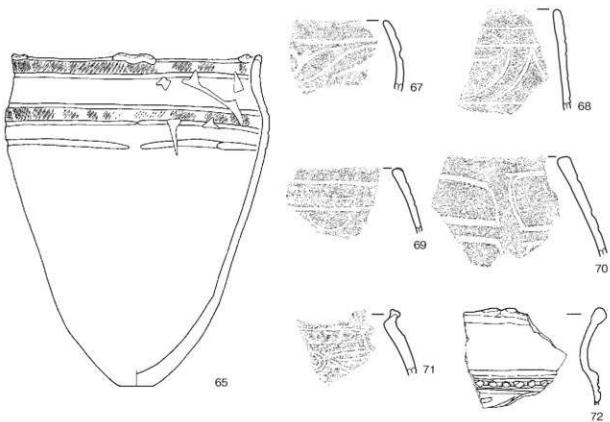
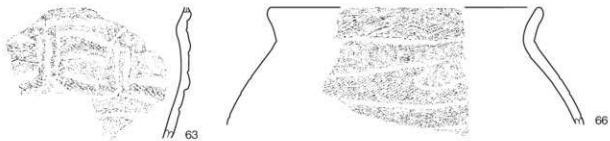
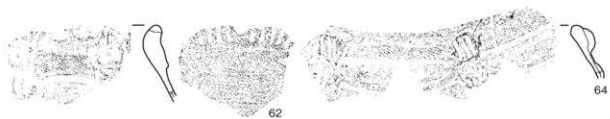
第 361 图 第 4·5 号遗物包含层第 IV 层出土遗物实测图 (3)



第 362 图 第 4·5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物实测图 (4)

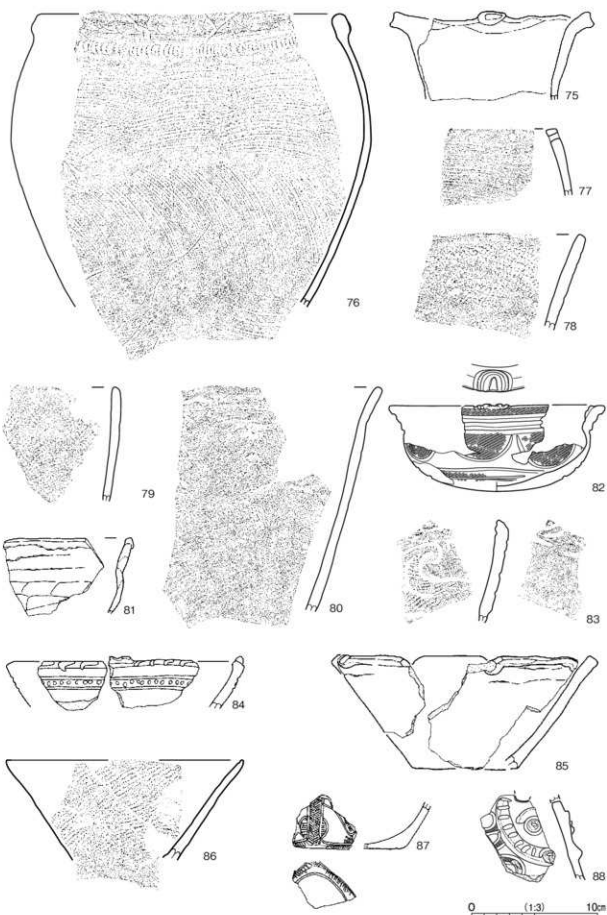


第 363 图 第 4 · 5 号遗物包含层第 IV 层出土遗物实测图 (5)



0 (1:3) 10cm

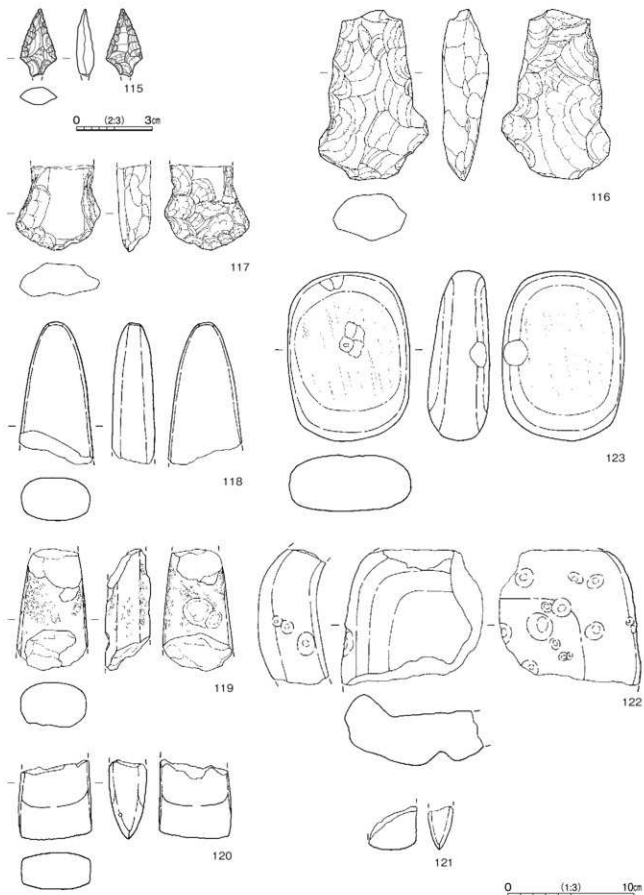
第364图 第4·5号遗物包含层第IV层出土遗物实测图(6)



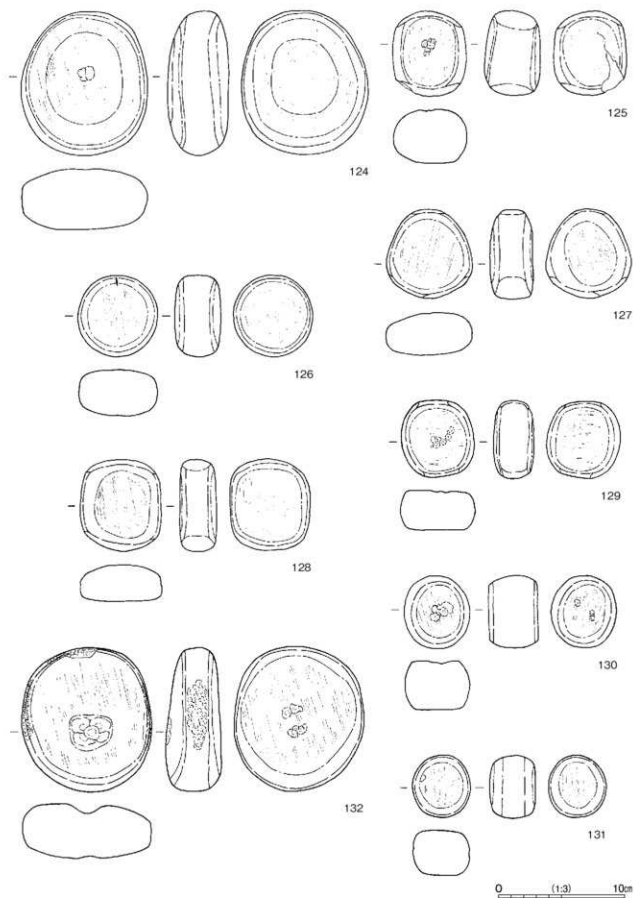
第 365 图 第 4·5 号遗物包含层第 IV 层出土遗物实测图 (7)



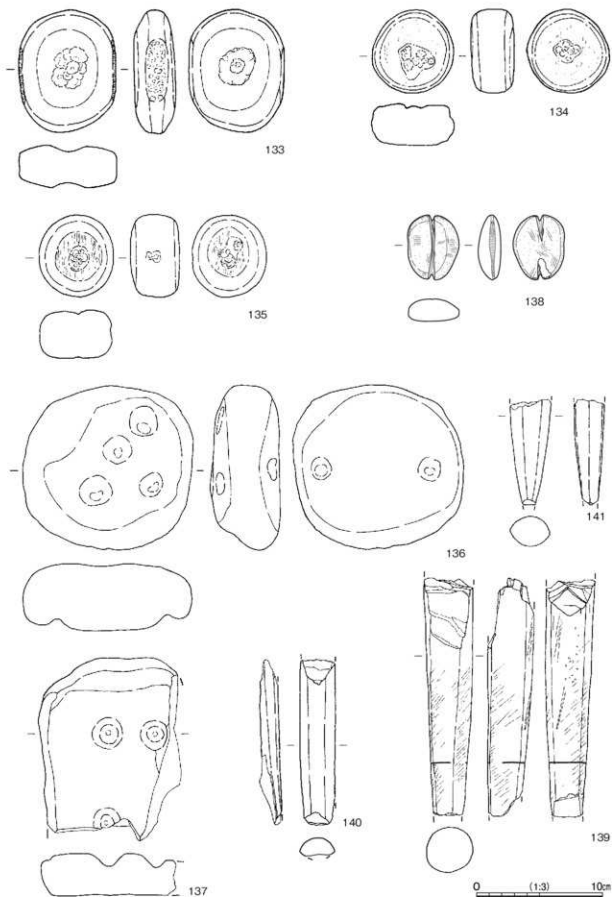
第366图 第4·5号遺物包含層第IV層出土遺物実測図(8)



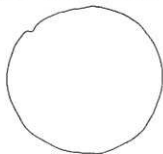
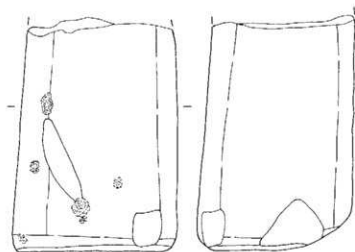
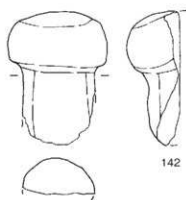
第367图 第4·5号遺物包含層第IV層出土遺物実測図(9)



第 368 图 第 4 · 5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (10)



第369图 第4·5号遺物包含層第IV層出土遺物実測図(11)



0 (1:3) 10cm

第 370 図 第 4・5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図(12)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴はか	出土位置	備考
15	縄文土器	深鉢	-	(10.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒	普通	外面LR, 施縄文→口縁部に施縄2条と8字状筋付文 口縁部突起1か所 内面口縁部施縄文・磨き	LM4区2s	後期前~中葉
16	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・針状物質	灰褐色	普通	外面LR, 施縄文→口縁部縁筋筋付 内面口縁部 内面・磨き	LK5区1s	後期前~中葉
17	縄文土器	深鉢	-	(12.2)	-	長石・石英	褐色	普通	外面LR, 縄文 内面磨き	LJ7区	10% PL116 後期前~中葉
18	縄文土器	鉢	[17A]	(6.8)	-	長石・石英	黒褐色	普通	外面RL, 縄文 内面口縁部施縄・磨き	L15区1s	40% 後期前~中葉
19	縄文土器	浅鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒	普通	外面磨き 口唇部施縄文 内面突起部に施縄連続 辻文を有するC字文 内面に施縄3条 磨き	LK3区3s	10% PL116 期之内2式
20	縄文土器	浅鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰褐色	普通	外面磨き 口唇部に施縄施文の突起 内面突起部下 に施縄中央孔 口唇部筋付 7条の施縄文 磨き	L15区x	期之内2式
21	縄文土器	鉢	-	(4.4)	-	長石・石英・赤色粒子	黒	普通	口唇部筋付2条の縁筋と8字状筋付文 口唇部に押文 のある突起と周縁に施縄のある筋付文 内面磨き	LH6区1s	期之内2式
22	縄文土器	浅鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶ・普通	普通	外面磨き 口唇部施縄 内面筋付丸突起・LR磨消 縄文で高縁状・リボン状の文様	LJ7区	10% PL116 期之内2式
23	縄文土器	注口土器	-	(4.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐色	普通	外面磨消起帯で区画文施文 無文部・内面磨き	LH6区2s	期之内2式
24	縄文土器	注口土器	[6.0]	(6.9)	-	長石・石英	灰褐色	普通	横状部に施縄と縦線状文 胴部磨き	LJ6区3s	20% PL116 期之内2式
25	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母・針状物質	黒	普通	外面磨消起帯によるJ字文 赤筋 内面付着物あり	LJ4区	称名寺式
26	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英	黄褐色	普通	外面LR, 光順の3段の横帯文 無文部磨き 内面 口縁部内面と施縄3条 磨き	L15区x	PL116 加群B1式
27	縄文土器	浅鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母	にぶ・褐色	普通	口唇部に8字状の捺形突起 外面4段の区切り文 を有する横帯文 内面口縁部内面 磨き	LH6区1s	加群B1式
28	縄文土器	浅鉢	[25A]	(8.3)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	外面筋付 口唇部筋付 内面口縁部筋付突起 7条の 文様文 磨き	LK6区	15% PL116 加群B1式
29	縄文土器	浅鉢	-	(4.7)	-	長石・石英	灰褐色	普通	外面筋付 口唇部筋付 内面口縁部筋付突起 5条の 文様文 磨き	LH6区2s	加群B1式
30	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英	灰黄褐色	普通	底縁口縁・口縁部・屈曲部斜交角 口縁部・胴部 斜行条筋 内面口縁部内面 磨き	L07区1s	加群B1式
31	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英	灰褐色	普通	胴部筋状区画文と3段の横帯文 LR, 縄文充填 下平磨き 内面磨き	L14区	加群B1式
32	縄文土器	深鉢	[300]	(24.9)	-	長石・石英・雲母	にぶ・褐色	普通	底縁口縁・口縁部2段の筋付列 胴部LR, 光順の縦線文 胴部LR, 光順の文5段横文 下平磨き 内面磨き 無文部磨き 内面粗い磨き	LK3区	20% PL117 加群B1式
33	縄文土器	深鉢	-	(14.3)	-	長石・石英	黒	普通	外面胴部LR, 光順の筋付の字文 下平磨き 内面磨文 無文部磨き 内面粗い磨き	LK4区2s	20% 加群B1式
34	縄文土器	深鉢	-	(13.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒	普通	外面RL, 施縄文→筋付目文→胴部磨き 内面口縁部 内面 磨き	L68区1s	加群B1式
35	縄文土器	浅鉢	-	(6.8)	-	長石・石英	灰褐色	普通	外面口縁部磨き 胴部筋付 内面磨き	LK3区	後期前~中葉
36	縄文土器	注口土器	[5A]	8.8	-	長石・石英・赤色粒子	黒褐色	普通	2段横帯 LR, 光順施文による入り組み曲線文 無文部磨き	LK3区	90% 東北系

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
37	縄文土器	注口土器	-	(72)	-	長石・石英・雲母・鉄状物質	黒褐色	普通	外面胴部 RL 光沢滑消滅文 縄文部がやや隆起 無文部着き	L16R	15% PL117 基本系
38	縄文土器	注口土器	-	(69)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	把手部 S字状・刻みを有する隆帯 胴部に沈線文	L17R	縄上内2式
39	縄文土器	手土器	-	(82)	-	長石・石英・雲母	こげ茶色	普通	櫛状部 頸部孔1か所と2重線部 胴み隆帯 内面着き	L18R1x	PL117 併合2式
40	縄文土器	深鉢	[165]	(137)	-	長石・石英	こげ茶色	普通	外面 LR 赤褐色による杓状文 肥厚なし 縦長2段貼付 1線部の一部は1線文 胴部条線 内面ナデ	L18R51x	15% PL117 併合2式
41	縄文土器	深鉢	-	(79)	-	長石・石英	灰黄色	普通	口縁部帯み列による区画 縦長貼付 胴部 RL 光沢の風化文 無文部着き 内面ナデ	LK6R2x	10% 併合式
42	縄文土器	深鉢	[100]	(75)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐色	普通	風彫 口縁部凹線 胴部条線 胴部3条のRL 光沢消滅文 無文部着き 内面着き 同一部位に赤色孔あり	L13R2 L15R1	10% 併合式
43	縄文土器	深鉢	-	(107)	-	長石・石英	橙	普通	皮状口縁 RL 隆帯帯縄文3条 底面に縦長類と首筋孔1か所 磨滅消滅	L15R2x	PL117 併合1式
44	縄文土器	深鉢	-	(89)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐色	普通	風彫 口縁部 RL 縄文文 肥厚なし 胴部 RL 光沢の縦状入り組み文 内面着き	LM4R2x	併合1式
45	縄文土器	台付鉢	-	(85)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部・胴部斜条線 内面着き	L7F0	併合式
46	縄文土器	深鉢	-	(93)	-	長石・石英	褐色	普通	RL 縄文光沢の稲妻状滑消滅文 口縁部肥厚なし	LH5R1x	併合2式
47	縄文土器	深鉢	-	(75)	-	長石・石英・雲母	こげ茶色	普通	口縁部帯み隆帯による杓状文 口縁部に刻みなし 組みある縦長類 胴部ナデ 内面着き	LH7R1x	併合2式
48	縄文土器	台付鉢	-	(93)	-	長石・石英・雲母	こげ茶色	普通	胴部隆帯と縦長類による区画 胴部に RL 縄文光沢の縦線文	LK6R1x	併合2式
49	縄文土器	深鉢	-	(53)	-	長石・石英・雲母	灰黄色	普通	胴部隆帯による杓状文	L17R1x	併合2式
50	縄文土器	深鉢	-	(123)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐色	普通	口縁部・胴部斜条線→胴部着き 内面帯み着き	L14R3x	10% 併合式
51	縄文土器	深鉢	-	(92)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	風彫 口縁部凹線 胴部条線着き 内面着き	LK3R	併合式
52	縄文土器	深鉢	-	(74)	-	長石・石英・雲母	こげ茶色	普通	外面内側 内面着き	LJ4R	後期 শেষ
53	縄文土器	深鉢	-	(107)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面 LR 赤褐色文→口縁部線部2条貼付 内面着き 口縁部に沈線文	LHR	後期前-中葉
54	縄文土器	深鉢	-	(60)	-	長石・石英・雲母	こげ茶色	普通	外面 LR 赤褐色文→1線部線部貼付 口唇部に沈線 内面着き 1線部に沈線	L15R	後期中-中葉
55	縄文土器	深鉢	-	(108)	-	長石・雲母	黒褐色	普通	外面 LR 赤褐色文→1線部線部貼付 内面着き 1線部に沈線	LK6R3x	後期中-中葉
56	縄文土器	深鉢	-	(115)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	外面 LR 赤褐色文→口縁・胴部に縦線貼付→口唇部隆帯・胴部斜位に条線 内面着き 口縁部に内側	L6R7R L12R	15% 後期中-後葉
57	縄文土器	深鉢	-	(172)	-	長石・石英・雲母	こげ茶色	普通	外面 LR 赤褐色文→斜位の条線→縦線貼付 内面着き 口縁部に内側	L6R6R1x	併合1-17段
58	縄文土器	磨光付注口土器	-	(52)	[94]	長石・石英	明赤褐色	普通	台部 胴み隆帯による施文 透かし孔5か所	L16R2x	10% 併合1式
59	縄文土器	深鉢	[212]	(245)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	口唇部膨らみ 外面 LR 光沢消滅文帯と縦線貼付 胴部3半線文と赤褐色文と縦線状部(下平部) 内面着き 皮状口縁 櫛状突起 LR 隆帯帯縄文による三角形区画文	LH7R L18R1x	20% PL117 併合3a式
60	縄文土器	深鉢	-	(92)	-	長石・石英	明赤褐色	普通	外面内側	L18R1x	併合3a式
61	縄文土器	深鉢	-	(80)	-	長石・石英	褐色	普通	外面側面→皮状口縁 底面に三文字 胴部 LR 光沢の入り組み三文字杓状文 内面着き	L16R	大淵B1式
62	縄文土器	深鉢	-	(60)	-	長石・石英	橙	普通	RL 隆帯帯縄文による杓状文 2段貼付の縦線状部 口唇部に組みある縦長類 内面ナデ	LH6R1x	併合3a式
63	縄文土器	深鉢	-	(102)	-	長石・石英	灰黄色	普通	胴部隆帯に長い縦線状部と RL 隆帯帯縄文による杓状文 下半部着き 内面着き	L15-6R 1x	併合3a式
64	縄文土器	深鉢	-	(42)	-	長石・石英	こげ茶色	普通	風彫 RL 隆帯帯縄文による幾何学文 無文部着き 内面ナデ	LH6R1x	併合3a式
65	縄文土器	深鉢	[200]	(264)	28	長石・石英	黒褐色	普通	口唇部に5単位上の二重突起 口唇部・胴部に若干隆帯厚するLR縄文帯 胴部沈線 以下無文 磨滅消滅	LH7R1x	50% PL118 併合3b式
66	縄文土器	深鉢	[214]	(93)	-	長石・石英・赤色粒子・鉄状物質	褐色	普通	皮状口縁 外側に若干口縁部にLR縄文 胴部 LR 光沢のS字状入り組み文 無文部着き 内面ナデ	LK6R2x	PL117 併合3b式
67	縄文土器	深鉢	-	(56)	-	長石・石英	浅黄褐色	普通	胴部入り組み三文字 磨滅消滅	LH5R1x	大淵B1式
68	縄文土器	深鉢	-	(78)	-	長石・石英	褐色	普通	細密沈線文光沢 無文部着き 内面ナデ	L18R1x	大淵B1式
69	縄文土器	深鉢	-	(52)	-	長石・石英	こげ茶色	普通	口唇部膨らみ 細密沈線文光沢 無文部着き 内面ナデ	LH7R1x	大淵B1式
70	縄文土器	深鉢	-	(80)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	杓状文 外・内面ナデ	LK4R1x	併合3c兼併行
71	縄文土器	深鉢	-	(52)	-	長石・石英	黒褐色	普通	風彫 光沢消滅文による幾何学文 突起下に首筋孔1か所	L18R1x	併合3b式
72	縄文土器	鉢	-	(79)	-	長石・石英・赤色粒子	こげ茶色	普通	口唇部に目状突起 胴部着き 胴部二溝間のサイ痕と赤色粒子文 内面着き	L15R1x	大淵C1式
73	縄文土器	壺	-	(75)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	こげ茶色	普通	胴部着き 胴部二溝間のサイ痕 内面ナデ	L15R3x L8R5R	10% 大淵C1式
74	縄文土器	壺	[161]	(59)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	こげ茶色	普通	口唇部に押圧と沈線文 胴部着き	L4R4R1x	10% 併合式
75	縄文土器	壺	[152]	(69)	-	長石・石英	こげ茶色	普通	口唇部皮状 台形状突起1か所 磨滅消滅	L10R0R	10% 併合中葉
76	縄文土器	深鉢	[234]	(232)	-	長石・石英・雲母	こげ茶色	普通	胴部隆帯・胴部上平縁文・下平縁部の条線→縦線貼付 口唇部膨らみ 内面ナデ	L8R7R	20% PL118 併合3a式
77	縄文土器	深鉢	-	(53)	-	長石・石英・雲母	こげ茶色	普通	外面隆帯の条線 突起部穿孔1か所 磨滅消滅	L16R1x	併合3b式
78	縄文土器	深鉢	-	(76)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐色	普通	外面 縦線文 内面着き	L17R3R	後期前葉
79	縄文土器	深鉢	-	(88)	-	長石・石英	こげ茶色	普通	帯み状文 外面 LR 縄文文 内面ナデ 口縁部に沈線文	L15R2x	後期前葉
80	縄文土器	深鉢	-	(178)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	外面口縁部隆帯・胴部隆帯の着き 内面着き	L8R7R	15% 後期
81	縄文土器	鉢	-	(60)	-	長石・石英	灰黄色	普通	口唇部ナデ 外面ナデ 胴部下平部 内面ナデ	L16R1x	併合式
82	縄文土器	浅鉢	[170]	(69)	-	長石・石英・赤色粒子	こげ茶色	普通	口唇部に突起する鉢 口唇部にU字状の貼付文 胴部 LR 赤褐色の縦線文 無文部 内面着き 文と縦線状突起付文 胴部 LR 光沢のS字状入り組み文 内面ナデ	L6R8R1x	50% 併合3b式
83	縄文土器	鉢	-	(73)	-	長石・石英	こげ茶色	普通	口唇部隆帯の条線 胴部 LR 光沢のS字状入り組み文 内面ナデ	LH6R1x	併合3b式
84	縄文土器	浅鉢	[190]	(41)	-	長石・石英	黒褐色	普通	口唇部S字突起と平面状縦線文 胴部灰褐色消滅文 無文部着き 内面着き	L16R1x	15% 併合3c式
85	縄文土器	浅鉢	[202]	(90)	[84]	長石・石英	こげ茶色	普通	口唇部に台形状突起 胴部隆帯の縦線 内面帯み着き	L6R9R2x	併合中葉

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
86	縄文土器	台付鉢	18.8	7.9	-	長石	にぶい橙	普通	外面LR焼文 内面口縁部に比較的磨滅顕著	L.M.5区	30% 兵部直一・吉豊
87	縄文土器	角底土器	-	(3.7)	-	長石・石英・赤色 粘土	橙	普通	細密沈澱文光塊 内面磨き	L.H.7区1x	堀山II式
88	縄文土器	人面形 土器	-	(6.9)	-	長石・石英・赤色 粘土	にぶい橙	普通	瓶蓋型口上部(口縁部)にてスチラス土質面類似品の入面彫り 目・鼻・口・正中線・眉線・目線・耳輪・耳輪筋	L.14区1x	晩期前葉
89	縄文土器	口蓋土器	(6.0)	(5.5)	-	長石・石英	橙	普通	頸部・胴部に無施シ光塊焼文 口縁部に焼成痕 穿孔1か所	L.F.10区1x	15% 後期後葉
90	縄文土器	口蓋土器	(8.2)	(3.7)	-	長石・石英	灰黒	普通	把手1か所 山形状突起が2か所 外・内面ナデ	L.H.8区1x	25%
91	縄文土器	口蓋土器	5.1	2.5	5.1	長石・石英・赤色 粘土	にぶい橙	普通	外・内面磨滅によるナデ	L.F.9区1x	80% PL118
92	縄文土器	口蓋土器	(5.8)	2.6	2.0	長石・石英	にぶい橙	普通	外・内面磨滅によるナデ	L.D.10区2x	80%
93	縄文土器	口蓋土器	-	(4.0)	3.7	長石・石英	赭灰	普通	底部高台状に張り出し 磨滅顕著	L.K.5区1x	70%
94	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	赭灰	普通	口縁部に平面的文 胴部に入り組む平面的文 胴部1段・頸文 内面口縁部沈澱文	L.H.8区1x	大淵BC式
95	縄文土器	注口土器	-	(4.0)	-	長石・石英	灰白	普通	胴部2段の二溝間のサイヤ 胴部沈澱による書影文 磨滅顕著	L.G.7区1x	大淵C1式
96	縄文土器	瓶形台付 土器	-	-	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面水塗塗布 LR光塊の磨消焼文	L.14区2x	後期後葉
97	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英	灰黒	普通	外面水塗塗布 無施シ光塊の磨消焼文	L.K.6区2x	晩期前葉
98	縄文土器	製塩土器	-	(4.5)	-	長石・石英	橙	普通	口唇部外面磨き状 外面磨り 内面ナデ	L.H.5区1x	
99	縄文土器	製塩土器	-	(4.7)	-	長石・石英	橙	普通	口唇部ナデ 外面磨り 内面ナデ	L.H.5区1x	
100	縄文土器	製塩土器	-	(4.6)	2.4	長石・石英	灰黒	普通	外面磨り 内面ナデ	L.G.8区1x	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
101	土偶	(10.1)	(6.3)	(3.7)	(14.7)	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	明赤黒	山形 略定形 目・鼻・口・正中線粘土帯貼付	L.F.8区	
102	土偶	(4.3)	(5.3)	(1.6)	(28.9)	長石・石英・雲母	橙	ミズク形 胴部片 輪郭・目線	L.H.8区1x	
103	土偶	(5.8)	(5.2)	(1.8)	(56.1)	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	赭灰	ミズク形 胴部片 表目・耳付片 表面は刺突文 沈澱で施文 表面は沈澱文 耳輪凸形磨滅	L.H.8区	
104	土偶	(10.8)	(8.9)	(7.8)	(307.3)	長石・石英・雲母	黒黒	中学胴部片あるいは注口土器口蓋部。丁寧な 磨き調整	L.16区	
105	土偶	(6.0)	(5.3)	(4.4)	(75.9)	長石・石英	赭灰	中空 胴部片 肩にLR隆起部焼文 LR光塊の 磨り出し磨文 耳形文。	L.F.8区1x	
106	土偶	(5.6)	(4.1)	(3.0)	(46.2)	長石・石英・赤色 粘土	浅黄橙	山形 胴部片 沈澱あるが文様は不明瞭	L.H.5区2x	
107	土偶	(3.8)	(2.6)	(2.4)	(16.8)	長石・石英・赤色 粘土	調整	山形 胴部片 磨き調整	L.K.6区1x	
108	土偶	(6.5)	(6.5)	(3.3)	(97.9)	長石・石英・雲母	灰黄緑	山形 胴部片 正中線・胴部輪郭筋は刺突文光塊隆起部 製成・磨滅に鈍突あり	L.E.8区1x	
109	土偶	(5.3)	(5.8)	(3.3)	(73.2)	長石・石英	にぶい黄橙	ハート形 胴部片 磨き調整 胎土中に芯棒状の 痕跡あり	L.K.5区1x	
110	耳飾り	[5.7]	[5.7]	(2.3)	(6.5)	長石・石英	にぶい橙	楕状で施文部突出 渦巻状の磨滅付 被熱	L.K.4区1x	
111	土器片断	3.4	2.6	1.0	10.9	長石・石英・雲母	にぶい赤黒	長軸・短軸方向の條線部に紐かたの決り	L.H.7区1x	
112	土器片断	5.5	5.9	1.2	50.8	長石・石英	にぶい橙	胴之内1式深鉢胴部片利用 周縁打ち欠き	L.19区1x	
113	土器片断	6.3	6.7	1.1	40.6	長石・石英	にぶい黄緑	刺突文光塊の深鉢胴部片利用 周縁打ち欠き	L.H.6区1x	
114	土器片断	6.3	6.4	0.9	44.1	長石・石英	赭灰	深鉢胴部片利用 周縁磨滅	L.16区2x	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
115	石鏡	(2.7)	1.5	0.7	(2.1)	チャート	凸基部系 基部欠損	L.F.9区1x	PL118
116	打製石斧	13.6	8.4	3.7	382.0	砂岩	磨り面 磨滅部の一部に敲打痕	L.E.10区	PL118
117	打製石斧	(6.8)	(6.7)	(2.7)	(147.8)	安山岩	分銅形 表面面に原石面残存	L.17区1x	
118	磨製石斧	(11.3)	(5.9)	3.6	(306.4)	蛇紋岩	定角式 基部欠損 丁寧な磨滅調整	L.15区1x	PL118
119	磨製石斧	(9.6)	(5.6)	(3.1)	(276.4)	玄武岩	定角式 基部・刃部欠損 表面面に敲打痕 欠損後磨き石に再利用の 被熱	L.13区	
120	磨製石斧	(6.3)	5.8	3.0	(188.3)	角閃岩	定角式 基部欠損 刃部に細かい磨滅と研磨痕	L.K.6区2x	PL118
121	磨製石斧	(3.4)	(3.8)	(2.0)	(29.5)	緑色岩	定角式 基部欠損 刃部に細かい磨滅と研磨痕	L.K.4区2x	PL118
122	石皿	(10.9)	(11.2)	5.6	(675.5)	安山岩	縁あり 背面と側面に凹文	L.15区1x	PL119
123	磨石	13.5	9.7	4.9	869.3	安山岩	表面面に光沢のある磨り面+敲打痕 周縁部ざらつきのある摩耗 被熱	L.14区1x	
124	磨石	11.5	10.1	4.8	888.5	安山岩	表面面に光沢のある磨り面 表面に敲打痕 周縁部ざらつきの ある摩耗被熱	L.15区	
125	磨石	6.7	5.9	4.5	(278.4)	安山岩	表面面に光沢のある磨り面 表面に敲打痕 周縁部ざらつきの ある摩耗被熱	L.14区2x	
126	磨石	6.5	6.3	3.7	298.8	安山岩	表面面に光沢のある磨り面 周縁部ざらつきのある摩耗被熱	L.K.4区1x	
127	磨石	7.1	6.9	3.4	280.0	安山岩	表面面に光沢のある磨り面 周縁部ざらつきのある摩耗被熱	L.16区1x	
128	磨石	7.3	6.5	3.0	201.1	安山岩	表面面に光沢のある磨り面 周縁部ざらつきのある摩耗被熱	L.13区	
129	磨石	6.1	6.0	3.2	195.2	安山岩	表面面に光沢のある磨り面 表面に敲打痕 周縁部ざらつきの ある摩耗被熱	L.15区	
130	磨石	5.7	5.2	4.0	180.4	安山岩	表面面に光沢のある磨り面+敲打痕 周縁部ざらつきのある摩耗 被熱	L.15区1x	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
131	磨石	5.0	4.6	3.6	107.9	安山岩	表裏面にざらつきのある磨り面 周縁ざらつきのある摩耗痕	L15区2x	
132	磨石	11.4	10.2	4.4	819.7	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面+敲打痕 周縁部ざらつきのある摩耗痕 両側縁から下縁にかけて敲打痕 焼熟	LJ5区	
133	磨石	9.7	7.7	3.3	360.0	砂岩	表裏面にざらつきのある磨り面+敲打痕 両側縁に敲打痕	L15区	
134	磨石	6.6	6.5	3.4	206.1	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩耗痕	LH5区1x	
135	磨石	6.5	5.9	3.4	212.1	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩耗痕	L15区	
136	凹石	13.1	13.6	5.5	1358.1	砂岩	表裏面に凹痕 磨滅	LK4区1x	PL119
137	凹石	(14.5)	(11.3)	(3.3)	(920.2)	雲母片岩	表面に凹痕 裏面は凹磨	L16区	
138	石鉢	5.2	4.1	1.8	54.1	頁岩	表面有溝 裏面切目 表裏・側面磨滅	LH9区	
139	石棒	(18.8)	(3.9)	3.7	(82.0)	粘板岩	細かい敲打痕を残して研磨 下縁近く 細い沈線あり 焼熟	L18区1x	PL118
140	石剣	(13.1)	(2.9)	(1.8)	(85.1)	粘板岩	研磨整形 焼熟	L16区1x	
141	石剣	(8.3)	(3.3)	2.5	(344.9)	緑色片岩	研磨整形	L16区2x	PL118
142	石鉢	(10.6)	(8.0)	(4.3)	(288.7)	安山岩	大形石棒頭部 表面凹磨と磨滅	L16区2x	PL119
143	石棒	(18.6)	(13.2)	(12.7)	(697.2)	花崗岩	大形石棒 欠損した上下を研磨して再利用*	L14区	

第5号遺物包含層（第371～386図 第245・246表 PL53・54・119～121）

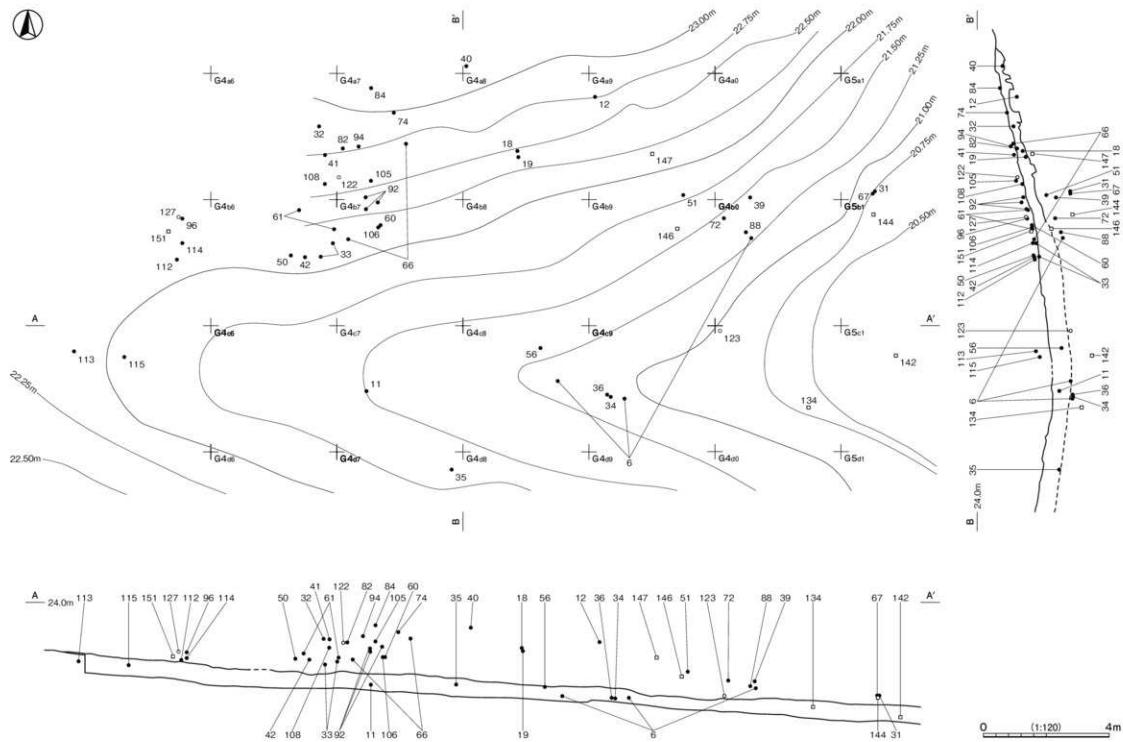
位置 調査K区のG4a6～G5e1区、東西方向に延びる谷部に位置している。確認面の標高は20.5～22.5mである。また、東側の平成22年度調査G区のG5a2～d4区でも、本層の延長部分の一部を確認した。

重複関係 第18号竪穴建物、第1302・1303・1308～1321号土坑に掘り込まれており、第4・12号斜面貝層、第5号遺物包含層の第Ⅲ層が上部に形成されている。

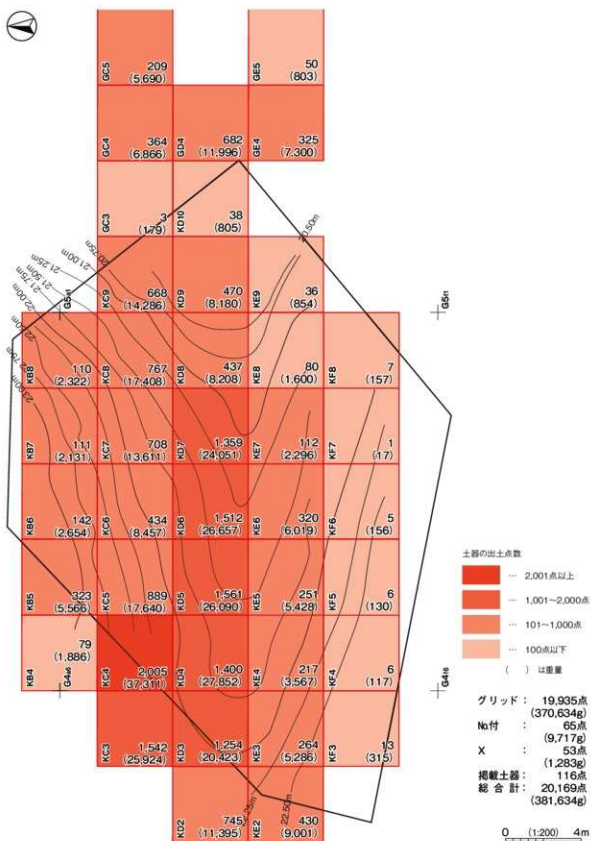
分布範囲 調査区域のほぼ全域に広がっている。谷底部は、東方向（N-89°-E）へ緩やかに傾斜しており、調査区域内の比高差は2.0mである。

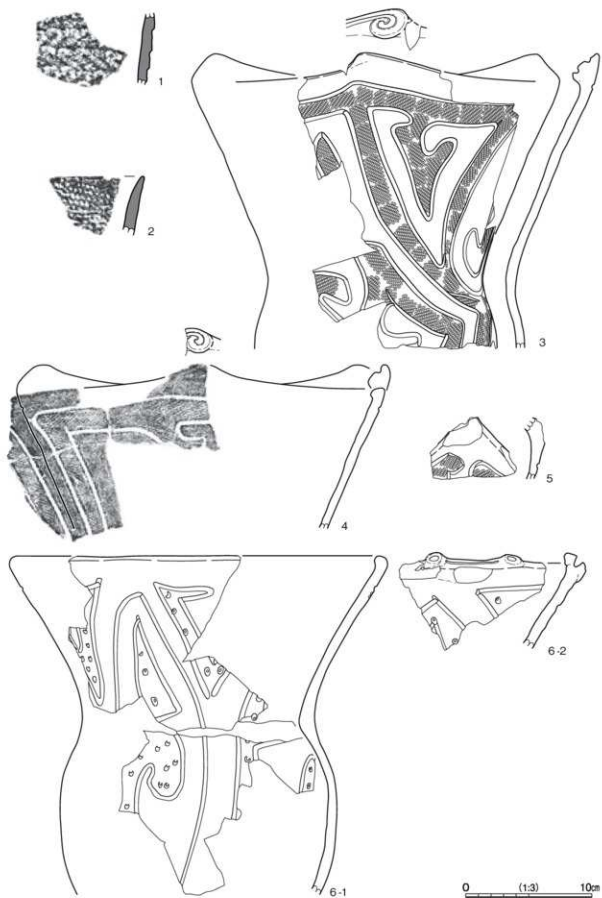
遺物出土状況 縄文土器20,169点（381,634g）、土製品111点（手燭形土製品1、匙形土製品1、土偶9、人面付土版1、土版2、有孔円盤3、土器片円盤93、不明1）、石器・石製品55点（打製石斧1、磨製石斧5、石皿10、磨石27、敲石2、凹石3、砥石4、台石1、石錘1、石剣1）、剥片10点（頁岩1、黒色ガラス質安山岩2、チャート7）、石核5点（チャート）が出土している。土器は、前期前半の岡山式・黒浜式や第Ⅲ層からの混入とみられる安行3c式のものが散見されるほか、後期初頭の称名寺I式～晩期前葉の安行3b式のものが入量出土している。称名寺I式～加曾利B3式の土器は、残存率が高い大型破片や接合関係がみられる破片が多く、称名寺式の土器は谷底部、堀之内式の土器は南北の斜面部、加曾利B式の土器は北西部の斜面部上位からまとも出土している。

所見 調査L区で確認した第V層の堆積時期及び出土土器から、後期中葉（堀之内2式期）以降に堆積が始まったと考えられる。後期末葉（安行2式期）には一時的に安定し、第18号竪穴建物が構築されているが、その後も土砂流出が続いており、同建物跡の南半部は消失している。堆積環境の転換期は、上部に第12号斜面貝層や第Ⅲ層が形成される晩期前葉（安行3a式～安行3b式期）と考えられる。また、当調査区は、他の調査区域と比較して、後期初頭の称名寺式から後期中葉の加曾利B式にかけての土器が数多く出土している。至近距離からの廃棄、あるいは竪穴建物跡などの遺構が覆土ごと谷へ流出した可能性がある。特に、後期前葉の堀之内式の土器は、南側の台地上の調査O区で第28号竪穴建物跡（堀之内2式期）が、低地部の調査L区で第4・5号遺物包含層第V層（堀之内1式～堀之内2式期）がそれぞれ確認されており、調査区域に延びる谷を取り巻くように集落域が広がっていた可能性を示唆している。

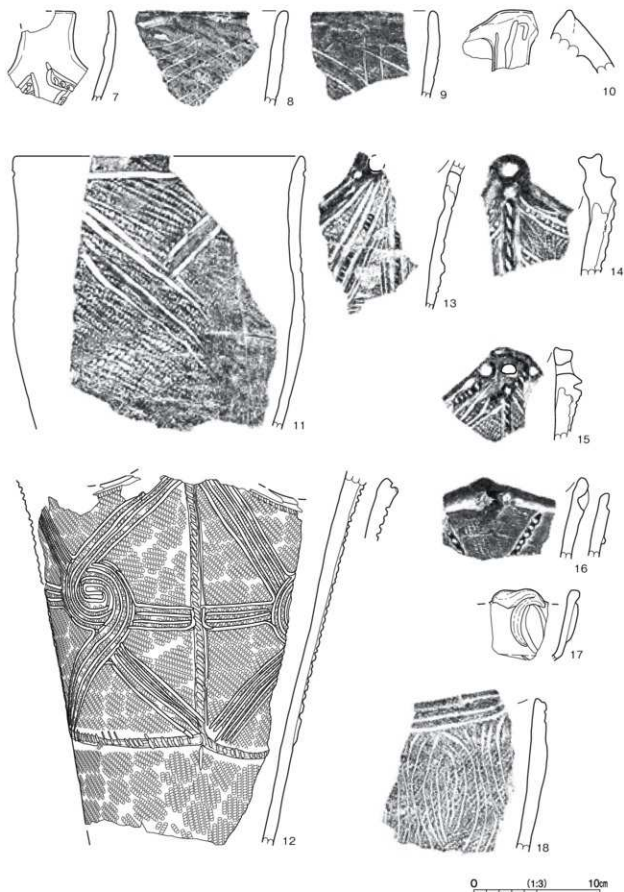


第 371 图 第 5 号遗址包含层第 IV 层实测图 (1)

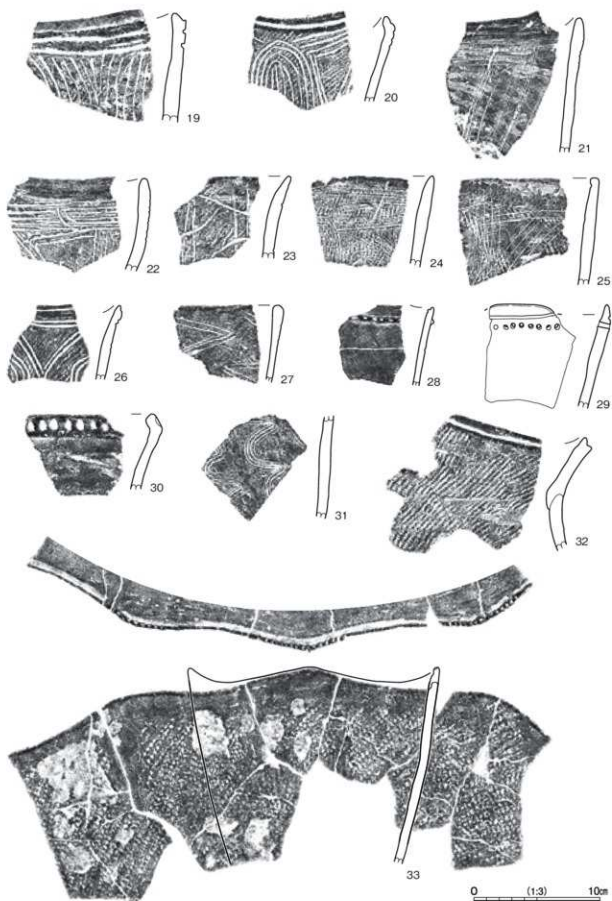




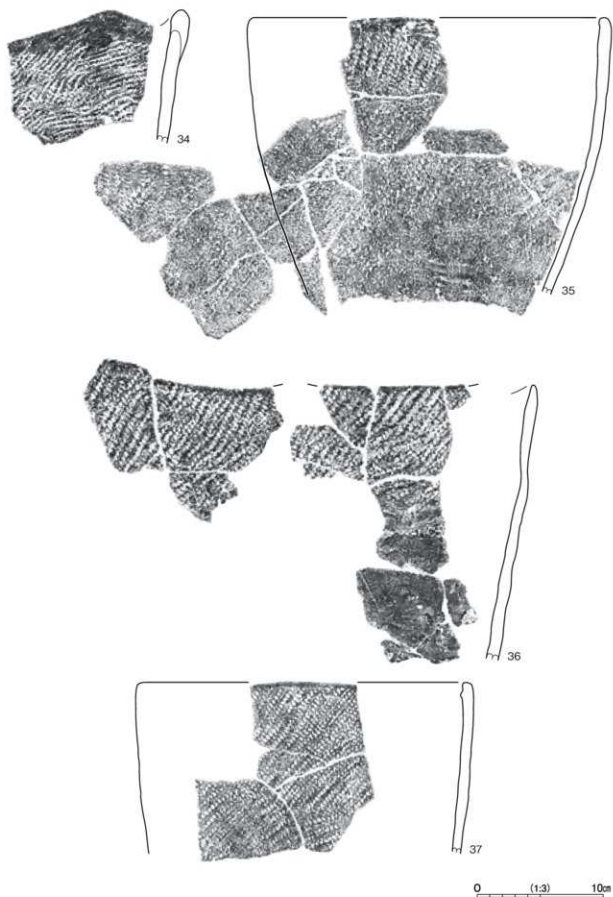
第 373 图 第 5 号遗物包含层第 IV 层出土遗物实测图 (1)



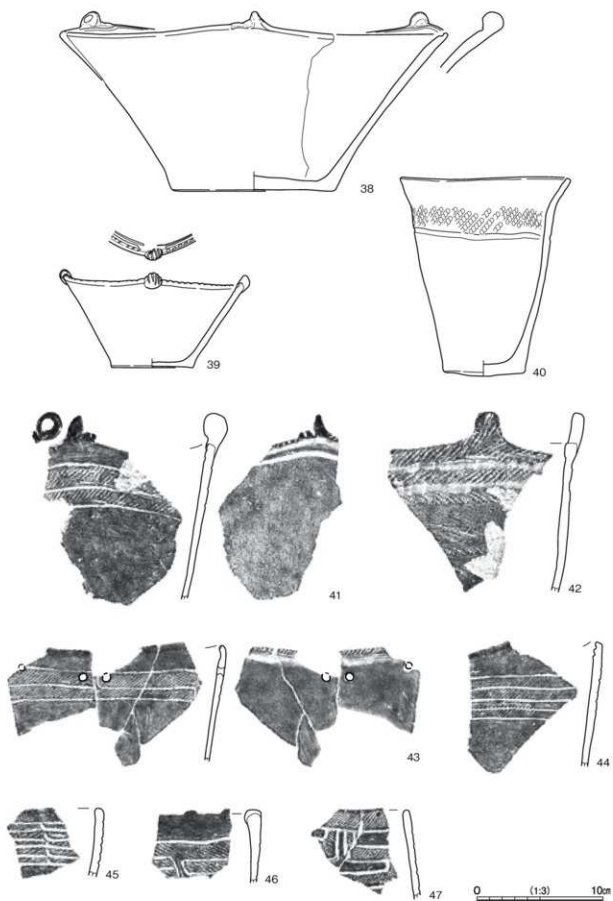
第 374 图 第 5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測图 (2)



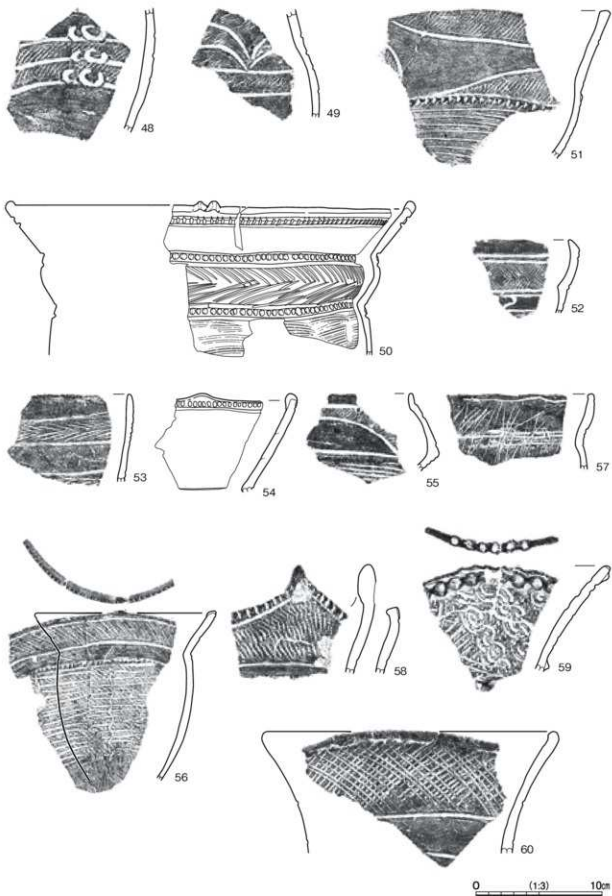
第 375 图 第 5 号遗物包含层第 IV 层出土遗物实测图 (3)



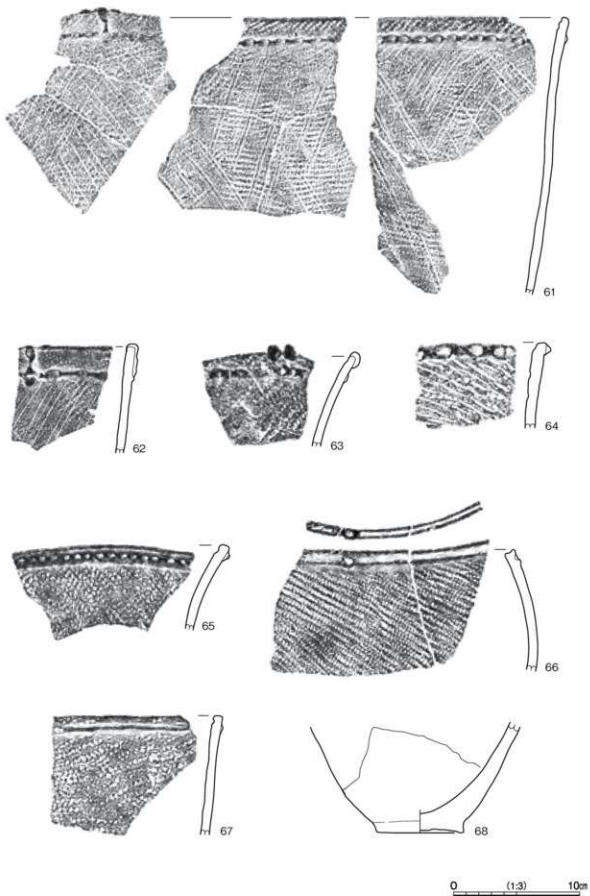
第 376 图 第 5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測图 (4)



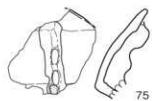
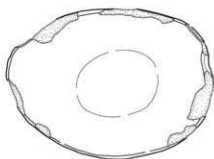
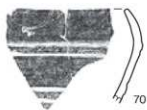
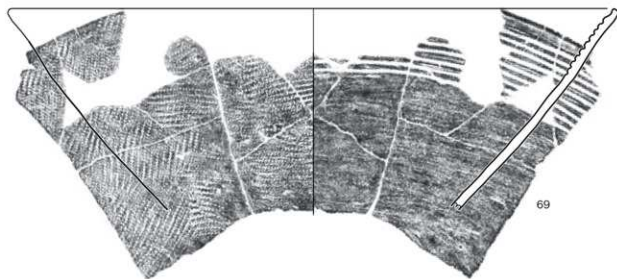
第 377 图 第 5 号遗物包含层第 IV 层出土遗物实测图 (5)



第 378 图 第 5 号遗物包含层第 IV 层出土遗物实测图 (6)

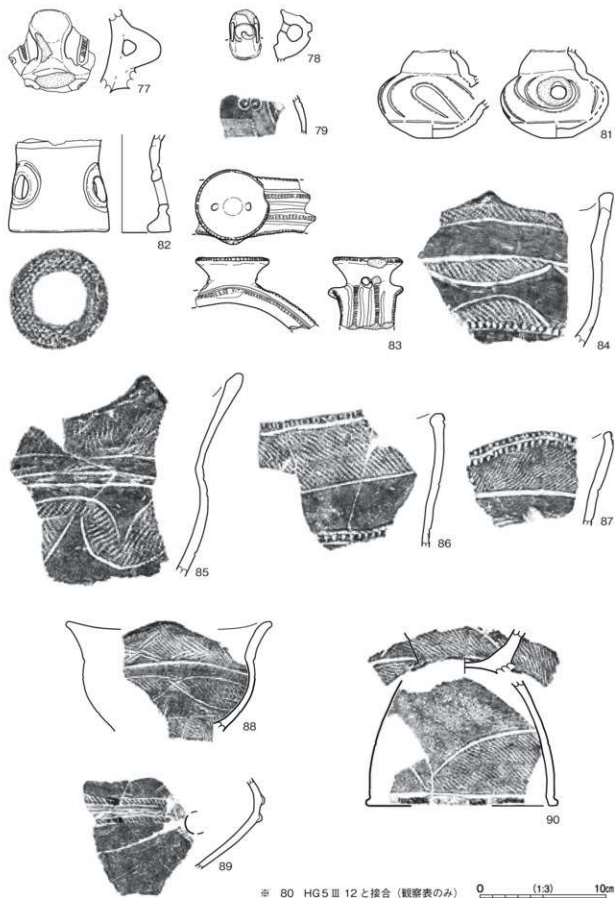


第 379 图 第 5 号遗址包含层第 IV 层出土文物实图 (7)

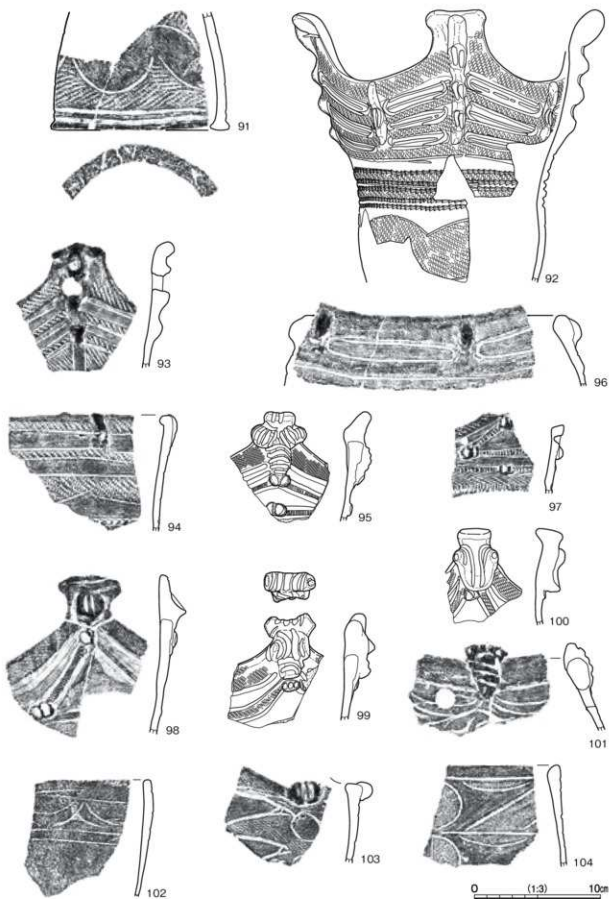


0 (1:3) 10cm

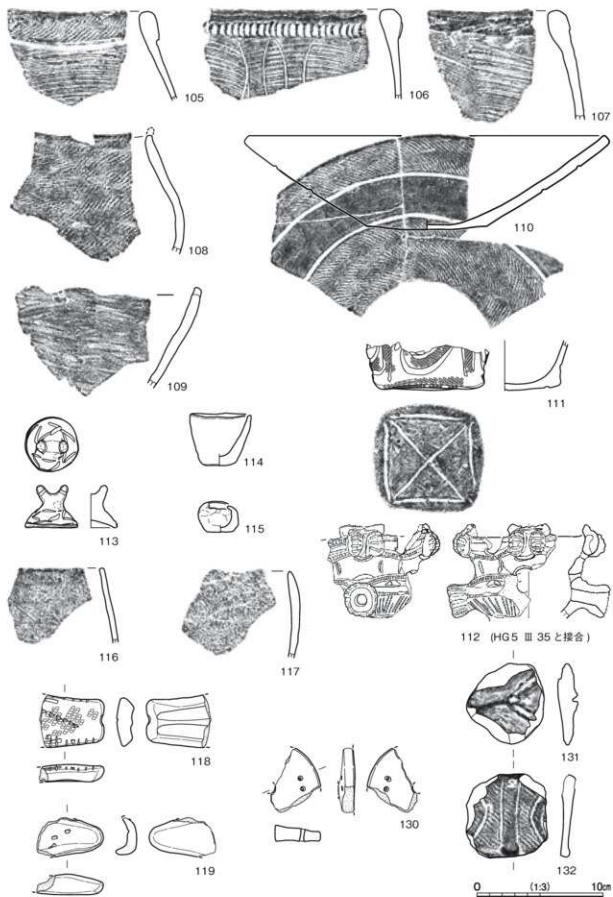
第 380 图 第 5 号遗物包含层第 IV 层出土遗物实测图 (8)



第381図 第5号遺物包含層第IV層出土遺物実測図(9)



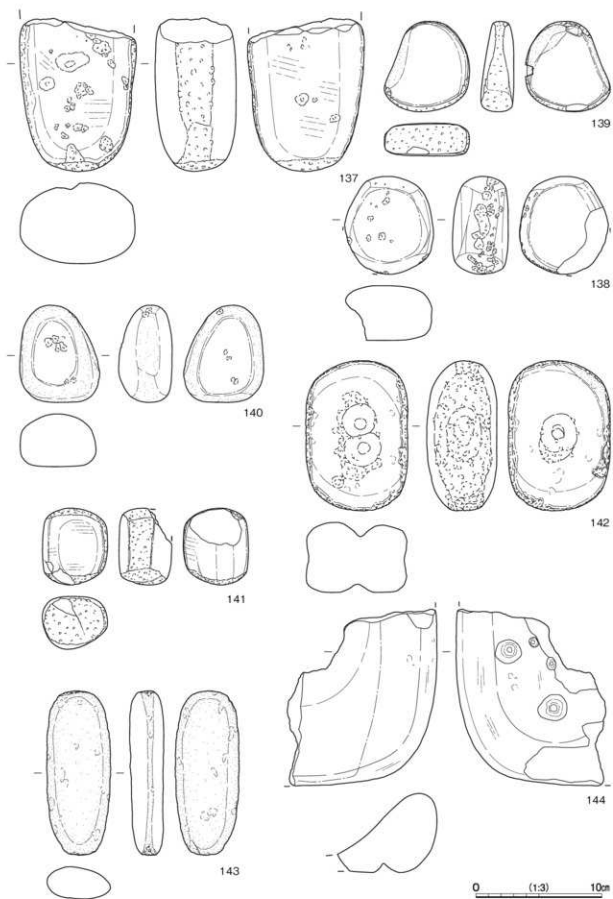
第 382 图 第 5 号遗址包含层第 IV 层出土文物实测图 (10)



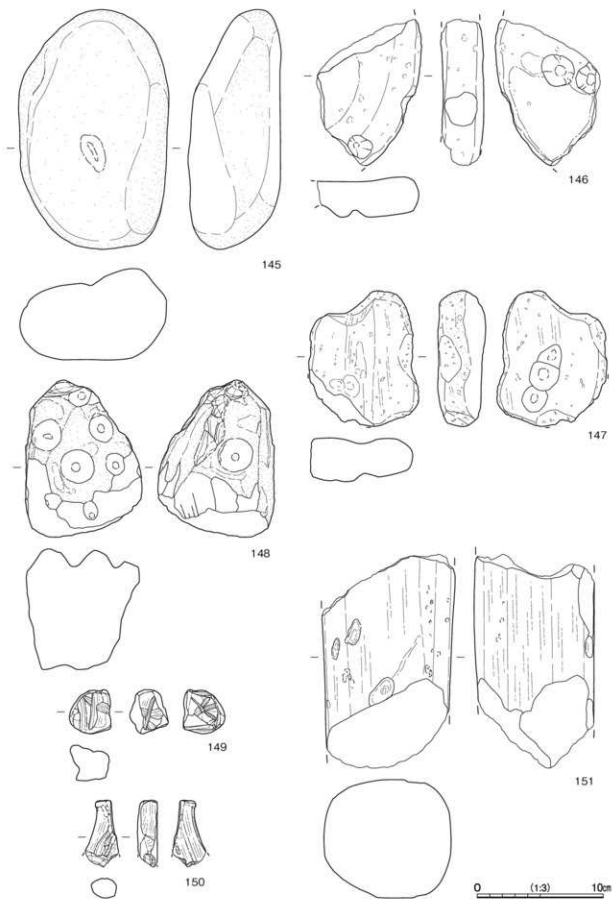
第383图 第5号遺物包含層第IV層出土遺物実測図(11)



第 384 图 第 5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (12)



第 385 图 第 5 号遗物包含层第 IV 层出土遗物实测图 (13)



第 386 图 第 5 号遗物包含层第 IV 层出土遗物实测图 (14)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴はか	出土位置	備考
37	縄文土器	深鉢	[265]	(136)	-	長石・石美	靑	普通	外面縄文 LR 内面ナテ 口縁部凹線	EC7・EE19	10% 後期前期
38	縄文土器	浅鉢	[308]	142	130	長石・石美	にぶ・普通	普通	3単位流注口縁 液部部耳状突起側面に内形削文 内面に流注に花冠 外・内面磨き 底面削文	GC 5区	50% PL120 前期前中葉
39	縄文土器	浅鉢	138- 152	78	6.5	長石・石美・雲母	靑	普通	口縁部に2位の流注 外面ナテ 下断面 底面ヘナテ	KC 8区	100% PL120 前期之内中葉
40	縄文土器	深鉢	135- 138	158	6.0- 6.5	長石・石美・雲母・赤色粘土	靑	普通	口縁部外区 頸部流注→縄文 LR 頸部・底面磨き 内面磨き	KB 6区	100% PL119 加群B1式
41	縄文土器	深鉢	-	(147)	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	靑	普通	頸部へ流注 液部部耳状突起 頸部流注 縄文光斑の 磨き文 無文部磨き 内面ナテ 口縁部2条の流注	KC 4区	加群B1式
42	縄文土器	深鉢	-	(142)	-	長石・石美・赤色粘土	黒靑	普通	突起を有する平縁 口縁部3段の無流注液部磨文 液部部凹線状のナテ 頸部 LR 縄文文 内面磨き	KC 4区	変行1式
43	縄文土器	深鉢	-	(92)	-	長石・石美・雲母	黒靑	普通	口縁部近く内面 口縁部に磨きと内面 縄文 LR 光斑の 磨き文 無文部磨き 内面ナテ	KC 5区	10% 後期前中葉
44	縄文土器	深鉢	-	(98)	-	長石・石美・雲母	黒靑	普通	口縁部近く内面 内面に2条の流注 縄文 LR 光斑の 4段の磨き文 無文部・内面磨き	KD 5区	加群B1式
45	縄文土器	深鉢	-	(54)	-	長石・石美・赤色粘土	靑	普通	口縁部近く内面 縄文 LR 光斑の5段の磨き文 無文部・内面磨き	KE 6区	加群B1式
46	縄文土器	深鉢	-	(57)	-	長石・石美・赤色粘土	靑	普通	口縁部に粘土粒状の突起2か所 縄文 LR → 磨き文 無文部・内面ナテ	KE 2区	後期後葉
47	縄文土器	深鉢	-	(70)	-	長石・石美	黒靑	普通	LR 磨き文によるクラック状のモチーフ 無文部 磨き・内面磨き	GD 5区	後期前中葉
48	縄文土器	深鉢	-	(98)	-	長石・石美・赤色粘土	にぶ・靑	普通	縄文 LR 光斑の2段の磨き文 区切り対流文 無文部 磨き・内面磨き	KC 3区	加群B2式
49	縄文土器	深鉢	-	(85)	-	長石・石美・赤色粘土	にぶ・靑	普通	頸部に無流注光斑の弧線文 頸部下断面にやや隆起 した無流注縄文 内面ナテ	KC 9区	後期後葉
50	縄文土器	深鉢	[320]	(122)	-	長石・石美・雲母	靑	普通	口縁部に流注 口縁部・頸部に磨き 頸部上・下断面 無流注文 頸部下断面の流注 内面磨き	KC 4区	25% PL119 加群B1式
51	縄文土器	鉢	-	(116)	-	長石・石美・赤色粘土	明靑	普通	口縁部 LR 光斑の弧線文 無文部磨き 頸部部み列 と磨き文 内面磨き	KC 7区	加群B2- 3式
52	縄文土器	深鉢	-	(58)	-	長石・石美・赤色粘土	明赤靑	普通	口縁部近く内面 頸部部流注条線 頸部磨文 の字状の区切り文 無文部磨き 内面磨き	GC 5区	加群B1式
53	縄文土器	深鉢	-	(68)	-	長石・石美・赤色粘土	靑	普通	外面傾り流注液部に磨き流注文 内面ナテ 頸部上断面の磨きと磨き文に似る	KE 3区	晩期中葉
54	縄文土器	深鉢	-	(78)	-	長石・石美	にぶ・靑	普通	口唇部小突起 口縁部に磨き 外・内面磨き	KD 5区	加群B2式
55	縄文土器	深鉢	-	(60)	-	長石・石美・赤色粘土	明靑	普通	頸部部曲線 口縁部近く直立 頸部 LR 光斑の弧線 文 頸部曲線 内面磨き	KC 4区	加群B1式
56	縄文土器	深鉢	[144]	(134)	-	長石・石美・赤色粘土	靑	普通	口唇部に突起・磨み 口縁部流注文 頸部流注に押引文 無文部 → 磨き文 → 磨き文 → 流注文 → 流注文 → 磨き文 → 磨き文	KD 6区	25% PL120 前期前中葉
57	縄文土器	深鉢	-	(59)	-	長石・石美・赤色粘土	靑	普通	口縁部・頸部部曲線流注→頸部・頸部に縦位の条線 内面ナテ	KC 5区	加群B3式
58	縄文土器	深鉢	-	(86)	-	長石・石美	靑	普通	口縁部磨き 頸部 LR 縄文文 無文部・内面磨き	KE 6区	加群B3式
59	縄文土器	深鉢	-	(84)	-	長石・石美・赤色粘土	靑	普通	液部部口唇部磨文 内面に3条の凹線 口唇部・頸部曲線 流注 頸部流注 LR → 手轡管状工具による磨き文・磨き文	KE 4区	後期中葉
60	縄文土器	深鉢	[236]	96	-	長石・石美・赤色粘土	明赤靑	普通	口縁部磨き 内面磨き 口縁部磨き	KC 5区	10% 前期前中葉
61	縄文土器	深鉢	-	(219)	-	長石・石美・赤色粘土	明赤靑	普通	口唇部突起 口唇部流注 口縁部流注 頸部流注 LR → 手轡 管状工具による磨き文 内面口縁部2条の流注 磨き文	KC 2区	20% PL120 後期前中葉
62	縄文土器	深鉢	-	(85)	-	長石・石美・赤色粘土	靑	普通	口唇部突起 口縁部8字状突起と流注文 外側無文 LR → 手轡管状工具による磨き文 内面口縁部2条の流注	KE 2区	後期前中葉
63	縄文土器	深鉢	-	(75)	-	長石・石美・赤色粘土	靑	普通	口唇部突起 口唇部流注の突起 口縁部流注文 外面 流注1段 内面口縁部2条の流注	KD 5区	後期前中葉
64	縄文土器	深鉢	-	(67)	-	長石・石美・赤色粘土	にぶ・靑	普通	口縁部流注文 外面 LR 縄文文 → 手轡管状工具による 縦位の条線 内面口縁部に2条の凹線	KC 8区	後期前中葉
65	縄文土器	深鉢	-	(67)	-	長石・石美・赤色粘土	靑	普通	縄文 LR → 縦線貼付 内面磨き 口縁部に凹線	KD 5区	後期前中葉
66	縄文土器	深鉢	-	(97)	-	長石・石美・赤色粘土	靑	普通	口唇部貼付文・流注 外面無文 LR → 縦線貼付 磨き孔穿孔 → 内面磨き	EC4・EE19	10% 後期前中葉
67	縄文土器	深鉢	-	(94)	-	長石・石美・赤色粘土	明赤靑	普通	外面無文 LR → 縦線貼付 内面磨き 口縁部に流注	KC 9区	後期前中葉
68	縄文土器	深鉢	-	(88)	[69]	長石・石美・赤色粘土	靑	普通	外面縦位の磨き 内面ナテ 底部やや上段状 ナテ	KD 4区	20% 後期前中葉
69	縄文土器	浅鉢	[484]	(159)	-	長石・石美・赤色粘土	明赤靑	普通	外面縄文 LR 内面口縁部9条の流注	KC 5区	20% 後期前中葉
70	縄文土器	鉢	-	(74)	-	長石・石美・赤色粘土	にぶ・靑	普通	外面縄文縄文 LR 光斑の磨き文 無文部磨き 内面磨き	KD 5区	加群B1式
71	縄文土器	浅鉢	[81]	41	-	長石・石美	明赤靑	普通	外面口縁部磨き 頸部磨き 内面磨き の字状区切り文	KD 9区	50% 前期前中葉
72	縄文土器	浅鉢	[358]	79	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	黒靑	普通	外面口縁部磨き 頸部磨き 内面磨き	KC 8区	10% 後期前中葉
73	縄文土器	浅鉢	[480]	61.1	-	長石・石美・雲母・赤色粘土	黒靑	普通	外面口縁部磨き 頸部磨き 内面磨き	KC 4区	後期中葉
74	縄文土器	瓢形底器	118	(71)	9.0- 10.4	長石・石美	靑	普通	外・内面無文・磨き 底部磨き	KB 5区	95% PL120 後期前中葉
75	縄文土器	盃	-	(71)	-	長石・石美・雲母	にぶ・靑	普通	液状 頸部隆起 外・内面磨き	KD 3区	後期前中葉
76	縄文土器	注口土器	-	(67)	-	長石・石美	靑	普通	注口断面・注口上に磨き帯があるが欠損により 形状不明 外・内面磨き	KC 7区	後期前中葉
77	縄文土器	注口土器	-	(66)	-	長石・石美・赤色粘土	にぶ・靑	普通	横状把手 縄文 LR 光斑の磨き縄文	KC 3区	後期前中葉
78	縄文土器	注口土器	-	(41)	-	長石・石美	にぶ・靑	普通	口縁部突起	KD 4区	加群B1式
79	縄文土器	注口土器	-	(30)	-	長石・石美・赤色粘土	にぶ・靑	普通	磨き文による流注文 8字状文	KC 3区	加群B1式
80	縄文土器	鉢	-	(69)	9.9	長石・石美	靑	普通	外面流注による磨き文と磨き文 無文部磨き 底面・内面磨き HG 5 皿 12 と接合	KE 5区	20% PL113 前期之内中葉
81	縄文土器	注口土器	-	(72)	2.5	長石・石美・雲母	明赤靑	普通	頸部隆起帯によるつ字状 磨き調整	GC 5区	80% PL121 東北系
82	縄文土器	付部器	-	(78)	7.8- 8.2	長石・石美・雲母	黒靑	普通	付部内面 内形流注3単位 外面無文部磨き 内面ナテ 底面削文	KC 5区	50% 後期中葉
83	縄文土器	付部器	-	(57)	-	長石・石美	明赤靑	普通	天弁部・天弁部に穿孔 断面隆起 隆起 無文部	KE 3区	後期後葉
84	縄文土器	鉢	-	(123)	-	長石・石美	靑	普通	口縁部 LR 光斑磨き文 頸部 LR 光斑の対流文 無文部磨き 内面磨き	KB 5区	加群B1-2区

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
85	縄文土器	深鉢	-	(160)	-	長石・石英	黒褐色	普通	底状口縁 口縁部LR光輝の縄文帯 胴部LR光輝の交互気線文 内面磨き	G C 5区	昭和33-88表
86	縄文土器	深鉢	-	(106)	-	長石・石英・赤色砂子	明褐色	普通	底状口縁 口縁部胴部縮み 口縁部にLR光輝の縄文帯 内面磨き	K E 4区	昭和33-88表
87	縄文土器	深鉢	-	(74)	-	長石・石英・赤色砂子	にぶい褐色	普通	底状口縁 口縁部に2本の斜め細目 LR 縄文帯の縄文帯 無文部 内面磨き	K C 3区	昭和33-88表
88	縄文土器	鉢	[163]	(87)	-	長石・石英・赤色砂子	にぶい褐色	普通	底状口縁 口縁部交互気線文 縄文帯 LR 胴部LR光輝のレンズ状文 縄文帯 内面磨き	K C 8区	10% 器台式
90	縄文土器	井口土器	-	(73)	-	長石・石英・赤色砂子	明赤褐色	普通	口縁部2枚の丸 隆起帯縄文と沈没文 粘土粒状の縮み付 下手回り 内面ナテ	K C 5区	10% 器台式
90	縄文土器	台付鉢	-	(140)	(152)	長石・石英・赤色砂子	橙	普通	胴部高 9.9 cm 台部高 (4.8) cm LR 光輝の気線文 無文部 内面磨き	K C 3区	15% 昭和33-88表
91	縄文土器	台付鉢	-	(94)	[142]	長石・石英・赤色砂子	橙	普通	台部 交互気線文をネガで描き縄文LR光輝 内面ナテ 底面凹みあり	G D 5区	20% 昭和33-88表
92	縄文土器	深鉢	187 214	(216)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	1本直線状 口縁部4本の丸 隆起帯縄文 胴部2本の丸 隆起帯縄文を斜め交互気線文 加飾 交互の交互気線文	K C 1-K C 3区	20% PL120 発行1式
93	縄文土器	深鉢	-	(99)	-	長石・石英	にぶい褐色	普通	底状口縁 口縁部3本の丸 隆起帯縄文 胴部斜線文と縮み気線文 内面磨き	G C 5区	発行1式
94	縄文土器	深鉢	-	(92)	-	長石・石英・赤色砂子	褐	普通	口縁部2本の丸 隆起帯縄文 胴部LR光輝の気線文 無文部 内面磨き	K C 5区	発行1式
95	縄文土器	深鉢	-	(88)	-	長石・石英・赤色砂子	橙	普通	底状口縁 口縁部LR 隆起帯縄文 縮み帯による三角形気線文 無文部 内面磨き	K C 3区	発行2式
96	縄文土器	深鉢	[206]	(56)	-	長石・石英・赤色砂子	褐	普通	LR 隆起帯縄文による斜線文 口縁部肥厚 斜め気線文と縮み帯 内面ナテ	K C 3区	10% 発行2-3 a式
97	縄文土器	深鉢	-	(54)	-	長石・石英	黒褐色	普通	口縁部気線文 縮み帯等孔1か所 縮み帯等による三角形気線文 胴部交互気線文 無文部 内面磨き	K D 7区	発行2式
98	縄文土器	深鉢	-	(125)	-	長石・石英	にぶい褐色	普通	底状口縁 縮起文と押しの気線文 LR 隆起帯縄文による三角形気線文 隆起帯帯縮み気線文 無文部 内面磨き	K D 7区	発行3 a式
99	縄文土器	深鉢	-	(84)	-	長石・石英・赤色砂子	褐	普通	底状口縁縮起文 LR 隆起帯縄文による三角形気線文 無文部 内面磨き	K D 6区	発行3 a式
100	縄文土器	深鉢	-	(77)	-	長石・石英	にぶい褐色	普通	LR 隆起帯縄文による三角形気線文 口縁部の肥厚帯形状の直道部に押しの気線文 無文部あり	K D 3区	発行3 a式
101	縄文土器	深鉢	-	(67)	-	長石・石英・赤色砂子	明赤褐色	普通	隆起 無気線交際帯縄文による斜線文入り組み三文字 縮み帯等孔1か所 無文部磨き	K D 4区	発行3 a式
102	縄文土器	深鉢	-	(92)	-	長石・石英	にぶい褐色	普通	胴部LR 光輝の入り組み三文字 胴部 内面磨き	K C 8区	大淵B 1式
103	縄文土器	深鉢	-	(64)	-	長石・石英・赤色砂子	にぶい褐色	普通	底状口縁縮起文 LR 光輝の縮起文 口縁部の肥厚帯 無文部磨き	K C 9区	発行3 a式
104	縄文土器	深鉢	-	(79)	-	長石・石英	にぶい褐色	普通	細密沈没文気線 無文部磨き 内面ナテ	K D 6区	地山B 2式
105	縄文土器	深鉢	-	(70)	-	長石・石英・赤色砂子	橙	普通	口縁部肥厚 LR 隆起帯縄文 胴部縮起の気線 内面ナテ	K C 3区	晩期前葉
106	縄文土器	深鉢	-	(70)	-	長石・石英・赤色砂子	褐	普通	胴部縮起の気線 口縁部縮起付一頭部に対向気線文一気線部分離り消し	K C 5区	晩期前葉
107	縄文土器	深鉢	-	(86)	-	長石・石英・赤色砂子	橙	普通	口縁部肥厚 口縁部削りで隆起帯状出 胴部縮起の気線 内面ナテ	K C 3区	晩期前葉
108	縄文土器	深鉢	-	(93)	-	長石・石英・赤色砂子	にぶい褐色	普通	口唇部交際気線 外面縮起LR 内面ナテ	K C 4区	晩期前葉
109	縄文土器	鉢	-	(83)	-	長石・石英	明赤褐色	普通	口唇部山形状突起 外・内面削りナテ	K D 6区	晩期前葉
110	縄文土器	浅鉢	[209]	(74)	96	長石・石英・赤色砂子	褐	普通	外面LR 光輝の横帯文 無文部磨き 内面・底面磨き	K C 3区	25% PL120 発行3 b式
111	縄文土器	浅底土器	-	(39)	85	長石・石英・赤色砂子	褐	普通	LR 光輝の巻縮起文 底面に沈没文×文 内面磨き	K C 3区	20% 晩期前葉
112	縄文土器	横肩付土器	[94]	(74)	-	長石・石英・赤色砂子	にぶい褐色	普通	縮起帯縮起 口縁部縮起付と2個の斜めのある縮起帯縮起付 胴部縮起付 底径 5.5 底 3.5 上縁合	K D 5区	20% PL111 発行2式
113	縄文土器	ミニチュア土器	-	3.4	4.2	長石・石英・赤色砂子	橙	普通	蓋 V 字状のつまみ 沈没による変形文 内面ナテ	K D 2区	100% PL121 晩期前葉
114	縄文土器	ミニチュア土器	4.7	4.2	2.7	長石・石英	橙	普通	外・内面削起によるナテ	K C 3区	100% PL121
115	縄文土器	ミニチュア土器	1.4	2.5	2.0	長石・石英・赤色砂子	橙	普通	器面による変形	K D 3区	100% PL121
116	縄文土器	筒形土器	-	(59)	-	長石・石英・赤色砂子	明赤褐色	普通	口唇部内側気線 外面削り 内面ナテ	K E 3区	
117	縄文土器	筒形土器	-	(69)	-	長石・石英	橙	普通	口唇部未調整 外面削起 内面ナテ	K D 7区	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
118	手彫製土器片	(4.2)	(5.1)	(1.4)	(33.5)	長石・石英	にぶい褐	柄部 縮起LR 気線文と押し引き羽状変文 筒縁部斜め背面に2本の凹線	K D 6区	PL121
119	匙形	(3.1)	(5.0)	(1.6)	(18.3)	長石・石英	にぶい褐	匙部内面に斜突 磨き調整	G C 4区	PL121
120	土偶	(5.0)	(5.3)	(3.3)	(64.1)	長石・雲母	にぶい黄褐色	山形 左脚部片 唇・背面にLR 光輝の磨り消し純文	G C 区	
121	土偶	(4.0)	(5.1)	(3.7)	(52.8)	長石・石英・雲母・赤色砂子	にぶい褐	ミズク形 唇一胸部片 唇部から胸のある隆起 背面に無気線と光輝の磨り消し純文	K C 6区	PL121
122	土偶	(3.9)	(3.4)	(2.3)	(24.6)	長石・石英・赤色砂子	褐	右胸部片 唇から胸に凸部 沈没 胴部沈没上に斜め 純文付。	K C 4区	PL121
123	土偶	(4.8)	(4.8)	(2.8)	(39.6)	長石・石英	橙	右胸部片 隆起部に細かい羽状文 無文部磨き	K D 7区	PL121 晩期中～後葉
124	土偶	(6.2)	(3.0)	(3.4)	(52.9)	長石・石英	橙	左脚部片 沈没による三角形文	K C 9区	
125	土偶	(5.0)	(4.6)	(2.2)	(45.2)	長石・石英	にぶい黄褐色	山形 背背面 左胸一胸脚部 竹管状工具による刻文	K D 6区	
126	土偶	(7.5)	(5.0)	(5.2)	(118.5)	長石・石英・雲母	黄灰	中央 右胸部片 肩 光輝の入り組み三文字・磨り消し純文 内底面沈没 断面に黒色凸部 唇の隆起付	K C 7区	PL121 晩期前葉
127	人面付土版	(10.0)	8.2	3.0	(254.3)	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	ミズク土版の縮起部付 正面面刻文気線文の気線文 表面気線刻文で横帯気線 上部部に沈没文 縮起の正半帯を挟んで対向する気線文 周縁部に気線文 表面同一文字	K C 3区	PL121 発行3 b式
128	土版	(4.9)	(4.5)	(1.3)	(29.4)	長石・石英	黒褐色	縮起の正半帯を挟んで対向する気線文 周縁部に気線文 表面同一文字	K D 3区	PL121 発行3 c式
129	土版	(2.4)	(7.0)	(1.9)	(34.2)	長石・石英・赤色砂子	にぶい褐	左脚部片 上部部に背文 内面上部に凹線磨きあり 短く縮起が存在する凸部 沈没による縮起気線と気線文	K D 3区	晩期中葉

番号	形 種	長さ	幅	厚さ	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
130	有孔円盤	(5.1)	(4.0)	(1.3)	(18.7)	長石・石英	にぶい橙	ナ字調整 中央に1孔 周縁部に穿孔2本所	KD 3区	
131	土片円盤	6.4	6.2	1.7	42.2	長石・石英・赤色粘土	にぶい黄褐色	鋼製1式深鉢片利用 周縁打ち欠き	KD 4区	後期前葉
132	土片円盤	6.7	6.5	1.2	48.7	長石・石英	にぶい黄褐色	安行2式深鉢片利用 周縁打ち欠き	KC 5区	後期後葉

番号	形 種	長さ	幅	厚さ	重量	材 質	特 徴	出土位置	備 考
133	打製石斧	10.3	7.5	2.9	271.1	砂岩	分瓣形 表裏面とも磨滅顕著	KE 6区	
134	磨製石斧	(10.2)	(6.3)	(3.1)	(273.1)	砂岩	定角式 基部・刃部欠損	KE 8区	
135	磨製石斧	(7.1)	(4.8)	(3.6)	(156.4)	砂岩	定角式 基部 表裏・側面に細かい敲打痕	KE 2区	PL121
136	磨製石斧	(6.4)	(5.1)	(3.1)	(138.2)	砂岩	定角式 刃部 先端部敲打痕	KD 3区	
137	磨石	(12.2)	9.3	6.4	(1088.7)	安山岩	表裏面光沢のある磨り面 表面に凹痕 側縁部・下縁部敲打痕 被熱	KE 6区	
138	磨石	7.8	(7.1)	4.4	(370.1)	安山岩	表裏面光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩耗痕 一部敲打痕 被熱	KD 4区	
139	磨石	7.2	6.8	2.6	175.0	砂岩	表裏面光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩耗痕 被熱	KE 6区	
140	磨石	7.7	6.4	4.3	301.1	安山岩	表裏面光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩耗痕 被熱	KE 3区	
141	磨石	6.1	5.2	4.2	(193.1)	安山岩	表裏面光沢のある磨り面 上下端ざらつきのある摩耗痕	KE 3区	
142	敲石	11.9	8.1	5.6	881.4	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+凹痕 側縁部・上下端部に敲打痕	KD 9区	PL121
143	敲石	13.0	5.1	2.7	246.1	安山岩	上下端部に敲打痕	KC 9区	PL121
144	石皿	(14.0)	(11.9)	(6.5)	(1133.7)	安山岩	表面光沢のある磨り面 裏面に凹痕	KC 9区	PL121
145	台石	19.0	11.9	7.4	2151.0	流紋岩	凹痕1箇のみ	KC 3区	
146	石皿	(11.6)	(8.4)	3.4	(345.3)	安山岩	表面磨り面 裏面磨り面+凹痕	KC 7区	
147	石皿	10.8	8.7	3.8	(302.0)	安山岩	表裏面磨り面+凹痕 先端部研磨 側縁部に敲打痕 被熱	KC 7区	
148	凹石	12.5	9.3	9.9	1362.8	凝灰岩	表面光沢のある磨り面+凹痕 裏面凹痕	GD 5区	
149	砥石	3.5	3.3	3.0	32.2	砂岩	多面体砥石 線状の研磨痕 被熱	KE 2区	
150	砥石	(5.3)	(2.7)	(1.6)	(18.4)	砂岩	棒状 上下端を除く4面に側溝	KD 4区	
151	砥石	(17.0)	10.6	9.6	(2504.6)	緑色片岩	大形石棒の再利用 表裏面光沢のある磨り面+凹痕 側縁部も研磨 被熱	KC 3区	PL121

vi) 第V層

第4・5号遺物包含層 (第387～432図 第247～250表 PL44・46～51・122～133)

位置 調査L区のF 6g2～G 5c3区、北東方向へ延びる谷部から低地部にかけて位置している。確認面の標高は17.0～18.2mである。

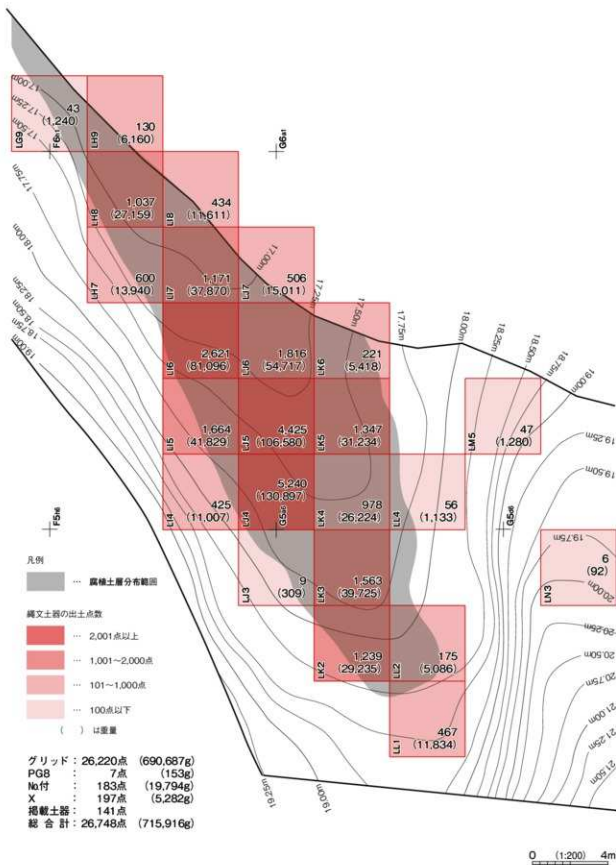
確認状況 調査区西部のG 5b3・c3区を谷頭として、北東方向へ帯状に延びる腐食土層が確認できた。西側の調査K区から続く谷の最下部に相当し、湧水を伴う低湿地の様相を呈している。

調査方法 4層に大別して掘削し、第V-1～3層を最上層(1x)とし、第V-4・5層を上層(2x)、第V-6層を中層(3x)、第V-7・8層を下層(4x)として遺物の取り上げを行った。

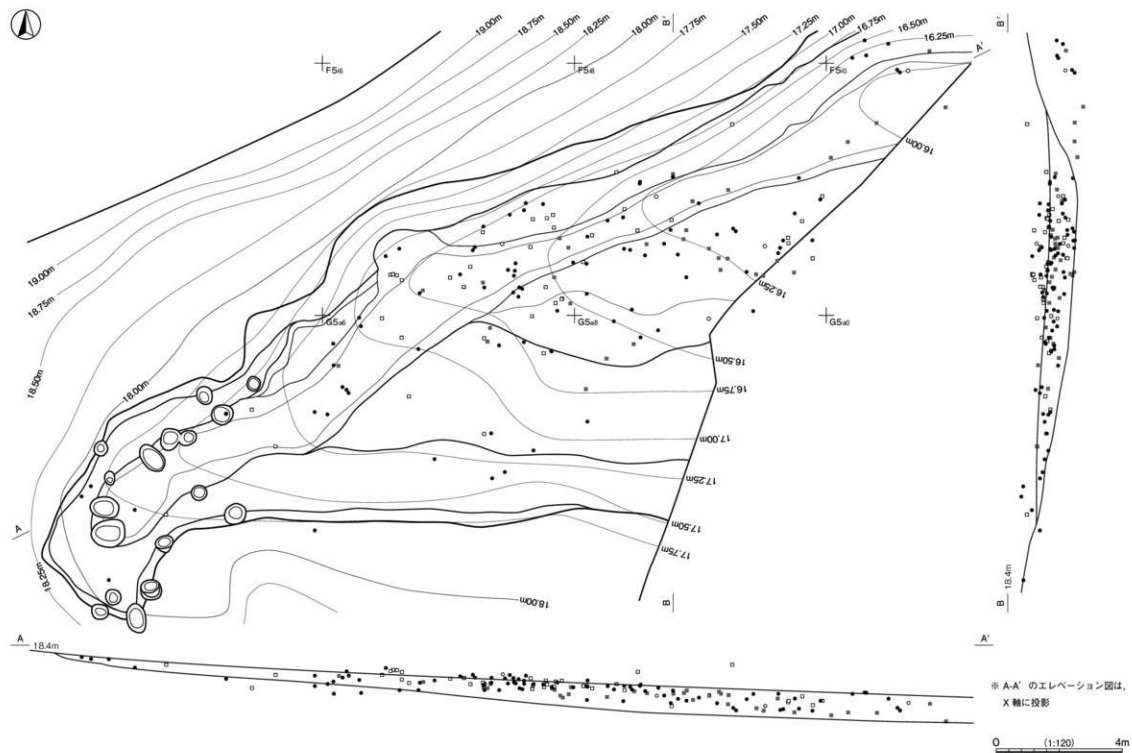
重複関係 第4・5号遺物包含層第IV層が上部に形成されている。

分布範囲 北東方向(N-68°-E)へほぼ直線的に延びている。確認できた長さは44.0mで、北東部は調査区域外へ延びている。上幅は3.66～12.32m、下幅は0.92～2.04mで、底面は台地斜面部の裾部に沿うように、北壁際が溝状に凹んでいる。深さは7～87cmで、G 5a6区(LJ 4区)付近から深くなっている。北壁は約40度の勾配で外傾し、南壁は10～20度の勾配で緩やかに立ち上がっている。

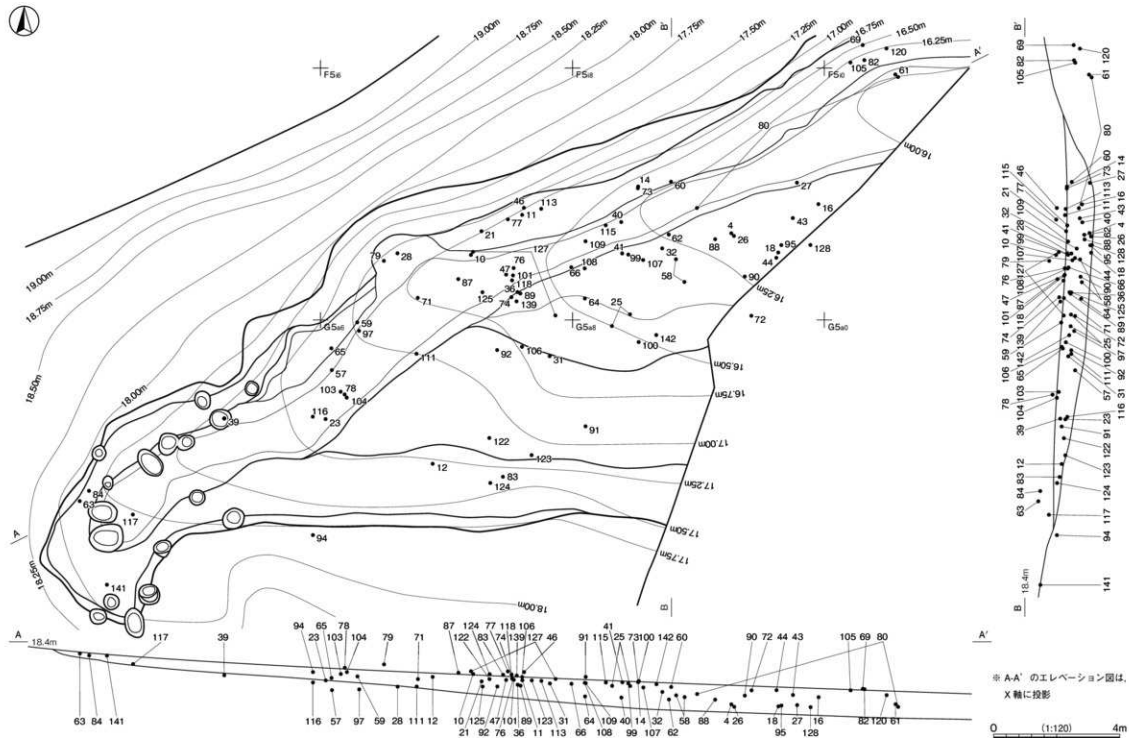
木道1 北東部のF 5i9～j0区に位置し、第V-1～3層を除去した段階で確認でき、第V-4層の上面に敷設されている。自然木12本が、北西-南東方向(N-62°-W)に並んでおり、南東部が調査区域外へ延びている。確認できた規模は、長さ2.97m以上、幅1.63mである。上面の標高は17.19～17.32mで、傾斜角は3度である。自然木は長さ32～276cm、径7～27cmの枝・幹材を使用し、いずれも樹皮が残っている状態で、伐採痕は腐朽のため不鮮明であった。樹種は、トネリコ属シオジ節が1点で、その他はすべてクリである。



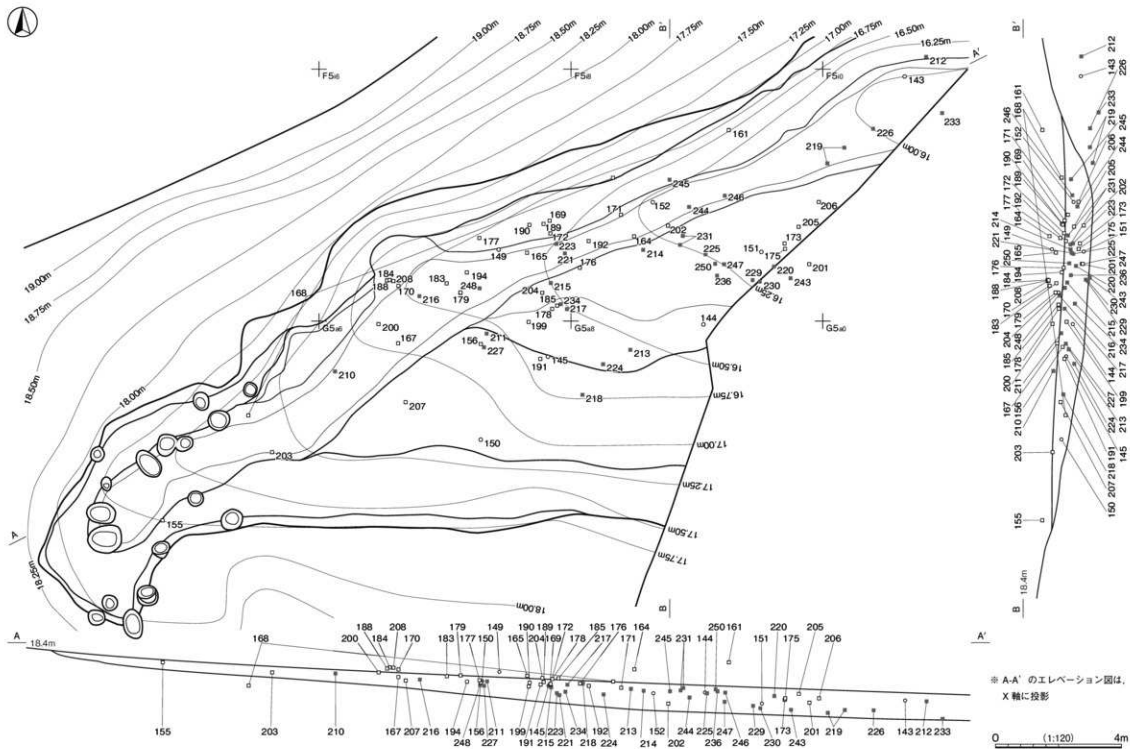
第 387 図 第 4・5号遺物包含層第V層実測図(1)



第 388 図 第 4・5号遺物包含層第 V 層実測図 (2)



第 389 図 第 4・5号遺物包含層第 V 層実測図 (3)



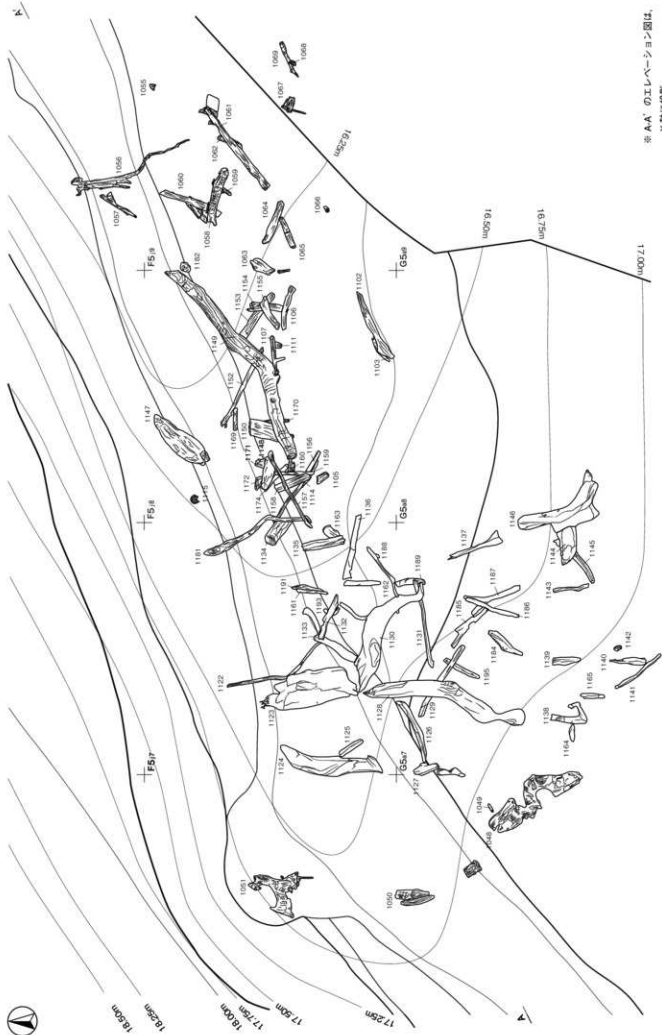
第 390 図 第 4・5号遺物包含層V層実測図(4)



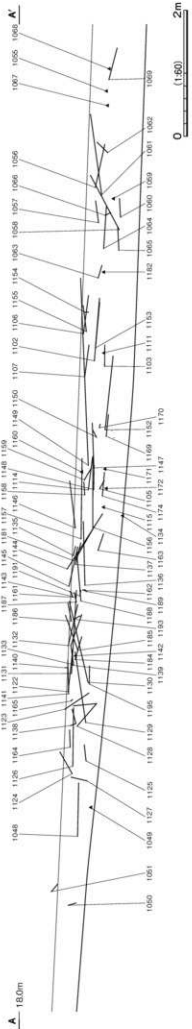
第391圖 第4・5号遺物包含層第V層平面圖(5)



幸 A-A' のエレベーション図は、
 X 軸に投影



※ A.A' のエレベーション図は、
X軸に投影

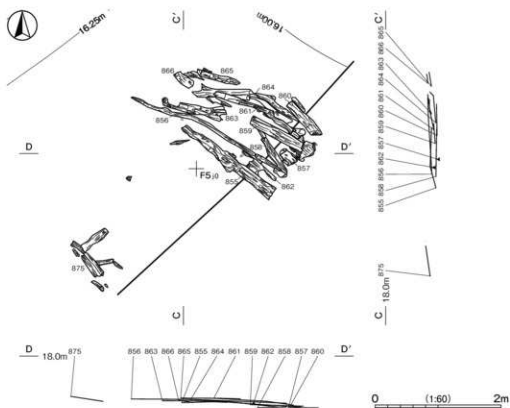


第393図 第4・5号遺物包含層第V層実測図(7)

番号	層種	部位	長さ	幅・厚	試料番号	備考	単位 (cm)
1054	タリ	柱・幹材	27	6	11-2591		
1055	タリ	柱・幹材	19	7	11-2592		
1056	—	柱・幹材	198	13	—		
1057	—	柱・幹材	68	6	—		
1058	トナリ	柱・幹材	80	15	11-2867		
1059	タリ	柱・幹材	35	8	11-2868		
1060	カエラ	柱・幹材	99	8	11-2869		
1061	タリ	柱・幹材	165	12	11-2870		
1062	カエラ	柱・幹材	39	10	11-2871		
1063	タリ	柱・幹材	42	18	11-2872		
1064	タリ	柱・幹材	72	10	11-2873		
1065	カエラ	柱・幹材	48	11	11-2874		
1066	タリ	柱・幹材	11	5	11-2875	一部欠化	
1067	タリ	柱・幹材	34	12	11-2876		
1068	タリ	柱・幹材	18	10	11-2876		
1069	カエラ	柱・幹材	61	6	11-2877		
1070	トナリ	柱・幹材	88	33	11-2878		
1071	タリ	柱・幹材	46	21	11-2879		
1072	カエラ	柱・幹材	28	4	11-2880		
1073	トナリ	柱・幹材	48	11	11-2881		
1074	トナリ	柱・幹材	32	22	11-2882		
1102	タリ	柱・幹材	124	11	11-2908		
1103	タリ	柱・幹材	46	6	11-2909		
1104	カエラ	柱・幹材	40	7	11-2910		
1105	タリ	柱・幹材	23	11	11-2900	同層見取図	

番号	層種	部位	長さ	幅・厚	試料番号	備考	単位 (cm)
1106	タリ	柱・幹材	72	10	11-2911		
1107	タリ	柱・幹材	62	6	11-2912		
1108	カエラ	柱・幹材	57	9	11-2913		
1109	カエラ	柱・幹材	24	11	11-2914		
1110	カエラ	柱・幹材	27	19	11-2915		
1111	カエラ	柱・幹材	10	9	11-2916		
1114	タリ	柱・幹材	33	7	11-2918		
1115	タリ	柱・幹材	10	18	11-2919		
1122	タリ	柱・幹材	140	7	11-2920		
1123	タリ	柱・幹材	150	35	11-2921	118-118+	
1124	タリ	柱・幹材	160	30	11-2922		
1125	タリ	柱・幹材	45	10	11-2923		
1126	カエラ	柱・幹材	110	13	11-2924		
1127	カエラ	柱・幹材	260	15	11-2925		
1128	カエラ	柱・幹材	260	25	11-2926	118-118+	
1129	タリ	柱・幹材	130	10	11-2927		
1130	タリ	柱・幹材	300	35	11-2928	118-118+	
1131	タリ	柱・幹材	140	5	11-2929		
1132	タリ	柱・幹材	80	10	11-2931		
1133	タリ	柱・幹材	120	15	11-2932		
1134	カエラ	柱・幹材	166	22	11-2933		
1135	タリ	柱・幹材	70	15	11-2934		
1136	カエラ	柱・幹材	166	10	11-2935		
1137	タリ	柱・幹材	90	10	11-2936		
1138	タリ	柱・幹材	60	10	11-2937		

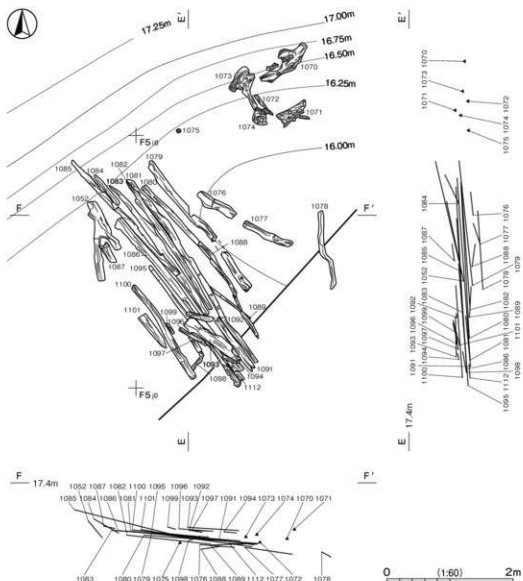
番号	層種	部位	長さ	幅・厚	試料番号	備考	単位 (cm)
1139	タリ	柱・幹材	45	15	11-2938		
1140	タリ	柱・幹材	60	10	11-2939		
1141	タリ	柱・幹材	90	6	11-2940		
1142	タリ	柱・幹材	30	8	11-2941		
1143	タリ	柱・幹材	60	8	11-2942		
1144	トナリ	柱・幹材	60	25	11-2943		
1145	タリ	柱・幹材	90	10	11-2944		
1146	カエラ	柱・幹材	150	35	11-2945		
1147	カエラ	柱・幹材	110	35	11-2946		
1148	タリ	柱・幹材	65	15	11-2947		
1149	トナリ	柱・幹材	360	30	11-2948		
1150	タリ	柱・幹材	50	30	11-2949	腐朽	
1152	ニガキ	柱・幹材	140	80	11-2950		
1153	ニガキ	柱・幹材	90	10	11-2951		
1154	タリ	柱・幹材	60	10	11-2952		
1155	カエラ	柱・幹材	15	10	11-2954		
1156	トナリ	柱・幹材	85	10	11-2953		
1157	タリ	柱・幹材	130	5	11-2955		
1158	タリ	柱・幹材	80	14	11-2956		
1159	カエラ	柱・幹材	60	8	11-2957		
1160	トナリ	柱・幹材	20	10	11-2958		
1161	カエラ	柱・幹材	30	5	11-2959		
1162	カエラ	柱・幹材	60	7	11-2960		
1163	タリ	柱・幹材	30	15	11-2961		
1164	カエラ	柱・幹材	30	10	11-2962		



第394図 第4・5号遺物包含層第V層木道1実測図

番号	樹種	部位	長さ	筋・目	試料番号	備考
1165	オニグルミ	枝・幹材	40	10	IB-2963	
1169	クリ	枝・幹材	35	7	IB-2964	
1170	キハダ	枝・幹材	52	7	IB-2965	
1171	キハダ	枝・幹材	12	13	IB-2966	副材
1172	クリ	枝・幹材	21	13	IB-2967	
1174	カエデ	枝・幹材	57	6	IB-2968	
1181	クリ	枝・幹材	174	16	IB-2969	
1182	クワ属	枝・幹材	18	14	IB-2970	
1184	-	枝・幹材	65	15	-	
1185	クリ	枝・幹材	70	13	IB-2971	
1186	クリ	枝・幹材	85	10	IB-2972	
1187	ムクロシ	枝・幹材	90	8	IB-2973	
1188	クリ	枝・幹材	95	13	IB-2974	
1189	ムクロシ	枝・幹材	90	7	IB-2975	
1191	オニグルミ	枝・幹材	50	8	IB-2976	
1193	トチノキ	枝・幹材	60	12	IB-2977	
1195	クリ	枝・幹材	59	9	IB-2978	
855	クリ	枝・幹材	180以上	27	IB-2832	木道1
856	クリ	枝・幹材	276	7	IB-2833	木道1
857	クリ	枝・幹材	28以上	18	IB-2834	木道1
858	クリ	枝・幹材	72以上	12	IB-2835	木道1
859	クリ	枝・幹材	92以上	14	IB-2836	木道1
860	クリ	枝・幹材	72以上	15	IB-2837	木道1
861	トチノ木+漆	枝・幹材	151	9	IB-2838	木道1
862	クリ	枝・幹材	70以上	18	IB-2839	木道1
863	クリ	枝・幹材	105	23	IB-2840	木道1
864	クリ	枝・幹材	85以上	13	IB-2841	木道1
865	クリ	枝・幹材	70	8	IB-2842	木道1
866	クリ	枝・幹材	32	12	IB-2843	木道1

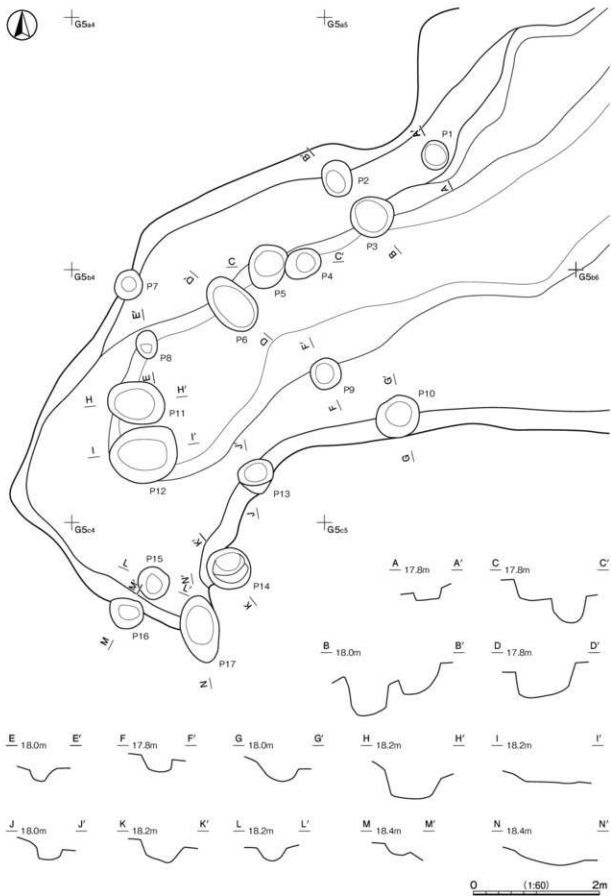
番号	樹種	部位	長さ	筋・目	試料番号	備考
1052	クリ	枝・幹材	134	31	IB-2861	木道2
1076	オニグルミ	枝・幹材	68	19	IB-2863	木道2
1077	オニグルミ	枝・幹材	88	10	IB-2864	木道2
1078	オニグルミ	枝・幹材	126	9	IB-2865	木道2
1079	クリ	枝・幹材	258	13	IB-2866	木道2
1080	トチノ木+漆	枝・幹材	306	8	IB-2867	木道2
1081	ヌルデ	枝・幹材	355	12	IB-2868	木道2
1082	クリ	枝・幹材	244	11	IB-2869	木道2
1083	クリ	枝・幹材	258	14	IB-2890	木道2
1084	クワ属	枝・幹材	61	8	IB-2891	木道2
1085	イヌガヤ	枝・幹材	246	10	IB-2892	木道2
1086	クリ	枝・幹材	312	13	IB-2893	木道2
1087	クリ	枝・幹材	36	15	IB-2894	木道2
1088	クワ属	枝・幹材	57	6	IB-2895	木道2
1089	クリ	枝・幹材	83	4	IB-2896	木道2
1091	クリ	枝・幹材	99	14	IB-2897	木道2
1092	クリ	枝・幹材	43	7	IB-2898	木道2
1093	クリ	枝・幹材	102	19	IB-2899	木道2
1094	クリ	枝・幹材	23	6	IB-2900	木道2
1095	クリ	枝・幹材	237	9	IB-2901	木道2
1096	クリ	枝・幹材	52	8	IB-2902	木道2
1097	クリ	枝・幹材	29	9	IB-2903	木道2
1098	クリ	枝・幹材	55	6	IB-2904	木道2
1099	クリ	枝・幹材	22	4	IB-2905	木道2
1100	クリ	枝・幹材	178	12	IB-2906	木道2
1101	クリ	枝・幹材	68	14	IB-2907	木道2
1112	クリ	枝・幹材	18	9	IB-2917	木道2



第395図 第4・5号遺物包含層第V層木道2実測図

木道2 北東部のF 5i9～j0区に位置し、木道1及び第V～4・5層を除去した段階で確認でき、第V～6層の上面に敷設されている。自然木27本が、北西～南東方向(N-39°-W)に並んでおり、南東部が調査区域外へ延びている。確認できた規模は、長さ4.42m以上、幅2.65mである。上面の標高は16.78～16.97mで、傾斜角は9度である。自然木は、長さ29～355cm、径4～19cmで、樹種はクリが19点、オニグルミが3点、クワ属が2点、イヌガヤ、トネリコ属トネリコ節、ヌルデが各1点である。

小土坑群(第8号ピット群) 17か所。南西部のG 5a4～c4区、谷頭部周辺に掘り込まれている。長径0.45～1.07m、短径0.34～0.88mの円形または楕円形で、深さは13～57cmである。底面は皿状で、壁は外傾している。覆土は、最下層の第V～8層と同質の黒褐色粘土層で、水成堆積層である。木組遺構に伴う柱穴の痕跡や水さらし場のような堅果類の集積は確認できず、自然湧水を得るための掘り込みと考えられる。



第 396 図 第 4・5号遺物包含層V層第8号ピット群実測図

第248表 第4・5号遺物包含層第V層第8号ピット群ピット一覧

番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)
P 1	45	42	18	P 7	48	44	29	P 13	55	55	30
P 2	58	47	45	P 8	45	34	20	P 14	67	65	34
P 3	69	67	57	P 9	48	47	22	P 15	50	47	19
P 4	59	45	42	P 10	72	64	30	P 16	57	48	18
P 5	70	58	30	P 11	91	68	46	P 17	106	62	22
P 6	96	63	52	P 12	107	88	13				

遺物出土状況 縄文土器 26,749点 (715,916 g)、土製品 49点 (耳飾り1、土偶8、有孔円盤1、土錘1、土器片円盤38)、石器・石製品 289点 (ナイフ形石器1、尖頭器1、石鎌1、打製石斧15、磨製石斧7、石皿35、磨石105、敲石53、凹石58、砥石5、石錘1、浮子カ3、石剣1、石棒3)、剥片8点 (瑪瑙1、チャート7)、石核1点 (石英)、漆器 28点 (鉢9、把手付片口鉢3、片口鉢1、脚付鉢4、杓子2、把手2、飾弓7)、木製品 11点 (把手1、弓2、瘤付木製品2、不明1、未成品2、加工木3)、編組製品 3点 (漏斗状製品、袋状製品、紐)、骨 182 gのほか、自然木、種子類が出土している。土器は、前期の黒浜式・浮島式、中期の五領ヶ台式・阿玉台式・加曾利E式のものが見られるほか、称名寺I式〜堀之内2式のものも多く、加曾利B1式〜安行3b式のもの少量出土している。また、文様構成が不明な破片で、詳細時期が不明なもの (第9群) として沈線文・地縄文の土器片は、器厚や縄文の特徴から、ほとんどが堀之内1式〜堀之内2式の精製土器の一部ないし粗製土器であり、集計表で示した点数以上に当該型式の土器が主体を占めている。層別別にみると、最上〜中層 (1〜3x) では堀之内1式〜堀之内2式のもの混在しているが、下層 (4x) では堀之内1式が中心である。また、加曾利B式〜安行3b式ものは、主にL J 4〜6区の最上層 (1x) から出土しており、上部の第III層の浸食が及んでいた範囲と一致していることから、混入した可能性が高い。土器片などの人工遺物は、中央部のL J 4・5区最上〜中層から多量に出土しており、残存率が高い大型破片や接合関係が認められるものも一定量出土していることから、至近から投棄された可能性がある。また、自然木は、木道1・2以外は、倒木あるいは流れ込み、種子類は、周囲から落果したものと考えられる。

自然科学分析 珪藻化石分析は、パリオ・サーヴェイ株式会社に委託し、詳細を「第3章第4節 自然科学分析 4」に掲載している。樹種・花粉化石・植物遺体等は、明治大学教授阿部芳郎氏を代表者とする明治大学黒曜石研究センターによる分析結果が、当財団「研究ノート」第15号で先行報告されている。以下にその概要を記載する。

土壌の堆積環境については、第V-2・3・6・8層の4試料について珪藻化石分析を行っている。第V-8層は、淡水生物群の混合群集を呈していることから、多少の流れ込みを受けるような低地部の湿地の状態である。第V-6層では、陸生珪藻の産出率が高くなり、次第に乾いた状態へと変化している。第V-2・3層では、珪藻化石の産出量が少なく、堆積後に大気に曝されて分解・消失した可能性が指摘されている。

樹種は、漆器・木製品については第250表に記載し、自然木については出土状況を第391〜393図、同定結果を第247表に示した。漆器・木製品は、漆器鉢がサクラ属 (広義)、漆器杓子がイヌガヤ、飾弓がニシキギを使用しており、器種による樹種選択が明瞭である。自然木は、木道1・2にクリが多量に用いられている。また、倒木や流れ込みと思われるものは、クリが50%を占め、その他、クワ属、オニグルミ、カエデ属、トチノキ、ムクロジなどがあり、トチノキについては根株材が確認できた。谷の周辺は、人為的に維持されたクリ林が広がり、その周囲にその他の落葉広葉樹林が存在する森林環境が復元されている。

植生変遷については、花粉分析と植物遺体の同定分析により、3期に区分されている。最下層の第V～8層段階ではコナラ亜属、クリ、クルミ属を主とし、中層の第V～6・7層段階ではクリが増加し、上層の第V～1～5層段階ではクリが減少してトチノキが増加していることが明らかにされた。これらの堅果類に加え、土器付着炭化材物でも確認されたキハダ、ミズキ、ニワトコのほか、ヤマブドウやクワ属、コウゾ属、サンショウ、マタビ属などの漿果類といった有用植物が多く産出されていることから、谷の周辺には、当初から人為的に管理された二次林が広がっていた可能性が指摘されている。また、各層でアサの出現率が高いことから、アサ畑の存在が推定されている。

漆器鉢(210)については、明治大学教授阿部芳郎氏を代表者とする明治大学黒曜石研究センターにより、自然科学分析等が実施されている(『研究ノート』第15号)。以下にその概要を記載する。

210の漆の層構造は、クロスセクション分析による断面観察により、外面が生漆層と3層の赤色顔料、素地を含む5層構造、内面が生漆層と3～4層の赤色顔料、素地を含む5～6層構造で、外面の文様部分の凸部は、3層の赤色顔料を塗布した後に黒色の生漆層が露出するまで研ぎが行われたことが考察されている。

顔料の成分は、ED-XRF(エネルギー分散型蛍光X線分光分析)により、外面は表層から水銀朱、パイプ状ベンガラと水銀朱の混合、パイプ状ベンガラの3種類、内面は外面と同様に3種の赤色顔料が使用され、その上にパイプ状ベンガラで文様が描かれていることが判明している。

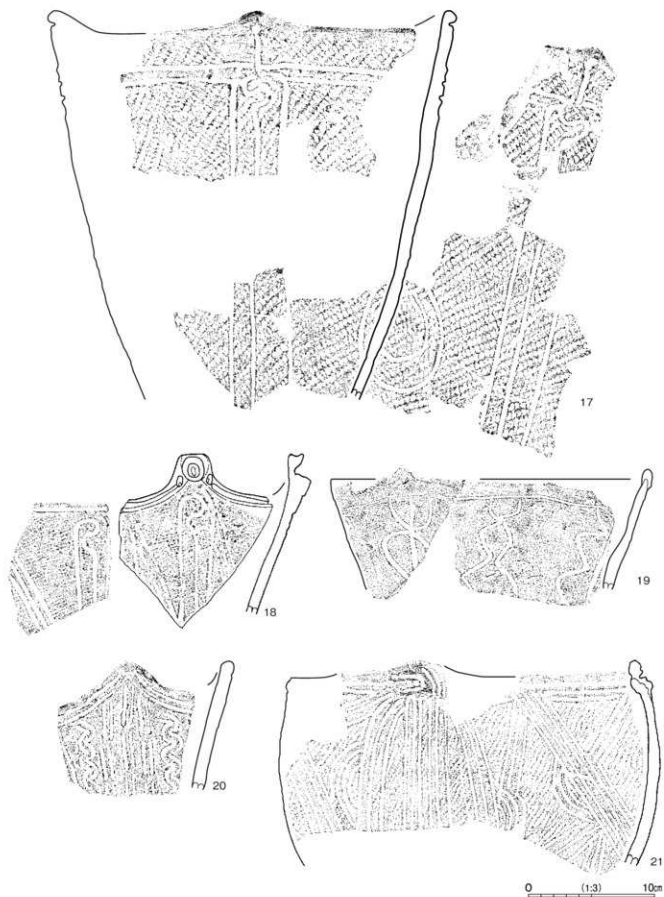
漆の樹種は、Py-GC/MC(熱分解ガスクロマトグラフ質量分析)により、日本、中国、韓国に生息している *Toxicodendron vernicifluum* であることが示唆されている。

漆器の年代は、漆塗膜の加速器質量分析装置(AMS)による放射性炭素同位体比の測定により、 ^{14}C 年代が $3366 \pm 29\text{BP}$ 、較正年代が $3638 \sim 3574\text{cal BP}$ (IntCal13)と推定され、縄文時代後期中葉の加曾利B2式期(3680～3530cal BP)に相当するとされている。類似例としては、埼玉県寿能遺跡、大木戸遺跡などの鉢形の木胎漆器が挙げられる。大木戸遺跡の有脚鉢と東京都権現台貝塚出土土器との形態や文様構成の類似性を参考に、有脚の鉢形の器形に復元され、「細線格子目文有脚木胎漆器」と命名されている。

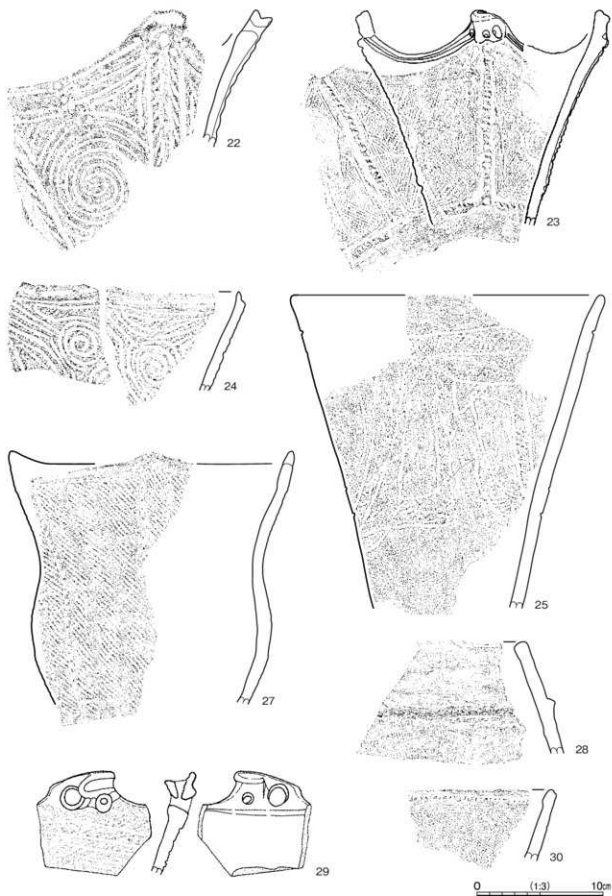
所見 谷部の自然湧水を利用した水場で、谷頭部に生活用水を確保するための小土坑が掘り込まれている。水場が機能した時期は、下層の出土土器から後期前葉(堀之内1式期)と考えられる。自然科学分析から、当初は湿地の環境で、埋積が進むにつれて乾いた状態へ変化している様子が明らかになった。出土土器から堀之内2式期には機能が停止し、土器や漆器などが廃棄され、周辺から自然木が流れ込む環境に変化したと推定される。谷部に伴う構造物は、木道1・2を確認した。谷と直交する方向に並んだ木材が、異なる層位のほぼ同じ位置に敷設されており、耐水性の高いクリ材が選択的に使用されていることから、人為的な構造物と判断した。水深の浅い湿地を渡るための簡易な足場と考えられる。古環境については、樹種同定や花粉・植物遺体の分析から、コナラ亜属・クリ・クルミ属の林から、クリ林へと変化し、やがてトチノキが増加する植生変遷が明らかになり、人為的に維持、管理された森林環境が復元されている。出土遺物では、漆器・木製品・編組製品が注目される。210は、外面に「細線格子目文」が施された大型の鉢で、他県での出土例と比べて最も残存状態が良好であり、全形が復元できる貴重な例である。漆塗膜の放射性炭素年代測定により加曾利B2式期と推定される数値が得られているが、調査所見では共伴する土器から堀之内1式～堀之内2式期と考えられることから、検討が必要である。211、244・245は把手付片口鉢とその未成品と考えられ、粗調整→仕上げ→製品の製作工程が分かる良好な資料である。今回の調査では、141・142の漆容器や188のベンガラが付着した磨石が出土しており、当集落において漆器の生産が行われていた可能性が高い。



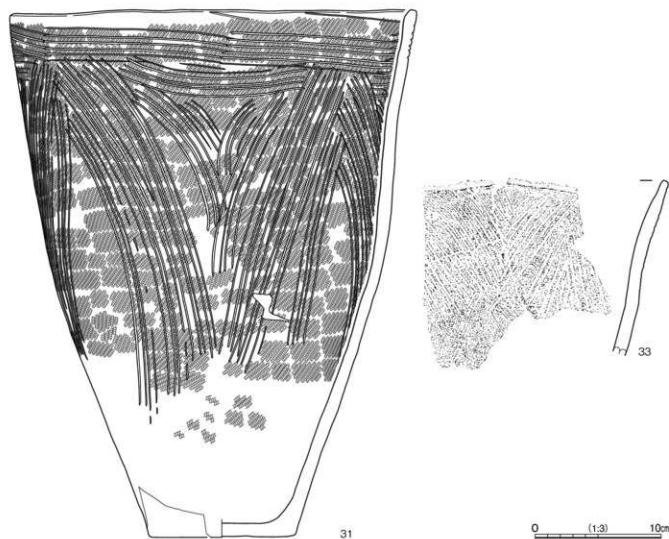
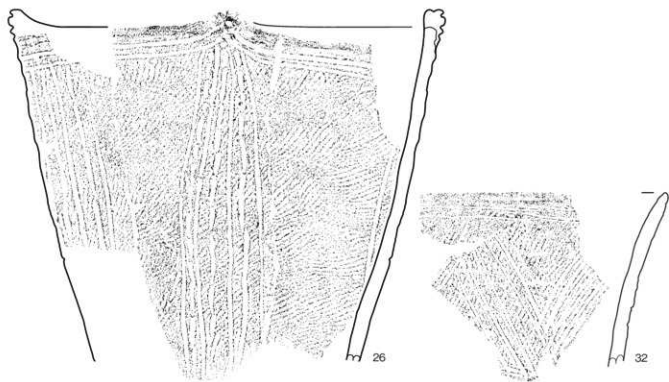
第 397 图 第 4·5 号遺物包含層第 V 層出土遺物实测图 (1)



第 398 图 第 4 · 5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (2)

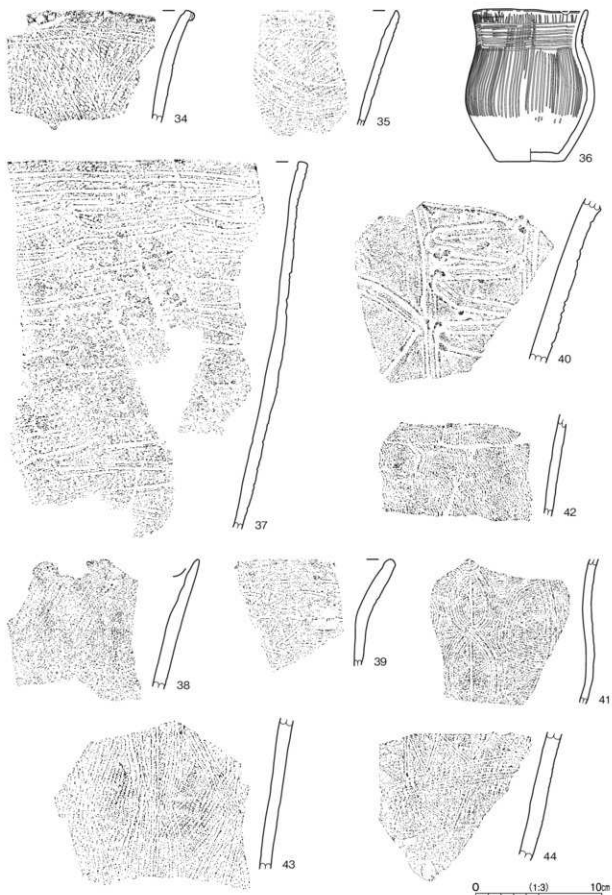


第 399 图 第 4 · 5 号遺物包含層第 V 層出土遺物实测图 (3)



第 400 图 第 4·5 号道物包含层第 V 层出土物实测图 (4)

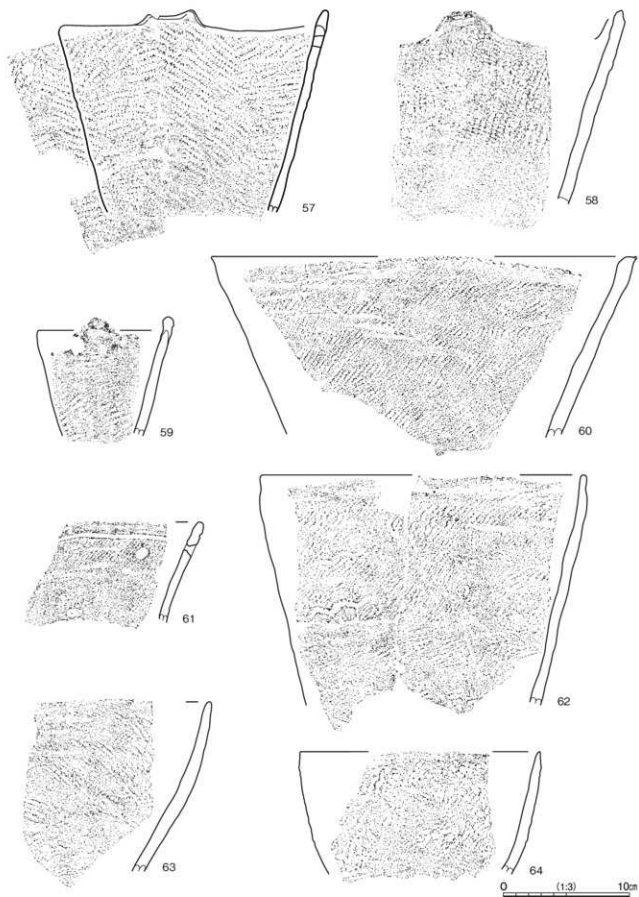
0 (1:3) 10cm



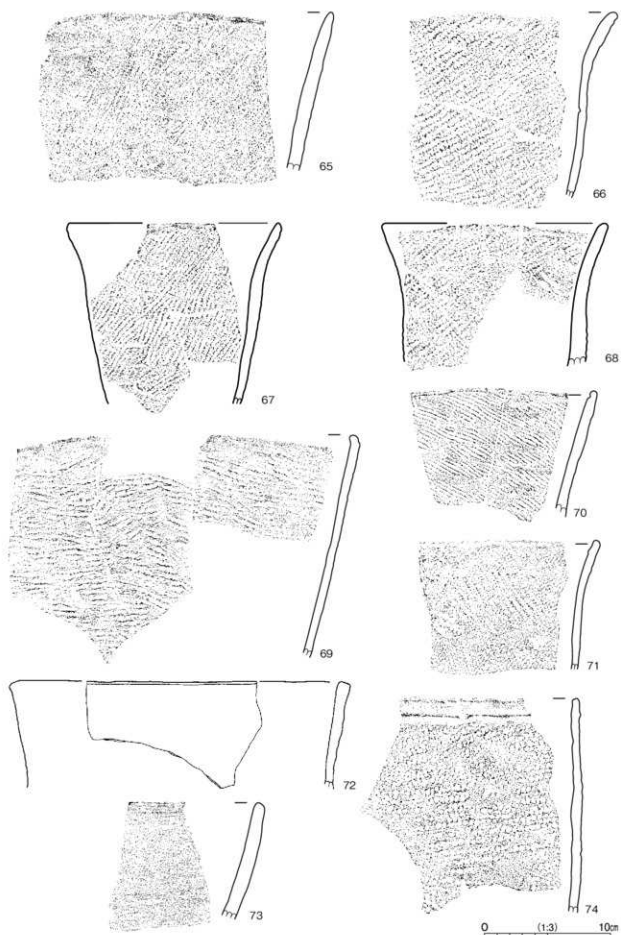
第401图 第4·5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(5)



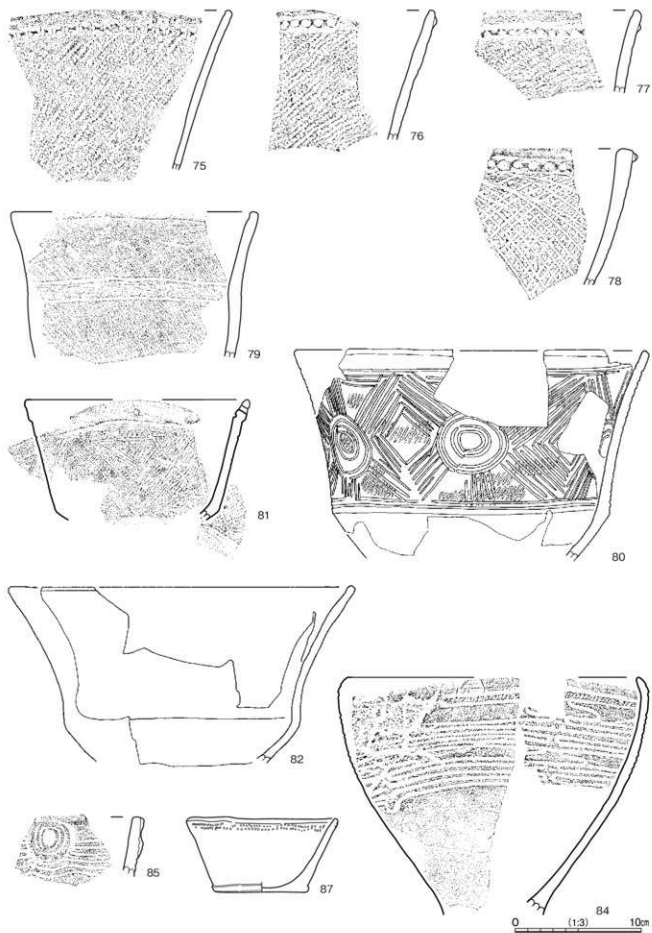
第 402 图 第 4·5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (6)



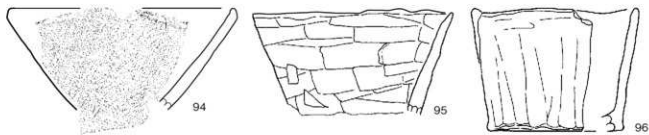
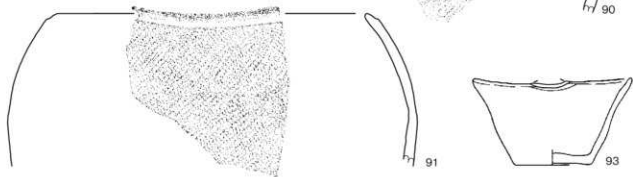
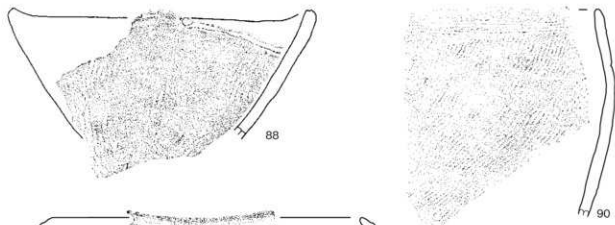
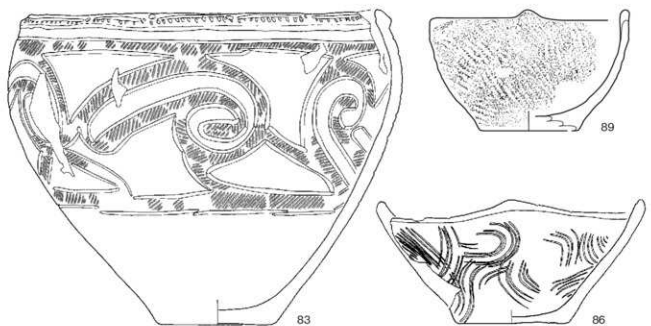
第 403 图 第 4·5 号遺物包含層第 V 層出土遺物实测图 (7)



第 404 图 第 4·5 号遗物包含层第 V 层出土遗物实测图 (8)

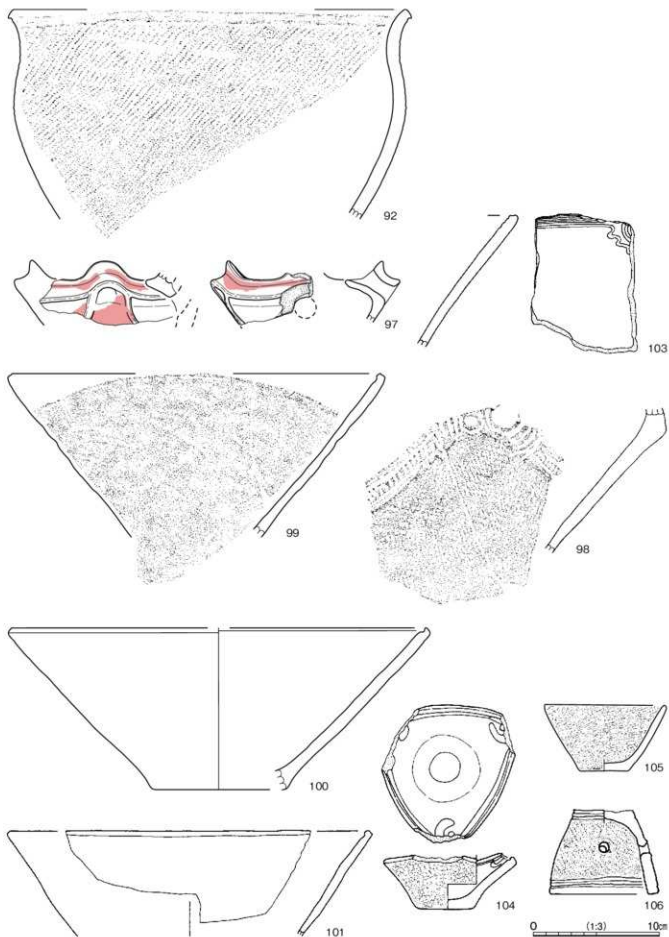


第405图 第4·5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(9)

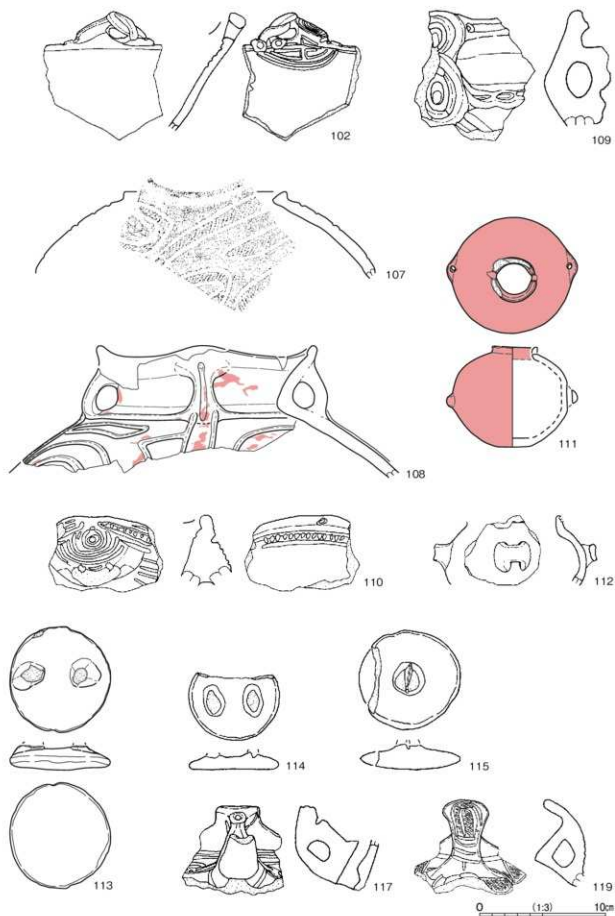


0 (1:3) 10cm

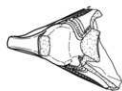
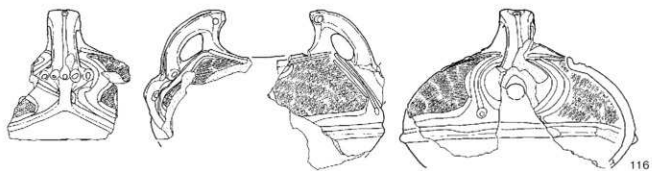
第406图 第4·5号道物包含层第V层出土物实测图(10)



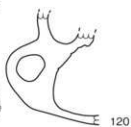
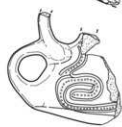
第407图 第4·5号遺物包含層第V層出土遺物实测图(11)



第 408 图 第 4·5 号道物包含层第 V 层出土道物实测图 (12)



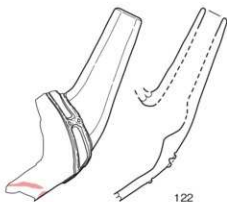
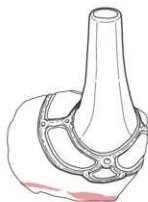
118



120



121



122



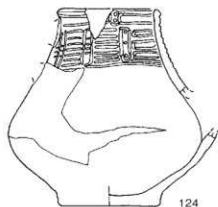
123



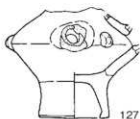
125



126



124



127



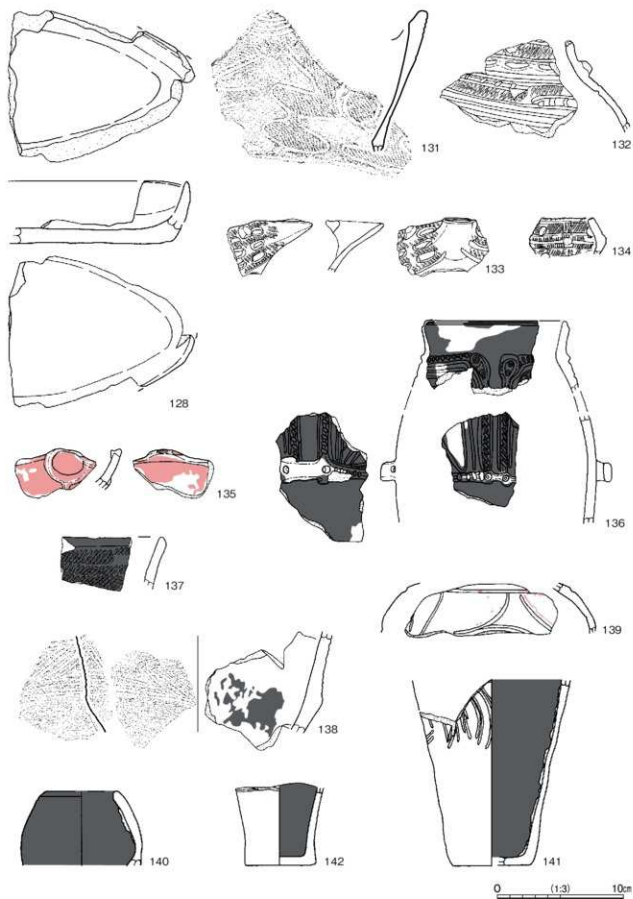
129



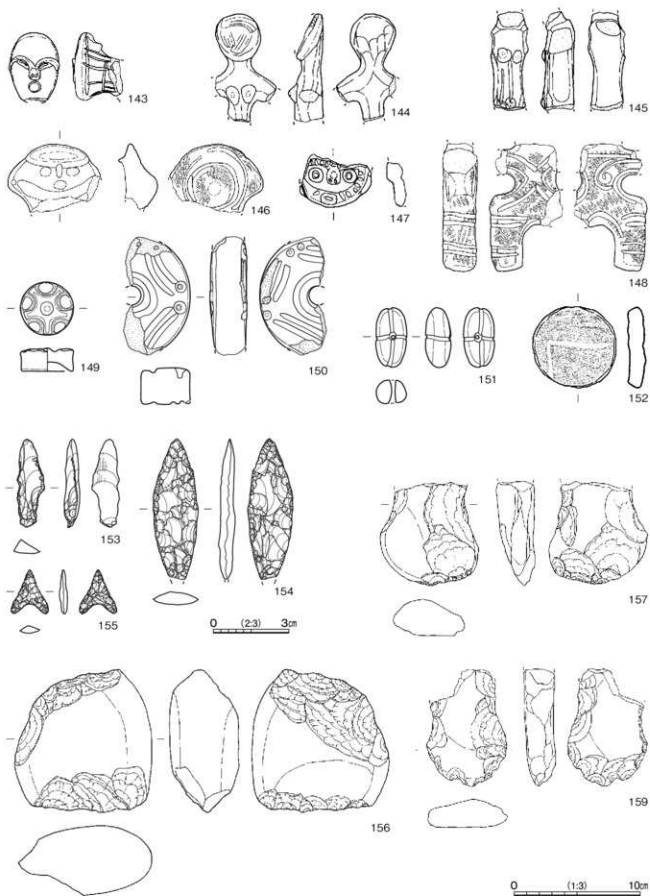
130

0 (1:3) 10cm

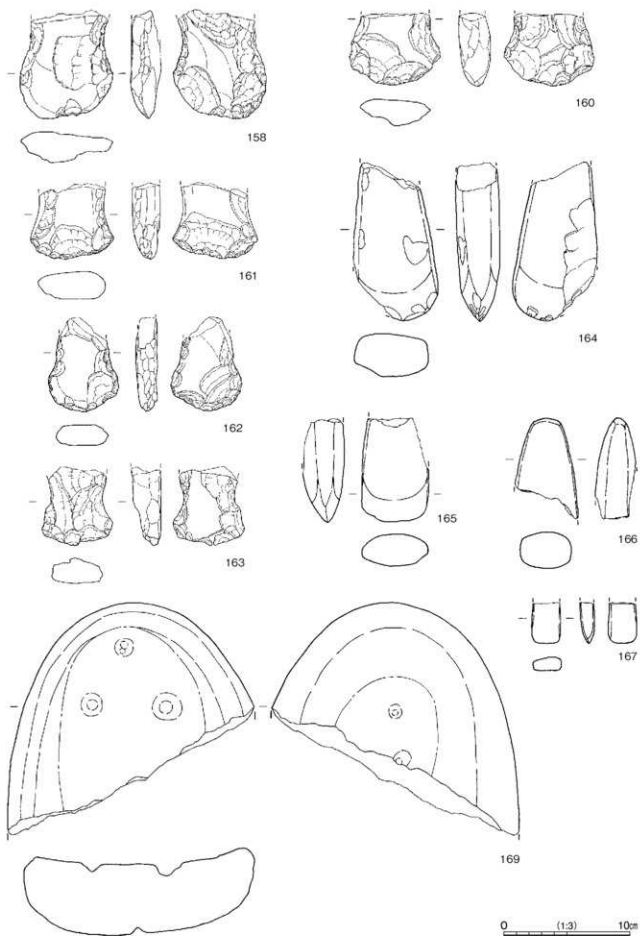
第409图 第4·5号遗物包含层第V层出土遗物实测图(13)



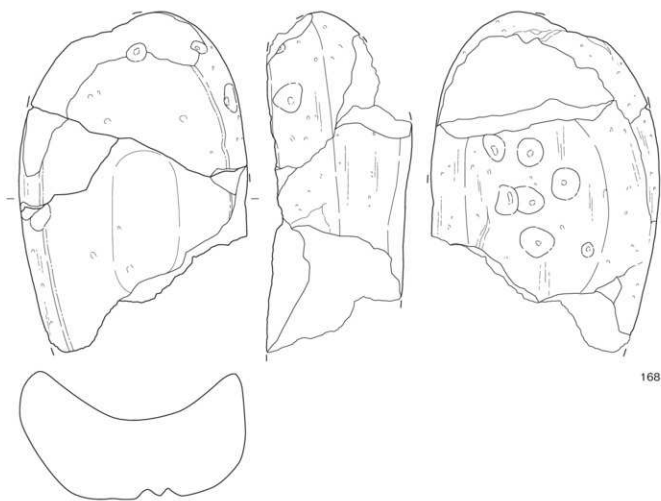
第410图 第4·5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(14)



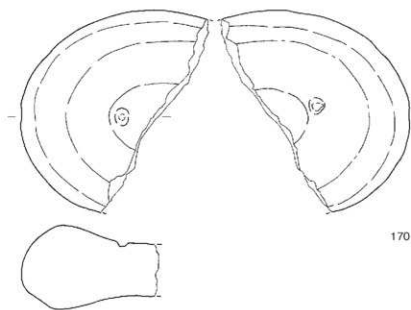
第411图 第4·5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(15)



第 412 图 第 4·5 号遗物包含层第 V 层出土物实测图 (16)



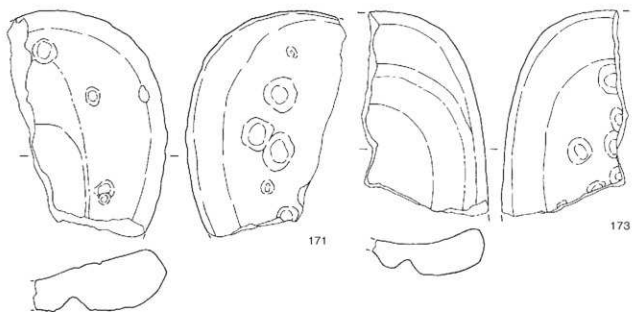
168



170

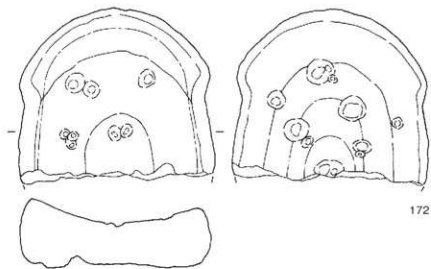
0 (1:3) 10cm

第413图 第4·5号遺物包含層第V層出土遺物实测图(17)

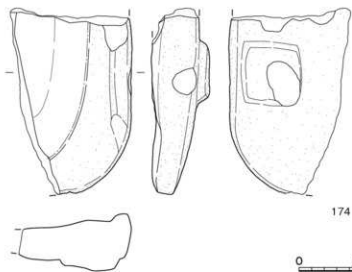


171

173



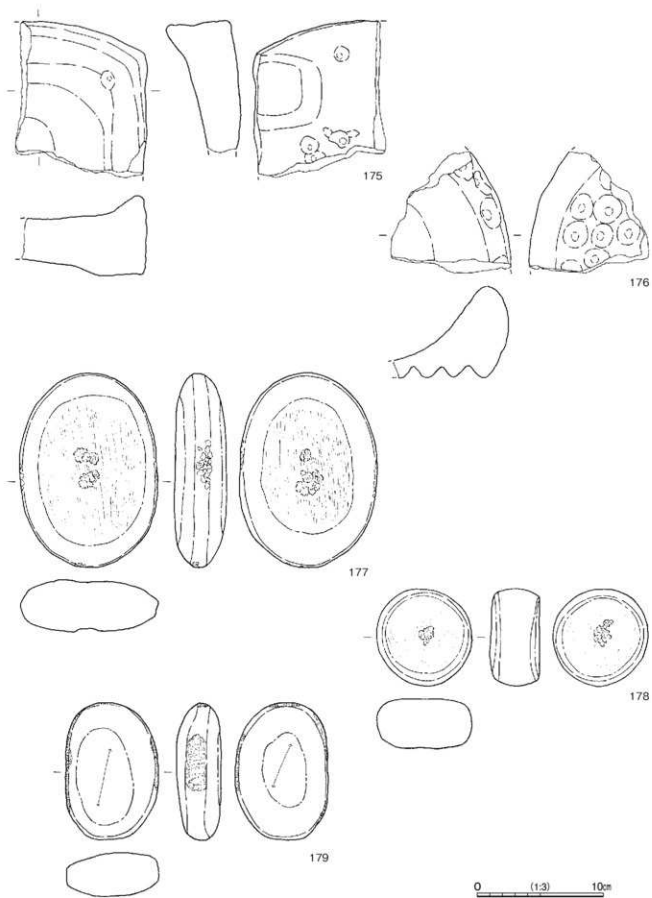
172



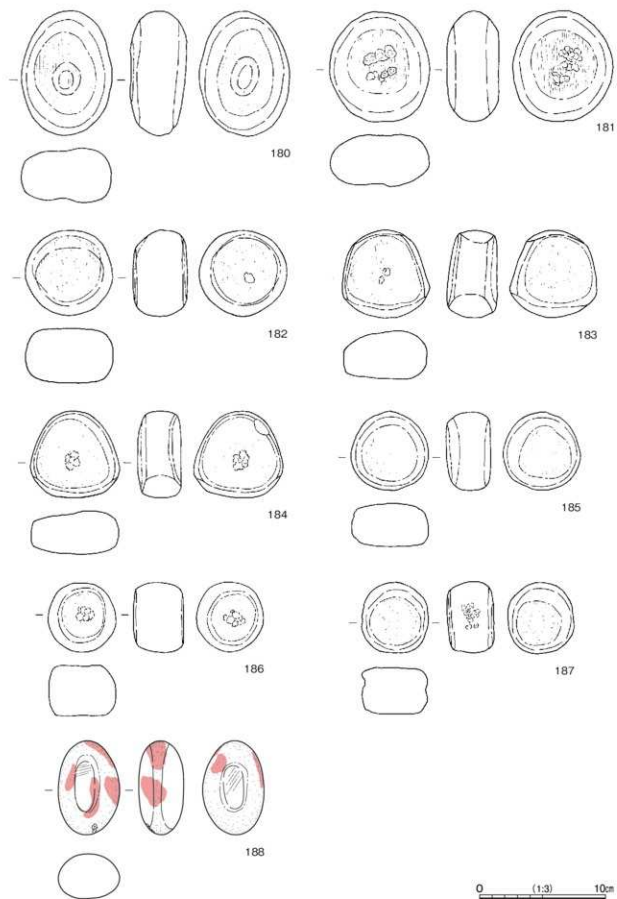
174

0 (1:3) 10cm

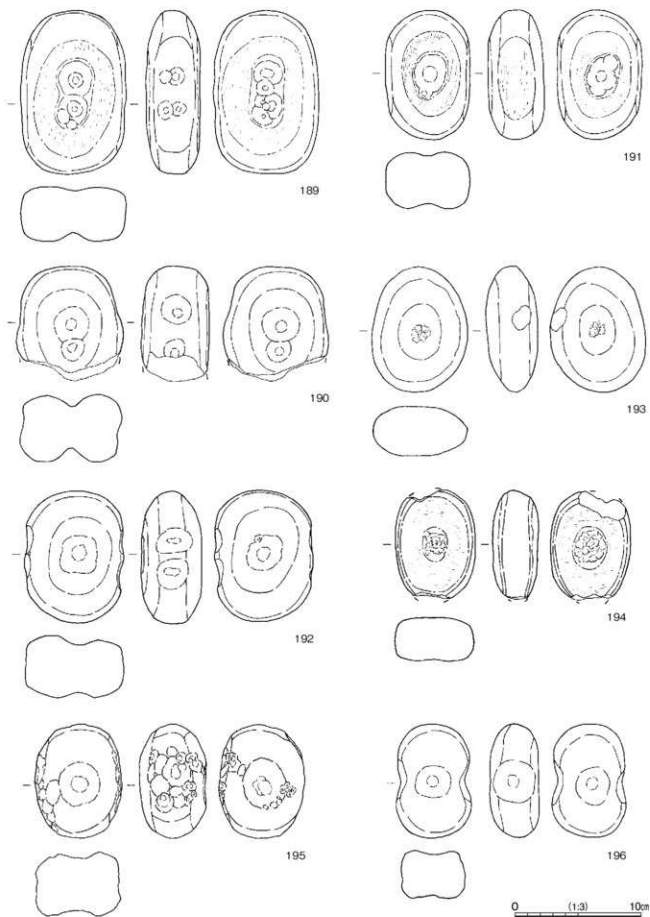
第 414 图 第 4·5 号遗物包含层第 V 层出土遗物实测图 (18)



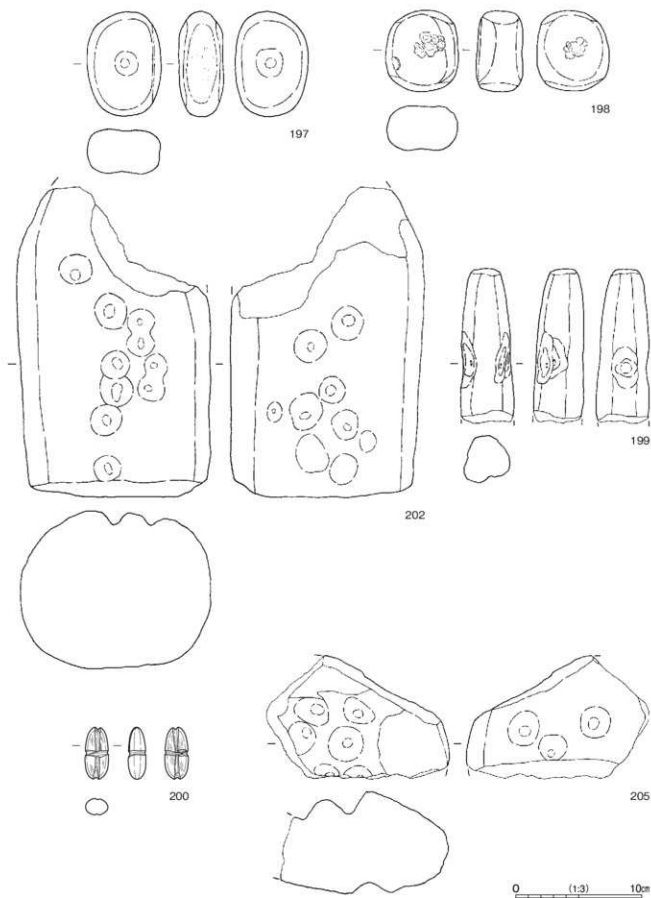
第415图 第4·5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(19)



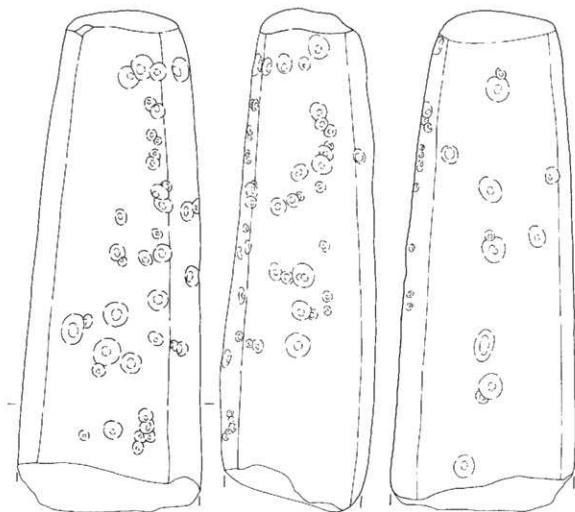
第 416 图 第 4·5 号遗物包含层第 V 层出土遗物实测图 (20)



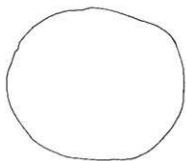
第417图 第4·5号遺物包含層第V層出土遺物实测图(21)



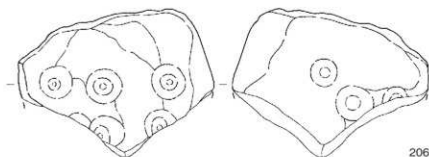
第 418 图 第 4·5 号道物包含层第 V 层出土物实测图 (22)



201



0 (1:4) 10cm

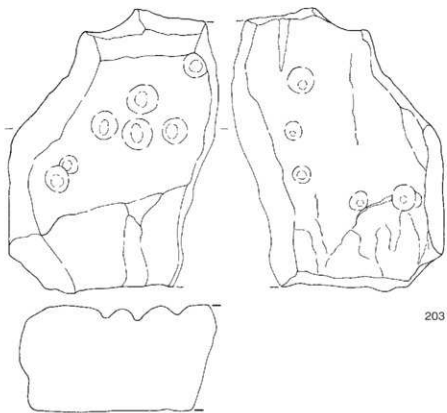


206

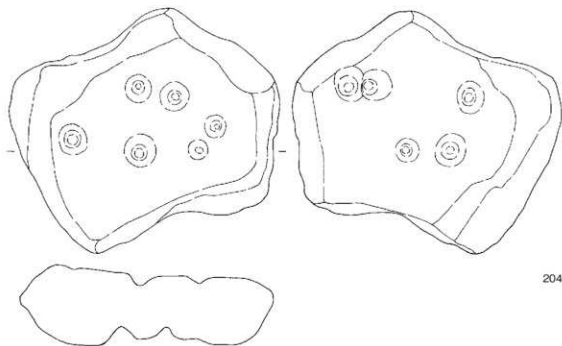


0 (1:3) 10cm

第419图 第4·5号遺物包含層第V層出土遺物实测图(23)



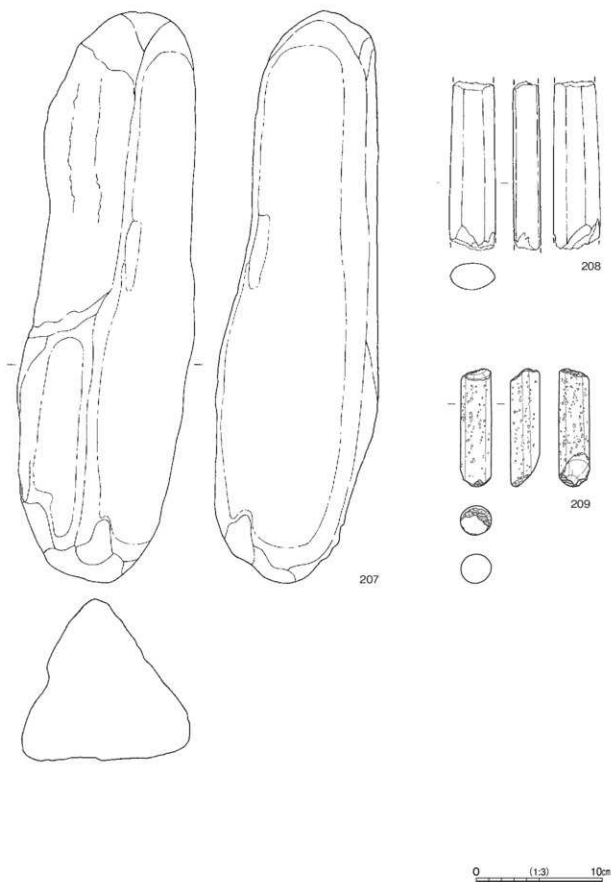
203



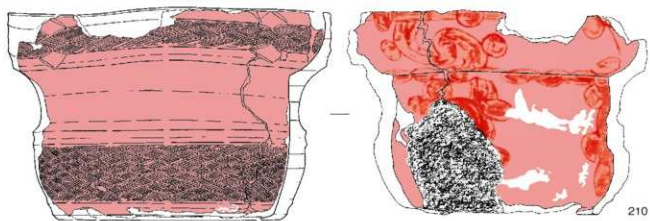
204

0 (1:3) 10m

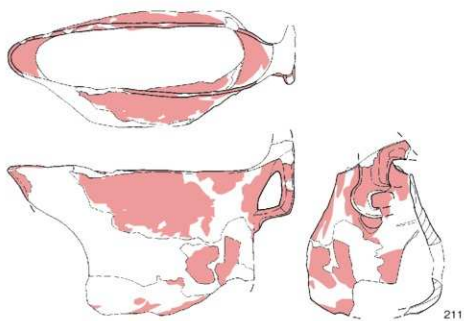
第 420 图 第 4·5 号道物包含层第 V 层出土道物实测图 (24)



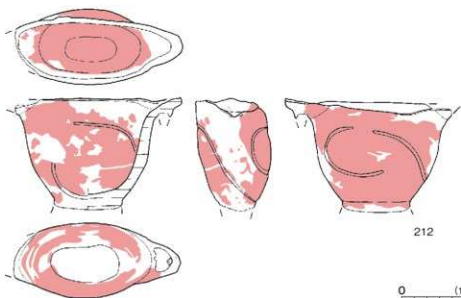
第 421 图 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (25)



210



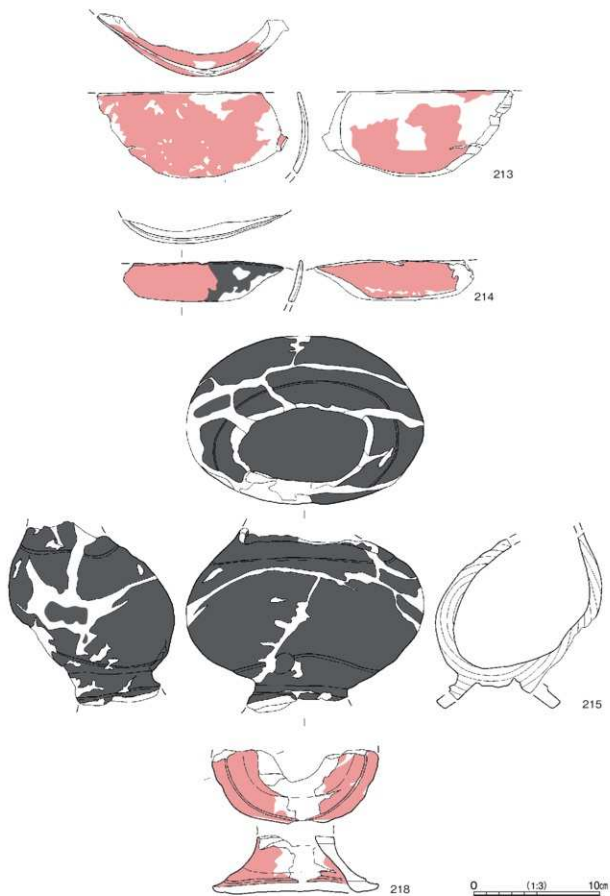
211



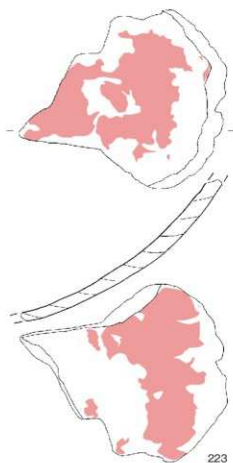
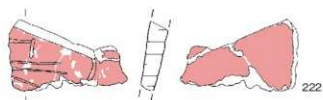
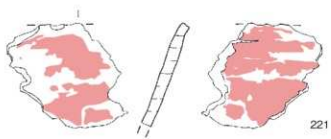
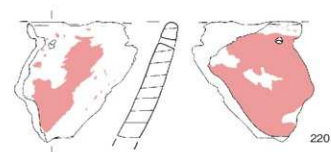
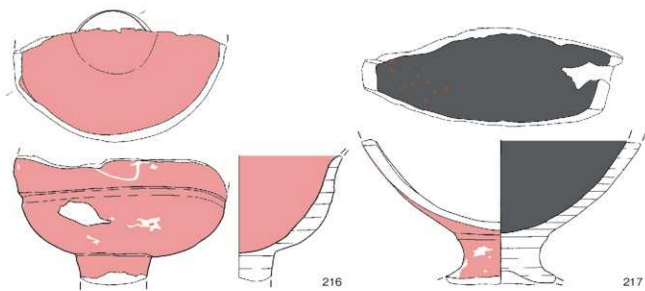
212

0 (1:3) 10cm

第 422 图 第 4·5 号遗物包含层第 V 层出土遗物实测图 (26)

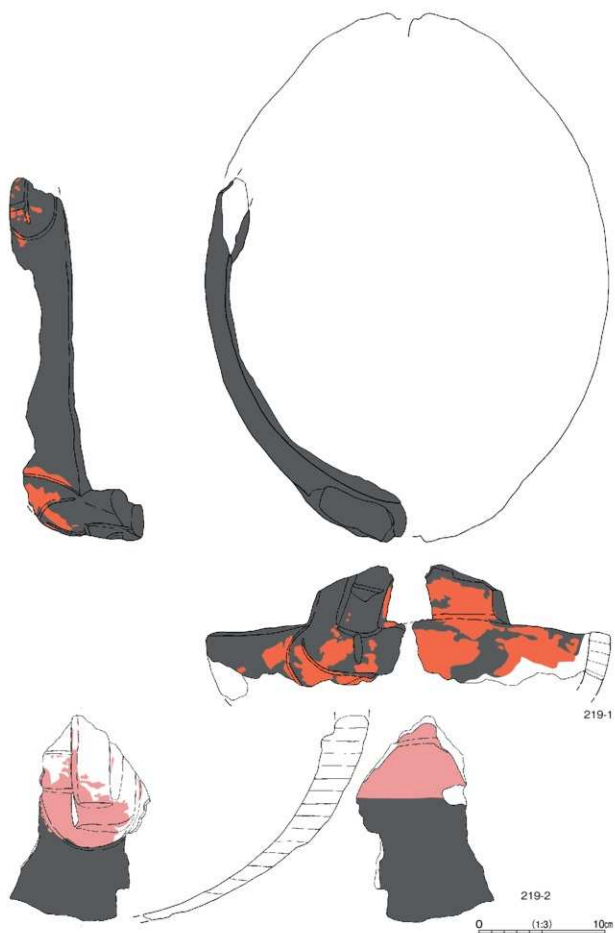


第423图 第4·5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(27)

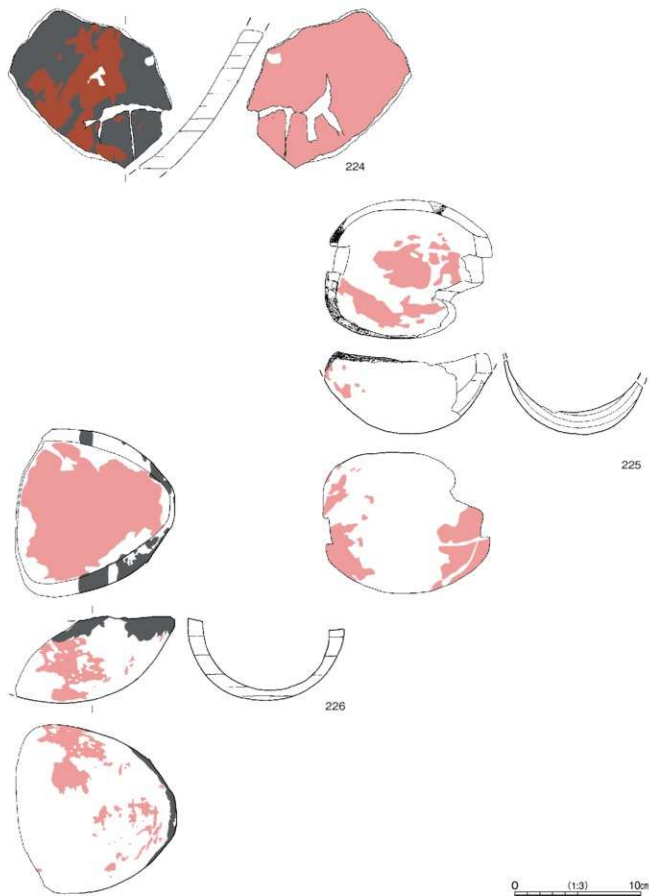


0 (1:3) 10cm

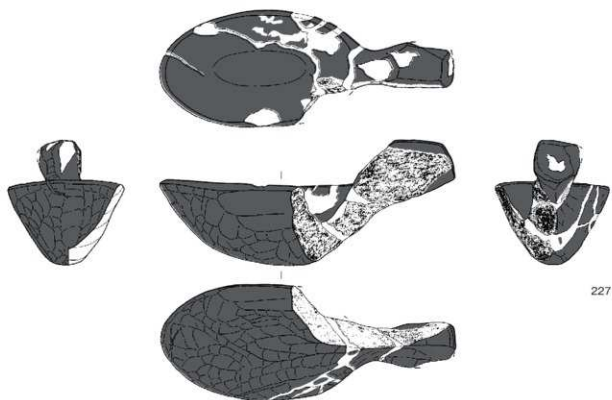
第 424 图 第 4·5 号遗物包含层第 V 层出土遗物实测图 (28)



第 425 图 第 4·5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (29)



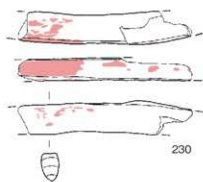
第 426 图 第 4·5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (30)



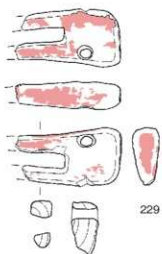
227



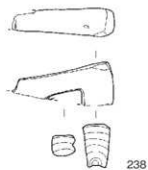
228



230



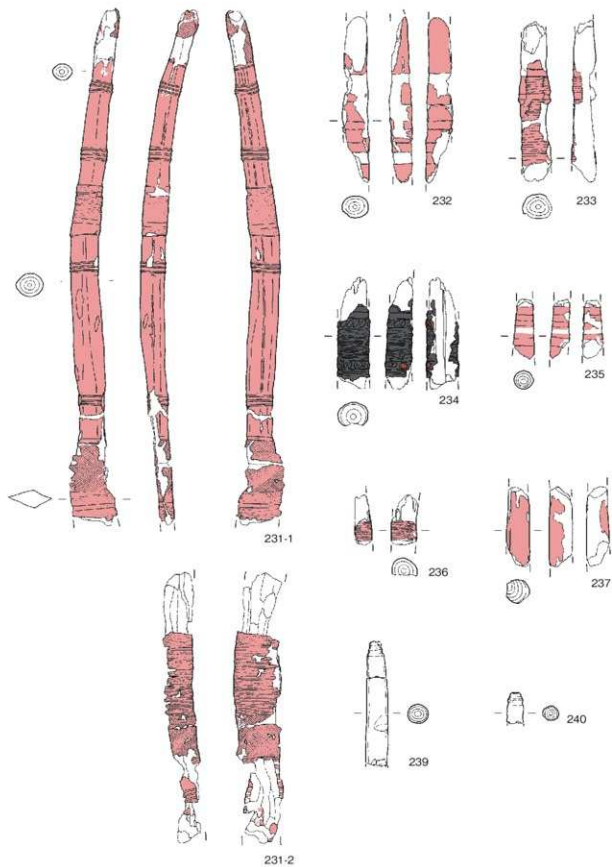
229



238

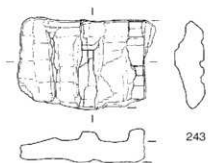
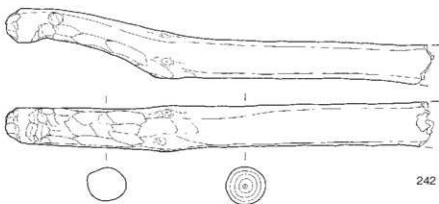
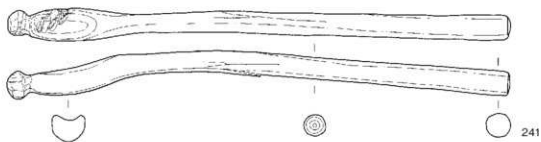
0 (1:3) 10cm

第 427 图 第 4·5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (31)

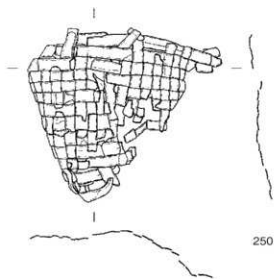


0 (1:3) 10cm

第 428 图 第 4·5 号道物包含层第 V 层出土道物实测图 (32)

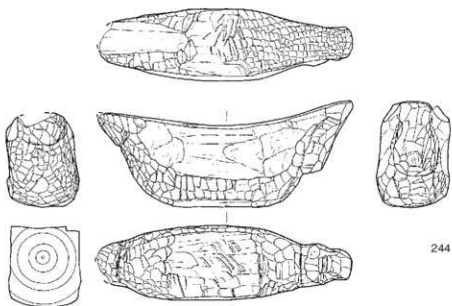


0 (1:3) 10m

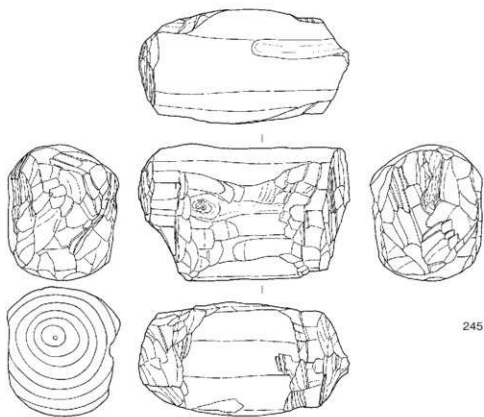


0 (1:2) 4m

第 429 图 第 4 · 5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (33)



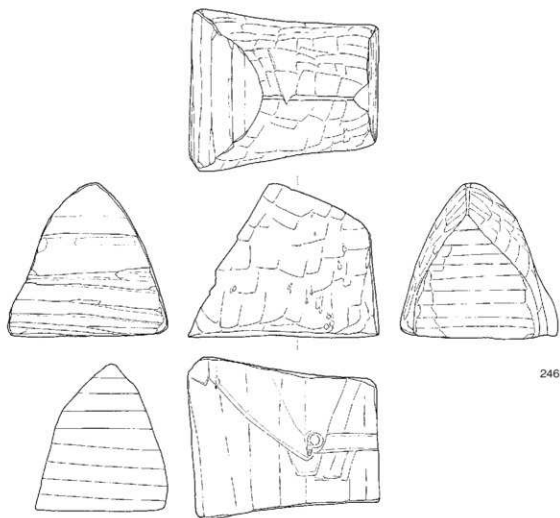
244



245

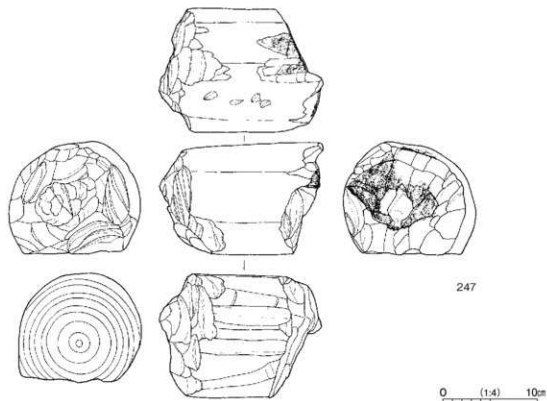
0 (1:4) 10cm

第 430 图 第 4·5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (34)



0 (1:4) 10cm

第 431 图 第 4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図 (35)



第 432 図 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (36)

第 249 表 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土未掲載土器集計表

群	第 1 群	第 2 群	第 3 群	第 4 群	第 5 群	第 6 群	第 7 群	第 8 群	第 9 群	第 10 群	第 11 群	第 12 群	第 13 群	合計								
類	有蓋 面平	浅平 鉢形	有蓋 深鉢 1式	有蓋 深鉢 2式	加飾 加彩 加文 加色 加文 加色 加文 加色	加飾 加彩 加文 加色	加飾 加彩 加文 加色	加飾 加彩 加文 加色	加飾 加彩 加文 加色	加飾 加彩 加文 加色	加飾 加彩 加文 加色	加飾 加彩 加文 加色	加飾 加彩 加文 加色	加飾 加彩 加文 加色								
点数	23	4	73	142	29	144	5	6	5	20	20	18	37	19	28	9	7,462	328	369	299	359	158
重量 (g)	422	291	2,391	4,218	1,163	3,902	158	130	328	848	961	720	1,468	477	372	160	20,428	6,937	15,030	6,619	11,104	4,064

群	第 9 群	第 10 群	第 11 群	第 12 群	第 13 群	合計																
類	有蓋 深鉢	有蓋 深鉢	有蓋 深鉢	有蓋 深鉢	有蓋 深鉢	有蓋 深鉢																
点数	38	894	6,821	7,061	1,414	139	169	107	16	50	16	12	1	1	3	23	2	6	21	36	-	26,607
重量 (g)	909	16,232	173,423	141,836	83,674	6,871	7,016	5,536	924	2,434	616	963	35	138	21	575	82	211	567	456	10,212	715,964

第 250 表 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物一覽 (第 397 ~ 432 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(58)	-	灰石・麻織	灰褐色	普通	外面縄文 LR → 半截竹管状工具による斜行文	L17 区 1 x	黒沢式
2	縄文土器	深鉢	-	(45)	-	灰石・石英・雲母	黒	普通	外面付加象 1 種 (RL + r と LR + 1) の羽状縄文	L17 区 4 x	黒沢式
3	縄文土器	深鉢	-	(56)	-	灰石	にがい黄	普通	外面貝殻文	L16 区 2 x	浮島式
4	縄文土器	深鉢	-	(70)	-	灰石・石英・雲母	黒灰	普通	キヤリバー形の口縁部に横状部手 初瀬原地域の渦巻状文・三角形印部 口唇部に環状の沈線と短柱状部	L17 区 4 x	PL122 五瀬 x 台式
5	縄文土器	深鉢	-	(49)	-	灰石・石英・雲母	黒灰	普通	除帯編みに凸形文 (除帯調整)	L17 区 4 x	阿玉台田式
6	縄文土器	深鉢	-	(65)	-	灰石・石英・雲母	黒灰	普通	液状口縁 液頂部内面に縦線連珠沈文を持つ C 字胎文	L15 区 2 x	阿玉台田式
7	縄文土器	深鉢	-	(68)	-	灰石・雲母	黒灰	普通	口唇部に縦線連珠沈文を持つ C 字胎付文 光沢別 突文による J 字文 内面磨き	L16 区 4 x	称名寺 II 式
8	縄文土器	深鉢	-	(90)	-	灰石・石英	黒灰	普通	沈線間に LR 縄文と刺突文を光沢 内面ナデ	L17 区 4 x	称名寺 II 式
9	縄文土器	深鉢	-	(67)	-	灰石・雲母	黒	普通	光沢別突文による J 字文 無文部・内面磨き	L15 区 4 x	称名寺 II 式
10	縄文土器	深鉢	-	(82)	-	灰石・石英・雲母	灰褐色	普通	口唇部に縦線連珠沈文 RL 地縄文 → 粘着文 → 沈線調整	L15 区 1 x	配之内 1 式
11	縄文土器	深鉢	-	(107)	-	灰石・石英	黒灰	普通	LR 地縄文 → 2 本 1 単位位の沈線文 内面ナデ	L15 区 2 x	PL122 配之内 1 式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
61	縄文土器	深鉢	-	(79)	-	長石・石英	灰褐色	普通	LR縄文→口縁部に沈線→口縁部磨き 焼成後穿孔孔の貫通孔1か所	L18R3x	後期前葉
62	縄文土器	深鉢	[25.5]	(18.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐色	普通	口縁部に伏い無文面 直前段反照し 縄織文	L16R3・4x	10% PL124 後期前葉
63	縄文土器	深鉢	-	(13.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	無筋 L 縄織文 下半削り	L8R2x	後期前葉
64	縄文土器	深鉢	[190]	(9.7)	-	長石・石英	灰黄褐色	普通	直前段反照の LR 下半削り	L16R2x	10% 後期前葉
65	縄文土器	深鉢	-	(12.5)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	LR縄文 外面魚け付着	L14R2x	PL124 後期前葉
66	縄文土器	深鉢	-	(14.7)	-	長石・石英	黒褐色	普通	LR縄文 内面磨き	L15R3x	後期前葉
67	縄文土器	深鉢	[17.0]	(14.3)	-	長石	黒	普通	LR縄文 外面魚け付着 内面磨き	L17R3x	10% 後期前葉
68	縄文土器	深鉢	[17.3]	(11.2)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	LR縄文 外面魚け付着 内面磨き	L16R3x	10% 後期前葉
69	縄文土器	深鉢	-	(17.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐色	普通	無筋 L 縄文 内面磨き 口縁部に凹線	L8R81x	10% PL125 後期前葉
70	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	無筋 L 縄文 外面全体に保存着 内面磨き 口縁部に沈線	L16R2x	後期前葉
71	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	RL縄文 内面磨き 口縁部に凹線	L14R3x	後期前葉
72	縄文土器	深鉢	[25.5]	(8.5)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	外面削り 魚け付着 内面粗い磨き	L17R1x	20% 後期前葉
73	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英	にぶい褐色	普通	外・内面磨き	L16R1x	後期前葉
74	縄文土器	深鉢	-	(17.2)	-	長石・石英	にぶい黄褐色	普通	外面 L 縄文 口縁部に微隆起文 内面磨き 口縁部に沈線	L15R2x	後期前葉
75	縄文土器	深鉢	-	(12.6)	-	長石・雲母	黒	普通	外面 L 縄文 口縁部に縄織文 魚け付着 内面磨き 口縁部に沈線	L15R2x	PL124 後期前葉
76	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英	黒褐色	普通	皮状凹線 口段多量の LR→縄織貼付 内面ナデ 口縁部に沈線	L15R2x	後期前葉
77	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐色	普通	外面 LR 縄文→縄織貼付 内面ナデ 口縁部に凹線	L15R1x	後期前葉
78	縄文土器	深鉢	-	(10.8)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	外面縄文文→格子目文→縄織貼付 内面磨き	LK3R1x	後期前中葉
79	縄文土器	深鉢	[19.6]	(11.5)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	外面格子目文→扇面磨き 内面磨き 口縁部沈線	L141x	20% PL125 後期前中葉
80	縄文土器	鉢	[27.5]	(16.7)	-	長石・石英	にぶい褐色	普通	外面部 L 縄文 地縄文→半截竹管状工具による内文→赤褐色内文 割部磨き 口縁部沈線	L18R・9x L16R2・4x	20% PL126 後期前中葉
81	縄文土器	鉢	[18.0]	(9.5)	-	長石・石英	灰褐色	普通	口縁部に隆起の突起 焼成前穿孔の貫通孔1か所 LR 地縄文→格子目文→扇面磨き 内面磨き 口縁部に沈線	L16R2x	20% PL125 後期前中葉
82	縄文土器	鉢	[26.9]	(13.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	口縁部が外反する外・内面磨き 内面口縁部に沈線	L8R・L18R 1x	20% 後期前中葉
83	縄文土器	鉢	27.3	25.0	9.0	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	口縁部磨文→沈線→刷目部 割部無筋 L 充填の赤褐色 内面口縁部に沈線	L8R53x	20% PL126 後期前中葉
84	縄文土器	鉢	[23.0]	(18.9)	-	長石・石英	灰黄褐色	普通	外面 L 縄文→刷目部 区切り文を持つ磨文文→RL 地縄文 割部磨き 内面磨き	LK2・LK3R 1x	20% PL125 加型粗目1式
85	縄文土器	鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐色	普通	口縁部に貼付文 6条の地縄文→無筋 L 縄文 内面磨き	L8R43x	後期前中葉
86	縄文土器	鉢	[20.7]	9.7	9.0	長石・石英・雲母	褐色	普通	4条の皮状凹線 磨面状工具による蛇行文 内面口縁部に凹線	L16R3x	20% PL123 後期前中葉
87	縄文土器	鉢	[20・12.4]	6.0	7.4	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	口縁部の一部に2条の粗い刺突列 外面削り後ナデ 内面ナデ	L15J1x	100% 後期前中葉
88	縄文土器	鉢	[24.0]	(10.1)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐色	普通	口縁部は山形突起1か所 口唇部に磨文連珠状文 外面 L 地縄文 内面粗い磨き	L17R3x	10% 後期前中葉
89	縄文土器	鉢	[15.8]	9.6	[7.9]	長石・石英	黒褐色	普通	口縁部に山形突起の突起 RL 縄文 内面磨き	L15R3x	50% PL125 後期前中葉
90	縄文土器	鉢	-	(16.2)	-	長石・石英	黄褐色	普通	LR縄文→口縁部に半截竹管状工具による沈線文 内面磨き	L17R2x	PL125 後期前中葉
91	縄文土器	鉢	[24.5]	(12.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	口縁部に沈線文 LR 縄文 内面磨き	LK6R1x	10% 後期前中葉
92	縄文土器	鉢	[31.0]	(16.6)	-	長石・石英	灰褐色	普通	口唇部外側がナデ 外面 LR 縄文 内面磨き	L15R3x	20% PL125 後期前中葉
93	縄文土器	鉢	[12.5]	6.9	6.0	長石・石英・雲母	黒	普通	口縁部常規1か所(割部) 外・内面無文 磨き調整 内面口縁部に沈線	L18R1・2x	20% 後期前中葉
94	縄文土器	鉢	[18.0]	(8.1)	-	長石・石英・雲母	オレンジ褐色	普通	口縁部に焼成後に換り 直前段反照の LR 内面ナデ	LK3R2x	後期前葉
95	縄文土器	鉢	-	(8.4)	-	長石・石英	にぶい黄褐色	普通	口縁部磨線 外・内面削り	L17R4x	20% 後期前葉
96	縄文土器	鉢口土器	[12.7]	9.7	[10.6]	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	外面縦位の削り 内面粗い磨き	L14R3x	10% 後期前葉
97	縄文土器	鉢口土器	(6.5)	(5.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	縦位の鉢口土器 隆起起による文線露出 懸垂孔 1か所 赤彩	L14R4x	10% 後期前葉
98	縄文土器	浅鉢	-	(11.5)	-	長石・石英	にぶい褐色	普通	液厚部に貫通孔 短く内照した口縁部に磨文と沈線→刷目部 割部 RL 縄文 内面磨き	L16R2・3x	後期前中葉
99	縄文土器	浅鉢	[29.3]	(13.0)	-	長石・石英	にぶい褐色	普通	外面 LR 縄文 内面口縁部に凹線 磨文調整	L16R2x	20% PL125 後期前中葉
100	縄文土器	浅鉢	[32.8]	13.0	[11.0]	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	外・内面無文 磨き調整 内面口縁部に沈線	LK6R1x	20% 後期前中葉
101	縄文土器	浅鉢	[28.5]	(8.3)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	外・内面無文 磨き調整 内面口縁部に沈線	LK2・L15R 1・2x	10% 後期前中葉
102	縄文土器	浅鉢	-	(9.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	外面無文 磨き調整 口唇部にねじれ棒状と高巻文 地文の意匠突起 内面に沈線文 磨き調整	LK3R2x	PL125 後期前中葉
103	縄文土器	浅鉢	-	(10.4)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	外面無文 磨き調整 内面沈線文 口唇部に沈線	LK4R1x	後期前中葉
104	縄文土器	浅鉢	[10.3]	(4.5)	4.7	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	3単位の皮状凹線 外面 RL 縄文 内面口縁部沈線 皮部削りノの字文 磨き調整	LK4R1x	PL126 加型粗目1式
105	縄文土器	浅鉢	9.5	5.3	3.8	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	外面 LR 縄文 内面磨き	L8R81x	20% PL126 後期前中葉
106	縄文土器	台付鉢	-	(6.7)	8.6	長石・石英・雲母	褐色	普通	台部 外面 RL 縄文 内面ナデ	L15R1x	後期前中葉
107	縄文土器	壺	[12.8]	(6.9)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	外面 LR 地縄文文による高巻状の文様 内面竹管状文 磨文の磨付付 内面ナデ	L16R1x	後期前葉

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
108	縄文土器	壺	(17.5)	(10.4)	-	長石・石英・白色 灰質質	灰黄緑	普通	4単位位の横状把手 胴部隆起による溝巻状の文様	LJ6R11	20% PL126 壺之内1式
109	縄文土器	壺	-	(9.1)	-	長石・石英	にぶい黄	普通	8の字の横状部 口径部に黄文流文 横状部から 横状部まで 胴部は巻文	LJ6R11	壺之内1式
110	縄文土器	壺	-	66.0	-	長石・石英	黒灰青	普通	外面に緑部集合流文文 胴部内を飾り 胴部地味 +集合流文 内面に黒丸 口径部に黒丸	LJ5R3	壺之内1式
111	縄文土器	壺	3.5	8.0	2.8	長石・石英	黒灰青	普通	口径部に黒丸 胴部に把手 外面全面赤漆 内面 口径部赤色顔料残存	LJ4R4	95% 壺之内式併行
112	縄文土器	壺	-	55.5	-	長石・石英・雲母	黒灰青	普通	外面無文 磨き調整 フラフツイかな 内面ナテ 焦り付着	LJ8R3	壺之内併行
113	縄文土器	蓋	長さ 8.4	幅 8.0	厚さ 1.9	長石・石英	灰黄緑	普通	把手欠損 器面ナテ成形 内面に磨耗あり	LJ5R3	90% 後期前半
114	縄文土器	蓋	長さ 4.8	幅 7.3	厚さ 1.4	長石・石英	にぶい黄	普通	横状把手欠損 外・内面ナテ調整	LJ8R11	90% 後期前半
115	縄文土器	蓋	長さ 7.9	幅 7.9	厚さ 2.0	長石・石英	黒灰青	普通	つまみ状の把手欠損 外・内面ナテ調整	LJ6R11	90% 後期前半
116	縄文土器	注口土器	-	(12.6)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	にぶい黄	普通	黄文流流文の横状把手 口径部短く外反 胴部上手 L.R.流文 注口部・把手部凹部削り消し 胴部下巻文	L16-L133 4	40% 壺之内1式
117	縄文土器	注口土器	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄	普通	黄文流流文の横状把手	LJ2R2	壺之内1式
118	縄文土器	注口土器	-	(7.9)	-	長石・石英	黒灰青	普通	上部に貫通孔のある横状把手 磨き調整	LJ5R2	加賀B1式
119	縄文土器	注口土器	-	(6.8)	-	長石・石英	にぶい黄	普通	裾べら状の把手 短く立ち上がり口径部 把手・ 胴部にL.R.黄流文で支障流文	LJ6R2	壺之内2式
120	縄文土器	注口土器	-	(8.9)	-	長石・石英・赤色 粘土	にぶい黄	普通	舟形状 把手部に沈線刷刻文で渦巻文 無文部磨き	LJ8R11	20% 壺之内2式
121	縄文土器	注口土器	-	(4.8)	-	長石・石英	黒灰青	普通	把手部分に黄文流文の巻 口径部に2巻の縦かき刷刻文 手付管状工具による集合流文 無文部磨き	LJ5R2	壺之内2式
122	縄文土器	注口土器	-	(15.3)	-	長石・石英	にぶい黄	普通	注口部に刷刻した平手状付文と縦線文 無文部磨き 外面に赤漆塗布	LK5R2	10% 壺之内2式
123	縄文土器	注口土器	-	(5.9)	-	長石・石英	にぶい黄	普通	鉢形の注口土器 L.R.磨消流文	LK5R4	称名寺1式
124	縄文土器	注口土器	(7.4)	15.5	(8.0)	長石・石英	黒灰青	普通	口径部に横状文+巻文 胴部に7-9巻の縦文-刷刻 流文の縦文区画9単位 磨後の横状文を完成する部分あり	LK3R1・2	30% PL123 壺之内2式
125	縄文土器	注口土器	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	注口部欠損 胴部L.R.光塊の三角文	LJ5R2	壺之内2式
126	縄文土器	注口土器	-	(5.1)	-	長石・石英	黒灰青	普通	胴部に3巻の刷刻文 胴部磨消状工具による渦巻文	LJ4R1	加賀B1式
127	縄文土器	注口土器	-	(8.7)	5.5	長石・石英・雲母	灰黄緑	普通	台付 外面無文 丁寧な磨き調整 胴部に4単位位の 刷刻付	L13-L131 1	70% PL130 加賀B1式
128	縄文土器	舟形土器	-	(5.0)	-	長石・石英	にぶい黄	普通	外・内面丁寧な磨き	LJ7R4	50% PL126 後期前半
129	縄文土器	「ヒメツリ」 土器	(6.8)	5.4	4.0	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	にぶい黄	普通	外・内面ナテ	LJ6R3	60% 後期
130	縄文土器	「ヒメツリ」 土器	7.0	4.8	5.8	長石・石英	にぶい黄	普通	外・内面凹部によるナテ	LJ5R11	90% PL126 後期前半
131	縄文土器	深鉢	-	(11.1)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	流線部にL.R.光塊の縦巻状刷消流文 無文部磨き 内面磨き	LJ5R11	10% 実行2式
132	縄文土器	壺	-	(7.3)	-	長石・石英	黄灰青	普通	胴部L.R.縦文帯と横状隆部 胴部にL.R.光塊の平歯状文	LJ5R1	大淵B1式
133	縄文土器	壺	-	(4.5)	-	長石・雲母	にぶい黄	普通	鉢に片状の注口部が付いた形状 L.R.磨消流文4段	LJ5R1	実行1式
134	縄文土器	舟形舟形 土器	[4.0]	(3.0)	-	長石・石英	にぶい黄	普通	口径部無文 胴部に通し孔3か所縦線 胴部底に磨消流 上下に無施し横文と4巻1単位位の沈線による縦区画	LJ5R1	20% 実行2式
135	縄文土器	浅鉢	-	(3.2)	-	長石・石英	灰黄緑	普通	外・内面赤漆塗布 磨後のため内面	LJ4R4	壺之内2式
136	縄文土器	壺	(11.0)	(16.1)	-	長石・石英	にぶい黄	普通	胴部下を縦線で縦区画 縦線の縦文2巻で縦区画 横状部1か所 区画内集合流文 外・内面黒漆塗布	L16・7-L1 7R1-11	10% PL127 後期後半
137	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石英	黒	普通	外面L.R.縦文 外・内面黒漆塗布	LJ5R2	PL127 後期後半
138	縄文土器	鉢	-	(9.4)	-	長石・石英	にぶい黄	普通	外面L.R.地縄文→三角文 外・内面黒漆塗布	LJ5R2	20% PL127 壺之内1式
139	縄文土器	注口土器	-	(4.0)	-	長石・石英・雲母	灰黄緑	普通	挟り込むような沈線による入り組み帯状文 外面 に赤漆塗布	LJ5R1	加賀B1式 東北古
140	縄文土器	漆容器	(5.6)	(5.9)	-	長石・石英	にぶい黄	普通	口径部に突起 外面ナテ後漆塗布 内面赤漆→ 黒漆塗布 横状に漆塊が付着	LJ6R4	10% PL127 後期前半
141	縄文土器	漆容器	-	(14.7)	6.2	長石・石英・雲母	にぶい黄	普通	外面平砥管管状工具による磨消文 内面縦状の 漆層付着	LJ2-L1 13R2-11	30% PL127 壺之内1式
142	縄文土器	漆容器	-	(6.5)	5.6	長石・石英・雲母	黒灰青	普通	外面磨き 内面縦状に漆層付着	LJ6R2	20% PL127 壺之内1式

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
143	土偶	(5.4)	(4.0)	(4.0)	(57.6)	長石・雲母	灰黄	ハート形 頭部片 隆部による眉・鼻 円形刷刻 による口 背面胎子目文 横状部は欠損	LJ8R2	PL127 後期後半
144	土偶	(6.6)	(4.7)	(2.8)	(62.1)	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	にぶい黄	ハート形 頭部片 顔面表現省略 胴部 無文 文中小突起は胎子目による	LJ4R1	PL127 後期後半
145	土偶	(7.8)	(2.9)	(2.7)	(62.2)	長石・石英	にぶい黄	ハート形 胴部片 前面方形 左胸欠損 正中線 は沈線 下腹部分は接合痕	LJ5R3	後期前半
146	土偶	(5.5)	(7.5)	(3.1)	(67.7)	長石・石英	にぶい黄	山形 頭部片 眉の隆部以外刷消文 顔面縦状の突起 痕 無文流文	LJ5R1	後期後半
147	土偶	(4.2)	(5.7)	(1.5)	(23.9)	長石・石英・雲母	灰白	ミミズク形 頭部片 輪郭は細み隆部 眉・鼻・目 を淡黄塗布 口は刷消文で四角状 磨成中心や不具合	LJ5R1	PL127 後期後半
148	土偶	(10.1)	(5.8)	(2.8)	(140.6)	長石・石英・雲母	黒灰青	山形 胴部片 顔面輪郭に沿ってL.R.磨消流文 L.R.地縄文 胴部2巻沈線による横帯文 背面渦巻文	LJ5R1	PL127 後期後半
149	耳飾り	4.2	5.9	1.9	34.6	長石・石英	にぶい黄	滑車形 胎付と押圧による成形 器面磨き	LJ5R1	1式
150	有孔円盤	9.3	5.3	(2.9)	(143.1)	長石・石英	灰黄緑	縦線文と円形刷刻文 器面磨き調整	LK5R3	1式
151	土片断	4.7	2.5	1.9	25.0	長石・石英	にぶい黄	有溝 中央に焼成前穿孔1か所	LJ7R3	1式
152	土片断	6.5	6.7	1.4	67.6	長石・石英	灰黄	称名寺1式深鉢胴部片利用 刷消流文	LJ6R3	称名寺1式

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
153	打石磨	3.6	1.2	0.7	1.9	頁岩	小型の縦長薄片を素材とし、背面の基部・両側縁部に磨直し加工	LJ4R1x	PL128
154	尖頭磨	(5.6)	1.8	0.7	(6.3)	チャート	木彫形 基部欠損 両面調整	LJ6R1x	PL128
155	石磨	1.8	1.5	0.3	0.5	チャート	円盤無縁磨	L12R1x	PL128
156	打製石斧	(11.3)	10.9	5.5	(867.0)	流紋岩	上下端に両面加工の刃部	LJ5R3x	
157	打製石斧	(8.3)	7.9	3.1	(203.6)	安山岩	分銅形 柄れ部に摩耗痕 被熱	LJ5R4x	PL128
158	打製石斧	(8.6)	7.4	2.4	(181.9)	安山岩	分銅形 刃部背面は直線加工なし	LJ4R2x	PL128
159	打製石斧	(9.3)	6.4	2.4	(158.4)	安山岩	分銅形 柄れ部に摩耗痕 被熱	LK4R2x	PL128
160	打製石斧	(5.8)	7.5	2.6	(113.9)	安山岩	分銅形 被熱*	LH8R3x	
161	打製石斧	(6.0)	6.7	2.2	(111.3)	安山岩	分銅形* 刃部のみ両面加工 他は加工無し	LH7R1x	
162	打製石斧	(7.5)	5.6	1.7	(76.3)	安山岩	分銅形* 柄れ部に摩耗痕	LJ5R4x	
163	打製石斧	(6.2)	5.8	2.4	(88.1)	チャート	分銅形* 右側縁部調整後細かい敲打	LJ5R2x	
164	磨製石斧	(12.5)	(6.8)	3.5	(418.9)	流紋岩	定角式 基部欠損 刃部に割線痕	L16R1x	PL128
165	磨製石斧	(8.2)	(5.3)	3.3	(197.0)	流紋岩	定角式 基部欠損 刃部に古い割線→研磨	L15R1x	PL128
166	磨製石斧	(8.0)	(5.0)	(3.2)	(142.8)	安山岩	定角式 刃部欠損 頭部に細かい敲打痕 被熱	LH7R1x	
167	磨製石斧	(3.2)	(2.4)	(1.2)	(166.8)	流紋岩	小型 丁寧な研磨	LJ4R1x	PL128
168	石磨	(27.0)	(18.2)	(11.6)	(3883.1)	安山岩	表面磨り面 縁辺部に凹痕 裏面凹痕 被熱	L1E13R3 上・下	
169	石磨	(18.5)	(19.7)	6.9	(2066.8)	安山岩	表面磨り面+凹痕 裏面凹痕 被熱	L15R2x	PL128
170	石磨	(15.1)	(16.0)	6.7	(1335.5)	安山岩	表面磨り面+凹痕 被熱	LJ4R1x	
171	石磨	(17.9)	(12.7)	4.9	(1222.0)	安山岩	表面磨り面+凹痕 裏面凹痕	L16R1x	
172	石磨	(14.0)	15.6	5.5	(1136.6)	安山岩	短辺弧状となる長方形 表面磨り面+凹痕 裏面凹痕 被熱	L15R2x	PL128
173	石磨	(16.3)	(10.1)	3.7	(709.5)	安山岩	表面磨り面+凹痕 裏面凹痕 被熱	L17R3x	
174	石磨	(14.8)	(9.7)	4.6	(517.0)	安山岩	方形縁あり 脚付き 表面磨り面 光沢のある研磨痕 裏面凹痕	LJ5R1x	
175	石磨	(12.4)	(10.5)	(6.3)	(758.0)	安山岩	方形縁あり 脚付き 表面磨り面+凹痕 裏面凹痕	L17R1x	
176	石磨	(9.6)	(9.5)	7.2	(303.4)	安山岩	表面磨り面 縁辺部に凹痕 裏面凹痕 被熱	L16R1x	
177	磨石	15.3	10.8	4.1	987.9	安山岩	表裏面に磨り面+敲打痕 下端・両側面に敲打痕	L15R3x	
178	磨石	7.6	7.6	3.9	364.6	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩耗痕 被熱	LJ5R1x	
179	磨石	10.7	7.5	3.6	351.9	安山岩	表裏面に敲打痕 両側縁・下端面敲打痕	LJ5R1x	
180	磨石	9.9	7.2	4.5	470.3	砂岩	表裏面敲打痕+光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩耗痕	L16R2x	
181	磨石	8.8	8.0	4.2	389.5	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕	LH8R3x	
182	磨石	6.8	7.0	4.3	324.6	アブライト	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩耗痕 被熱	L16R1x	
183	磨石	6.9	6.9	4.0	275.0	安山岩	表面光沢のある磨り面+敲打痕 上下・下端・左側面ざらつきのある摩耗痕 右側面敲打痕 被熱	L15R1x	
184	磨石	7.0	7.0	3.4	242.7	砂岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩耗痕 被熱	LJ4R1x	
185	磨石	6.2	6.1	3.5	187.6	安山岩	表裏面やや光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩耗痕	LJ5R1x	
186	磨石	5.5	5.4	4.0	149.4	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩耗痕 被熱	L15R1x	
187	磨石	5.7	5.3	3.8	173.9	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩耗痕 両側縁・下端面敲打痕 被熱	LJ5R4x	
188	磨石	7.5	4.9	3.6	192.5	砂岩	全体を丁寧に研磨 赤色顔料付着	LJ4R1x	
189	敲石	13.0	8.5	4.4	806.2	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+凹痕 両側縁に凹痕→周縁ざらつきのある摩耗痕	L15R2x	
190	敲石	(9.1)	8.5	5.4	(629.7)	安山岩	表裏面・周縁ざらつきのある磨り面+凹痕 被熱	L15R3x	
191	敲石	10.2	6.6	4.5	494.3	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面+凹痕 左側縁部光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩耗痕で左側縁部・下端面に敲打痕	LJ5R2x	
192	敲石	10.5	7.9	4.8	466.9	安山岩	表裏面ざらつきのある磨り面+凹痕 周縁ざらつきのある摩耗痕 左右両側縁部に凹痕 被熱	L16R1x	
193	敲石	10.0	7.7	4.0	437.1	ホルンフェルス	表裏面に敲打痕 左側縁部にざらつきのある摩耗痕 全体的に被熱している	LJ5R2x	
194	敲石	(8.5)	6.4	3.6	(310.8)	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面+敲打痕 両側縁部ざらつきのある摩耗痕 被熱	L15R2x	
195	敲石	9.1	7.0	5.3	255.1	安山岩	表裏面ざらつきのある磨り面+凹痕 上下端ざらつきのある摩耗痕 両側縁部敲打痕	L17R3x	
196	敲石	9.0	5.9	4.0	246.5	安山岩	表裏面ざらつきのある磨り面+凹痕 両側縁部被熱	L16R1x	
197	敲石	8.4	5.9	3.6	249.1	安山岩	表裏面ざらつきのある磨り面+凹痕 周縁ざらつきのある摩耗痕	LK4R2x	
198	敲石	6.4	5.8	3.8	133.9	安山岩	表裏面ざらつきのある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩耗痕 被熱	L16R1x	
199	敲石	(12.2)	4.3	4.1	(232.8)	花崗岩	石棒の転用 3面と下端面に敲打痕	LJ5R4x	
200	石錘	4.1	1.9	1.5	13.7	砂岩	有溝 十字	LJ4R1x	
201	凹石	(53.4)	19.4	16.4	(1780.0)	花崗岩	大形石棒の転用	LJ7R1x	
202	凹石	(24.5)	(15.5)	12.5	(667.7)	花崗岩	大形石棒の転用 表裏面に凹痕	L16R4x	PL128
203	凹石	(22.6)	(16.8)	8.5	(473.3)	花崗岩	表裏面とも磨り面+凹痕	LK5R1x	

番号	器種	長さ	幅	高さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
204	四石	(19.3)	(22.5)	6.5	(3227)	雲母片岩	表裏面に凹痕 磨滅	LJ5R1s	
205	四石	(14.6)	(9.8)	8.1	(1367)	花崗岩	表面凹痕 裏面磨り面と凹痕	L17R1s	
206	四石	(11.8)	(15.7)	5.2	(1268)	雲母片岩	表裏面に凹痕 磨滅	L17R1s	
207	砥石	45.4	14.3	12.8	9880	緑色片岩	両端部整形 研磨痕は不明瞭	LK4R1s	PL128
208	石剣	(13.3)	3.8	2.1	(1849)	緑色片岩	研磨整形	L14R1s	
209	石棒	9.4	2.5	2.3	897	長石質片岩	表面に細かい敲打の整形痕	L17R1s	

番号	機別	器種	長さ	幅	器高	材質	特徴	出土位置	備考
210	漆器	鉢	口径 (25.7)	(16.8)	18.7	サクワ属	横木取り 口縁部・胴部外面対向する半月形の筋目を交互に組み合わせた変形の小区溝 局部内縁側を黄方向に突出 口縁部に、下への斜めの突起部(2か所) (4単位) 内縁部の凹文を付入り組み文 裏面縁部の突起部(2か所) 外・内面赤漆塗布 外面黄文赤漆による屈曲	LJ4R2s	PL129 IB-2809
211	漆器	老朽付鉢	(22.6)	(9.2)	(13.9)	サクワ属	芝無し 横木取り 外・内面赤漆塗布	LJ5R2s	PL130 IB-2808
212	漆器	老朽付鉢	(13.0)	6.0	(9.0)	サクワ属	横木取り 把手部突頂 古部磨り出し 沈痾による入組文 外・内面赤漆塗布	LH8R1s	PL131 IB-2821
213	漆器	老朽付鉢	(15.2)	(5.0)	(6.8)	イヌギヤ	芝持ち 横木取り 外・内面黒漆塗布 赤漆塗布	LJ6R2s	PL130 IB-2806
214	漆器	片口鉢	(12.3)	(2.0)	(3.3)	イヌギヤ	横木取り 外・内面黒漆塗布 赤漆塗布 2/3と同→	L16R2s	PL131 IB-2813
215	漆器	脚付鉢	(18.8)	(13.4)	(14.6)	トノノキ	芝持ち 横木取り 内湾干志帯状の脚部 脚部磨り出し 口縁部・脚部・胴部の境を波紋で表現 外・内面黒漆塗布	LJ5R3s	PL130 IB-2796
216	漆器	脚付鉢	(16.9)	(10.4)	(10.3)	サクワ属	横木取り 脚部片 高杯状の彫形 外・内面赤漆塗布	LJ4R3s	PL130 IB-2795
217	漆器	脚付鉢	(22.0)	(7.8)	(11.6)	サクワ属	横木取り 高杯状の彫形 外面赤漆・内面黒漆塗布	LJ5R2s	PL130 IB-2814
218	漆器	脚付鉢	(13.2)	(5.8)	(4.6)	サクワ属	横木取り 高杯状の彫形 外・内面赤漆塗布	LJ5R2s	PL130 IB-2794
219	漆器	鉢	(28.7) (17.8)	(15.8) (11.0)	(16.6) (16.4)	サクワ属	横木取り 大型の口縁部片 胴部を長手方向に把手下2か所対向方に扇風の突起 4突起 外・内面黒漆塗布 赤漆塗布	LJ18R2s	PL131 IB-2819、2820
220	漆器	鉢	9.8	(4.9)	(9.6)	サクワ属	横木取り 大型鉢の口縁部片 穿孔1か所 外・内面赤漆塗布	LJ7R1s	PL131 IB-2812
221	漆器	鉢	9.6	(3.2)	(8.3)	サクワ属	横木取り 大型鉢の口縁部片 外・内面赤漆塗布	LJ5R4s	PL131 IB-2816
222	漆器	鉢	9.4	(2.2)	(5.7)	サクワ属	横木取り 大型鉢の胴部片 扇風の突起 外・内面赤漆塗布	LJ7R1s	PL131 IB-2811
223	漆器	鉢	(16.5)	(14.0)	(16.1)	サクワ属	横木取り 大型鉢の胴部片 外・内面赤漆塗布	LJ5R4s	PL131 IB-2817
224	漆器	鉢	9.8	(12.8)	(12.6)	サクワ属	横木取り 大型鉢の胴部片 外・内面黒漆塗布 赤漆塗布	LJ6R1s	PL131 IB-2807
225	漆器	鉢	(13.3)	(11.0)	(6.4)	イヌギヤ	横木取り 丸底輪状 外・内面赤漆塗布 一部灰化	L17R1s	PL131 IB-2822
226	漆器	鉢	(12.7)	(13.3)	6.9	イヌギヤ	横木取り 丸底輪状 外・内面黒漆塗布 口縁部に漆塗布痕	LH8R1s	PL131 IB-2823
227	漆器	杓子	23.5	9.2	10.0	サクワ属	芝無し 横木取り 磨り加工 外・内面黒漆塗布 一部灰化	LJ5R3s	PL132 IB-2807
228	漆器	杓子	(11.1)	(5.8)	(2.3)	イヌギヤ	横木取り 杓子底部片 外・内面黒漆塗布	LJ6R2s	PL132 IB-2806
229	漆器	把手	8.4	2.3	4.5	シキミ	横木取り 四孔・方形透かし 外面赤漆塗布	LJ7R3s	PL132 IB-2826
230	漆器	把手	(13.9)	1.9	2.2	シキミ	横木取り 断面三角形 外面赤漆塗布	LJ7R4s	PL132 IB-2815
231	漆器	輪付	(42.0) (21.4)	(3.8) (3.8)	(1.9) (2.4)	ニシキギ属	芝持ち丸木 樹糸巻きによる多条の横線・多条の縦線・柄子状の突起 全面赤漆塗布	L16R1s	PL132 IB-2801、2802
232	漆器	輪付	(13.2)	(2.2)	(1.8)	ニシキギ属	芝持ち丸木 四線 全面赤漆塗布	LJ6R3s	PL132 IB-2786
233	漆器	輪付	(12.7)	(2.7)	(1.9)	ニシキギ属	芝持ち丸木 樹糸巻きによる多条の横線 全面赤漆塗布	LH8R4s	PL132 IB-2803
234	漆器	輪付	8.9	(2.7)	(2.2)	ニシキギ属	芝持ち丸木 樹糸巻きによる多条の横線 同点文 全面黒漆塗布 一部割磨箇所 下地の赤漆みられる	LJ5R4s	PL132 IB-2804
235	漆器	輪付	(4.7)	(1.7)	(1.6)	ニシキギ属	芝持ち丸木 四線 全面赤漆塗布	LJ6R1s	PL132 IB-2809
236	漆器	輪付	(4.0)	(2.1)	(1.4)	ニシキギ属	芝持ち丸木 樹糸巻きによる多条の横線 全面赤漆塗布	LJ7R1s	PL132 IB-2799
237	漆器	輪付	(6.4)	(2.0)	(1.9)	ニシキギ属	芝無し 磨り出し 全面赤漆塗布	LH8R1s	PL132 IB-2797
238	木器	把手	8.2	(2.3)	(3.6)	ツゲ	芝無し 磨り出し 三角形透かし 丁寧な研磨	LH9R1s	PL132 IB-2825
239	木器	弓	(10.0)	1.8	1.5	ニシキギ属	芝持ち丸木 胴部	LK5R1s	PL132
240	木器	弓	(2.6)	1.4	1.2	ニシキギ属	芝持ち丸木 胴部	LJ6R1s	PL132
241	木器	榎付鉢	39.8	3.8	2.7	イヌギヤ	芝持ち丸木 円形瘤状の磨り出し 端部平坦に加工	L14R1s	PL132 IB-2824
242	木器	榎付鉢	(33.9)	4.0	5.6	イヌギヤ	芝持ち丸木 部分的な磨り加工	LJ5R2s	PL132 IB-2827
243	木器	不明	(11.0)	7.4	2.7	不明	横木取り 磨り出しによる凸部3か所	LJ7R4s	PL132
244	木器	未成型	26.9	7.9	9.9	イヌギヤ	把手付片口鉢カ 芝持ち丸木 横木取り 微細な磨り調整	L16R4s	PL133 IB-2793
245	木器	未成型	22.4	14.4	12.0	イヌギヤ	把手付片口鉢カ 芝持ち丸木 横木取り 粗い磨り整形	L16R2s	PL133 IB-2789
246	木器	加工木	20.2	17.2	16.4	カヤ	新材 葉い削りにより三角柱状に整形	LJ7R2s	PL133 IB-2790
247	木器	加工木	17.3	12.0	13.1	イヌギヤ	芝持ち丸木 両端浅採痕 端部一部灰化	LJ7R3s	PL133 IB-2791
248	木器	加工木	14.5	7.8	8.2	イヌギヤ	芝持ち丸木 両端浅採痕	LJ5R4s	PL133 IB-2792
249	編組製品	編斗状	4.2	3.5	3.3	タテヤブタ科 コトコシ科 コトコシ科	タテヤブタ科の部部を留めたタテヤブタに菓子類植物からなる石寄りの紐を編み込んで成形し、表面に砂粒を含む漆塗布	L16R4s	PL132 IB-2804
250	編組製品	奈良型鉢	(10.3)	(9.2)	-	サクワ属	脚皮紐 テーパ状 (幅6.0-7.5mm 平均7.0mm 厚さ0.5mm) 4つ目(行)を編み	LJ7R1s	PL132
251	編組製品	不明	(6.3)	(2.7)	1.8	サクワ属	脚皮紐 テーパ状 (幅6.0-7.0mm 厚さ1.0-1.5mm 残存長さ12cm) 紐目あり	L17R1s	PL132 IB-2805

※ 備考には、[年報] 第15号 (絶代) 2017の試料番号を記載した。

3 その他の遺構と遺物

(1) 火葬施設

第2号火葬施設 (第433図 PL35)

位置 調査I区のF2c7区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

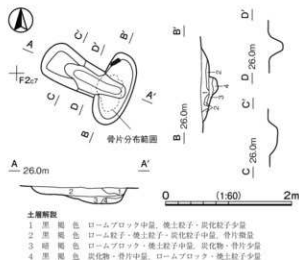
規模と形状 平面形は全長1.51mの呂字形で、主軸方向はN-118°-Eである。焚口部は、長軸0.60m、短軸0.54mの隅丸方形で、深さ12cmであり、底面はほぼ平坦である。通風溝は焚口部の中央部から燃焼部の中央部まで延びており、長さ1.05m、幅0.47mで、確認面からの深さは12~27cmであり、焚口部から燃焼部に向かって緩やかに下降している。燃焼部は長径1.16m、短径0.53mの楕円形で、深さは13cmである。底面は皿状で、壁は外傾している。

覆土 4層に分層できる。通風溝から燃焼部にかけて

焼土粒子や炭化物、焼骨片が、各層にはロームブロックが多く含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 通風溝から燃焼部にかけての覆土下層から、焼骨片64.5gが出土している。

所見 時期は、出土遺物が無いため明確でないが、遺構の形状から中・近世の可能性がある。



第433図 第2号火葬施設実測図

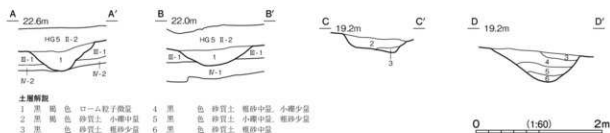
(2) 溝跡

今回の調査で、時期不明の溝跡7条を確認した。形状や出土遺物が特徴的な第11号溝跡については、土層断面図と出土遺物実測図、出土遺物一覧を示し、文章で解説する。その他の溝跡6条については、土層断面図と一覧表で掲載した。なお、平面図は遺構全体図で示した。

第11号溝跡 (第434~436図 第251表 PL35・90)

位置 調査K区からL区にかけてのG4b4区~G5d8区、標高19~22mの谷部に位置している。K区から西側は平成21年度調査(『第364集』所収)で第1号流路跡として、K区とL区の間は平成22年度調査(『第397集』所収)で第11号溝跡として報告されており、今回の調査で、連続していることが明らかになった。

確認状況 第5号遺物包含層第II層を除去した第III層の上面で確認した。



第434図 第11号溝跡実測図

規模と形状 東方向(N-97°-E)へ直線的に延びており、確認できた総延長は156mで、東部は調査区域外へ延びており、西端部は平成21年度調査区のG3a5区で、掘り込みが不鮮明になっている。今回の調査では、全長58.2mを確認し、上幅は0.98～1.37m、下幅は0.25～0.66mで、深さは20～46cmである。断面形は浅いU字形で、壁は外傾している。底面の標高は19.38～22.95mで、東部に向かって緩やかに下降しており、平成21年度調査区の西端部との比高差は3.60mである。

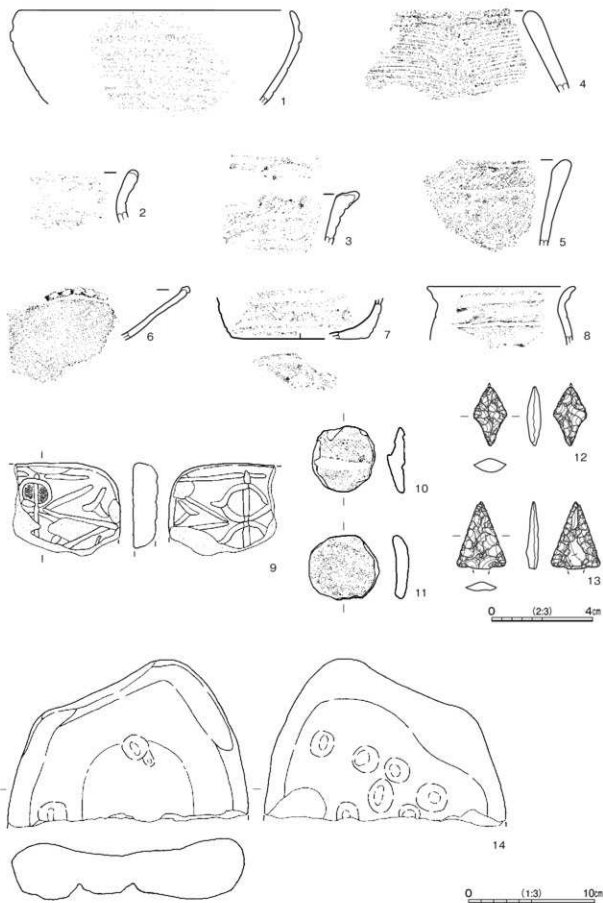
覆土 6層に分層できる。調査K区(A・Bライン)では第5号遺物包含層第Ⅱ層起源の黒褐色土が、調査L区(C・Dライン)では地山の砂礫層を含む黒色土が堆積しており、自然堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片3,005点(深鉢2,966,鉢1,浅鉢8,壺1,異形台付土器1,製塩土器28,59,617g)、土製品7点(土偶1,土版3,土器片円盤3)、石器・石製品22点(石鏃2,磨石15,敲石3,石皿1,石棒1)、剥片8点(頁岩1,瑪瑙2,チャート5)が出土している。縄文時代晩期中葉以降の第5号遺物包含層第Ⅲ層を掘り込んでいることから、出土遺物はいずれも後世の流れ込みと考えられる。

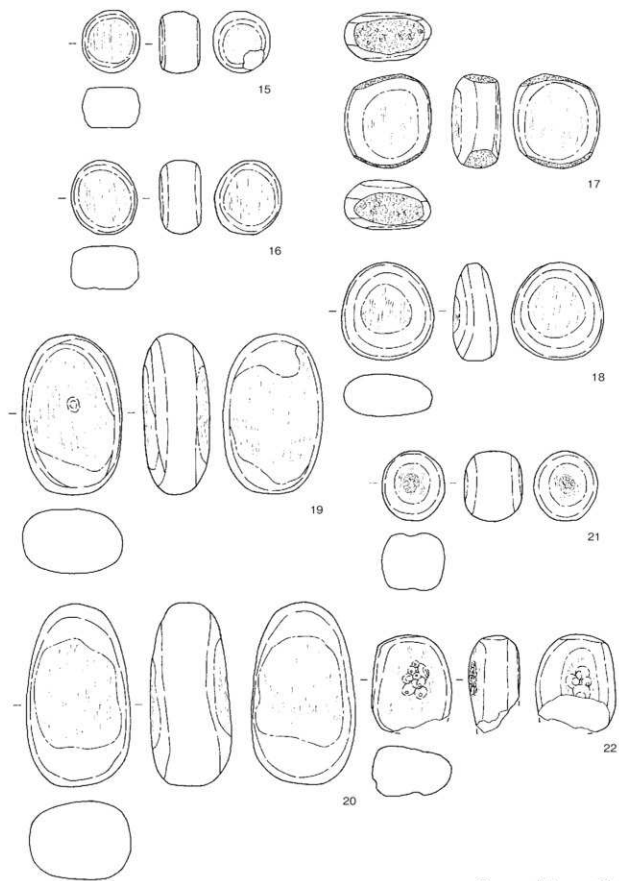
所見 時期は、上部に古墳時代前期～中世の第5号遺物包含層第Ⅱ層が堆積していることから、その形成過程で掘削されたと考えられる。遺跡南部の重支谷の谷底部に位置し、低地部に向かって直線的に延びていることから、人工的な排水溝と考えられる。

第251表 第11号溝跡出土遺物一覧(第435・436図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考		
1	縄文土器	深鉢	[21.6]	(7.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面沈線→区切り文→縄文RL→無文部磨き	内面磨き	Ⅴ区東部下層	加増利自2式	
2	縄文土器	深鉢	-	(4.1)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口部部B突起貼付	外面沈線→列点文	内面磨き	Ⅴ区中下部下層	P1.00 安行3c式
3	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	口部部B突起貼付	外面沈線→縄文LR→無文部磨き	内面磨き	Ⅴ区西部下層	P1.50 形直式
4	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面染線	内面ナデ		Ⅴ区中下部下層	P1.50 形直式
5	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き	内面ナデ		Ⅴ区中下部下層	晩期前葉
6	縄文土器	浅鉢	-	(4.3)	-	長石・石英	にぶい	普通	口部部一部縁細貼付	外・内面磨き		Ⅴ区西部下層	安行3c式
7	縄文土器	鉢	-	(3.3)	[10.4]	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面沈線→縄文RL→無文部磨き	底面磨き→沈線	内面ナデ	Ⅴ区中上部上層	大淵系
8	縄文土器	壺	[11.6]	(4.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面沈線→磨き	内面ナデ		Ⅴ区中下部下層	大淵系
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴		出土位置	備考		
9	土版	(8.6)	(7.4)	1.9	(150.2)	長石・石英・雲母・ 鉄質塵物	にぶい	橙	表面沈線→LR	縄文 表面沈線	Ⅴ区東部中層	P1.90	
10	土片円盤	5.2	5.0	1.4	31.6	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	橙		周縁部打ち欠き	表面縁起帯面沈線→RL	縄文 表面沈線ナデ	Ⅴ区西部下層	
11	土片円盤	5.1	5.6	1.2	32.2	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	にぶい	橙	周縁部打ち欠き	表面面ナデ		Ⅴ区西部下層	
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考			
12	石鏃	2.3	1.3	0.6	1.2	チャート	凸基有茶鏃		Ⅴ区東部近層	P1.90			
13	石鏃	(2.7)	1.9	0.6	(1.6)	頁岩	平基有茶鏃	基部欠損	Ⅴ区西部下層	P1.90			
14	石皿	(13.3)	(19.1)	(4.8)	(786.4)	安山岩	表面磨痕	表面面凹痕	Ⅴ区東部中層	P1.90			
15	磨石	5.0	4.6	3.3	89.7	安山岩	表面面磨痕		Ⅴ区中下部上層				
16	磨石	5.8	5.3	3.3	158.5	安山岩	表面面磨痕		Ⅴ区西部下層				
17	磨石	7.4	6.8	3.9	299.6	安山岩	表面面磨痕	両側面敲打痕	Ⅴ区東部中層				
18	磨石	7.8	7.4	3.7	272.2	安山岩	表面面磨痕		Ⅴ区中下部下層				
19	磨石	12.7	7.9	5.3	763.3	安山岩	片面敲打痕→表面面磨痕		Ⅴ区西部下層				
20	磨石	14.5	8.4	6.5	1200.8	安山岩	表面面磨痕		Ⅴ区中下部下層				
21	敲石	5.0	4.5	5.5	168.7	安山岩	表面面磨痕→敲打痕		Ⅴ区西部下層				
22	敲石	(7.6)	6.5	4.1	(249.1)	安山岩	表面面磨痕→敲打痕		Ⅴ区東部下層				

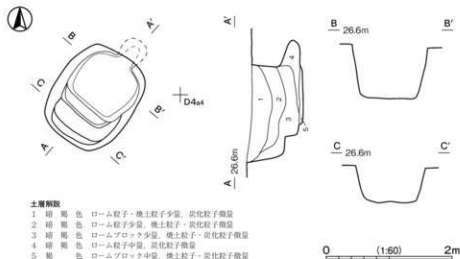


第 435 图 第 11 号沟跡出土遺物実測图 (1)



第 436 图 第 11 号溝跡出土物実測图 (2)

所見 時期は、出土土器から近世以降と考えられる。類例は、つくば市鳥名一町田遺跡の第1号地下式坑、境町井草本田遺跡群の第5・6号土坑などがあり、骨片や人歯、銅鏡や煙管、六文銭(寛永通寶)が出土していることから、墓坑の可能性が考えられている。



第438図 第335号土坑実測図

第337号土坑 (第439図 第253表)

位置 調査H区のD4c1区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

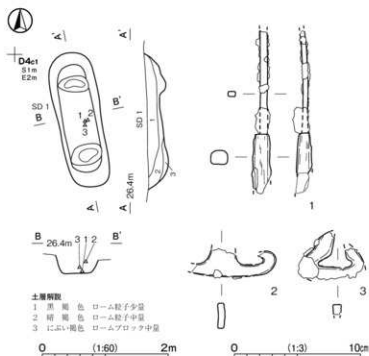
重複関係 第1号溝に掘り込まれている。

規模と形状 長軸2.16m、短軸0.73mの隅丸長方形で、長軸方向はN-9°-Wである。上部を第1号溝跡に掘り込まれており、残存している深さは32cmである。底面は平坦で、壁は外傾している。底面の北部と南部には、短軸方向に長さ48~50cm、幅25~32cm、深さ7~10cmの楕円形の凹みがあり、凹み間の間隔は120cmである。

覆土 3層に分層できる。上部は含有物が少ない黒褐色土で、自然堆積である。下部は、ロームのブロックや粒子が多く含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片2点(深鉢)、鉄製品3点(鎗鉋1、火打金2)、剥片5点(瑪瑙 19.3g)が出土している。1~3は、中央部の覆土上~下層からまよまって出土している。

所見 時期は、伴出する土器が無いため不明である。底面の北部と南部に楕円形の凹みがあり、木棺の棺台の痕跡と考えられることから、墓坑の可能性がある。



第439図 第337号土坑・出土遺物実測図

第253表 第337号土坑出土遺物一覧(第439図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
1	漆塗カ	(129)	0.5	0.4	14.7	鉄	刃部欠面 断面長方形 納部木質残存 長さ(47)・幅1.4・厚さ1.3	覆土下層	
2	火打金	(66)	(24)	0.5	(85)	鉄	山形 断面長方形	覆土上層	
3	火打金	(52)	(38)	0.7	(142)	鉄	山形 断面長方形	覆土下層	

第1090号土坑(第440図 PL35)

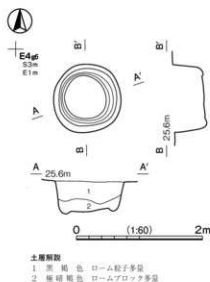
位置 調査C区のE 4g6区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 径1.06～1.08mの円形で、深さは46cmである。底面は平坦で、壁は直立している。壁下には、外径0.90～0.95mの円形で、幅8～17cm、深さ4cmの溝状の凹みが巡っている。

覆土 2層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子が多く含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片55点(深鉢54, 浅鉢1), 土製品1点(土器片円盤)が出土しているが、いずれも摩滅した細片で、後世に混入したものである。

所見 時期は、伴出する遺物が無いため不明である。底面に円形の溝状の凹みがあり、榊形の桶棺の圧痕と考えられることから、墓坑の可能性がある。



第440図 第1090号土坑実測図

第1217号土坑(第441図 第254表 PL80)

位置 調査K区のG 4a7区、標高約23mの斜面部に位置している。

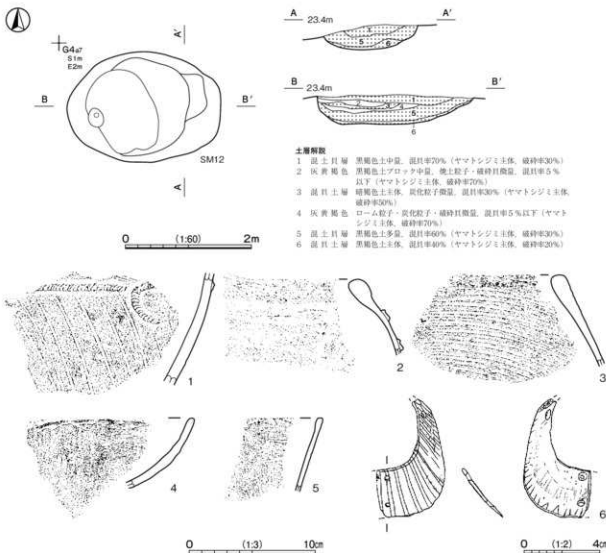
重複関係 第12号斜面貝層を掘り込んでいる。

規模と形状 長径2.48m、短径1.75mの不整楕円形で、長径方向はN-79°-Eである。深さは46cmで、底面は皿状であり、壁は外傾している。

覆土 6層に分層できる。混土貝層が主体であるが、第12号斜面貝層から混入した人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片1313点(深鉢1125, 浅鉢5, 鉢3, 台付鉢1, 製塩土器179), 土製品1点(土器片円盤), 石器・石製品4点(磨製石斧, 磨石, 砥石, 石棒), 貝製品1点(貝輪), 平瓦1点, 貝殻2500点(アカニシ片, アラムシロガイ1, カノコガイ1, カワアイ1, ハマグリ39, マツカサガイ片, ヤマトシジミ2458, 3.7771g), 骨64.5g, 腐朽した木片が出土している。縄文時代の遺物は、いずれも第12号斜面貝層から混入したものである。

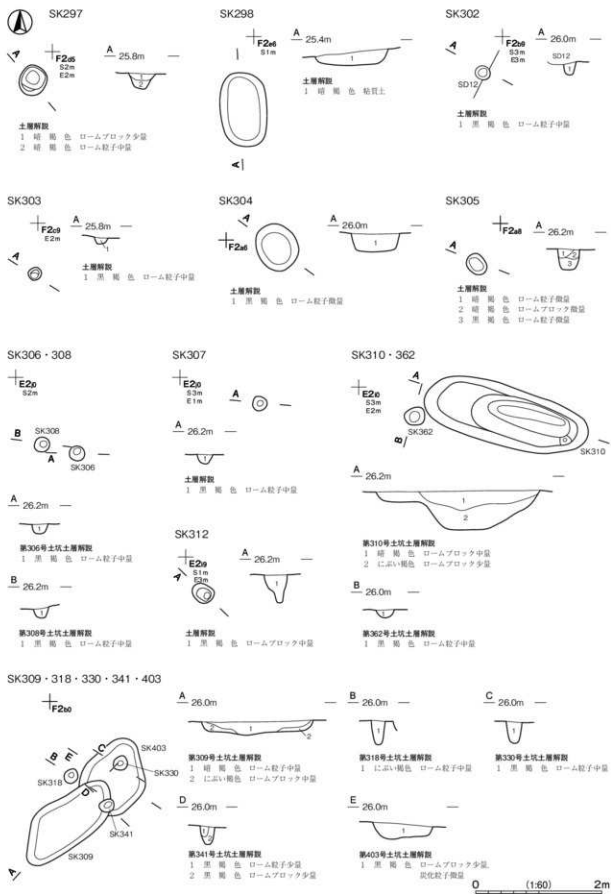
所見 時期は、植し瓦が出土していることから、近世以降と考えられる。



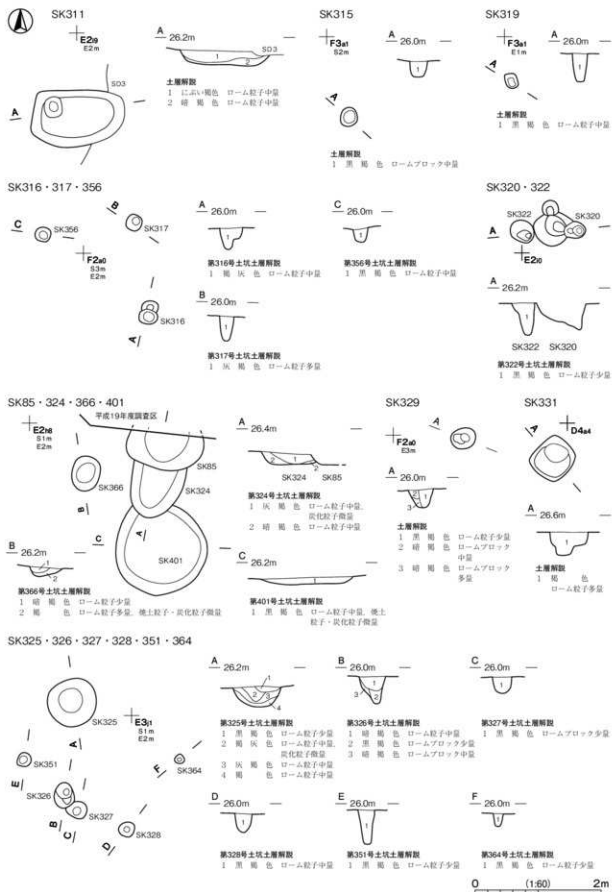
第 441 図 第 1217 号土坑・出土遺物実測図

第 254 表 第 1217 号土坑出土遺物一覧（第 441 図）

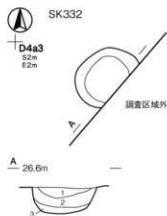
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英	にひい相	普通	外面糸線→横線貼付 内面磨き	覆土中	後期末葉
2	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英	にひい相	普通	外面沈線→縄文丸→無文部磨き→横貼付 内面磨き	覆土中	安行3a式
3	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母	にひい相	普通	外面糸線 内面磨き	覆土中	晩期前葉
4	縄文土器	鉢	-	(5.6)	-	長石・石英	にひい相	普通	外面ナデ 内面磨き	覆土中	晩期前葉
5	縄文土器	梨形土器	-	(5.7)	-	長石・石英	にひい相	普通	外面磨り 内面ナデ	覆土中	晩期前葉
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴			出土位置	備考
6	貝輪	(6.3)	3.6	2.1	(9.7)	サルボウ風	組み合わせ式	孔3分所	磁器整形	覆土中	PL80



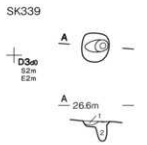
第 442 図 時期不明の土坑実測図 (1)



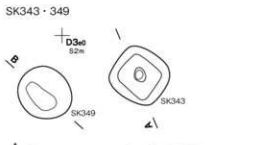
第 443 図 時期不明の土坑実測図 (2)



土層解説
1 にごい褐色 ロームブロック少量
2 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子少量
3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

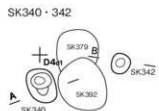


土層解説
1 暗褐色 ロームブロック少量
2 褐色 ロームブロック中量



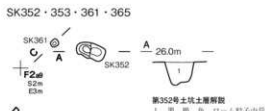
SK343号土坑土層解説
1 褐色 ロームブロック中量,
炭化粒子微量
2 暗褐色 ロームブロック少量
3 暗褐色 ローム粒子中量

SK349号土坑土層解説
1 灰褐色 ローム粒子少量
2 褐色 ローム粒子少量
3 にごい褐色 ロームブロック中量

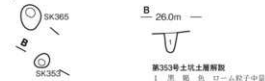


SK340号土坑土層解説
1 黒褐色 ロームブロック少量,
焼土粒子・炭化粒子微量
2 暗褐色 ロームブロック中量,
炭化粒子微量

SK342号土坑土層解説
1 暗褐色 ロームブロック少量,
焼土粒子・炭化粒子微量



SK352号土坑土層解説
1 黒褐色 ローム粒子中量



SK365号土坑土層解説
1 黒褐色 ローム粒子中量



SK361号土坑土層解説
1 黒褐色 ローム粒子・
焼土粒子・
炭化粒子微量

SK365号土坑土層解説
1 黒褐色 ローム粒子少量
2 黒褐色 ローム粒子中量



土層解説
1 黒褐色 ローム粒子中量



土層解説
1 黒褐色 ローム粒子中量



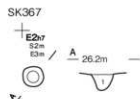
土層解説
1 黒褐色 ローム粒子中量



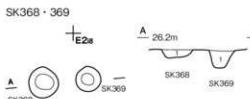
土層解説
1 黒褐色 ローム粒子中量



土層解説
1 黒褐色 ローム粒子中量



土層解説
1 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土
粒子・炭化粒子微量

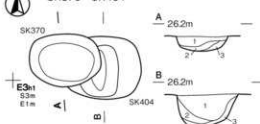


SK368号土坑土層解説
1 暗褐色 ローム粒子少量,
炭化粒子微量

SK369号土坑土層解説
1 暗褐色 ロームブロック少量,
炭化粒子微量

0 (1:60) 2m

SK370・SK404



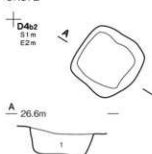
第370号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

第404号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量

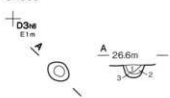
SK372



土層解説

- 1 黒灰色 ロームブロック中量

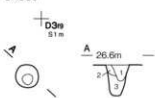
SK388



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量

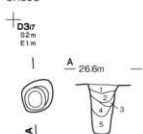
SK389



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量

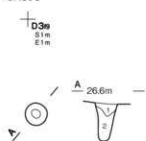
SK395



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量
- 4 黒褐色 ロームアブロック少量、焼土粒子少量、炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量

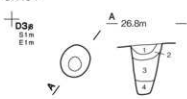
SK390



土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

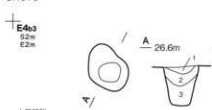
SK434



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 黒褐色 ロームアブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック中量

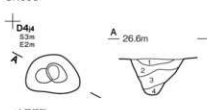
SK679



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量

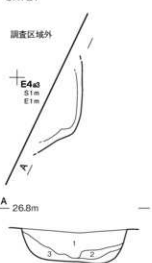
SK690



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームアブロック中量、焼土粒子少量、炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームアブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子微量

SK721



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

SK711・732



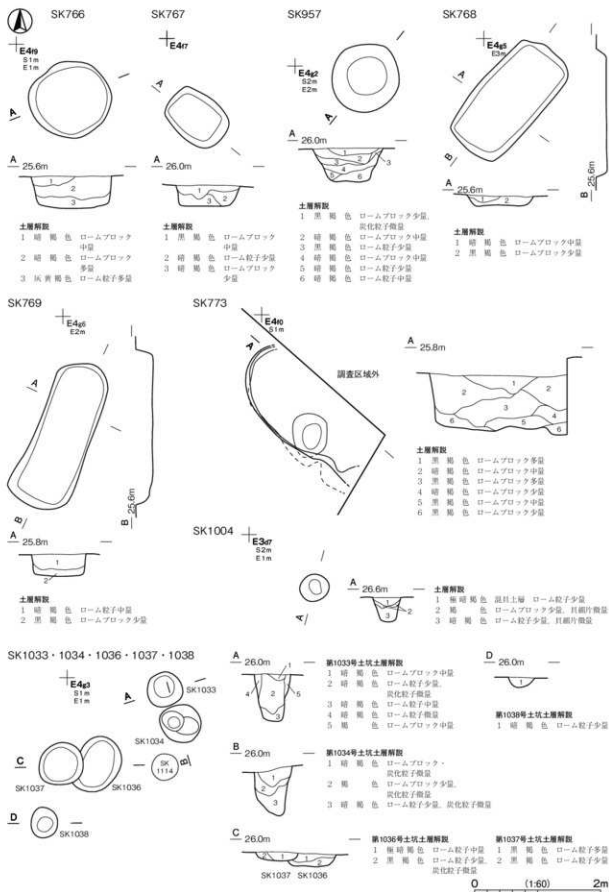
第711号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・貝殻微量

第732号土坑土層解説

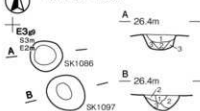
- 1 黒褐色 ロームアブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量

0 (1:50) 2m



第 446 図 時期不明の土坑実測図 (5)

SK1086・1097



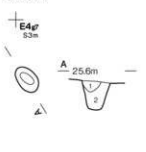
- 第1086号土坑土層解説**
- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
 - 2 暗褐色 ロームアロックス中量
 - 3 褐色 ロームアロックス中量
- 第1097号土坑土層解説**
- 1 暗褐色 ロームアロックス微量
 - 2 暗褐色 ローム粒子少量、片断的微量
 - 3 褐色 ロームアロックス中量

SK1087



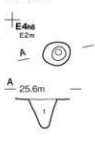
- 土層解説**
- 1 褐色 ロームアロックス中量

SK1094



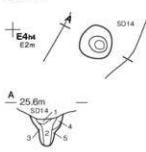
- 土層解説**
- 1 暗褐色 ローム粒子中量
 - 2 暗褐色 ロームアロックス中量

SK1095



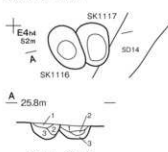
- 土層解説**
- 1 暗褐色 ローム粒子少量

SK1118



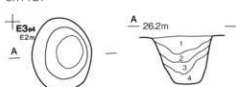
- 土層解説**
- 1 黒褐色 ローム粒子少量
 - 2 暗褐色 ロームアロックス中量
 - 3 極暗褐色 ロームアロックス少量
 - 4 黒褐色 ロームアロックス中量
 - 5 褐色 ロームアロックス中量

SK1116・1117



- 第1116号土坑土層解説**
- 1 暗褐色 ローム粒子微量
 - 2 暗褐色 ローム粒子微量
 - 3 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

SK1121



- 土層解説**
- 1 極暗褐色 ローム粒子少量、微土粒子・炭化粒子微量
 - 2 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
 - 3 黒褐色 ロームアロックス微量
 - 4 暗褐色 ローム粒子中量

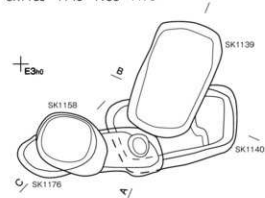
SK1138



- 第1117号土坑土層解説**
- 1 暗褐色 ローム粒子微量
 - 2 暗褐色 ロームアロックス少量
 - 3 暗褐色 ロームアロックス中量

- 土層解説**
- 1 褐色 ロームアロックス中量
 - 2 暗褐色 ロームアロックス中量

SK1139・1140・1158・1176



- 第1139号土坑土層解説**
- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化物微量
 - 2 暗褐色 ロームアロックス少量、炭化粒子微量
 - 3 黒褐色 ローム粒子少量
 - 4 暗褐色 ローム粒子中量

- 第1140号土坑土層解説**
- 1 暗褐色 ロームアロックス多量、炭化粒子微量
 - 2 暗褐色 ロームアロックス中量、炭化粒子微量
 - 3 暗褐色 ローム粒子多量、炭化粒子微量
 - 4 暗褐色 ロームアロックス少量、炭化粒子微量
 - 5 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
 - 6 暗褐色 ロームアロックス中量

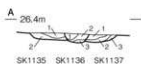
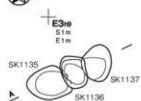
- 第1158号土坑土層解説**
- 1 黒褐色 ロームアロックス少量、炭化粒子微量
 - 2 暗褐色 ロームアロックス少量
 - 3 暗褐色 ローム粒子中量

- 第1176号土坑土層解説**
- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
 - 2 褐色 ロームアロックス微量

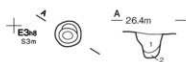
0 (1:50) 2m



SK1135~1137



SK1142



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

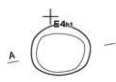
SK1177



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量
- 5 褐色 ローム粒子多量
- 6 黒褐色 ロームブロック中量

SK1178



土層解説

- 1 褐色 ローム粒子中量
- 2 褐色 ローム粒子多量

SK1181



土層解説

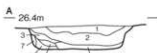
- 1 褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量

SK1141・1143



第1141号土坑土層解説

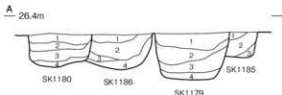
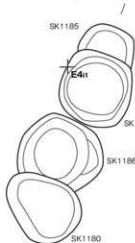
- 1 暗褐色 ロームブロック多量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量
- 5 黒褐色 ローム粒子少量
- 6 黒褐色 ロームブロック少量
- 7 褐色 ロームブロック少量



第1143号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

SK1179・1180・1185・1186



第1179号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子多量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量

第1185号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第1180号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第1186号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ロームブロック多量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ロームブロック少量

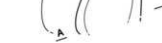
SK1182



土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 黒褐色 ローム粒子中量

SK1183



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

0 (1:60) 2m

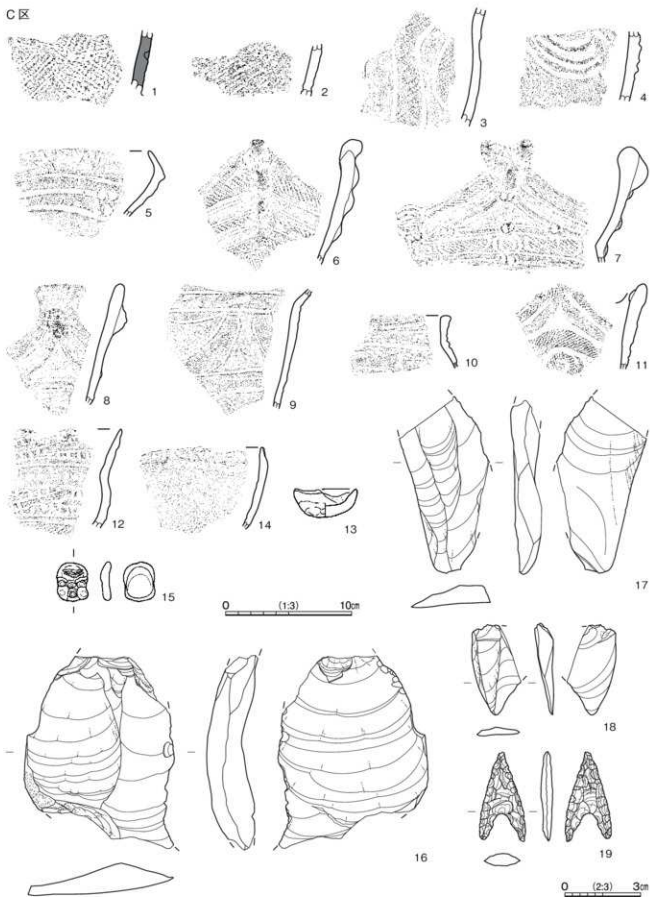
第 448 図 時期不明の土坑実測図 (7)

第 255 表 時期不明土坑一覽

番号	位置	方位(面)	平面形	規模		壁面	底面	覆土	主な出土遺物	時期	備考 (新旧関係)
				長径(幅) [m]	短径(幅) [m]						
85	E 2b8	N-81°-W	[楕円形]	1.20	× 0.58)	81	外傾	平土	人為		SK221→本跡
297	F 2d5	N-29°-E	楕円形	0.48	× 0.42	24	外傾	平土	人為		
298	F 2e5	N-6°-W	楕円形	1.18	× 0.74	25	外傾	平土	人為		
302	F 2b9	N-58°-W	楕円形	0.26	× 0.22	20	直立	平土	人為		本跡→SD12
303	F 2c9	-	円形	0.22	× 0.22	8	直立	平土	人為	深鉢2	
304	F 2a6	N-21°-W	楕円形	0.76	× 0.64	27	外傾	平土	人為		
305	F 2a7	N-44°-W	楕円形	0.36	× 0.28	30	直立	平土	人為	深鉢2	
306	E 2j9	-	円形	0.24	× 0.24	14	外傾	平土	人為		
307	E 2j9	-	円形	0.24	× 0.22	16	外傾	平土	人為		
308	E 2j9	-	円形	0.26	× 0.24	16	外傾	平土	人為		
309	F 2b0	N-44°-E	楕円形	1.76	× 0.80	22	外傾	平土	人為	割片1	SK403→本跡 →SK341
310	E 2j9	N-75°-W	楕円形	2.64	× 0.96	62	外傾	凹凸	人為	深鉢4	
311	E 2j9	N-86°-E	楕円形	1.48	× 0.90	24	外傾	平土	人為	深鉢1、割片1	本跡→SD3
312	E 2j9	N-46°-W	楕円形	0.34	× 0.30	42	直立	平土	人為		
315	F 3a1	-	円形	0.30	× 0.28	24	直立	皿状	人為		
316	F 2a0	N-13°-E	楕円形	0.36	× 0.30	33	外傾	凹凸	人為		
317	F 2a0	-	円形	0.26	× 0.24	40	直立	平土	人為		
318	F 2b0	N-26°-E	楕円形	0.26	× 0.22	36	直立	平土	人為		
319	F 3a1	N-17°-W	楕円形	0.24	× 0.20	46	直立	平土	人為	深鉢1	
320	E 2b0	N-83°-W	不整形	0.82	× 0.70	40	外傾・直立	凹凸	人為	深鉢2、割片1	
322	E 2b9	N-53°-W	楕円形	0.40	× 0.34	52	直立	平土	人為		
324	E 2b8	N-9°-E	[楕円形]	(0.80)	× 0.82	22	外傾	平土	人為	深鉢2	SK401→本跡 →SK26
325	E 3j1	-	円形	0.80	× 0.76	34	外傾	平土	人為	深鉢1	
326	E 3j1	N-2°-E	楕円形	0.42	× 0.32	42	直立・外傾	平土	人為		SK227→本跡
327	E 3j1	N-78°-W	楕円形	0.34	× 0.28	26	直立	平土	人為	深鉢4、割片2	本跡→SK236
328	E 3j1	-	円形	0.26	× 0.24	30	直立	皿状	人為	深鉢2、割片2	
329	F 3a1	N-72°-E	前円形	0.40	× 0.32	28	外傾	平土	人為	土師質土器小皿1、割片2	
330	F 2b0	-	円形	0.24	× 0.22	34	直立	皿状	人為	深鉢2	SK403→本跡
331	D 4a3	N-42°-E	方形	0.65	× 0.61	37	直立	凹凸	人為	深鉢1、土師質土器小皿1	
332	D 4a3	N-41°-E	[楕円形]	1.03	× 0.69)	40	外傾	皿状	人為	深鉢4、煎豆器坏1、土師質土器小皿1	
335	C 4j3	N-39°-E	長方形	1.61	× 1.30	88	外傾	平土	人為	深鉢7、土師質土器小皿2・深鉢1	
337	D 4c1	N-9°-W	楕円長方形	2.16	× 0.73	32	外傾	平土	人為	深鉢2、煎豆器坏1、火打金2、割片5	本跡→SD 1
339	D 3d0	-	円形	0.49	× 0.48	31	直立	凹凸	人為	土器片内盤1	
340	D 3d0	N-28°-W	楕円形	0.58	× 0.43	17	外傾	皿状	人為		
341	F 2b0	N-85°-E	楕円形	0.24	× 0.20	28	直立	皿状	人為	深鉢1	SK403・309→本跡
342	D 4d1	N-20°-E	楕円形	0.33	× 0.29	12	外傾	皿状	人為		
343	D 3e0	N-56°-W	方形	0.87	× 0.83	49	直立	平土	人為	深鉢4	
349	D 3e9	N-44°-W	楕円形	0.87	× 0.79	30	直立	平土	人為	深鉢2	
351	E 3j1	-	円形	0.21	× 0.21	54	直立	平土	人為		
352	F 2a0	N-36°-W	楕円形	0.42	× 0.36	36	外傾	凹凸	人為	深鉢2	
353	F 2a9	N-50°-E	楕円形	0.26	× 0.22	30	直立	平土	人為		
354	E 2j9	N-46°-E	楕円形	0.32	× 0.26	12	外傾	平土	人為		
356	F 2a0	-	円形	0.26	× 0.24	22	直立	平土	人為		
357	F 2b9	-	円形	0.28	× 0.26	34	直立	平土	人為		本跡→SD12
358	F 2c9	N-67°-W	前円形	0.24	× 0.20	12	外傾	平土	人為		
359	E 2g8	-	円形	0.46	× 0.42	10	外傾	皿状	人為		

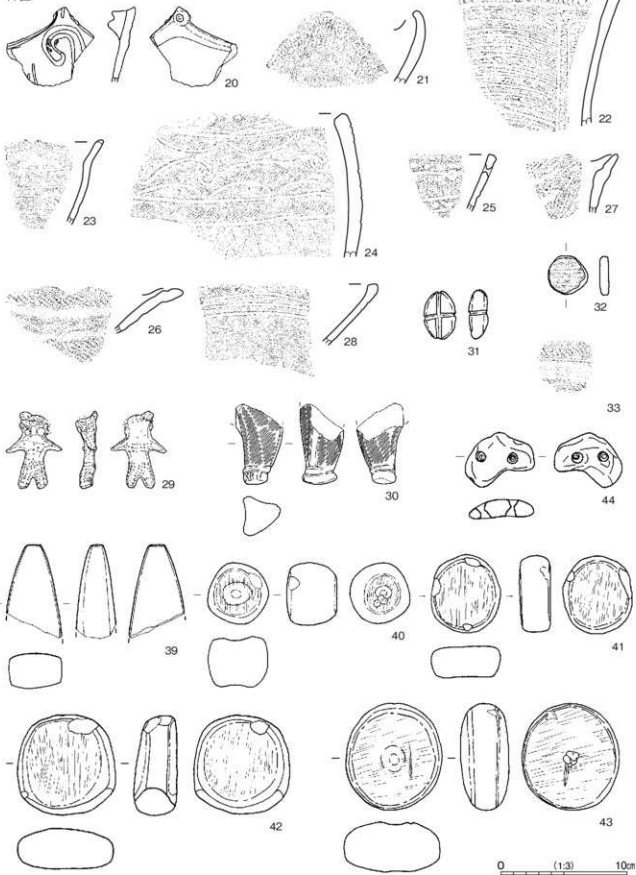
番号	位置	長径(南)方向	平面形	規 格		深さ (cm)	壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (調査関係)
				長径(南)×短径(東)	深さ							
360	E 2j0	N-38°-W	楕円形	0.26 × 0.20	6	外傾	平坦	人為				
361	F 2a9	N-30°-E	楕円形	0.14 × 0.12	22	直立	平坦	人為				
362	E 2i0	N-74°-E	楕円形	0.32 × 0.28	12	外傾	皿状	人為				
364	E 3j1	-	円形	0.16 × 0.16	20	直立	平坦	人為				
365	F 2a9	N-13°-W	楕円形	0.40 × 0.32	22	外傾	平坦	人為				
366	E 2i8	N-13°-E	楕円形	0.54 × 0.44	14	直立・外傾	平坦	人為				
367	E 2i7	-	円形	0.33 × 0.32	24	直立	皿状	人為	深鉢1			
368	E 2i7	-	円形	0.50 × 0.46	13	外傾	平坦	人為	深鉢1			
369	E 2i8	-	円形	0.40 × 0.40	26	直立・外傾	平坦	人為				
370	E 3h1	N-88°-E	楕円形	1.12 × 0.84	24	外傾	皿状	人為	深鉢11		SK404 → 本跡	
372	D 4i2	-	円形	1.03 × 1.01	39	直立	平坦	人為	深鉢2			
388	D 3i8	N-51°-W	楕円形	0.36 × 0.29	18	直立	平坦	人為	深鉢1			
389	D 3i8	-	円形	0.36 × 0.36	48	直立	平坦	人為				
390	D 3i9	-	円形	0.35 × 0.35	57	直立	平坦	人為				
395	D 3i7	N-35°-E	楕円形	0.58 × 0.47	79	直立	平坦	人為	深鉢2			
401	E 2i8	-	円形	1.52 × 1.44	14	外傾	平坦	人為	製塩土器1、銅片1		本跡→SK324	
403	F 2i0	N-22°-E	楕円形	1.28 × 1.00	24	外傾	平坦	人為			本跡→SK309・330・301	
404	E 3h1	N-85°-W	[楕円形]	(0.64) × 1.00	51	外傾	平坦	人為	深鉢14、磁器碗1、銅片1		本跡→SK320	
434	D 3i8	N-35°-E	楕円形	0.50 × 0.44	79	直立	平坦	人為	骨7.6g			
555	E 2i0	N-83°-W	楕円形	0.22 × 0.14	18	直立	平坦	人為				
679	E 4i3	N-21°-W	楕円形	0.82 × 0.60	62	直立	平坦	人為	深鉢94、陶器鉢1、鉢1、骨38g			
690	D 4i4	N-65°-W	不整形	0.86 × 0.60	54	外傾	平坦	人為	深鉢55、陶器鉢1、骨89.5g			
711	D 4i4	N-48°-E	[楕円形]	0.44 × 0.36	26	直立	平坦	人為	深鉢18、陶器鉢2、骨21.8g		本跡→SK732	
721	E 4a3	N-2°-W	不明	(1.65) × (0.40)	51	外傾	平坦	人為	深鉢37、釘1		SK720・722 → 本跡	
732	D 4j5	N-41°-W	不整形	0.80 × 0.68	40	外傾	平坦	人為	深鉢10、陶器鉢1、銅片1		SK711・733 → 本跡	
766	E 4i9	-	円形	1.36 × 1.18	50	直立	平坦	人為				
767	E 4i7	N-89°-W	長方形	1.01 × 0.76	32	直立・外傾	平坦	人為	深鉢16、瓦1			
768	E 4i5	N-41°-E	長方形	2.06 × 1.03	20	外傾	皿状	人為	深鉢15			
769	E 4i6	N-23°-E	楕円形	2.46 × 1.00	36	直立	平坦	人為	深鉢26			
773	E 4i0	N-48°-W	[楕円形]	(2.30) × (1.00)	92	内傾	凹凸	人為	深鉢12、須恵器壺1、土師質土器 惣骨1、陶器皿1、飯1、釘1			
957	E 4i2	-	円形	1.07 × 1.07	49	外傾	平坦	人為	深鉢24			
1004	E 3i7	-	円形	0.47 × 0.44	34	直立・外傾	皿状	人為	深鉢10、陶器蓋1、貝殻277、 骨12.8g			
1033	E 4i3	-	円形	0.56 × 0.52	79	直立	平坦	人為	深鉢22			
1034	E 4i3	N-66°-W	楕円形	0.70 × 0.60	76	直立	凹凸	人為	深鉢7			
1036	E 4i3	N-25°-E	楕円形	0.91 × 0.65	20	直立	平坦	人為	深鉢11		本跡→SK107	
1037	E 4i3	-	円形	0.70 × 0.70	12	外傾	平坦	人為	深鉢8		SK106 → 本跡	
1038	E 4i3	-	円形	0.47 × 0.43	17	直立・外傾	平坦	人為	深鉢5			
1086	E 3i9	-	円形	0.50 × 0.50	27	直立・外傾	平坦	人為	深鉢1			
1087	E 4i5	N-83°-W	楕円形	0.40 × 0.34	19	外傾	平坦	人為				
1090	E 4i6	-	円形	1.08 × 1.06	46	直立	平坦	人為	深鉢54、浅鉢1、土師片四疊1			
1094	E 4i7	N-45°-W	楕円形	0.46 × 0.30	47	直立	皿状	人為				
1095	E 4i6	N-79°-E	楕円形	0.47 × 0.38	50	直立	皿状	人為	深鉢3			
1097	E 3i9	N-89°-W	楕円形	0.65 × 0.52	27	外傾	皿状	人為	深鉢7、銅片1			
1116	E 4i4	N-30°-W	楕円形	0.76 × 0.50	28	外傾	皿状	人為	深鉢16、銅片1		SK117 → 本跡	
1117	E 4i4	N-15°-W	楕円形	0.68 × 0.46	24	外傾	平坦	人為	深鉢2		本跡→SK116	
1118	E 4i4	-	円形	0.54 × 0.50	49	直立	平坦	人為			本跡→SD4	
1121	E 3i4	N-9°-W	楕円形	1.14 × 0.95	76	外傾	平坦	人為	深鉢23、磁器碗1			

C区

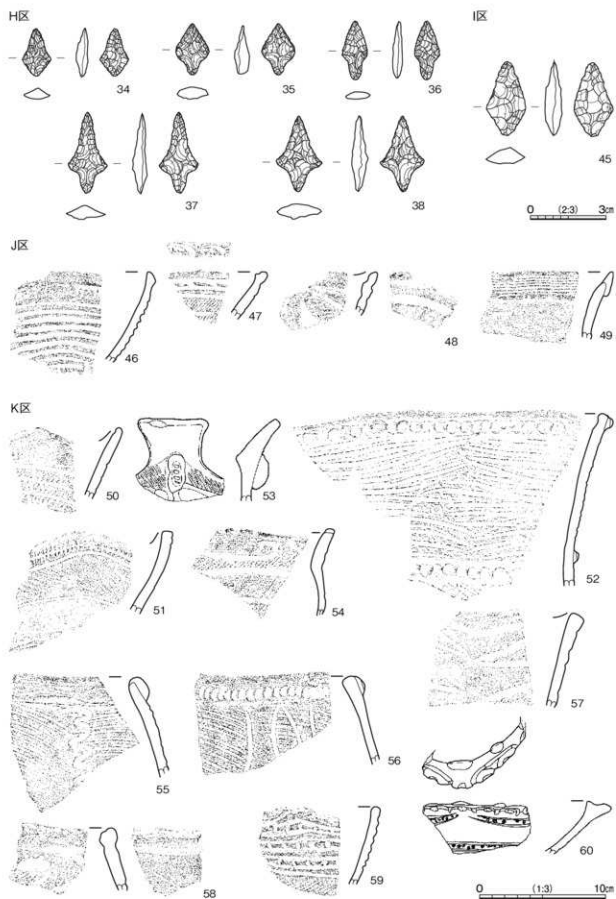


第 449 图 C 区遗物出土物实图

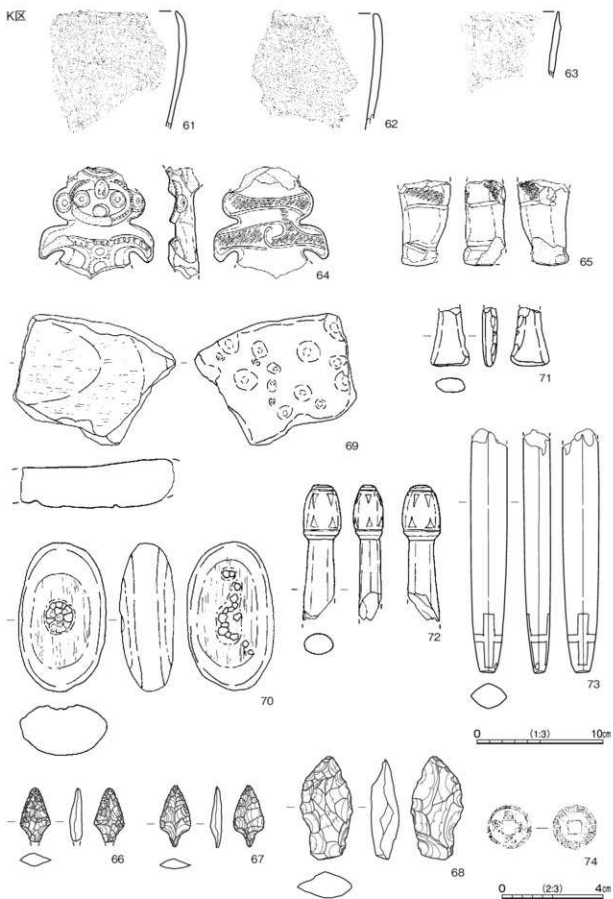
H区



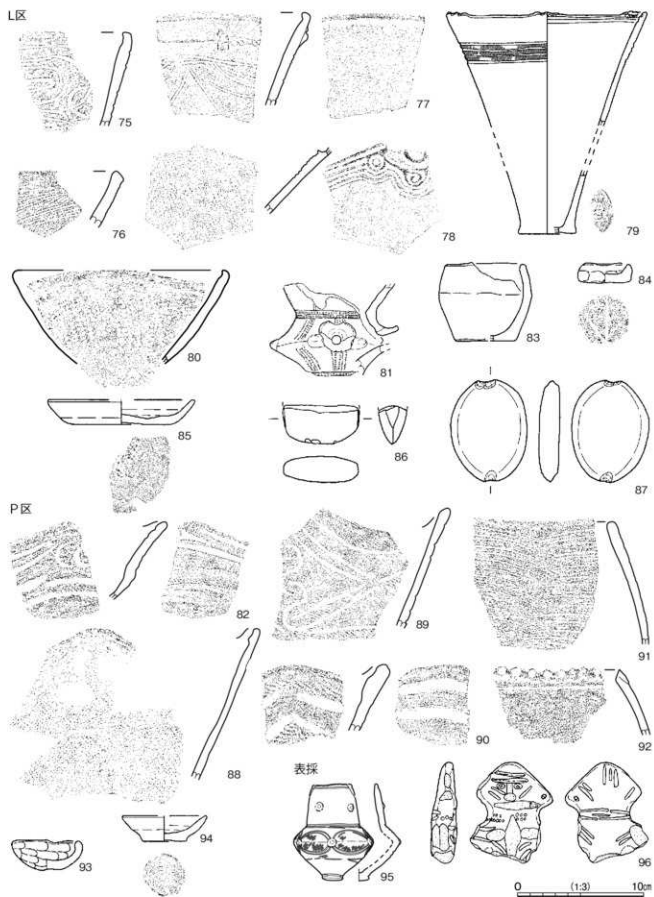
第450图 H区道槽外出土物实绘图



第 451 图 H·J·K 区遗物出土位置图



第452图 K区道槽外出土器物实测图



第 453 图 L·P 区遗物出土实物实测图

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考	
20	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英	にぶ・黄	普通	口唇部に縦文連続沈文 L.R. 縄文の丁字文 内面流線部に縦文	H区	称名寺1式	
21	縄文土器	深鉢	-	(3.8)	-	長石・石英	黒黒	普通	流状口縁 L.R. 縄文→口縁部に2条の筋み列 内面磨き	H区	加曾野B1式	
22	縄文土器	深鉢	-	(11.0)	-	長石・石英・赤色粘土	にぶ・黄	普通	口縁部・L.R. 縄文・横筋の糸線・縦筋貼付・縦位区画 内面磨き・口縁部に内凹	H区	長瀬前-中巻	
23	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶ・黄	普通	口縁部に2条突起 胴部 L.R. 光輝の入り組み三叉形縄文 内面磨き	H区	安行3a式	
24	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	-	長石・石英	暗	普通	口縁部にL.R. 光輝の縦文 胴部 L.R. 光輝の縦文とS字状入り組み文 胴部 L.R. 縄文 下半部 内面磨き	H区	安行3b式	
25	縄文土器	浅鉢	-	(4.5)	-	長石・石英	暗	普通	外面 L.R. 光輝縄文 焼成後穿孔1か所 内面磨き	H区	安行3c式	
26	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・赤色粘土	灰黒	普通	外面 RL 光輝縄文 内面ナデ 口縁部に三叉文と内凹	H区	前浦2式	
27	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母	にぶ・黄	普通	流状口縁 外面 L.R. 光輝縄文 内面磨き 口縁部に三叉文と内凹	H区	前浦2式	
28	縄文土器	浅鉢	-	(4.9)	-	長石・石英	にぶ・黄	普通	外面口縁部に3条の沈線 胴部内面 内面磨き	H区	曾野-安行1式	
46	縄文土器	浅鉢	-	(7.1)	-	長石・石英	にぶ・黄	普通	外面口縁部下無文帯 丁字文 内面磨き	J区	大淵A式	
47	縄文土器	浅鉢	-	(3.7)	-	長石・石英	暗	普通	口唇部に縦縄文 口縁部に二溝間のサヤ線 胴部 L.R. 光輝の雲形文 内面磨き	J区	大淵C1式	
48	縄文土器	深鉢	-	(3.4)	-	長石・石英	にぶ・黄	普通	流状口縁 L.R. 光輝縄文 内面内凹	J区	前浦2式	
49	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・赤色粘土	暗	普通	付帯口縁上に横帯文工具による縦文 外・内面ナデ	J区	晩期後葉	
50	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母	暗	普通	外面無筋 L.R. 横帯文→区切り文 内面磨き 口縁部 L.R. 縄文	K区 HG 5 K.D.4区 X	加曾野B1式	
51	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶ・黄	普通	口縁部に2条の筋み列 口唇部に線形状に沿った L.R. 縄文帯 無文部・内面磨き	K区 HG 5 表土	加曾野B3式	
52	縄文土器	深鉢	-	(13.7)	-	長石・石英・雲母	にぶ・黄	普通	流状口縁 L.R. 光輝の縦文 胴部縦位の沈線と縦線貼付 内面磨き 口縁部に内凹	K区 HG 5 表土	10% 前期中巻	
53	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・赤色粘土	にぶ・黄	普通	縦位区画の流線部 RL 隆起部縄文 流線部粗みのある縦位区画 内面磨き	K区 HG 5	安行1式	
54	縄文土器	鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母	赤黒	普通	口唇部に二條突起 外縁する口縁部にL.R. 縄文光輝のステッキ状入り組み文	K区 HG 5 X	安行3b式	
55	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・赤色粘土	にぶ・黄	普通	付帯口縁状 口唇部縦位の糸線→能行沈線	K区 HG 5	晩期前葉	
56	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	にぶ・黄	普通	口唇部縦位の糸線→縦筋貼付・縦位の対張文 内面ナデ	K区 HG 5 X	晩期前葉	
57	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母	にぶ・黄	普通	流状口縁 無筋 L.R. 光輝縄文で福袋状区画文 無文部 付帯口縁状 L.R. 光輝のの字文 内面磨き 口縁部内凹	K区 HG 5 K.D.4区 X	安行3c式	
58	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石英・赤色粘土	暗	普通	口唇部に目突起 口縁部に2段の横帯化した流線状文 胴部 L.R. 光輝 内面ナデ	K区 HG 5 K.D.4区 X	大淵C1式	
59	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	口唇部に目突起 口縁部に縦位区画と縦文 流状口縁 口唇部に縦位区画と縦文 口唇部内凹 縦位区画の縦文 無文部磨き 内面磨き	K区 HG 5 X	安行3c式	
61	縄文土器	製塩土器	-	(9.3)	-	長石・石英・赤色粘土	にぶ・黄	普通	口唇部未調整 外面口縁部縦位・胴部縦位の筋り内面ナデ	K区 HG 5 表土	前浦2式	
62	縄文土器	製塩土器	-	(9.0)	-	長石・石英・雲母	灰黒	普通	口唇部未調整 外面縦位の筋り 内面ナデ	K区 HG 5	前浦2式	
63	縄文土器	製塩土器	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母	にぶ・黄	普通	口唇部未調整 外面縦位の筋り 内面ナデ	K区 HG 5 K.E.3区 X	堀之内1式	
75	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英	黒黒	普通	外面地縄文・渦巻文 内面磨き 口縁部に内凹	L区	堀之内1式	
76	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母	にぶ・黄	普通	L.R. 地縄文・手載竹管状工具による集合沈縄文の雲形文 内面磨き 口縁部に縦筋	L.R. 堀之内 表土	堀之内1式	
77	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英	暗	普通	口唇部に縦縄・S字状突起 胴部無筋文 L.R. 光輝の雲形文 内面磨き 口縁部に縦筋	L.R. 堀之内 表土	堀之内2式	
78	縄文土器	浅鉢	-	(5.3)	-	長石・石英	灰黒色	普通	口唇部未調整 外面ナデ 内面磨き 流線部を中心に流線状の沈線	L区	堀之内2式	
79	縄文土器	深鉢	(15.6)	[17.8]	(4.6)	長石・石英	黒黒	普通	外面3条のL.R. 光輝縄文帯 口唇部に刺突文を伴う横長の突起と沈線 外・内面磨き	L区	加曾野B1式	
80	縄文土器	浅鉢	[6.5]	(7.4)	-	長石・石英・赤色粘土	にぶ・黄	普通	外面 RL 縄文 内面ナデ 口縁部に内凹	L区	長瀬前-中巻	
81	縄文土器	浅鉢	-	(7.4)	-	長石・石英	灰黒色	普通	外面細かい刺突文による縦位区画文	L区	P134 長期後葉	
83	縄文土器	ニシヤナフ土器	[6.0]	6.1	(4.9)	長石・石英	灰黒色	普通	外・内面ナデ 外面に横帯文	L区	60% 後期	
84	縄文土器	ニシヤナフ土器	[3.6]	6.3	1.5	4.0	長石・石英・雲母	暗	普通	ナデ整形 底部木葉痕	L.R. 堀之内 表土	80% 14% 紀代
85	土師器	小皿	(11.6)	1.9	(8.6)	長石・石英・雲母・赤色粘土	明赤黒	普通	外・内面ロコナデ 底部凹刻ヘラ切り	L.R. 堀之内 表土	80% 14% 紀代	
82	縄文土器	浅鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	暗	普通	外面縦位部から縦縄文 流線部下の丁字文 縄文の雲形文 内面磨き 口縁部に三叉文と沈線	P区 HG 4 E.6.6区 X	前浦2式	
88	縄文土器	深鉢	-	(12.0)	-	長石・石英・赤色粘土	灰黒	普通	流状口縁 口縁部下無文 外面縄文 RL 内面磨き 口縁部に内凹	P区 HG 4 E.6.5区 X	長瀬前-中巻	
89	縄文土器	深鉢	-	(9.6)	-	長石・石英・雲母・赤色粘土	暗	普通	外面口縁部に RL 光輝の雲形区画文 内面磨き	P区 HG 4 E.6.5区 X	安行3b式	
90	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	長石・石英・雲母	にぶ・黄	普通	外面 RL 光輝縄文で雲形突起文 内面磨き 口縁部に3条の筋	P区 HG 4 P.6区 X	前浦2式	
91	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・雲母	黄	普通	外面縦位の糸線 内面ナデ	P区 HG 4 表土	晩期前葉	
92	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母	暗	普通	付帯口縁 口唇部に押圧 外面筋り 内面ナデ	P区 HG 4 E.6.6区 X	晩期中葉	
93	縄文土器	ニシヤナフ土器	5.3	2.4	-	長石・石英・雲母	暗	普通	外・内面ナデ	P区 HG 4 E.6.6区 X	80%	
94	土師器	小皿	(6.7)	2.0	3.4	長石・石英・雲母	暗	普通	外・内面ロコナデ 底部凹刻転写式のレンズ状縦文	P区 HG 4 表土	70% 16% 紀代	
95	縄文土器	ニシヤナフ土器	[2.8]	7.6	1.7	長石・石英	にぶ・黄	普通	縦筋 胴部に流線状縦縄文 胴部に L.R. 光輝の	表土	90% 習合式	

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
15	泥面子	3.2	2.5	0.9	4.9	長石	にぶい椀	芥子面 火男	C区	
29	土偶	6.2	4.5	1.3	(17.4)	長石・石英	にぶい椀	目は胎付文、腹部平型、細かい筒状文、腹部刺突列による横帯構成。	H区	PL134
30	土偶	(6.4)	(3.7)	(3.5)	(54.6)	長石・石英	黒陶	ミズク形 左脚部片 長L、横文光腹 足先に割み	H区	
31	土偶	3.8	2.5	1.5	17.1	長石・石英	にぶい椀	長・短軸方向に有溝	H区	
32	土器内蓋	3.1	3.1	0.7	8.6	長石・石英・赤色粘土	椀	粗製土器製成部片利用 周縁研磨	H区	
33	土器内蓋	4.4	4.8	1.2	28.7	長石・石英・黒母・赤色粘土	暗赤陶	安行1式深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	H区	
64	土偶	(8.9)	9.1	(2.6)	(140.2)	長石・石英・黒母	黒陶	ミズク形 胴一側部片 輪郭・肩一側部・腹部に割み発帯 腹面ボテン状 背面LR光腹の入り割み文	K区HG5 KD6	PL134
65	土偶	(6.8)	(4.1)	(3.4)	(93.1)	長石・石英・黒母	灰青陶	左脚部片 LR帯縄文	K区HG5 KD8	
96	土偶	(8.0)	(6.6)	(2.0)	(82.6)	長石・石英	椀	山形 胴一側部片 顔面口沿の発帯以外研磨 正中腹・胸腹線 首に2条の刺突列 胴部・背面黒線文	表坪	PL134
番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	材 質	特 徴		出土位置	備 考
16	洞片	(7.7)	(6.0)	2.0	(61.4)	東北産頁岩	大型洞片	背面に1本の横線 縁端部の一部に自然面を残す	C区	PL134
17	石刀	(6.9)	(3.5)	1.8	(18.7)	東北産頁岩	大型の縦長洞片	背面に2本の横線 基端部欠損	C区	PL134
18	石刀	3.6	(1.9)	0.8	(3.3)	東北産頁岩	小型の縦長洞片	背面に3本の横線 基端部一部欠損	C区	PL134
19	石鏃	3.5	1.8	0.5	2.1	チャート	円基無茎鏃		C区	PL134
34	石鏃	1.8	1.2	0.3	0.7	チャート	凸基有茎鏃		H区	PL134
35	石鏃	2.0	1.3	0.6	0.9	瑪瑙	凸基有茎鏃		H区	PL134
36	石鏃	2.2	1.0	0.4	0.6	チャート	凸基有茎鏃		H区	PL134
37	石鏃	3.0	1.8	0.8	1.6	チャート	凸基有茎鏃		H区	PL134
38	石鏃	3.2	1.1	0.5	1.2	瑪瑙	凸基有茎鏃		H区	PL134
39	磨製石斧	(7.4)	4.4	3.2	(129.3)	凝灰岩	定角式 刃部欠損		H区	
40	磨石	4.8	4.8	4.0	93.2	安山岩	表裏面凹状 周縁ざらつきの磨耗痕		H区	
41	磨石	6.2	5.5	2.5	123.8	安山岩	表裏面光沢のある磨り面 周縁ざらつきの磨耗痕		H区	
42	磨石	7.9	7.8	3.4	338.5	安山岩	表裏面光沢のある磨り面 上下端ざらつきの磨耗痕		H区	
43	磨石	8.5	7.7	3.9	392.9	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+縁打痕 周縁ざらつきの磨耗痕		H区	
44	産駒	4.4	5.5	1.6	32.3	凝灰岩	孔2か所 二方向からの穿孔		H区	PL134
45	石鏃	3.0	1.6	0.8	2.2	チャート	凸基有茎鏃		1区	PL134
66	石鏃	(2.2)	1.2	0.5	(1.0)	瑪瑙	凸基有茎鏃 基部欠損		K区HG5 表土	
67	石鏃	2.4	1.3	0.5	1.0	チャート	凸基有茎鏃		K区HG5 KD8	PL134
68	石鏃完成品	4.0	2.1	1.1	8.7	チャート	両面押圧研磨		K区HG5 表土	PL134
69	石鏃	(10.4)	(12.9)	(3.9)	(487.7)	安山岩	表面磨り面 表裏面凹状 縦熟		K区HG5 KE7	
70	磨石	11.8	7.0	4.3	492.7	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+縁打痕 上下端部縁打痕		K区HG5 KE9	
71	砥石	(4.6)	3.1	1.2	(14.7)	砂岩	全面研磨 ヘラ状 縦熟		K区HG5 表土	
72	石棒	(10.7)	3.0	2.4	(89.0)	粘板岩	頭部~胴部片 6方位の対向三又文施文		K区HG5 KD4	PL134
73	石柄	(19.3)	2.9	2.2	(163.9)	粘板岩	胴部一先端部 楕円形 先端部に十字の区画文		K区HG5 KE7	
74	産貨	2.4	2.4	0.7	2.3	銅	至和元寶 北宋錢 初鑄1054年 磨書		K区HG5 表土	PL134
86	磨製石斧	(3.1)	(6.1)	(2.3)	(54.0)	凝灰岩	定角式 刃部のみ 研磨 刃部先端部縁打痕		LRHG4-3	
87	石鏃	8.1	6.2	1.6	122.2	安山岩	礫石鏃 長軸磨打ち欠き 縦熟		LRHG4-3 表土	

印刷仕様

編集	OS	Microsoft Windows 10 Pro
	編集	Adobe InDesign 2020
	図版作成	Adobe Illustrator 2020
	写真調整	Adobe Photoshop 2020
	Scanning	RICOH MP W4002, EPSON DS-G20000
使用Font	OpenType	リュウミンPro L-KL, 太ゴB101 Pro Bold 中ゴシックBBB Pro Medium
写真	線数	カラー210線以上
印刷		印刷所へは、Adobe InDesign 2020 でデータ入稿

茨城県教育財団文化財調査報告第459集

つくば市

上境旭台貝塚5

中巻

中根・金田台特定土地区画整理
事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅱ

令和4（2022）年 1月20日 発行

発行 公益財団法人茨城県教育財団

〒310-0911 水戸市見和1丁目356番地の2
茨城県水戸生涯学習センター分館内
TEL 029-225-6587
HP <http://www.ibaraki-maibun.org>

印刷 八幡印刷株式会社

〒310-0911 水戸市見和3丁目1528-38
TEL 0120-23-1473

